

科目名	現代社会と倫理			授業形態	講義
英語科目名	Ethics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	長沼 淳			ナンバリング	BAG1000
担当教員	長沼 淳				
授業概要					
全体内容	現代社会が直面する倫理的諸問題を概観し、問題の構造が社会のあり方や個人々の持つ価値観と密接な関係があることを確認する。そのうえで、このような多様な価値観が交錯し、一見解決不能にも思える諸問題に対し、どのように人々の利害を調整し、より客観的な道徳を構築していくべきなのか、倫理学が、とりわけ医療の分野でどのような役割を期待され、また果たせるのかを検討する。今後一層多様化が進むことが予想される我が国において、医療者も職務遂行上多くの異なる価値観と直面することになる。学生には、そうした場面でのように行動することが倫理的に適切と考えられるのかという倫理的自律性の基盤を獲得することを目標とする。				
到達目標	本講義のねらいは、現代社会における医療課題とそれに対する倫理的な調整の方法を学び、自らの実践につなげられるようにすることにある。 1.倫理的に生きるとはどういうことかについての基本的な見通しを立て、説明することができる。 2.個人の尊重と倫理の関係について理解し、自分なりに説明することができる。 3.規範を守ることの理解に基づき、実践につなげることができる。 4.善悪と個人の価値観の関係について理解することができる。				
授業の位置づけ	医療を学ぶ上で、倫理的に行動することの意味を理解していることは必須の前提といえる。複雑多様化し高度に発達した現代社会における医療の「倫理」の意味を理解し、実践に移せる能力を磨いておきたい。患者の自己決定権を尊重した医療を専門職として実践することについて、適切な見解を提示できるようにしたい。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1				
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会で問題となっている事柄についてニュースや新聞記事などに関心を持ち積極的に情報に触れるようにすること。 ・授業内で学んだことが実際の場面でどのように取り扱われているかを考えること。 ・答えを探すというより、問を考える過程に注意を払うこと。 ・提出物に対するフィードバックは希望者に随時メールにて行う。 				
成績評価の方法					
評価方法	授業の達成目標について、レポート(20%)ならびに定期試験(80%)において確認し、総合的に判定する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・医療における倫理解の変遷、その背景を説明できるか。 ・医療における「自己決定権」の意義を説明できるか。 ・「患者の主体性」を支援することの意味を説明できるか。 ・倫理とは答えを出す過程に意味があることをせつめいできるか。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの結果については、次回講義内で総評を述べるとともに、個別の質問についてはその都度対応する。 ・試験(レポート)評価は、メールやJ-Passなどで適宜コメントする。 					
テキスト					
特になし					
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは使用せず、毎講義時にプリントを配布する。 ・参考書は授業内において適宜紹介する。 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	講義の前後で対応する。事前にメールでアポイントメントをとること。				
担当教員の実務経歴					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1 4/9 (金) 5 時限	長沼 淳	オリエンテーション 倫理学の基本	講義	【予習】 (90分) 特になし 【復習】 (90分) 小テストの回答。配布資料の確認。
2 4/16 (金) 5時限 (未定)	長沼 淳	生命倫理の誕生と発展① ヒポクラテスの誓いからジュネーブ宣言まで	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。パターナリズムから患者の自己決定権確立の流れを確認しておくこと。
3 4/23 (金) 5時限	長沼 淳	生命倫理の誕生と発展② 医療技術の発展と新たな問題の発生	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。生命倫理が科学の発展と相関していることを確認しておくこと。
4 4/30 (金) 5時限	長沼 淳	生命倫理の誕生と発展③ 生命倫理の三原則と先端医療	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。患者の自律と専門家の支援の関係を考えておくこと。
5 5/14 (金) 5時限	長沼 淳	自己決定権① 自己決定権が確立する過程	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。近代の成立と個人の確立、自己決定へと向かう過程を確認しておくこと。
6 5/21 (金) 5時 限	長沼 淳	自己決定権② 他者決定としての自己決定権	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。自分のことは自分だけで決めることができるか考えてみよう。
7 5/28 (金) 5時限	長沼 淳	デザイナーベビーを考える ビデオを鑑賞する	ビデオを使用	【予習】 (90分) 特になし。 【復習】 (90分) ビデオのレポートを次回までに完成させておくこと。
8 6/4 (金) 5 時限	長沼 淳	先週の振り返り 自己決定と家族	討論	【予習】 (90分) 自分のレポートを発表できるよう準備しておくこと。 【復習】 (90分) 同じ問題に対する他の人の見解をふまえ、思考の多様性を確認しておくこと。
9 6/11 (金) 5時限	長沼 淳	他者危害の原則① 他人に迷惑をかけなければ何をやってもよいとはどういうことか	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。他者危害の原則は本当に成り立つのかも一度考え直してみよう。
10 6/18 (金) 5時 限	長沼 淳	他者危害の原則② リバタリアニズムとコミュニタリアニズム	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。個人の自由と社会の秩序の関係はどうあるべきなのか、それぞれの立場の利点、欠点を踏まえ再検討しておくこと。
11 6/25 (金) 5時限	長沼 淳	愚行権 私らしさと他者との共存	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。 【復習】 (90分) 小テストの回答。合理的な選択と私にとっての価値の追求をどう両立させるのか、自分なりに考えてみよう。
12 7/2 (金) 5	長沼 淳	環境倫理の諸問題① 土地倫理と世代間倫理	講義	【予習】 (90分) 事前配布プリントを読んでおくこと。

科目名	心理と行動	授業形態	講義
英語科目名	Psychology and Behavior	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	吉武 尚美	ナンバリング	BAG1001
担当教員	吉武 尚美		
授業概要			
全体内容	保健医療の知識の専門的支援に従事する際には、被支援者のみならず自身の行動や心の働きについても知っておく必要がある。心理学とは人間の心と行動のメカニズムを科学的に解明する学問である。本科目は心理学の概論授業として、諸領域の基本的な概念や理論を学び、自他の心に関して科学的な根拠に基づいた理解を深める。これらの学修を通して、人間性への尊重と共感をもった専門的支援ができることを目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 人間の心や行動に関する心理学の基本的な概念や理論を説明することができる。 自他の心や行動を心理学的知見に基づいて理解、予測、制御することができる。 様々な社会的事象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学的な思考スキルを獲得する。 環境や人格の多様性に敏感になり、自他の受容感を高める。 		
授業の位置づけ	本学部で求められる普遍性と個性、多様性に根差した人間理解のためには心理学の素養は不可欠である。専門的学習や実践に役立つ基礎的知識やスキルを習得することができる本科目は学部での学習の入り口に位置づけられる。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を最終授業までに読破する。事前理解度テストを受けて理解を確認すること。 授業ではクイズ、エクササイズ、グループワークを行うとともに、行動観察や実験などの宿題を出すので、積極的に取り組むこと 		
成績評価の方法			
評価方法	以下を総合して評価する： 課題レポート1題 25％、学習意欲(事前確認テスト・リアクションペーパー・授業内ディスカッションへの参加度合い)25％、定期試験(中間試験/学期末試験) 50％		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 学習の内容を自分の経験と関連付けて理解できているか 心理学の主要領域(認知・発達・社会・健康)における基本的な概念や理論を理解しているか 心理学の概念や理論を用いてより深い自己分析ができたか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内やGoogleClassroomを使用して返却する。			
テキスト			
医療系のための心理学	櫻村正美・野村俊明	講談社	978-4-06-518093-8
参考文献			
授業内で適宜紹介する			
その他			
連絡先・オフィスアワー	n-yoshitake@juntendo.ac.jp (予約メール必要)		
担当教員の実務経験	カウンセリング機関や教育機関での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	吉武 尚美	【受講ガイダンス】 ・心理学とは ・心理学を学ぶということ	講義 【予習】 (90分) 心とは何かを自分の言葉で説明できるようにしておく 【復習】 (90分) 心理学を学ぶ意義を整理し、授業で特に学びたい自分の関心事や目的を明確にする。テキストの該当箇所を読んで、授業の内容を体系づけておく

2	吉武 尚美	【感覚と知覚】 1. 感覚・知覚・認知 2. ゲシュタルト心理学 3. 感覚・知覚の加齢による変化	講義	【予習】 (90分) 1.教科書の該当箇所を読んでおく 2.「錯覚」体験を2つ挙げ、状況を描写する 【復習】 (90分) 教科書を再度読み、用語の理解を定着させる。
3	吉武 尚美	【学習と記憶(1)】 1. 行動主義心理学による学習理論 2. 行動科学の医療場面への応用	講義	【予習】 (90分) 1.教科書の該当箇所を読んでおく 2.自らの「学習の体験」を2つ挙げ、状況を描写しておく 【復習】 (90分) 教科書を再度読むとともに、日常の行動を条件づけの視点から説明できるようにする。
4	吉武 尚美	【学習と記憶(2)】 1. 情報処理理論による学習理論 2. 記憶と忘却 3. 幼児や高齢者の記憶	講義	【予習】 (90分) 1.教科書の該当箇所を読んでおく 2.よく使う暗記の方法を2つ挙げ、長所と短所をまとめる 【復習】 (90分) 情報処理理論の概要を把握し、記憶のプロセスについて理解を定着させる。
5	吉武 尚美	【動機づけと情動(1)】 1. 動機づけとは 2. 動機づけの諸理論	講義	【予習】 (90分) 1. 教科書の該当箇所を読んでおく 2. モチベーションを上げる方法を考える 【復習】 (90分) 教科書を再度読み、様々な動機づけの特徴を整理し、理解を定着させる。
6	吉武 尚美	【動機づけと情動(2)】 1. フラストレーション 2. 情動 3. アンガーマネジメント	講義	【予習】 (90分) 1. 教科書の該当箇所を読んでおく 2. あなたにとって抵抗し難しい誘惑は何ですか。そして、それをどのようにコントロールしているか考えてみる 【復習】 (90分) 教科書を再度読み、防衛機制を具体例とともに理解する 【レポート課題】 (300分) 変えたい行動や抵抗したい誘惑を1つ取り上げ、心理学の知見をもとに行動変容計画を立て、実践し、効果を評価する（詳細は授業内で指示する）
7	吉武 尚美	《中間試験》 【発達(1)】 1. 社会性の発達	授業内試験 講義	【予習】 (90分) 教科書の該当箇所を読んでおく 【復習】 (90分) エリクソンの理論を整理し、理解を定着させる
8	吉武 尚美	【発達(2)】 1. 性格理論 2. パーソナリティの検査法 3. パーソナリティの発達の要因	講義	【予習】 (90分) 1. 教科書の該当箇所を読んでおく 2. 自分のパーソナリティを表す言葉を5つ考える 【復習】 (90分) パーソナリティの検査法とその限界を整理し、理解を定着させる
9	吉武 尚美	【発達(3)】 1. アイデンティティ	講義	【予習】 (90分) 1. 教科書の該当箇所を読んでおく 2. 初対面の人に自分をどう紹介するか考えてくる 【復習】 (90分) 教科書を再度読み、理解を定着させる 【宿題】 (180分) 授業で学んだことや心理テスト結果を踏まえて、自己紹介スライドを1枚作る（詳細は授業内で指示する）
10	吉武 尚美	【集団と社会(1)】 1. 社会的認知 2. 集団の影響	グループ内発表（自己紹介スライド） 講義	【予習】 (90分) 教科書の該当箇所を読んでおく 【復習】 (90分) 教科書を再度読み、集団圧力の影響について実験研究とともに理解する
11	吉武 尚美	【集団と社会(2)】 1. 関係の進展 2. 対人コミュニケーション	講義 グループワーク	【予習】 (90分) 1. 教科書の該当箇所を読んでおく 2. アサーションについて調べておく

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	社会学概論	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Sociology	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	渡 正	ナンバリング	BAG1002
担当教員	渡 正		
授業概要			
全体内容	社会学は、私たちの生きるこの世界を「人と人との関係性」という視点から読み解く。特に現代社会に生起する様々な事柄については、この「人と人との関係性」から作り上げられるものとした上で、その関係のあり方によって、物事の意味や見え方が変わると考える。そして私たちはそうした物事によって影響を受けつつ、社会生活を営むとともに、私たちの日々の活動は、社会に変化をもたらすことになる。本講義では、現代社会における様々な出来事を取り上げ、それらがどのような歴史や特徴をもち、どのような課題があるのかを検討する。それらを社会学的な理論や知識の観点から再度見直すことによって、私たちが生きる現代社会の諸問題についての幅広い考え方を身に付け、今後の社会について自らの視点を持って考え、物事に当たることができるようになることを目指す。		
到達目標	1.現代社会における課題を考えるための社会学的理論／知識を理解し説明できる。 2.現代社会における課題を理解し、それが生起する背景的な問題を理解できる。 3.現代社会における課題を社会学的な観点から解釈し、自らの考えとしてまとめる事ができる。		
授業の位置づけ	社会の中に生きる私達の生活や行動は社会的出来事と切り離すことはできない。医療も同様に、社会の中に存在し、かつ医療自体も社会的事象である。本授業では医療を含む様々な社会的諸課題の背景について学び、課題を考察するための理論と方法を学習することで、本学部における学修の基礎として位置づける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1、理学DP1-C1・2、理学DP2-C1、放射DP1-C1・2、放射DP2-C1		
履修上の注意、履修要件	履修者は、予め社会学に対する知識を有している必要はないものの、日本および世界の地理や歴史等についての基礎的な知識や時事問題への関心を有していることが講義の理解に有益である。必要な授業資料はポータルサイトに掲示するので、予習ではそれら資料を読み込んでくることが求められる。また授業内容をもとにした課題レポートを課す場合もあるため、毎回の復習が求められる。履修者の積極的な参加を前提として、対話を重視した授業を行う。新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験（筆記）70%、課題レポート20%、提出されたワークシート10%の割合で評価を行う。		
評価基準	現代社会においては、個人的な事柄と思われる疾病も、その個人が置かれる社会的状況との関連が強く指摘されている。そのため、医療者も医療の対象となる個人を超えて、広く社会的な状況や課題についての知識を理解することは重要である。そのため履修者は、各回の内容を単に覚えるのではなく、社会的な状況がどのように個人に影響を与えるのか、また、個人の活動がどのように社会を変化させていくのか、という様々な領域に関する想像力や思考が重要になる。 本授業ではそうした観点のもと、次のような観点で成績評価を行う。 1.現代社会における課題を理解するための社会学知識を理解しているか（定期試験） 2.現代社会における課題とその背景的問題を把握することができるか（ワーク） 3.現代社会における課題を社会学的な観点から考察することができるか（課題レポート）		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内やJuntendo Passportを使用して返却する。			
テキスト			
参考文献			
適宜参考資料を配布します。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	普段はさくらキャンパスにいるので相談等がある学生は、授業の前後の時間か、t-watari [アット] juntendo.ac.jp (アットを@に変換してください) にメールをしてください。		
担当教員の実務経験			
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※ 予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	<p>【社会学的想像力とは】 社会学の基本的な考え方を紹介する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
2	<p>【近代社会の成立と社会学】 大きな社会変動であった近代社会の成立と、それを分析する学としての社会学をコント・デュルケーム・ウェーバーの学説から考える</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
3	<p>【自己の社会学】 自己つまり自分とはなにか？について、ミードの議論を紹介することから「私」の存在について、検討する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
4	<p>【日常の行為の社会学】 ゴフマンによる日常の行為の社会学から、およびエスノメソドロジーの会話分析から、私たちの日常の行為がいかに成り立っているかを解説する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
5	<p>【制度場面のコミュニケーション】 地位—役割理論とIRE連鎖など「ワークの実践」について解説する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
6	<p>【医療場面のコミュニケーション】 地位—役割理論とパーソンズの医療社会学について学習する。パーソンズによる医療社会学と地位—役割理論について説明する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
7	<p>【少子高齢化社会の諸相】 人口動態および出生率、未婚化・晩婚化、諸国の対応などについて解説し、現代日本における少子高齢化問題について理解する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
8	<p>【貧困問題とは】 絶対的貧困、相対的貧困、相対的剥奪やジニ係数について解説し、現代の格差社会の進展と日本の貧困問題について理解する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
9	<p>【社会的排除】 社会階層論、社会的排除について解説し、日本における差別（部落・地域）の問題について理解する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
10	<p>【ジェンダーとセクシュアリティの多様性】 ジェンダー、セクシュアリティ、セクシュアル・マイノリティについて解説し、マジョリティからの抑圧と性の多様性についてのフェミニズム理論を理解する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。 【復習】（90分） 授業の内容を振り返り、課題について的小レポートを書くこと。</p>
11	<p>【障害の社会学】 ICF、障害の個人モデル、障害の社会モデル、共生社会について解説し、障害とは何か、共生社会とは何かについて理解する。</p>	<p>【予習】（90分） 事前にJ-passで掲示される資料を読み、内容の要約や指示した関連事項の予習をしておくこと。</p>

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間関係論（コミュニケーション論）	授業形態	講義
英語科目名	Human Relations and Communication	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	山口 美和	ナンバリング	BAG1003
担当教員	山口 美和		
授業概要			
全体内容	<p>社会生活を営む上で人との関係は必要不可欠なものである。私たちは他者との結びつきや信頼関係の中で自分の居場所を得ることによって自分自身を受け入れることができる。人間関係を理解する上で大切なことは、まず自分を理解することである。本講義では、自分自身を理解することに取り組み、他者とコミュニケーションを取るために必要な「メタ認知能力（“今ここ”における自分や周囲の状況を客観視できる力）」や「メタスキル（自分の周りに影響を与える気持ちや態度のこと）」を高めるための仕掛けを活用しながら、コミュニケーションスキルを実践的に学んでいく。将来医療者となる自分自身のコミュニケーション力を向上させることはもちろん、心と心の通い合いによって生まれる温かい人間理解を医療現場で実践できる人になることが本講義の目的である。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> メタ認知とは何か理解し説明することができる。（第1回） 対人援助職の特性について理解し、医療者に必要なコミュニケーション力について理解できる。（第1～15回） 自己理解を深め、自己成長に必要な取り組みを明らかにし、実践できる。（第3～15回） 自己肯定感について理解し、高めるための取り組みを自ら実践できる。（第1～15回） 人間の心の構造と機能を理解し、対人コミュニケーションについて理解を深めることができる。（第6・7・8回） 言語・準言語・非言語コミュニケーションについて具体的に説明できる。（第9回） 基本的なコミュニケーションスキル「みる」「きく」「伝える」を理解し、説明できる。（第9～11回） 自分も相手も大切にしたい伝え方「アイメッセージ」を学び、具体的な方法について説明できる。（第12回） 自分も相手も大切にしたい自己主張「アサーティブネス」の基本を理解し、具体的な方法について説明できる。（第13回） 自律した自分になるために、自己管理が大切であることを理解し、取り組みを始めることができる。（第14回） 医療者として「感情管理」が大切であることを理解し、感情のコントロール方法を説明することができる。（第15回） 自己実現について理解し、自らの目的や目標を明確にして、具体的な取り組みを始めることができる。（第15回） 		
授業の位置づけ	<p>本授業は、医療者のコミュニケーションについてであり、自己成長を最大のテーマとしている。医療職としてのコミュニケーション力は、多様化する患者や社会のニーズに応えるために不可欠な「基本的臨床技能」と言えるものであるが、このコミュニケーション力を自律性を持って発揮できる自己が備わっていなければ持っている力を十分に活かすことはできない。学是である「仁（思いやり）」の心を育み、自己を肯定し自ら進んで取り組む力と実践的なコミュニケーション力を具体的に身に付け、将来医療の専門家として知識や技術を十分発揮できるようになるための“医療人としての土台作り”をしていくための位置づけである。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>理学療法学科 共通DP1-CⅠ①②③④ 共通DP1-CⅢ-① 理学DP1-CⅠ①②③④ 理学DP2-CⅠ①②③④ 診療放射線学科 共通DP1-CⅠ①②③ 共通DP1-CⅢ-① 放射DP1-CⅠ①②③ 放射DP2-CⅠ①②③</p>		
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> ①本講義は毎回メンバーを変えて4～5人グループで実施します。遅刻や欠席はグループワークに大きな影響が出るため、特に厳しく取り扱います。秋から冬にかけての寒い時期の講義なので、時間管理・健康管理に対して高い意識を持ち、医療者を目指す人間として責任ある行動ができることを求めます。 ②人との関わりが苦手な人は、是非この講義を活用して新たな自分を発見してください。 ③自分の成長と仲間の成長への貢献のために、積極的な参加をお願いします。 ④本講義では心の問題について触れることがあります。ワークへの取り組みが難しい状況にある人は、遠慮したり無理したり我慢したりせずに申し出てください。（申し出により不利になるようなことはありません） 		
成績評価の方法			
評価方法	リフレクションシート（2回：25%×2＝50%）定期試験（50%）		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> （1）遅刻・欠席（やむを得ない事情は除く）なく授業に参加できているか （2）能動的に授業に臨むことができているか （3）毎授業で示した「本日のキーワード」を理解し説明することができるか （4）自己理解を深めた結果として、自己の成長課題を明確にし、具体的に取り組みを行うことができるか （5）各回で取り上げた内容を横断的に関連付けて、人間関係や対人コミュニケーションに対する理解を深めることができているか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<p>リフレクションシートについては、コメントを記入して返却します。 その他の内容については、授業内でお知らせします。</p>			
テキスト			
「PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版」	山口美和	医学書院	978-4-260-02787-8
参考文献			

授業内で必要に応じて紹介します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー		随時、電子メールで対応します。barrierfreeclub@yahoo.co.jp		
担当教員の実務経験		理学療法士としてリハビリテーション病院勤務の後、地域リハビリテーションに従事。その後学校勤務を経て独立。大学での講義や病院などでの研修、執筆活動を通して医療者のコミュニケーション教育を行いながら、現在も地域リハビリテーション活動を行っている。		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
第1回	山口 美和	<p>●ガイダンス</p> <p>1. 授業概要説明 (1) シラバス説明 (2) 授業方式と注意点など</p> <p>2. 自己紹介 (1) メタ認知 (2) メタ自己紹介 (グループワーク) (3) 自分自身について書く (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. シラバスをよく読み、授業の概要・成績評価方法・履修上の注意をしっかりと把握しておく 1. 教科書p iii～x viに目を通しておく 2. 自己紹介の内容を考えておく *持ち物：マスコット(ぬいぐるみなど)</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. シラバスの内容を再確認しておく 1. 教科書 p iii～x viに目を通しておく 2. 自分がどうしてこの分野を目指しているのか200字程度でまとめておく</p>
第2回	山口 美和	<p>●医療者を目指すあなたへ</p> <p>1. リアリティ・ショック 2. 対人援助職とバーンアウト 3. 医療者に必要なコミュニケーション力 4. 自己肯定感 5. 自己管理能力 6. 自立と自律 7. メタ認知能力</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書 p 2～20を読んでおく ◆教科書 p 4・6・8・10・12・14・16・18・20の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書いてくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書2～20を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 7. 教科書p18～19「プロセスレコード」をやってみる。巻末付録p209にワークシートが掲載してあるので、参考にしながらノートに自分と誰かとの会話を記録し、自身のコミュニケーションパターンについて客観的に観察・評価してみる</p>
第3回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (I)</p> <p>1. 自己概念 (セルフワーク) 2. 自己肯定感 (セルフワーク) 3. 性格診断テスト (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書 p 21～29を読んでおく ◆教科書 p 22・24・26・28の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書p21～29を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 3. 教科書p30表2-2を参考に、自分の低い値の自我状態を高める方法を明確にして、自己成長のために必要な行動計画を立て、取り組みを開始する</p>
第4回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (II)</p> <p>1. 他者から見た自分 (グループワーク) 2. 自己開示 3. フィードバック</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. 教科書 p 25「チェックしてみよう」の最後の「他者から見た自分の長所」に取り組んでみる (ワークシートは巻末付録p212を使用してください) 1～3. 配布資料を読んでくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. 自分の成長課題を明らかにして、具体的な行動計画を立て、取り組みを始める 2～3. 配布資料を再度読み、理解を深める</p>
第5回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (III)</p> <p>1. 自己存在についての意識 (セルフワーク) 2. 人生態度 3. ポーターの態度類型 (ペアワーク) 4. 医療者に求められる態度</p>	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～4. 教科書 p 29～40を読んでおく ◆教科書 p 30・32・34・36・38・40の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. ニューロロジカルレベルに沿った6段階の意識について、再度自身の内容を</p>

				確認しておく 2. 人生態度とディスカウントについての自分の課題を明確にして、行動計画を立て、取り組みを始める 3. ポーターの態度類型を再確認し、自身の使いやすいパターンを認識しておく 4. 医療者に求められる態度について再確認しておく 1～4. 教科書p29～40を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第6回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (I) 1. 人間の心を理解する (1) 心の構造 (2) 心の機能：人間理解のための方法	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第7回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (II) 1. 対人コミュニケーション分析 (1) 対話から理解する方法 (3つの交流パターン) (2) 人間関係を円滑にする対話	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第8回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (III) 1. 存在への働きかけ (1) 存在認知とは (2) 存在認知の方法 (3) 存在認知の種類 (4) 対人関係を良好にする働きかけ	講義・グループワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第9回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (I) 1. 言語・準言語・非言語コミュニケーション 2. コミュニケーション能力とは (グループワーク・ペアワーク) 3. みる力 (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読んでおく ◆教科書 p 42・44・46・48 の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第10回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (II) 1. 「聞く」と「聴く」 2. 聴く技術 (ペアワーク)	講義・グループワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読んでおく ◆教科書 p 50・52・54・56・58・166・168・170の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第11回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (III) 1. 伝える (全体ワーク) (ペアワーク) 2. 伝わる伝え方 (セルフワーク)	講義・グループワーク・全体ワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読んでおく 2. 報告のしかたについて調べてみる ◆教科書 p 60・62・64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第12回	山口 美和	●コミュニケーションスキル (I) 自分も相手も大切にしたい伝え方 1. アイメッセージ (グループワーク) (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読んでおく 1. 過去に誰かから受けた言動によって、自分が傷ついたり嫌な思いをしたりした経験を思い出してリストアップしておく ◆教科書 p 64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読み、授業で学んだ内容を再度確認する 1. 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間関係論（コミュニケーション論）	授業形態	講義
英語科目名	Human Relations and Communication	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	山口 美和	ナンバリング	BAG1003
担当教員	山口 美和		
授業概要			
全体内容	<p>社会生活を営む上で人との関係は必要不可欠なものである。私たちは他者との結びつきや信頼関係の中で自分の居場所を得ることによって自分自身を受け入れることができる。人間関係を理解する上で大切なことは、まず自分を理解することである。本講義では、自分自身を理解することに取り組み、他者とコミュニケーションを取るために必要な「メタ認知能力（“今ここ”における自分や周囲の状況を客観視できる力）」や「メタスキル（自分の周りに影響を与える気持ちや態度のこと）」を高めるための仕掛けを活用しながら、コミュニケーションスキルを実践的に学んでいく。将来医療者となる自分自身のコミュニケーション力を向上させることはもちろん、心と心の通い合いによって生まれる温かい人間理解を医療現場で実践できる人になることが本講義の目的である。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> メタ認知とは何か理解し説明することができる。（第1回） 対人援助職の特性について理解し、医療者に必要なコミュニケーション力について理解できる。（第1～15回） 自己理解を深め、自己成長に必要な取り組みを明らかにし、実践できる。（第3～15回） 自己肯定感について理解し、高めるための取り組みを自ら実践できる。（第1～15回） 人間の心の構造と機能を理解し、対人コミュニケーションについて理解を深めることができる。（第6・7・8回） 言語・準言語・非言語コミュニケーションについて具体的に説明できる。（第9回） 基本的なコミュニケーションスキル「みる」「きく」「伝える」を理解し、説明できる。（第9～11回） 自分も相手も大切にしたい伝え方「アイメッセージ」を学び、具体的な方法について説明できる。（第12回） 自分も相手も大切にしたい自己主張「アサーティブネス」の基本を理解し、具体的な方法について説明できる。（第13回） 自律した自分になるために、自己管理が大切であることを理解し、取り組みを始めることができる。（第14回） 医療者として「感情管理」が大切であることを理解し、感情のコントロール方法を説明することができる。（第15回） 自己実現について理解し、自らの目的や目標を明確にして、具体的な取り組みを始めることができる。（第15回） 		
授業の位置づけ	<p>本授業は、医療者のコミュニケーションについてであり、自己成長を最大のテーマとしている。医療職としてのコミュニケーション力は、多様化する患者や社会のニーズに応えるために不可欠な「基本的臨床技能」と言えるものであるが、このコミュニケーション力を自律性を持って発揮できる自己が備わっていなければ持っている力を十分に活かすことはできない。学是である「仁（思いやり）」の心を育み、自己を肯定し自ら進んで取り組む力と実践的なコミュニケーション力を具体的に身に付け、将来医療の専門家として知識や技術を十分発揮できるようになるための“医療人としての土台作り”をしていくための位置づけである。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>理学療法学科 共通DP1-CⅠ①②③④ 共通DP1-CⅢ-① 理学DP1-CⅠ①②③④ 理学DP2-CⅠ①②③④ 診療放射線学科 共通DP1-CⅠ①②③ 共通DP1-CⅢ-① 放射DP1-CⅠ①②③ 放射DP2-CⅠ①②③</p>		
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 本講義は毎回メンバーを変えて4～5人グループで実施します。遅刻や欠席はグループワークに大きな影響が出るため、特に厳しく取り扱います。秋から冬にかけての寒い時期の講義なので、時間管理・健康管理に対して高い意識を持ち、医療者を目指す人間として責任ある行動ができることを求めます。 人との関わりが苦手な人は、是非この講義を活用して新たな自分を発見してください。 自分の成長と仲間との成長への貢献のために、積極的な参加をお願いします。 本講義では心の問題について触れることがあります。ワークへの取り組みが難しい状況にある人は、遠慮したり無理したり我慢したりせずに申し出てください。（申し出により不利になるようなことはありません） 		
成績評価の方法			
評価方法	リフレクションシート（2回：25%×2＝50%）定期試験（50%）		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席（やむを得ない事情は除く）なく授業に参加できているか 能動的に授業に臨むことができているか 毎授業で示した「本日のキーワード」を理解し説明することができるか 自己理解を深めた結果として、自己の成長課題を明確にし、具体的に取り組みを行うことができるか 各回で取り上げた内容を横断的に関連付けて、人間関係や対人コミュニケーションに対する理解を深めることができているか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<p>リフレクションシートについては、コメントを記入して返却します。 その他の内容については、授業内でお知らせします。</p>			
テキスト			
「PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版」	山口美和	医学書院	978-4-260-02787-8
参考文献			

授業内で必要に応じて紹介します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー		随時、電子メールで対応します。barrierfreeclub@yahoo.co.jp		
担当教員の実務経験		理学療法士としてリハビリテーション病院勤務の後、地域リハビリテーションに従事。その後学校勤務を経て独立。大学での講義や病院などでの研修、執筆活動を通して医療者のコミュニケーション教育を行いながら、現在も地域リハビリテーション活動を行っている。		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
第1回	山口 美和	<p>●ガイダンス</p> <p>1. 授業概要説明 (1) シラバス説明 (2) 授業方式と注意点など</p> <p>2. 自己紹介 (1) メタ認知 (2) メタ自己紹介 (グループワーク) (3) 自分自身について書く (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. シラバスをよく読み、授業の概要・成績評価方法・履修上の注意をしっかりと把握しておく 1. 教科書p iii～x viに目を通しておく 2. 自己紹介の内容を考えておく *持ち物：マスコット(ぬいぐるみなど)</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. シラバスの内容を再確認しておく 1. 教科書 p iii～x viに目を通しておく 2. 自分がどうしてこの分野を目指しているのか200字程度でまとめておく</p>
第2回	山口 美和	<p>●医療者を目指すあなたへ</p> <p>1. リアリティ・ショック 2. 対人援助職とバーンアウト 3. 医療者に必要なコミュニケーション力 4. 自己肯定感 5. 自己管理能力 6. 自立と自律 7. メタ認知能力</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書 p 2～20を読んでおく ◆教科書 p 4・6・8・10・12・14・16・18・20の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書いてくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書2～20を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 7. 教科書p18～19「プロセスレコード」をやってみる。巻末付録p209にワークシートが掲載してあるので、参考にしながらノートに自分と誰かとの会話を記録し、自身のコミュニケーションパターンについて客観的に観察・評価してみる</p>
第3回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (I)</p> <p>1. 自己概念 (セルフワーク) 2. 自己肯定感 (セルフワーク) 3. 性格診断テスト (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書 p 21～29を読んでおく ◆教科書 p 22・24・26・28の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書p21～29を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 3. 教科書p30表2-2を参考に、自分の低い値の自我状態を高める方法を明確にして、自己成長のために必要な行動計画を立て、取り組みを開始する</p>
第4回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (II)</p> <p>1. 他者から見た自分 (グループワーク) 2. 自己開示 3. フィードバック</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. 教科書 p 25「チェックしてみよう」の最後の「他者から見た自分の長所」に取り組んでみる (ワークシートは巻末付録p212を使用してください) 1～3. 配布資料を読んでくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. 自分の成長課題を明らかにして、具体的な行動計画を立て、取り組みを始める 2～3. 配布資料を再度読み、理解を深める</p>
第5回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (III)</p> <p>1. 自己存在についての意識 (セルフワーク) 2. 人生態度 3. ポーターの態度類型 (ペアワーク) 4. 医療者に求められる態度</p>	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～4. 教科書 p 29～40を読んでおく ◆教科書 p 30・32・34・36・38・40の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. ニューロロジカルレベルに沿った6段階の意識について、再度自身の内容を</p>

				確認しておく 2. 人生態度とディスカウントについての自分の課題を明確にして、行動計画を立て、取り組みを始める 3. ポーターの態度類型を再確認し、自身の使いやすいパターンを認識しておく 4. 医療者に求められる態度について再確認しておく 1～4. 教科書p29～40を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第6回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (I) 1. 人間の心を理解する (1) 心の構造 (2) 心の機能：人間理解のための方法	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第7回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (II) 1. 対人コミュニケーション分析 (1) 対話から理解する方法 (3つの交流パターン) (2) 人間関係を円滑にする対話	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第8回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (III) 1. 存在への働きかけ (1) 存在認知とは (2) 存在認知の方法 (3) 存在認知の種類 (4) 対人関係を良好にする働きかけ	講義・グループワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第9回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (I) 1. 言語・準言語・非言語コミュニケーション 2. コミュニケーション能力とは (グループワーク・ペアワーク) 3. みる力 (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読んでおく ◆教科書 p 42・44・46・48 の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第10回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (II) 1. 「聞く」と「聴く」 2. 聴く技術 (ペアワーク)	講義・グループワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読んでおく ◆教科書 p 50・52・54・56・58・166・168・170の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第11回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (III) 1. 伝える (全体ワーク) (ペアワーク) 2. 伝わる伝え方 (セルフワーク)	講義・グループワーク・全体ワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読んでおく 2. 報告のしかたについて調べてみる ◆教科書 p 60・62・64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第12回	山口 美和	●コミュニケーションスキル (I) 自分も相手も大切にしたい伝え方 1. アイメッセージ (グループワーク) (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読んでおく 1. 過去に誰かから受けた言動によって、自分が傷ついたり嫌な思いをしたりした経験を思い出してリストアップしておく ◆教科書 p 64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読み、授業で学んだ内容を再度確認する 1. 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間関係論（コミュニケーション論）		授業形態	講義
英語科目名	Human Relations and Communication		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	山口 美和		ナンバリング	BAG1003
担当教員	山口 美和			
授業概要				
全体内容	<p>社会生活を営む上で人との関係は必要不可欠なものである。私たちは他者との結びつきや信頼関係の中で自分の居場所を得ることによって自分自身を受け入れることができる。人間関係を理解する上で大切なことは、まず自分を理解することである。本講義では、自分自身を理解することに取り組み、他者とコミュニケーションを取るために必要な「メタ認知能力（“今ここ”における自分や周囲の状況を客観視できる力）」や「メタスキル（自分の周りに影響を与える気持ちや態度のこと）」を高めるための仕掛けを活用しながら、コミュニケーションスキルを実践的に学んでいく。将来医療者となる自分自身のコミュニケーション力を向上させることはもちろん、心と心の通い合いによって生まれる温かい人間理解を医療現場で実践できる人になることが本講義の目的である。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> メタ認知とは何か理解し説明することができる。（第1回） 対人援助職の特性について理解し、医療者に必要なコミュニケーション力について理解できる。（第1～15回） 自己理解を深め、自己成長に必要な取り組みを明らかにし、実践できる。（第3～15回） 自己肯定感について理解し、高めるための取り組みを自ら実践できる。（第1～15回） 人間の心の構造と機能を理解し、対人コミュニケーションについて理解を深めることができる。（第6・7・8回） 言語・準言語・非言語コミュニケーションについて具体的に説明できる。（第9回） 基本的なコミュニケーションスキル「みる」「きく」「伝える」を理解し、説明できる。（第9～11回） 自分も相手も大切にしたい伝え方「アイメッセージ」を学び、具体的な方法について説明できる。（第12回） 自分も相手も大切にしたい自己主張「アサーティブネス」の基本を理解し、具体的な方法について説明できる。（第13回） 自律した自分になるために、自己管理が大切であることを理解し、取り組みを始めることができる。（第14回） 医療者として「感情管理」が大切であることを理解し、感情のコントロール方法を説明することができる。（第15回） 自己実現について理解し、自らの目的や目標を明確にして、具体的な取り組みを始めることができる。（第15回） 			
授業の位置づけ	<p>本授業は、医療者のコミュニケーションについてであり、自己成長を最大のテーマとしている。医療職としてのコミュニケーション力は、多様化する患者や社会のニーズに応えるために不可欠な「基本的臨床技能」と言えるものであるが、このコミュニケーション力を自律性を持って発揮できる自己が備わっていなければ持っている力を十分に活かすことはできない。学是である「仁（思いやり）」の心を育み、自己を肯定し自ら進んで取り組む力と実践的なコミュニケーション力を具体的に身に付け、将来医療の専門家として知識や技術を十分発揮できるようになるための“医療人としての土台作り”をしていくための位置づけである。</p>			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>理学療法学科 共通DP1-CⅠ①②③④ 共通DP1-CⅢ-① 理学DP1-CⅠ①②③④ 理学DP2-CⅠ①②③④ 診療放射線学科 共通DP1-CⅠ①②③ 共通DP1-CⅢ-① 放射DP1-CⅠ①②③ 放射DP2-CⅠ①②③</p>			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> ①本講義は毎回メンバーを変えて4～5人グループで実施します。遅刻や欠席はグループワークに大きな影響が出るため、特に厳しく取り扱います。秋から冬にかけての寒い時期の講義なので、時間管理・健康管理に対して高い意識を持ち、医療者を目指す人間として責任ある行動ができることを求めます。 ②人との関わりが苦手な人は、是非この講義を活用して新たな自分を発見してください。 ③自分の成長と仲間との成長への貢献のために、積極的な参加をお願いします。 ④本講義では心の問題について触れることがあります。ワークへの取り組みが難しい状況にある人は、遠慮したり無理したり我慢したりせずに申し出てください。（申し出により不利になるようなことはありません） 			
成績評価の方法				
評価方法	リフレクションシート（2回：25%×2＝50%）定期試験（50%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> （1）遅刻・欠席（やむを得ない事情は除く）なく授業に参加できているか （2）能動的に授業に臨むことができているか （3）毎授業で示した「本日のキーワード」を理解し説明することができるか （4）自己理解を深めた結果として、自己の成長課題を明確にし、具体的に取り組みを行うことができるか （5）各回で取り上げた内容を横断的に関連付けて、人間関係や対人コミュニケーションに対する理解を深めることができているか 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<p>リフレクションシートについては、コメントを記入して返却します。 その他の内容については、授業内でお知らせします。</p>				
テキスト				
「PT・OTのための これで安心 コミュニケーション実践ガイド 第2版」	山口美和	医学書院	978-4-260-02787-8	
参考文献				

授業内で必要に応じて紹介します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー		随時、電子メールで対応します。barrierfreeclub@yahoo.co.jp		
担当教員の実務経験		理学療法士としてリハビリテーション病院勤務の後、地域リハビリテーションに従事。その後学校勤務を経て独立。大学での講義や病院などでの研修、執筆活動を通して医療者のコミュニケーション教育を行いながら、現在も地域リハビリテーション活動を行っている。		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
第1回	山口 美和	<p>●ガイダンス</p> <p>1. 授業概要説明 (1) シラバス説明 (2) 授業方式と注意点など</p> <p>2. 自己紹介 (1) メタ認知 (2) メタ自己紹介 (グループワーク) (3) 自分自身について書く (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. シラバスをよく読み、授業の概要・成績評価方法・履修上の注意をしっかりと把握しておく 1. 教科書p iii～x viに目を通しておく 2. 自己紹介の内容を考えておく *持ち物: マスコット(ぬいぐるみなど)</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. シラバスの内容を再確認しておく 1. 教科書 p iii～x viに目を通しておく 2. 自分がどうしてこの分野を目指しているのか200字程度でまとめておく</p>
第2回	山口 美和	<p>●医療者を目指すあなたへ</p> <p>1. リアリティ・ショック 2. 対人援助職とバーンアウト 3. 医療者に必要なコミュニケーション力 4. 自己肯定感 5. 自己管理能力 6. 自立と自律 7. メタ認知能力</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書 p 2～20を読んでおく ◆教科書 p 4・6・8・10・12・14・16・18・20の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書いてくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～7. 教科書2～20を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 7. 教科書p18～19「プロセスレコード」をやってみる。巻末付録p209にワークシートが掲載してあるので、参考にしながらノートに自分と誰かとの会話を記録し、自身のコミュニケーションパターンについて客観的に観察・評価してみる</p>
第3回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (I)</p> <p>1. 自己概念 (セルフワーク) 2. 自己肯定感 (セルフワーク) 3. 性格診断テスト (セルフワーク)</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書 p 21～29を読んでおく ◆教科書 p 22・24・26・28の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1～3. 教科書p21～29を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める 3. 教科書p30表2-2を参考に、自分の低い値の自我状態を高める方法を明確にして、自己成長のために必要な行動計画を立て、取り組みを開始する</p>
第4回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (II)</p> <p>1. 他者から見た自分 (グループワーク) 2. 自己開示 3. フィードバック</p>	講義・グループワーク・セルフワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1. 教科書 p 25「チェックしてみよう」の最後の「他者から見た自分の長所」に取り組んでみる (ワークシートは巻末付録p212を使用してください) 1～3. 配布資料を読んでくる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. 自分の成長課題を明らかにして、具体的な行動計画を立て、取り組みを始める 2～3. 配布資料を再度読み、理解を深める</p>
第5回	山口 美和	<p>●自分を理解しよう (III)</p> <p>1. 自己存在についての意識 (セルフワーク) 2. 人生態度 3. ポーターの態度類型 (ペアワーク) 4. 医療者に求められる態度</p>	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>1～4. 教科書 p 29～40を読んでおく ◆教科書 p 30・32・34・36・38・40の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう) を書く</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>1. ニューロロジカルレベルに沿った6段階の意識について、再度自身の内容を</p>

				確認しておく 2. 人生態度とディスカウントについての自分の課題を明確にして、行動計画を立て、取り組みを始める 3. ポーターの態度類型を再確認し、自身の使いやすいパターンを認識しておく 4. 医療者に求められる態度について再確認しておく 1～4. 教科書p29～40を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第6回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (I) 1. 人間の心を理解する (1) 心の構造 (2) 心の機能：人間理解のための方法	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第7回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (II) 1. 対人コミュニケーション分析 (1) 対話から理解する方法 (3つの交流パターン) (2) 人間関係を円滑にする対話	講義・グループワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1) (2) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認して理解を深める
第8回	山口 美和	●人間関係と対人コミュニケーション (III) 1. 存在への働きかけ (1) 存在認知とは (2) 存在認知の方法 (3) 存在認知の種類 (4) 対人関係を良好にする働きかけ	講義・グループワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読んでおく 【復習】 (90分) 1. (1)～(4) 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第9回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (I) 1. 言語・準言語・非言語コミュニケーション 2. コミュニケーション能力とは (グループワーク・ペアワーク) 3. みる力 (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読んでおく ◆教科書 p 42・44・46・48 の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～3. 教科書 p 41～50を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第10回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (II) 1. 「聞く」と「聴く」 2. 聴く技術 (ペアワーク)	講義・グループワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読んでおく ◆教科書 p 50・52・54・56・58・166・168・170の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 50～60, p 165～170を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第11回	山口 美和	●コミュニケーション力を育もう (III) 1. 伝える (全体ワーク) (ペアワーク) 2. 伝わる伝え方 (セルフワーク)	講義・グループワーク・全体ワーク・ペアワーク・セルフワーク	【予習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読んでおく 2. 報告のしかたについて調べてみる ◆教科書 p 60・62・64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1～2. 教科書 p 60～63, p64one point, p67を読み、授業で学んだ内容を再度確認する
第12回	山口 美和	●コミュニケーションスキル (I) 自分も相手も大切にしたい伝え方 1. アイメッセージ (グループワーク) (セルフワーク) (ペアワーク)	講義・グループワーク・セルフワーク・ペアワーク	【予習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読んでおく 1. 過去に誰かから受けた言動によって、自分が傷ついたり嫌な思いをしたりした経験を思い出してリストアップしておく ◆教科書 p 64の左上「わたしの長所 (自分の長所を書き込もう)」を書く 【復習】 (90分) 1. 教科書 p 63～65を読み、授業で学んだ内容を再度確認する 1. 配布資料を読み、授業で学んだ内容を再度確認する

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	法と社会（日本国憲法）	授業形態	講義
英語科目名	The Constitution of Japan	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	片山 和則	ナンバリング	BAG1004
担当教員	片山 和則		
授業概要			
全体内容	<p>憲法上保障されている自由・権利・平等、そしてそれらを保障するための統治機構（国会・内閣・裁判所）について学修する。できるだけ具体的な事例を扱い、憲法問題が身近なところにも存在するということを確認する。本講義を通して、憲法的な考え方を身に付けることを目標とする。そしてその憲法的な考え方で身近な事例を自分自身で考えられるようになることが最終的な目標です。具体的には、自分と異なる考え方を持つ人を尊重することについて真剣に考えられるようになることです。日本国憲法を理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と考え方を修得することを目指す。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>		
到達目標	<p>本授業を通して、憲法的な考え方を身につけることを目標とします。</p> <p>そしてその憲法的な考え方で身近な事例を自分自身で考えられるようになることが最終的な目標です。</p> <p>具体的には、自分と異なる考え方を持つ人を尊重することについて真剣に考えられるようになることが本講義の目標です。</p> <p>日本国憲法を少しずつ理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と理解を求められたらと考えています。</p> <p>令和になってから、何かと話題になる天皇制や天皇・皇族の人権問題について説明する。</p> <p>また、現岸田政権下において憲法改正議論がさらに本格化する見込みであるため憲法改正と平和主義(自衛隊を国防軍にすべきか等)についても可能な限り詳しく説明する。</p> <p>あわせて、ウクライナ戦争と日本が取るべき対応について解説する。</p>		
授業の位置づけ	基礎分野/人間科学系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	事前学習は必要ではありませんが、その都度の授業で学習したことを「本当かな？」という批判的視点で検証してみる姿勢が大切です。		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験(100%)により評価する。ただし、授業中に積極的に発言するなど授業に貢献した場合は、加点要素とする。		
評価基準	憲法の歴史と原理について理解できているか、日本国憲法の人権規定について理解できているか、が評価のポイントとなります。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
個別に対応する。			
テキスト			
参考文献			
<p>講義毎に担当講師が作成したレジュメを配布する。</p> <p>伊藤正巳『憲法入門（有斐閣叢書）』有斐閣 第4 最新版</p> <p>戸松秀典『ブレップ憲法』弘文堂 第4版</p> <p>こちらを参考図書としてあげておく。</p>			
その他			
連絡先・オフィスアワー	当該授業(集中講義)終了後に教室もしくは非常勤講師控室にて行う。		
担当教員の実務経験	順天堂大学国際教養学部・保健医療学部ほか、大学にて11年間以上、法学および日本国憲法担当講師としての経験がある。		
備考			
授業計画			

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	片山 和則	授業を始める前に オリエンテーション	講義	【予習】(90分) 日本国憲法の学習の仕方、計画を立てること。憲法を学ぶ上での基礎的知識(法学特有の表現等)をしっかりと覚えること。 【予習】: 半期の学習計画を立てること。 【復習】(90分) 法学特有のテクニカルタームをしっかりと覚えること。
2	片山 和則	立憲主義と日本国憲法	講義	【予習】(90分) 立憲主義と日本国憲法について理解する。 【予習】: 立憲主義について考えること。 【復習】(90分) 憲法に基づく政治の在り方について考えること。
3	片山 和則	日本国憲法の誕生と基本原理	講義	【予習】(90分) 日本国憲法の誕生と基本原理について理解すること。 【予習】: 今ある日本国憲法がなぜ誕生したかについて考えること。 【復習】(90分) 憲法の基本原理について理解すること。
4	片山 和則	人権享有主体性、憲法13条	講義	【予習】(90分) 憲法13条について理解すること。特に13条は基本的人権の中心となる条文のため必ず理解すること。 【予習】: 憲法13条とは何か考えること。 【復習】(90分) 基本的人権における13条の役割について理解すること。
5	片山 和則	法の下での平等	講義	【予習】(90分) 法の下での平等と家族生活について理解すること。 【予習】: 家族とは何かについて考えること。 【復習】(90分) 法の下での平等とは何か、平等の概念について理解すること。
6	片山 和則	思想良心の自由、信教の自由と政教分離原則	講義	【予習】(90分) 思想良心の自由、信教の自由、政教分離原則について理解すること。 【予習】: 宗教と国家の在り方について考えること。 【復習】(90分) 宗教をめぐる問題、非宗教性の概念について理解すること。
7	片山 和則	表現の自由と市民活動	講義	【予習】(90分) 表現の自由について理解すること。表現の自由は、基本的人権の中心となる部分であるため必ず理解すること。 【予習】: 表現の自由と出版、プライバシーの問題について考えること。 【復習】(90分) 表現の自由とプライバシーの問題について理解すること
8	片山 和則	学問・教育の自由	講義	【予習】(90分) 学問・教育の自由について理解すること。 【予習】: 学問の自由とは何かについて考えること。 【復習】(90分) 学問の自由、大学の自治について理解すること。
9	片山 和則	職業選択の自由	講義	【予習】(90分) 職業選択の自由について理解すること。 【予習】: 職業の在り方について考えること。 【復習】(90分) 職業選択の自由、職業・差別・人権の問題は重なっていることを理解すること。
10	片山 和則	財産権	講義	【予習】(90分) 財産権について理解すること。 【予習】: 個人の財産、私有財産制度について考える。 【復習】(90分) 公共の福祉の概念について理解すること。

科目名	社会保障制度と医療経済			授業形態	講義
英語科目名	Social Security System & Health Care Economics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年			単位数	2単位
代表教員	田倉 智之			ナンバリング	BAG1006
担当教員	田倉 智之				
授業概要					
全体内容	医療介護を取り巻く社会経済環境や地域コミュニティは、近年、大きく変遷しており関連ニーズの一部も様変わりしてきている。このような中、看護等による臨床成果のさらなる改善には、保健医療分野の価値を議論し就業環境等を向上させることも重要である。そのためには、保健看護活動と関係の深い、医療保険制度を中心しつつ介護保険や薬事制度などの周辺分野の動向を理解することが望まれる。本科目では、その理解を促す健康経済学（看護経済学；経営管理、技術評価、医療政策、行動経済などの基本的な理論と手法）を軸にしつつ、医療保険制度等の潮流を体系的に修学する。可能な限り双方向の授業を試みるので、積極的な授業参加を期待したい。				
到達目標	健康経済学などの基礎的な知識や関連するケースを学び、保健医療分野の社会的な意義について考えることが可能になる。 1.保健医療を実践する上で最低限必要な医療制度の仕組みを理解する。 2.制度と現実の医療現場で起こる乖離の要因や解決策を理解する。				
授業の位置づけ	医療サービスは、医療福祉行政と密接に結びついており、診療報酬体系や関連法規、または健康行動の理論を学習することで、それらとの関連をより深く理解する。加えて現行制度における提供サービスの意義（価値）を学び、医療現場発の政策提言ができる素養を醸成する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C II				
履修上の注意、履修要件	現代社会で起こっている、医療制度に関わる時事問題やトピックスに興味を持ち、新聞やマスコミ報道に触れることで、一定の社会性を養って欲しい。疑問点があれば自ら調べて理解を深める姿勢が望まれる。具体的には次の項目などを事前に調べておくことを期待する。 「受講に必要な最低限の知識」 ①高等学校卒業程度の国語（現代文の読解、記述能力）、②高等学校卒業程度の数学、③一般新聞の記事程度の医療／経済に関わる一般知識 「学習上の留意点」 ①受講にあたり、科目を通して考えるテーマ（課題）を最初に設定することを勧める。②原則、パワーポイントを投影しハンドアウトを提供するが、授業の最後（または科目の最終回）に一定のレポートを課す。③時代に即した重要なテーマを選定し、皆で議論する時間を取るので、自身の考え方を発信できるように準備があると良い。				
成績評価の方法					
評価方法	レポート(100%)				
評価基準	1.保健医療を実践する上で最低限必要な医療制度の仕組みが説明できる。 2.制度と現実の医療現場で起こる乖離の要因や解決策が提示できる。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
レポートは最終回の講義時にコメントと共に返却する。					
テキスト					
医療の価値と価格一決定と説明の時代へ	田倉智之	医学書院	978-260-04352-6		
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業内で案内				
担当教員の実務経験	厚生労働省の政策関連の委員、学術団体の保険委員会の委員などの経験をいかして極力、双方向の反転授業に努める。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	田倉	社会経済と医療分野 キーワード：社会保障制度、国内総生産、国民医療費	講義	予習：医療介護分野に対する疑問や意見を課題として仮設定する。テキストのP.2～9, 12～22等を読む。(2時間) 復習：関連法規も触れつつ、医療分野を取り巻く経済基調や社会保障財政の動向を理解する。(2時間)
2	田倉	医療保険制度の概要 キーワード：診療報酬制度、医師技術料、安定供給	講義	予習：テキストのP.165～179等を読む。(2時間) 復習：改正介護保険法にも触れつつ、国民皆保険制度の歴史・理念と医療保険政策の潮流を理解する。(2時間)
3	田倉	診療報酬制度の論点 キーワード：医療財源、診療アクセス、患者自己負担	講義	予習：テキストのP.37～44等を読む。(2時間) 復習：国内外の支払制度(医療政策)の種別や特徴と主な論点を理解する。(2時間)
4	田倉	健康分野の価値評価 キーワード：限界効用、功利主義、リスク評価、予測モデル	講義	予習：テキストのP.73～92等を読む。(2時間) 復習：改正医薬品医療機器法にも触れつつ、効用理論等を応用した価値評価の概念・手法の基礎を理解する。(2時間)
5	田倉	健康分野の価格水準 キーワード：国民皆保険制度、不完全競争市場、需要と供給	講義	予習：テキストのP.110～133等を読む。(2時間) 復習：ミクロ経済学や保険収載制度、改正介護保険法を背景とした価格理論を理解する。(2時間)
6	田倉	医療分野の費用算定 キーワード：原価計算、収支分析	講義	予習：テキストのP.134～145等を読む。(2時間) 復習：会計学(医療費原価計算、病院収支、介護施設収支)等の理論・手法による費用分析を習得する。(2時間)
7	田倉	診療技術の難易度 キーワード：医師技術料、デルファイ法、難度と負荷	講義	予習：テキストのP.157～160等を読む。(2時間) 復習：国内外の医師等技術料の評価手法の種別と特性(難易度と総負荷)を理解する。(2時間)
8	田倉	アウトカムの評価 キーワード：健康関連QOL、患者効用値、幸福論	講義	予習：テキストのP.86～92, 146～153等を読む。(2時間) 復習：改正医薬品医療機器法にも触れつつ、臨床指標と健康関連QOL/患者効用値や幸福論の基礎的な算定手法を理解する。(2時間)
9	田倉	医療サービスの生産性 キーワード：費用対効果分析、生産性分析	講義	復習：テキストのP.93～97, 234～238等を読む。(2時間) 予習：医療介護資源の生産性評価や医療技術の費用対効果評価の理論と手法を習得する。(2時間)
10	田倉	医療経営と意思決定 キーワード：品質管理、意思決定論、交渉理論	講義	予習：テキストのP.23～36, 242～244等を読む。(2時間) 復習：経営学(品質管理等)の基礎と健康関連の意思決定と交渉戦略の意義を理解する。(2時間)
11	田倉	医療市場と厚生経済学 キーワード：一般均衡分析、厚生経済学、機会費用、情報非対象	講義	予習：テキストのP.83～92, 123～133, 165～169等を読む。(2時間) 復習：マクロ経済学による医療市場の特性や資源配分(パレート等)の概念を理解する。(2時間)
12	田倉	行動経済学と関連理論 キーワード：行動経済学、認知バイアス	講義	予習：テキストのP.98～103, 128～130等を読む。(2時間) 復習：改正介護保険法にも触れつつ、ゲーム理論等を背景に行動や認知に伴うバイアスの概念や対策の手法を習得する。(2時間)
13	田倉	医療政策系の研究事例 キーワード：分子標的薬剤、冠動脈治療材、救急システム	講義	予習：テキストのP.184～213を読む。(2時間)

科目名	世界と日本現代史		授業形態	講義
英語科目名	Modern Japanese History and the World		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年		単位数	2単位
代表教員	小暮 実徳		ナンバリング	BAG1007
担当教員	小暮 実徳			
授業概要				
全体内容	現在の日本は、どのようなプロセスを経て成立したのか？このような問題意識から、その直接的な事件として、アメリカ合衆国ペリー司令官による日本開国、その後の日本による西欧的近代化に注目する。この中で、日本と古くからの関係を有するオランダが、どのように本国・植民地との政治外交的視点から、それをその対日積極外交に結び付けていったか、また何故それが終焉を迎えることになったかを、史料に基づき具体的に学ぶことは重要である。 この前提としては、まず日本国外の動向に注目する必要がある。ここから、ナポレオン戦争以降の西欧列強の政治外交的動向を概観し、その積極的な海外進出に至る動機を理解する。アジアの植民地大国であったオランダの、同地域における存在意義・役割、さらに日本との古来の関係を学び、その後日本開国を中心に、欧米列強のアジアの国際関係を踏まえる。ここから、今まで注目されてこなかったオランダの対日政策を理解し、現在の日本の技術的繁栄についても理解する。			
到達目標	19世紀中葉の欧米列強によるアジア進出を、とりわけ開国期の日本問題を中心に、政治・外交の視点から、その国際関係を学ぶ。産業革命以降目覚ましい科学技術の進歩は、欧米列強にその資本投下を、遠隔地域にまで押し広げることを可能とした。その対象は、当時産業が未発達であったアジア・アフリカ地域であった。このような時代背景、いわゆる“帝国主義”を意識して、主に開国期の日蘭関係を習得する。 オランダは当時蘭領東インド（現インドネシア）を有するアジアの植民地大国であり、そのアジア政策は極めて重要であった。そのオランダが、アジアにおける新興国アメリカ合衆国の同地への進出、とりわけペリー司令官による日本開国という新局面の中、他の西欧列強を考慮して、どのような対日政策を展開していったのか。この問題を中心に、オランダ・イギリス・アメリカの原史料に基づき、同時代の実相を学ぶことで、日本を中心とする、アジア近現代史を具体的に説明できるようになる。			
授業の位置づけ	基礎分野/人間科学系 選択科目			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-CB △ DP4-CA			
履修上の注意、履修要件	高校の日本史、世界史の教科書に目を通すこと			
成績評価の方法				
評価方法	平常点(65%)：授業への積極的な参加（ノートを取る、また発言や質問をする等）、また事前・事後学習を含めた取り組み方（すなわち全体的な理解度）を評価する。 試験(35%)：授業内容に基づき、かつ自らの知見を伴う小論文形式の課題提出。			
評価基準	A+ 講義内容を充分理解し、設問に対して必要な内容を的確かつ論理的に記述した解答 A 講義内容を充分理解し、設問に対して必要な内容を論理的に記述した解答 B 講義内容を総じて理解し、設問に対して不十分だが論理的に記述した解答 C 講義内容の概要を理解し、設問に対して不十分だが一定の評価が可能な解答			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業中および授業終了後に適時質問を受ける。 最終授業では、全体に対するフィードバックを行う。				
テキスト				
東西海上交流の起源- オランダと海国日本の黎明	小暮実徳	彩流社	4779122899	
参考文献				
小暮実徳『幕末期のオランダ対日外交政策－「国家的名声と実益」への挑戦』（彩流社） 金井園『近世日本とオランダ』（放送大学教育振興会） 松方冬子編『日蘭関係をよみとく上巻：つなぐ人々』（臨川書店） 小暮実徳訳・ファン・デル・シェイス著『オランダ日本開国論』（雄松堂出版）				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業に関する学生の質問は順天堂パスポートで随時受け付け、必ず返信する			
担当教員の実務経歴				
備考				
授業計画				

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小暮実徳	講義の概要と計画（ガイダンス）	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
2	小暮実徳	“東方の盟主”としての英蘭関係―第一次・第二次ロンドン条約を中心に1：植民地返還の意図	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
3	小暮実徳	“東方の盟主”としての英蘭関係―第一次・第二次ロンドン条約を中心に2：ラッフルズの出島接收計画	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
4	小暮実徳	オランダ国王ウィレム二世の日本開国勅告1：その経緯と実行	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
5	小暮実徳	オランダ国王ウィレム二世の日本開国勅告2：その結果	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
6	小暮実徳	アメリカのアジア政策に対するオランダの対抗1：ペリー遠征計画	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
7	小暮実徳	アメリカのアジア政策に対するオランダの対抗2：アジアにおけるオランダの影響力の考慮	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
8	小暮実徳	ペリー司令官日本来航とオランダにとって望ましい展望1：日本開国	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
9	小暮実徳	ペリー司令官日本来航とオランダにとって望ましい展望2：日本の欧化政策の決定	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
10	小暮実徳	日蘭条約締結への努力とその成功1：長崎海軍伝習所	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。
11	小暮実徳	日蘭条約締結への努力とその成功2：現地オランダ人の努力	講義	【予習】（90分）授業用テキストの予習・復習は当然である。事前学習としては、参考テキスト・当該テーマの一般教養書、また少なくとも高校世界史の教科書を再読する。これにより授業の、より一層の理解が可能となる。 【復習】（90分）事後学習として、授業の解説に基づいて、当該の授業についての要点を理解し、試験を意識しレポートにまとめる復習を行う。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎化学			授業形態	講義
英語科目名	Basic Chemistry			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	1単位
代表教員	山倉 文幸			ナンバリング	BAP1100/BAR1100
担当教員	山倉 文幸				
授業概要					
全体内容	理学療法士及び診療放射技術師として知っておく必要がある化学の基礎を学ぶことを目的とする。主に高等学校で化学を充分学ばなかった学生を対象とし、生化学や生理学の理解のための基礎知識の修得を目指す。学習内容としては、原子、分子に関する基礎的な内容から始め、物質の基本的な化学的性質に関して学ぶ。計算などを少なくし、身近な現象を扱うことで化学の世界に興味を持てるような授業を目指す。また高等学校で化学を選択しなかった学生でも理解できるように、丁寧な授業展開と学生参加型の学修方法を取り入れる。				
到達目標	保健医療学部の学士として、また市民として化学的に現象を考える事ができる様に、基本的な化学の知識や考え方を身につける。また、生化学・生理学を学ぶ基礎知識を身につける。具体的には 1. 物質を作っている単位である原子、分子、イオンについて構造と結合の仕方を説明できる。 2. 物質の状態である気体、液体、固体の関係を説明でき、気体と液体の性質を理解できる。特に水の特異な性質を理解し説明できる。 3. 水に溶ける、溶けないとはどの様にして決まるか理解し、溶液の濃度の表し方を説明できる。 4. 酸、塩基、pHとは何か、緩衝溶液の仕組み、および浸透圧が起こる仕組みを理解し、説明できる。				
授業の位置づけ	生活に密接に結びついている色々な現象の背景に化学がある事に気づきることができる。また、基礎生物学と共に、基礎分野の生化学、生命現象の科学、そして専門基礎分野の生理学I及びII、薬理学を理解するための基礎知識を身に付けるのに役立つ。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1				
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 準備学習： 1.毎授業の終了後、次回の授業の資料をj-passに載せるので、次回までに良く目を通し、さらに関連するテキストの項目も読んでおく。（45-90分） 2. 授業の終わりに次週までの課題が出たときには、次週までに解いておくこと。（45分） 学習上の留意点： 1. 授業中に聞けなかった疑問点があれば、j-passまたはe-mailで質問してください。高等学校で化学を履修しなかった学生は特に疑問点をそのままにせず、積極的に活用して下さい。 2. 毎回授業中に小テスト（google form等を用いる）を行うので、その問題と期末試験前に出す例題をよく勉強し、理解するように。 				
成績評価の方法					
評価方法	評価方法：筆記試験による期末試験で50%の評価、google formを用いた小テスト、レポート等で残りの50%を評価する。				
評価基準	評価基準：到達目標の各項目について基本的な概念を説明する事ができるか。気体の状態方程式、溶液の濃度、pH等については簡単な計算が出来るか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストの解答はgoogle formのサイトで解答時に提示されます。授業中の質問について大事な点は次の週に解説します。レポートは採点后返却します。期末試験に関しては、終了後に正解を解説するか、j-pass上に表示します。					
テキスト					
化学の視点-健康へのアプローチ	山倉文幸、大森大二郎、馬場猛	東京教学社	978-4-8082-3052-4		
参考文献					
テキスト以外にパワーポイントに従った補足のプリントを配ります。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問は、授業中に直接聞か、授業後に教室で直接か、e-mailまたはj-passで聞いて下さい。また、e-mailでの質問は随時受け付けます。e-mail アドレスは、hyamaku@juntendo.ac.jpです。				
担当教員の業務経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	山倉	科学的考え方、宇宙の始まりと現在、原子の構成 1. 科学的考え方の基本的な要素は何か。事実に基づく判断の重要性を学ぶ。 2. ビデオ「Powers of Ten」を見てミクロの世界から宇宙の果てまでこの世界の成り立ちを考える。現代物理学が語る宇宙の始まりと原子の誕生を経て現在に至る歴史を学ぶ。 後半に小テストを行う。	講義	【予習】（90分） 抗酸化サプリメントについて調べてみよう。 【復習】（90分） 宇宙の将来についての現在の宇宙物理学での考えを調べてみよう	

科目名	基礎生物学	授業形態	講義
英語科目名	Basic Biology	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	1単位
代表教員	鎌田 弥生	ナンバリング	BAP1101/BAR1101
担当教員	鎌田 弥生		
授業概要			
全体内容	医療職に必要な生物学の基本事項を学修し、生命とは何かを考える。初めに生命の基本となる細胞の構造と機能を理解し、生体を構成する分子や恒常性維持のメカニズムについて学ぶ。また発生・分化、遺伝と生物進化、生命誕生と死に関する事項の学修を通じて、「生きるとは何か」という生命の本質を理解する。本講義では、医療の基礎となる生物学を学ぶことで、私たちの生命がどのような仕組みで維持されているのかを理解し、それを専門分野に応用できる基礎的能力を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 細胞の構造を説明できる。 2) 生体を構成する物質とエネルギー産生について説明できる。 3) 遺伝子について説明できる。 4) 生体の恒常性維持の仕組みを説明できる。 5) 生命誕生から老化・死までの仕組みを理解し、説明できる。 		
授業の位置づけ	医療を学ぶ上で基礎となる生物学の基本的知識を身に付けると共に、自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、自律的学習能力と科学的探究心を養う。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP3：自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力 理学CⅠ：自律的学習能力と科学的探究心 放射CⅠ：自律的学習能力と科学的探究心		
履修上の注意、履修要件	生物学は医療を学ぶ上で基礎となる科目です。高等学校で生物を履修しなかった人はこの科目を選択することをお勧めします。わからないことはそのままにせず、本で調べる、友人に聞く、先生に質問するなど、疑問の解決に努めて下さい。		
成績評価の方法			
評価方法	授業時間内に毎回行う小テスト(40%)と定期試験(60%)の結果を合わせて評価する。場合により、定期試験をレポート試験に変更する可能性もある。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の各項目について、大学の教科書のレベルで説明することができるか。 ・専門基礎科目を学ぶ上で必要となる生物学の基礎的な知識範囲を理解できているか。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業時間内に行った小テストの解答は次の授業の際に解説する。 小テストで理解が不十分だった項目に関しては、次の授業の際に詳しく補足説明する。			
テキスト			
やさしい基礎生物学 第2版	南雲 保／編著	羊土社	978-4-7581-2051-7
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを授業の時に配布する。 ・参考書（購入の必要はありませんが、参考図書として推奨します） ケイン基礎生物学, 上村慎治 監訳, 東京化学同人 ケイン生物学, 上村慎治 監訳, 東京化学同人 その他として図書館に備わっている生物学、生化学、分子生物学などの書籍 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付けます。 毎回の授業で実施する小テスト（Googleフォーム）にも質問欄を設けています。 随時、メールによる質問も可能です。ykamata@juntendo.ac.jp		
担当教員の実務経験			
備考			
授業計画			

科目名	基礎物理学			授業形態	講義
英語科目名	Basic Physics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	1単位
代表教員	初田 真知子			ナンバリング	BAP1102/BAR1102
担当教員	初田 真知子				
授業概要					
全体内容	医療従事者として医療現場で活かす物理学を学修する。腰痛も人体の重さを支えている筋力と関節で支える力との兼ね合いで引き起こされることを静力学で学ぶ。動力学の法則として慣性の法則・運動の法則・作用反作用の法則を学修し、放射線の現場に必要な物体の衝突現象を理解して説明できるようにする。虹や夕焼けというような美しい現象は、波動力学で説明できることを学修する。生体の活動や心臓が動くのも電気現象である。電子、電磁波などの放射線の正体を学修する。電磁波が引き起こす電磁誘導現象も電磁気学で学ぶ。このように身の回りや医療現場で重要な物理現象を理解して説明できるようにする。 学修テーマは次の4つである：①静力学、②動力学、③波動力学、④電磁気学				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体における筋力と関節で支える力のバランスを、ポディメカニクスとして説明できる。 ・物体に働く力と動きについて、慣性の法則・運動の法則・作用・反作用の法則で説明、および計算できる。 ・波、光の現象を、重ね合わせの原理を用いて説明できる。 ・電気・磁気の正体と電磁誘導を説明できるようにし、人体における感電の危険性やMRI測定における危険性を回避できるようにする。 				
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・利用現場が必要であり、特に理学療法士に必要なポディメカニクスを学ぶ授業である。 ・診療放射線技師にとって必要な放射線の理解に必要な物理学の基本を学ぶ。 ・診療放射線学科の必修である応用物理の前に修得する科目である。 				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-C2、理学DP-C4、放射DP-C2・C5				
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線学科の学生で高校で物理を履修しなかった場合は必ず履修すること。 ・授業では実験や討論があるので、j-passで通知する実験に必要な物と課題の準備し思考実験しておいてから、授業では積極的に参加して下さい。 				
成績評価の方法					
評価方法	授業実験・課題への参加度、課題、小テスト（60%）、定期試験（40%）により総合的に評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・人体における筋力と関節で支える力のバランスを、トルクのつり合いと力のつり合いについて立式ができ、結果を求め、その意味を検討することができるか。 ・物体に働く力と動きについて、慣性の法則・運動の法則・作用・反作用の法則について立式ができ、結果を求め、その意味を検討することができるか。 ・波、光の現象を、重ね合わせの原理を用いて説明できるか。 ・電気・磁気の正体と電磁誘導を説明でき、静電気力、電気ポテンシャルについて立式と結果を求め、その意味を検討できるか。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
課題提出後の翌週に返却し、その授業内で振り返りを実施する。					
テキスト					
身近な素材で実験する物理	初田真知子、伊知地国夫、矢田雅哉	丸善出版	978-4-621-30594-2		
参考文献					
【参考書】 <ul style="list-style-type: none"> ・力学と電磁気学 原康夫 東京教学社 ・生命科学のための基礎シリーズ 物理 大島康郎監修、川久保達之、工藤成史、古野泰二、前田忠計 実教出版 ・授業で随時連絡する 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	mhatsuda@juntendo.ac.jp メール連絡で随時対応する。				
担当教員の実務経歴	・順天堂大学医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、国際教養学部、保健医療学部で物理を教えてきている。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	初田 真知子	力のつり合い どっちが軽い？— ・物体が静止する時の条件を学習する。 ・グループディスカッション・実験：物体を2人で持ち上げる時、どちらが軽いか、グループディスカッション後に実験を行う。 ・力の分解をベクトルによる作図で求められるようにする。	アクティブラーニングとして、「持ち上げ実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「ベクトルの分解と合成」ができるようにしておく。物体を2人で持ち上げる時、近づいて持つのと、離れて持つのとどちらが楽か考えておく。 【復習】(90分) ・力の向きを作図できるようにして、力の分解と合成ができるようにする。 ・テキストの練習問題を解く。
2	初田 真知子	トルクのつり合い 人体の重心はどこ？— ・回転運動におけるトルクのつり合い、単純化するとこの原理を学習する。 ・グループディスカッション・実験：人体の重心はどこか、グループディスカッション後に実験を行う。 ・この原理を応用して、人体の重心を確認し、計算できるようにする。さらにトルクを応用して、より良い介護動作、体位変換や前傾姿勢時の腰への負担を考察する。	アクティブラーニングとして、「割りばし・クリップ実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「重心」の定義を調べておく。 ・「この原理(トルクのつり合い)」を応用して、どうしたら人体の重心がわかるか測定方法を考えておく。 【復習】(90分) ・この原理(トルクのつり合い)を応用できるように、かつ計算できるようにする。 ・テキストの練習問題を解く。
3	初田 真知子	等速直線運動 宇宙の2人は助かるか？— ・等速直線運動、慣性の法則、作用反作用の法則を学習する。 ・グループディスカッション・実験：カートに乗った2人が押し合い、引き合いした時に、どのようなか、グループディスカッション後に実験を行う ・等速運動の2人が宇宙船にたどり着く方法を説明できるようにする。等速運動の問題を解けるようにする。	アクティブラーニングとして、「慣性の法則」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「慣性の法則」を調べ、なぜ動いている物体は摩擦がなければ止まらないのかを考えておく。 ・「作用・反作用の法則」を調べ、カートに乗った2人が押し合ったらどうなるかを考えておく。 【復習】(90分) ・1体及び2体の等速運動できるようにしておく。 ・テキストの練習問題を解く。
4	初田 真知子	等加速度運動 重いと早く落下するか？— ・自由落下及び、運動の法則を学習する。 ・グループディスカッション・実験：重さの異なる物体を同時に落下させるガリレオの実験について、グループディスカッション後に実験を行う。 ・自由落下を理解し、運動の法則を用いて計算できるようにする。 ・小テストを実施する。	アクティブラーニングとして、「ガリレオ実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「自由落下」について、重い物体と軽い物体を同時に落としたり、どちらが先に着地するのかを考えておく。 【復習】(90分) ・等加速度運動を解けるようにしておく。 ・テキストの練習問題を解く。
5	初田 真知子	波・光波 虹と夕焼けを見よう— ・波の波長、振動数、振幅を学習する。光の色と波長の関係と屈折を学習する。 ・グループディスカッション・実験：波とボールの運動の違いは何か、色とは何か、グループディスカッション後に実験を行う。 ・ばねの波長、振動数、振幅の実験、その後、光の色と波長、屈折の実験を行い、虹と夕焼けを説明できるようにする。	アクティブラーニングとして、「ばねで波を作ろう実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「波長・振動数・振幅」について調べておく。 ・波はなぜ直進だけでなく屈折するのか、考えておく。 ・虹はなぜ虹色のアーチなのか、夕焼けはなぜ赤いのかを考えておく。 【復習】(90分) ・波の屈折現象を説明できるようにする。 ・テキストの練習問題を解く。
6	初田 真知子	波・光波 CDにレーザー光を当てると？— ・波の重ね合わせ、光の回折と干渉現象を学習する。 ・グループディスカッション・実験：ばねに右からの波と左からの波を作るとどうなるか、CDにレーザー光をあてるとどうなるか、グループディスカッション後に実験を行う。 ・ばねの波、光の波の性質としての回折格子の現象を説明できるようにする。	アクティブラーニングとして、「CDの虹色実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「波の重ね合わせ」「回折」「干渉」について調べておく。 ・CDにレーザーを当てるとどうなるか、実験してみたり考えておく。 【復習】(90分) ・回折格子を説明できるようにする。 ・テキストの練習問題を解く。
7	初田 真知子	電気 百人おどしで電気を感じよう— ・静電気とオームの法則を学習する。 ・グループディスカッション・実験：百人おどしをするとどうなるか、体脂肪計のしくみはどのようなものか、グループディスカッション後に実験を行う。 ・バンデグラフ等で静電気を発生させ、皆で手をつないで電気が流れる様子を実験する。人体の抵抗をテスターで測定する実験を行う。手を水で濡らすと、抵抗が非常に小さくなり、感電の危険性があることも実験する。静電気のしくみを理解し、人体にも電気が流れる事を学習する。体脂肪計の測定原理も考察する。 ・小テストを実施する。	アクティブラーニングとして、「電気の意味実験、人体の抵抗実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。 講義の後に、例題を解く。	【予習】(90分) ・「電気」の正体が何かを調べておく。 ・「オームの法則」を調べておく。体脂肪計がある人は、自分の体脂肪を測定しておく。またその測定原理を考えておく。 【復習】(90分) ・静電気を説明できるようにし、オームの法則を計算できるようにしておく。 ・テキストの練習問題を解く。
8	初田 真知子	磁気と電磁誘導 IH調理器で光らせよう— ・磁気と電磁誘導のしくみを学習する。 ・グループディスカッション・実験：IH調理器に閉じた電線の豆電球を近づけるとどうなるか、グループディスカッション後に実験を行う。	アクティブラーニングとして、「IH調理器による電磁誘導実験」について、グループ討議、グループ実験、意見交換を行う。	【予習】(90分) ・IH調理器の原理を調べておく。 ・「電磁誘導」についても調べておく。 【復習】(90分)

科目名	基礎数学	授業形態	講義	
英語科目名	Basic Mathematics	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	黒河 千恵	ナンバリング	BAP1103/BAR1104	
担当教員	黒河 千恵			
授業概要				
全体内容	医療現場における放射線を安全かつ効率的に扱うためには、物理学や工学、画像処理分野の知識が必要となる。これらの知識を修得するためには、数学は必要不可欠な科目である。本講義では、高校で習った数学の復習からスタートし、応用数学を学ぶまでに必要となる最低限の基礎的数学の知識を修得する。具体的な講義の内容は以下の通りである。①ベクトルと行列の計算、②三角関数、③指数関数・対数関数、③初等関数の微分・積分（定積分と不定積分）、④級数展開（テイラー展開）。 到達目標は高校数学の内容を完全に理解し、関連する問題の計算ができるようになることである。これらの学修を通して、医療専門職者になるために必要な数学を学ぶための準備を整える。			
到達目標	ベクトルと行列の性質を理解し、計算できる。 三角関数の性質や相互関係を理解し、その応用やそれを用いた計算ができる。 指数関数、対数関数の性質を理解し、それを用いた計算ができる。 関数の微分・積分の考え方を理解し、それを用いた計算ができる。 級数展開の性質を理解し、簡単な関数に対するテイラー展開やマクローリン展開を解くことができる。			
授業の位置づけ	高校で学習した数学の復習、ならびに1年生後期の応用数学を学ぶための準備を行う。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-CI			
履修上の注意、履修要件	事前に、シラバスに沿って参考文献等でその定義を調べておくこと。 演習問題は必ず手を動かして下さい。わからないことは、次の講義の前までに解決するようにして下さい。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート・小テスト（20%）、定期試験（80%）により評価する。			
評価基準	講義の項目中の高校数学の内容を完全に理解し、関連する問題を解くことができるか			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内に返却し、振り返りを実施する。				
テキスト				
参考文献				
各自が高校で使用していた教科書（数II、数B、数III）、もしくはそれに準じた参考書 授業で随時配布する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	ckuroka@juntendo.ac.jp * 研究室（*号館*号室） 事前メール連絡で随時対応する。			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	黒河 千恵	【ベクトルの計算】 ベクトルの演算則、内積の性質、ベクトルの平行と垂直、について学び、演習問題を解く。	講義中で配布するテキストの解説と、それに沿った例題の演習	【予習】（90分） ベクトルの定義について理解しておく。 【復習】（90分） 授業で出題されたベクトルの演算則、内積を用いた問題を解く。
2	黒河 千恵	【三角関数】 三角関数の定義と性質を学び、三角関数を用いた計算問題を解く。	講義中で配布するテキストの解説と、それに沿った例題の演習	【予習】（90分） 三角関数の定義と性質について、まとめておく。

科目名	情報科学	授業形態	演習	
英語科目名	Information Science	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	岡田 佐知子	ナンバリング	BAP1104/BAR1106	
担当教員	岡田 佐知子			
授業概要				
全体内容	情報技術の高度化やインターネットの普及に伴い、社会の情報化が急速に進行している。我々の日常においても、どこにいてもスマートフォンが手放せないくらい、情報の活用により便利で効率的な生活を送ることができている。しかし情報に余りに頼りすぎると、システムが動かなかった時などに混乱が起き、社会に大きな影響を与える可能性がある。また個人情報の漏洩などのリスクがあることにも気を付けなくてはならない。情報化社会の中で上手く生きていくためには、情報のもたらす恩恵とリスクを十分に理解したうえで情報の活用方法を考える必要がある。本講義では、①情報化社会を支える基盤としてのコンピュータの仕組みやネットワーク、データベース等の基本知識の修得、②Word、Excel等を用いたコンピュータの操作スキルの修得、③少人数のグループによる、情報検索とプレゼンテーションの演習を通じて、情報化社会を生きていくうえでの基本技術を修得することを目標とする。			
到達目標	1. 情報科学に関する基本知識の習得 2. 基本的なコンピュータの操作スキルの修得			
授業の位置づけ	本講義は基礎分野の自然科学の1科目として位置づけられているが、本講義で学ぶ情報・データリテラシーは今後分野を問わず学習・研究を遂行する上で重要なスキルである。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1・3-C1			
履修上の注意、履修要件	能動的に授業に参加すること。 授業で扱った内容は復習し、理解したうえで次の授業に臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	講義：小テストでの理解度(15%)、演習：課題の達成度(15%)、定期試験の成績(70%)を統合して評価する。			
評価基準	講義：情報科学に関する基本知識を習得できたか 演習：演習で扱った内容を理解し、自分で使えるようになったか			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
授業内で適宜紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業時間前後、また、 sa-okada@juntendo.ac.jpへの事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	医療情報システムの開発 5年 診療データの解析 15年			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岡田 佐知子	○初回ガイダンス・情報科学概論 ・授業の進め方 ・情報科学の定義 ・データ・情報・知識と現代社会(society5.0 データ駆動型社会) ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット ・情報技術の変遷	講義	【予習】 (90分) 高校までに学んだ情報の授業内容について思い出してみる 【復習】 (90分) 身の回りにある情報科学の活用事例に関してまとめる
2	岡田 佐知子 佐藤 真理	○ 情報科学の基礎知識 ・ 情報科学の基礎技術 (デジタル、論理回路)	講義 演習	【予習】 (90分) コンピュータの内部、外部にあるものについて例をあげてみる

		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成要素 担当：岡田佐知子 ○情報通信ネットワーク ・基本的な通信技術 ・ネットワークの種類 ・インターネット,Web,メールの仕組み 担当：佐藤真理 		<p>自分の身の回りの通信技術を使ったものについて、例をあげてみる</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>自分が所有している情報機器のハードウェアを確認する</p> <p>HTML、URL、POP、SMTPについて説明できるようにする</p>
3	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○データベース ・データモデル ・リレーショナルデータベース ・データ操作演習 ○アルゴリズム ・アルゴリズムとは何か ・最大最小、平均を求めるアルゴリズムの作成演習 	講義 演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>アルゴリズムとは何かを調べる</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>身の回りにあるデータの構造、アルゴリズムについて考える</p>
4	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○データサイエンス ・データサイエンスとは何か ・データサイエンスのサイクル ○データ活用の準備 ・必要なデータ(一次データと二次データ、・構造化データと非構造化データ等) ・必要な解析技術(回帰、相関、バスケット分析等) ・データ可視化 ・非構造化データ処理(自然言語処理、テキストマイニング、画像処理等) 	講義 演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>データと情報、知識に関して復習する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>身の回りのデータ解析事例について調べる</p>
5	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○AI ・AIとは何か(強いAI、弱いAI) ・AIの歴史 ・機械学習(教師あり学習、教師なし学習) ○データ・AIの利活用 ・目的ごとのデータ活用領域の進展(仮説検証、知識発見等) ・意思決定支援 ・実社会、医療分野におけるデータ利活用事例の紹介 ・データ・AIを利用した新たなビジネスモデル ○AI最新技術の紹介 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>前回授業の内容を復習する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>データの活用方法とそれに伴う課題について考える</p>
6	佐藤 真理	<ul style="list-style-type: none"> ○情報セキュリティ ・セキュリティの考え方とその技術 ・脅威と技術的対策、倫理的対策 	講義 演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>情報通信ネットワークの講義内容を復習する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>自分の身の回りのセキュリティ技術について調べる</p>
7	大橋 真也	<ul style="list-style-type: none"> ○データ活用における留意事項 ・個人情報保護法とGDPRなどの国際動向 ・データに関する情報モラル ・データ駆動型社会のリスクとその対策 	オンデマンド講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>今までの講義の内容を復習する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>教材中の演習問題に取り組む</p>
8	杉村 雅文	<ul style="list-style-type: none"> ○医療情報システム ・病院の業務の流れを解説する ・電子カルテを中心とする病院情報システムについて解説し、そのメリットについて考察する ・医療情報がどのように使われているのかを考察する 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>自分が医療機関にかかった時の流れを思い出す</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>医療情報システムと一般の情報システムとの共通点と相違点をまとめる</p>
9	夏井 淳一	<ul style="list-style-type: none"> ○イスラエルに学ぶITイノベーション なぜイスラエルでは多くのITイノベーションが生まれるのか？スタートアップ大国イスラエルでの実例を取り上げ、ITイノベーションにつながるヒントを考察する 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <p>インターネットでイスラエルのことを調べて情報収集する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>イスラエルのデジタルヘルススタートアップ1社を選び深掘りする</p>
10	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ワープロソフト演習 ・ワープロソフトの基本的な使い方を実習する ・レポート作成演習を行う ・論文検索の演習を行う 	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>身近なプリントを観察する</p> <p>【復習】(90分)</p> <p>ワープロソフトでの文書作成の手順を確認する</p>
11	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○表計算ソフト演習(1) ・表計算ソフトの基本的な使い方を実習する ・インターネット上のデータソースからデータを取得し、グラフ作成を行う 	演習	<p>【予習】(90分)</p> <p>教科書や新聞に載っている図表を観察する</p>

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	情報科学	授業形態	演習	
英語科目名	Information Science	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	岡田 佐知子	ナンバリング	BAP1104/BAR1106	
担当教員	岡田 佐知子			
授業概要				
全体内容	情報技術の高度化やインターネットの普及に伴い、社会の情報化が急速に進行している。我々の日常においても、どこにいてもスマートフォンが手放せないくらい、情報の活用により便利で効率的な生活を送ることができている。しかし情報に余りに頼りすぎると、システムが動かなかった時などに混乱が起き、社会に大きな影響を与える可能性がある。また個人情報の漏洩などのリスクがあることにも気を付けなくてはならない。情報化社会の中で上手く生きていくためには、情報のもたらす恩恵とリスクを十分に理解したうえで情報の活用方法を考える必要がある。本講義では、①情報化社会を支える基盤としてのコンピュータの仕組みやネットワーク、データベース等の基本知識の修得、②Word、Excel等を用いたコンピュータの操作スキルの修得、③少人数のグループによる、情報検索とプレゼンテーションの演習を通じて、情報化社会を生きていくうえでの基本技術を修得することを目標とする。			
到達目標	1. 情報科学に関する基本知識の習得 2. 基本的なコンピュータの操作スキルの修得			
授業の位置づけ	本講義は基礎分野の自然科学の1科目として位置づけられているが、本講義で学ぶ情報・データリテラシーは今後分野を問わず学習・研究を遂行する上で重要なスキルである。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1・3-C1			
履修上の注意、履修要件	能動的に授業に参加すること。 授業で扱った内容は復習し、理解したうえで次の授業に臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	講義：小テストでの理解度(15%)、演習：課題の達成度(15%)、定期試験の成績(70%)を統合して評価する。			
評価基準	講義：情報科学に関する基本知識を習得できたか 演習：演習で扱った内容を理解し、自分で使えるようになったか			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
授業内で適宜紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業時間前後、また、 sa-okada@juntendo.ac.jpへの事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	医療情報システムの開発 5年 診療データの解析 15年			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岡田 佐知子	○初回ガイダンス・情報科学概論 ・授業の進め方 ・情報科学の定義 ・データ・情報・知識と現代社会(society5.0 データ駆動型社会) ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット ・情報技術の変遷	講義	【予習】 (90分) 高校までに学んだ情報の授業内容について思い出してみる 【復習】 (90分) 身の回りにおける情報科学の活用事例に関してまとめる
2	岡田 佐知子 佐藤 真理	○ 情報科学の基礎知識 ・ 情報科学の基礎技術 (デジタル、論理回路)	講義 演習	【予習】 (90分) コンピュータの内部、外部にあるものについて例をあげてみる

		<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成要素 担当：岡田佐知子 ○ 情報通信ネットワーク ・ 基本的な通信技術 ・ ネットワークの種類 ・ インターネット, Web, メールの仕組み 担当：佐藤真理 		<p>自分の身の回りの通信技術を使ったものについて、例をあげてみる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>自分が所有している情報機器のハードウェアを確認する</p> <p>HTML、URL、POP、SMTPについて説明できるようにする</p>
3	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ データベース ・ データモデル ・ リレーショナルデータベース ・ データ操作演習 ○ アルゴリズム ・ アルゴリズムとは何か ・ 最大最小、平均を求めるアルゴリズムの作成演習 	講義 演習	<p>【予習】 (90分)</p> <p>アルゴリズムとは何かを調べる</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>身の回りにあるデータの構造、アルゴリズムについて考える</p>
4	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ データサイエンス ・ データサイエンスとは何か ・ データサイエンスのサイクル ○ データ活用の準備 ・ 必要なデータ(一次データと二次データ、・ 構造化データと非構造化データ等) ・ 必要な解析技術(回帰、相関、バスケット分析等) ・ データ可視化 ・ 非構造化データ処理(自然言語処理、テキストマイニング、画像処理等) 	講義 演習	<p>【予習】 (90分)</p> <p>データと情報、知識に関して復習する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>身の回りのデータ解析事例について調べる</p>
5	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ AI ・ AIとは何か(強いAI、弱いAI) ・ AIの歴史 ・ 機械学習(教師あり学習、教師なし学習) ○ データ・AIの利活用 ・ 目的ごとのデータ活用領域の進展(仮説検証、知識発見等) ・ 意思決定支援 ・ 実社会、医療分野におけるデータ利活用事例の紹介 ・ データ・AIを利用した新たなビジネスモデル ○ AI 最新技術の紹介 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <p>前回授業の内容を復習する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>データの活用方法とそれに伴う課題について考える</p>
6	佐藤 真理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報セキュリティ ・ セキュリティの考え方とその技術 ・ 脅威と技術的対策、倫理的対策 	講義 演習	<p>【予習】 (90分)</p> <p>情報通信ネットワークの講義内容を復習する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>自分の身の回りのセキュリティ技術について調べる</p>
7	大橋 真也	<ul style="list-style-type: none"> ○ データ活用における留意事項 ・ 個人情報保護法とGDPRなどの国際動向 ・ データに関する情報モラル ・ データ駆動型社会のリスクとその対策 	オンデマンド講義	<p>【予習】 (90分)</p> <p>今までの講義の内容を復習する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>教材中の演習問題に取り組む</p>
8	杉村 雅文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療情報システム ・ 病院の業務の流れを解説する ・ 電子カルテを中心とする病院情報システムについて解説し、そのメリットについて考察する ・ 医療情報がどのように使われているのかを考察する 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <p>自分が医療機関にかかった時の流れを思い出す</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>医療情報システムと一般の情報システムとの共通点と相違点をまとめる</p>
9	夏井 淳一	<ul style="list-style-type: none"> ○ イスラエルに学ぶITイノベーション なゼイスラエルでは多くのITイノベーションが生まれるのか？スタートアップ大国イスラエルでの実例を取り上げ、ITイノベーションにつながるヒントを考察する 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <p>インターネットでイスラエルのことを調べて情報収集する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>イスラエルのデジタルヘルススタートアップ1社を選び深掘りする</p>
10	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワープロソフト演習 ・ ワープロソフトの基本的な使い方を実習する ・ レポート作成演習を行う ・ 論文検索の演習を行う 	演習	<p>【予習】 (90分)</p> <p>身近なプリントを観察する</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>ワープロソフトでの文書作成の手順を確認する</p>
11	岡田 佐知子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表計算ソフト演習(1) ・ 表計算ソフトの基本的な使い方を実習する ・ インターネット上のデータソースからデータを取得し、グラフ作成を行う 	演習	<p>【予習】 (90分)</p> <p>教科書や新聞に載っている図表を観察する</p>

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計学	授業形態	講義
英語科目名	Statistics	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	野尻 宗子	ナンバリング	BAP1105/BAR1107
担当教員	野尻 宗子		
授業概要			
全体内容	医療現場では、患者の状態、ケアの程度、医療従事者に関連する様々なデータが存在、あるいは生成されている。医学データを集計し有効に活用するためには、統計の基礎を理解し、データを取り扱う能力を身に付ける必要がある。本講義では、身近なデータの具体例を挙げながら、必須となる統計の基礎知識を学習し、保健・医療に統計がどのように役立つのかを理解する。またデータが持つ特徴やデータ間の関連性を説明するために、数値を用いたデータの要約の方法や検定・推定などの知識を修得し、代表的な統計手法について実例・演習を中心に学習する。特に、後半ではデータサイエンスの実践として、ExcelやPythonでの演習を行い、統計の基礎である記述統計、相関、回帰や機械学習（教師あり、教師なし）の実習も行い、コンピュータがデータを読み込むことで自動的にルールやパターンを見出し、その結果を活かして分類や予測を行う仕組みを体験していく。		
到達目標	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> データの種類の理解、適切なグラフ表示ができる。 平均、標準偏差などの統計量の理解、相関と回帰の理解する。 確率と確率分布の理解、正規分布などを理解する。 母集団と標本の理解する。 臨床研究デザインの理解と解析結果の解釈および簡単な臨床データを使った解析ができる。 Excel、Pythonを通し、記述統計・機械学習の分析が出来るようになる。 1-6を踏まえ、情報リテラシー、数量的リテラシー、論理的思考力、問題解決力を身に付け、必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決できるようになる。 		
授業の位置づけ	情報通信技術の進化に伴って生活環境が急速に変化しているが、統計・データサイエンスは、特に医療現場では必要な技能である。その考え方や基本的な手法を身に付けておけば、日常の様々な場面でも役に立つはずである。知識を吸収するだけでなく、物事を様々な角度から眺め、自分で深く考える姿勢を養えるようになることが重要である。数学はその抽象性ゆえ、前提条件を満たせば結果を様々な事柄に適用できるが（数学の実用性）、統計学は数学の実用性への理解を促進する。さらに、情報学の内容や総合的な探究の時間の取組などとも関連付け、様々な場面で活用できる統計活用力を身に付けることができる。統計的な内容の学習を通し、数学への興味や関心を高めるようにしていく。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、理学DP4-C1、放射DP4-C1		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 統計の考え方に慣れることを一番の目的とし、授業に積極的に取り組む姿勢を重視する。 四則演算とルートの計算が可能な電卓を毎回持参すること。 高校数学IIBを履修していなかった者は、数学の勉強会や自習をしておくことが望ましい。 授業の進み具合に応じて内容の順序等が入れ替わることがある。 		
成績評価の方法			
評価方法	課題レポート30%、筆記試験70%にて評価する。なお、授業態度が授業進行上において悪いと判断した場合には、減点の対象とする。		
評価基準	記述統計に関して、データの種類の理解、平均、標準偏差などの統計量の理解、相関と回帰、確率と確率分布、正規分布、母集団と標本について理解し、説明することが出来る。臨床研究デザインの理解と解析結果の解釈をし、簡単な臨床データを使った解析ができる。情報リテラシー、数量的リテラシー、論理的思考力、問題解決力を身に付け、必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決できるようになる。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ol style="list-style-type: none"> 演習問題（実習）は、後半に行う実習で与えられた課題とサンプルデータセットを使い、プログラムとそのアウトプット、解釈を提出する。正解は、授業中に解説あるいはJ-PASSに載せる。 授業中の演習問題は、授業中に考え方の解説と必要に応じてJ-PASSに解答を載せる。 			
テキスト			
参考文献			
テキスト：授業時の配布資料。			
<p>参考書：</p> <p>統計学入門. 東京大学教養学部統計学教室 編 (1991)</p> <p>竹村彰通. データサイエンス入門 第2版 (データサイエンス大系). 学術図書出版社 (2021).</p>			
その他			

連絡先・オフィスアワー	授業の前後.			
担当教員の実務経歴	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 生物統計家・疫学専門家（2014年度～現在） 医学部 M3「疫学」（2015年度～現在） 順天堂大学 保健医療学部「統計学」（2019年度～現在）			
備考	講義では簡単な数学を使うが、発展的な数理的な考え方も紹介していく。統計の考え方に慣れることを一番の目的とし、授業に積極的に取り組む姿勢を重視する。四則演算とルートの計算が可能な電卓（電子辞書でもよい）を毎回持参すること。また、ExcelやPythonを用いた演習も行う。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	野尻	・医療統計の重要性を理解する。 ・分布の代表値 箱ひげ図・外れ値・ヒストグラム・散布図、分布の中心の指標として、平均値、中央値、最頻値、割合、率を理解する。ばらつきの指標として、範囲(レンジ)、四分位範囲、分散、標準偏差といった基本統計量を求めて、データの分布の特徴を捉える方法を理解する。	講義および演習問題	【予習】（90分） 身近な臨床研究の事例を調べる。 【復習】（90分） 授業の復習。
2	野尻	2つ以上の量的変数について散布図を作成し、変数間の関係を視覚的に捉えて、相関係数や回帰分析でデータを要約できることを理解した上で、変数間の関係を評価できる。	講義および演習問題	【予習】（90分） 相関、回帰について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
3	野尻	分割表 2つ以上の質的変数について分割表を作成し、度数や割合の比較やオッズ比をもとに、変数間の関係を捉えることができる。	講義および演習問題	【予習】（90分） 分割表とは何か、どう使うか調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
4	野尻	確率 様々な事象の起こりやすさを数値で表す確率について、その概念と求め方や統計学における意味を理解する。	講義と演習	【予習】（90分） 確率について、その概念と求め方を調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
5	野尻	確率・確率分布 確率変数や確率分布の概念を学び、確率変数の期待値や分散の意味を理解する。正規分布の基本的な確率分布とその統計学的性質を理解する。同時確率分布・周辺確率分布の違いを理解する。誤差・中心極限定理を理解する。	講義および演習問題	【復習】（90分） 期待値、分散の定義を調べてくる。 二項分布、正規分布、ポアソン分布を調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
6	野尻	母集団と標本 母平均や母比率の推定 母集団の特性を知るために、母集団と標本を区別し、標本に基づく統計量（標本平均や標本割合）をもとに、母数（パラメータ）で表現される母集団の特徴を推測するという考え方を理解する。	講義および演習問題	【復習】（90分） 中心極限定理を調べておく。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
7	野尻	検定 母集団分布の母数に関して帰無仮説と対立仮説を立てて、標本に基づいて帰無仮説を棄却するか否かを判断するための方法を理解する。平均値の差の検定・独立性の検定の理解をする。	講義および演習問題	【予習】（90分） 母集団と標本の違いについて調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
8	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Excelを使った演習（データの可視化・記述統計） Excelを使って統計グラフの作成と代表値・統計量の計算演習を行う。	講義、演習	【予習】（90分） グラフにはどのような種類があるかを調べる。また、EXCELでの統計量の関数について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
9	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Pythonを使った演習 Pythonを使った基本的なプログラミングを実習する。 四則演算、代入、ソート、抽出、集計、可視化などを学ぶ。	講義と演習	【予習】（90分） Pythonを使った四則演算、代入、ソート、抽出、集計、可視化の方法について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
10	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Pythonを使った演習（教師あり学習1）	講義と演習	【予習】（90分） 線形回帰・分類について、事前に調べる。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計学	授業形態	講義
英語科目名	Statistics	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	野尻 宗子	ナンバリング	BAP1105/BAR1107
担当教員	野尻 宗子		
授業概要			
全体内容	医療現場では、患者の状態、ケアの程度、医療従事者に関連する様々なデータが存在、あるいは生成されている。医学データを集計し有効に活用するためには、統計の基礎を理解し、データを取り扱う能力を身に付ける必要がある。本講義では、身近なデータの具体例を挙げながら、必須となる統計の基礎知識を学習し、保健・医療に統計がどのように役立つのかを理解する。またデータが持つ特徴やデータ間の関連性を説明するために、数値を用いたデータの要約の方法や検定・推定などの知識を修得し、代表的な統計手法について実例・演習を中心に学習する。特に、後半ではデータサイエンスの実践として、ExcelやPythonでの演習を行い、統計の基礎である記述統計、相関、回帰や機械学習（教師あり、教師なし）の実習も行い、コンピュータがデータを読み込むことで自動的にルールやパターンを見出し、その結果を活かして分類や予測を行う仕組みを体験していく。		
到達目標	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> データの種類の理解、適切なグラフ表示ができる。 平均、標準偏差などの統計量の理解、相関と回帰の理解する。 確率と確率分布の理解、正規分布などを理解する。 母集団と標本の理解する。 臨床研究デザインの理解と解析結果の解釈および簡単な臨床データを使った解析ができる。 Excel、Pythonを通し、記述統計・機械学習の分析が出来るようになる。 1-6を踏まえ、情報リテラシー、数量的リテラシー、論理的思考力、問題解決力を身に付け、必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決できるようになる。 		
授業の位置づけ	情報通信技術の進化に伴って生活環境が急速に変化しているが、統計・データサイエンスは、特に医療現場では必要な技能である。その考え方や基本的な手法を身に付けておけば、日常の様々な場面でも役に立つはずである。知識を吸収するだけでなく、物事を様々な角度から眺め、自分で深く考える姿勢を養えるようになることが重要である。数学はその抽象性ゆえ、前提条件を満たせば結果を様々な事柄に適用できるが（数学の実用性）、統計学は数学の実用性への理解を促進する。さらに、情報学の内容や総合的な探究の時間の取組などとも関連付け、様々な場面で活用できる統計活用力を身に付けることができる。統計的な内容の学習を通し、数学への興味や関心を高めるようにしていく。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、理学DP4-C1、放射DP4-C1		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 統計の考え方に慣れることを一番の目的とし、授業に積極的に取り組む姿勢を重視する。 四則演算とルートの計算が可能な電卓を毎回持参すること。 高校数学IIBを履修していなかった者は、数学の勉強会や自習をしておくことが望ましい。 授業の進み具合に応じて内容の順序等が入れ替わることがある。 		
成績評価の方法			
評価方法	課題レポート30%、筆記試験70%にて評価する。なお、授業態度が授業進行上において悪いと判断した場合には、減点の対象とする。		
評価基準	記述統計に関して、データの種類の理解、平均、標準偏差などの統計量の理解、相関と回帰、確率と確率分布、正規分布、母集団と標本について理解し、説明することが出来る。臨床研究デザインの理解と解析結果の解釈をし、簡単な臨床データを使った解析ができる。情報リテラシー、数量的リテラシー、論理的思考力、問題解決力を身に付け、必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決できるようになる。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ol style="list-style-type: none"> 演習問題（実習）は、後半に行う実習で与えられた課題とサンプルデータセットを使い、プログラムとそのアウトプット、解釈を提出する。正解は、授業中に解説あるいはJ-PASSに載せる。 授業中の演習問題は、授業中に考え方の解説と必要に応じてJ-PASSに解答を載せる。 			
テキスト			
参考文献			
テキスト：授業時の配布資料。			
<p>参考書：</p> <p>統計学入門. 東京大学教養学部統計学教室 編 (1991)</p> <p>竹村彰通. データサイエンス入門 第2版 (データサイエンス大系). 学術図書出版社 (2021).</p>			
その他			

連絡先・オフィスアワー	授業の前後.			
担当教員の実務経歴	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 生物統計家・疫学専門家（2014年度～現在） 医学部 M3「疫学」（2015年度～現在） 順天堂大学 保健医療学部「統計学」（2019年度～現在）			
備考	講義では簡単な数学を使うが、発展的な数理的な考え方も紹介していく。統計の考え方に慣れることを一番の目的とし、授業に積極的に取り組む姿勢を重視する。四則演算とルートの計算が可能な電卓（電子辞書でもよい）を毎回持参すること。また、ExcelやPythonを用いた演習も行う。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	野尻	・医療統計の重要性を理解する。 ・分布の代表値 箱ひげ図・外れ値・ヒストグラム・散布図、分布の中心の指標として、平均値、中央値、最頻値、割合、率を理解する。ばらつきの指標として、範囲(レンジ)、四分位範囲、分散、標準偏差といった基本統計量を求めて、データの分布の特徴を捉える方法を理解する。	講義および演習問題	【予習】（90分） 身近な臨床研究の事例を調べる。 【復習】（90分） 授業の復習。
2	野尻	2つ以上の量的変数について散布図を作成し、変数間の関係を視覚的に捉えて、相関係数や回帰分析でデータを要約できることを理解した上で、変数間の関係を評価できる。	講義および演習問題	【予習】（90分） 相関、回帰について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
3	野尻	分割表 2つ以上の質的変数について分割表を作成し、度数や割合の比較やオッズ比をもとに、変数間の関係を捉えることができる。	講義および演習問題	【予習】（90分） 分割表とは何か、どう使うか調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
4	野尻	確率 様々な事象の起こりやすさを数値で表す確率について、その概念と求め方や統計学における意味を理解する。	講義と演習	【予習】（90分） 確率について、その概念と求め方を調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
5	野尻	確率・確率分布 確率変数や確率分布の概念を学び、確率変数の期待値や分散の意味を理解する。正規分布の基本的な確率分布とその統計学的性質を理解する。同時確率分布・周辺確率分布の違いを理解する。誤差・中心極限定理を理解する。	講義および演習問題	【復習】（90分） 期待値、分散の定義を調べてくる。 二項分布、正規分布、ポアソン分布を調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
6	野尻	母集団と標本 母平均や母比率の推定 母集団の特性を知るために、母集団と標本を区別し、標本に基づく統計量（標本平均や標本割合）をもとに、母数（パラメータ）で表現される母集団の特徴を推測するという考え方を理解する。	講義および演習問題	【復習】（90分） 中心極限定理を調べておく。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
7	野尻	検定 母集団分布の母数に関して帰無仮説と対立仮説を立てて、標本に基づいて帰無仮説を棄却するか否かを判断するための方法を理解する。平均値の差の検定・独立性の検定の理解をする。	講義および演習問題	【予習】（90分） 母集団と標本の違いについて調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
8	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Excelを使った演習（データの可視化・記述統計） Excelを使って統計グラフの作成と代表値・統計量の計算演習を行う。	講義、演習	【予習】（90分） グラフにはどのような種類があるかを調べる。また、EXCELでの統計量の関数について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
9	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Pythonを使った演習 Pythonを使った基本的なプログラミングを実習する。 四則演算、代入、ソート、抽出、集計、可視化などを学ぶ。	講義と演習	【予習】（90分） Pythonを使った四則演算、代入、ソート、抽出、集計、可視化の方法について調べる。 【復習】（90分） 授業内容を復習する。
10	野尻	データサイエンスの実践（演習科目） Pythonを使った演習（教師あり学習1）	講義と演習	【予習】（90分） 線形回帰・分類について、事前に調べる。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生命現象の科学	授業形態	講義
英語科目名	Life Sciences	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	鎌田 弥生	ナンバリング	BAP1107/BAR1109
担当教員	鎌田 弥生		
授業概要			
全体内容	基礎生物学の内容を発展させて、生命科学の基礎から最先端までを学修する。現在、分子生物学を基盤にした先端バイオ技術が医療にも応用されつつある。本講義では、分子生物学・細胞生物学・免疫学等の基本事項を学び、医療分野で実用化されている分子標的治療や再生医療などの最先端の治療法の成り立ちを理解する。医療職を目指すにあたり必須となる最新の生命科学の知識を身に付けることを目標とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) タンパク質と酵素について説明できる。 2) 核酸の構造及び遺伝子発現について説明できる。 3) 細胞の構造及び細胞間・細胞内シグナル伝達系について説明できる。 4) 免疫系の基本的な仕組みを理解し、疾患との関わりやワクチンについて説明できる。 5) がんに関する基本的な事項を理解し、説明できる。 6) バイオテクノロジーとその医療応用について理解し、説明できる。 		
授業の位置づけ	最先端の医学・医療を学ぶ上で基礎となる生命科学の知識を身に付けると共に、自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、自律的学習能力と科学的探究心を養う。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP3：自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力 理学CⅠ：自律的学習能力と科学的探究心 放射CⅠ：自律的学習能力と科学的探究心		
履修上の注意、履修要件	生命科学は、創薬や新しい診断・治療法の開発など医療の発展にはなくてはならないものです。わからないことはそのままにせず、理解できるまで本で調べる、友人に聞く、先生に質問するなど、疑問の解決に努めて下さい。基礎生物学の内容を踏まえて講義を展開するため、高等学校で生物を学んでいない人は前期の基礎生物学も受講することが望ましいです。		
成績評価の方法			
評価方法	授業時間内に行う毎回行う小テスト(40%)と定期試験(60%)の結果を合わせて評価する。 場合により、定期試験をレポート試験に変更する可能性もある。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の各項目について、大学の教科書のレベルで説明することが出来る。 ・専門基礎科目を学ぶ上で必要となる生命科学の知識範囲を理解できているか。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業時間内に行った小テストの解答は次の授業の際に解説する。 小テストで理解が不十分だった項目に関しては、次の授業の際に詳しく補足説明する。			
テキスト			
理系総合のための生命科学 第5版	東京大学生命科学教科書編集委員会／編	羊土社	978-4-7581-2102-6
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを授業の時に配布する。 ・参考書（購入の必要はありませんが、参考図書として推奨します） 現代生命科学 第2版, 東京大学生命科学教科書編集委員会 編, 羊土社 ケイン基礎生物学, 上村慎治 監訳, 東京化学同人 ケイン生物学 第5版, 上村慎治 監訳, 東京化学同人 感染と免疫 第4版, 入村達郎, 伝田香里 監訳, 東京化学同人 免疫ペディア, 熊ノ郷淳／編, 羊土社 その他として図書館に備わっている生物学、生化学、分子生物学、免疫学、微生物学などの書籍 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付けます。 毎回の授業で実施する小テスト（Googleフォーム）にも質問欄を設けています。 随時、メールによる質問も可能です。ykamata@juntendo.ac.jp		
担当教員の実務経験			

備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	鎌田 弥生	<p>【生命科学の基本概念】</p> <p>生命科学の基本的概念を学ぶ。また、生物の基本構造や生物の増殖と恒常性維持の基礎的な事項を理解する。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおく。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、生命科学の概念や生物の系統分類について理解を深める。興味を持ったことは参考図書などでさらに詳しく調べてみよう。</p>
2	鎌田 弥生	<p>【タンパク質】</p> <p>タンパク質は細胞を構成する重要な有機化合物の一つで、あらゆる生命活動において重要な役割を果たしている。第2回はタンパク質の構造について学び、生体触媒である酵素についても理解を深める。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおく。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、タンパク質と酵素の基本事項について理解を深める。酵素の役割について、身近な具体例をあげて考えてみよう。</p>
3	鎌田 弥生	<p>【DNA複製・修復・遺伝子発現】</p> <p>生命の設計図であるDNAは親から子へと遺伝情報を伝える役割と、設計図が保有する遺伝情報を使って、細胞や個体の形や働きを実現する役割を持つ。第3回は核酸の構造やDNA複製と修復の巧妙な機構を理解すると共に、遺伝子発現の仕組みを学ぶ。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおく。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、核酸の基本事項とDNAの複製・修復について理解を深める。放射線や抗がん剤によるDNA損傷と修復の仕組みについて調べ、まとめておく。</p>
4	鎌田 弥生	<p>【遺伝子発現の制御】</p> <p>生物の遺伝情報はDNAの塩基配列にある。第4回は遺伝子の構造とクロマチンの構造を理解し、遺伝子の転写と翻訳、さらに遺伝子発現制御についても学ぶ。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおく。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、遺伝情報の転写から翻訳までの一連の流れについて理解を深める。原核生物と真核生物の遺伝子発現調節の相違点をまとめておく。</p>
5	鎌田 弥生	<p>【生体膜と細胞の構造】</p> <p>生体膜を構成する物質とその構造、原核細胞と真核細胞の基本的な違いについて理解する。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおく。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、生体膜の基本構造と膜輸送について理解を深める。細胞の構造と細胞内小器官の役割についてまとめておく。</p>
6	鎌田 弥生	<p>【細胞内物流システム・細胞運動】</p> <p>真核細胞の膜区画の間にみられる物質輸送システムを中心に、細胞内輸送の基本的な仕組みについて学び、物質の取り込みと分泌、細胞内における物質の消化などのメカニズムについても理解する。また、細胞骨格と細胞運動について理解を深める。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読んでおくこと。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、細胞内で合成されたタンパク質の輸送経路と細胞骨格について理解を深める。オートファジーとプロテアソームの違いについてまとめ、それぞれの役割について考える。</p>
7	鎌田 弥生	<p>【免疫-1】</p> <p>皮膚・気道・腸管などに備ったバリア機能による外部防御のメカニズムについて理解する。また、腸管免疫に関する動画を視聴し、外部防御について理解を深める。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読み、足りない部分は参考書等を読んで補うこと。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、免疫の基本概念と外部防御について復習する。なぜ腸内環境を整えると健康に良いと言われているのか、その理由について免疫の視点から考えてみる。</p>
8	鎌田 弥生	<p>【免疫-2】</p> <p>生体の初期防御システムである自然免疫の仕組みを理解する。講義後に行う小テストで理解度を確認する。</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読み、足りない部分は参考書等を読んで補うこと。</p> <p>【復習】（90分）</p> <p>教科書と配布資料を再読し、自然免疫の基本概念について理解を深める。自然免疫で中心的な役割を担う細胞についてまとめておく。必要に応じて参考図書を利用するとよい。</p>
9	鎌田 弥生	<p>【免疫-3】</p> <p>哺乳類の免疫系は過去に遭遇した病原体などの異物を記憶し、同じ異物に再び遭遇した際に初回より速やかに排除することができる。これを免疫記憶と呼び、環境に応じて獲得されることから、獲得免疫という。第9</p>	講義	<p>【予習】（90分）</p> <p>教科書の授業内容に相当する箇所を良く読み、足りない部分は参考書等を読んで補うこと。</p> <p>【復習】（90分）</p>

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	須藤 路子	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	須藤 路子		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を設定し、達成のための課題を実行する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。 Class PLは、Proficient Learners'Classである。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則、すべて英語で実施する。 2. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 3. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 4. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 </p>		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（Oral examination）（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral examination, Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアのについても全体指導と個人指導を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	旺文社編	旺文社	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、各回の授業において配布する。			

その他				
連絡先・オフィスアワー		[連絡先] msudou@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ること。		
担当教員の実務経験		学内TOEFL導入以来、TOEFL教育を実施 第二言語としての英語習得を専門とし、特に音声教育が専門 英語発音矯正講習等実施し、実験研究・論文多数		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	須藤路子	オリエンテーション、Introduction: overview, self-introductions TOEFLスコアによりクラス分けを実施する。授業目的、授業方法(基本、授業は英語で実施する)、シラバス、評価方法等を説明する。	原則、授業を全て英語で実施する。	(予習：90分) 学内TOEFLを受験する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 (復習：90分) TOEFL結果を分析し、学内受験2回目の目標設定をする。
2回目	須藤路子	Greetingsに関する表現を学習し、実践する。“How do you do?” “How's everything?” “Nice to meet you.” “Let me introduce you to my friend.”などの表現を学習し、実践する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 2を学習する。 TOEFL exercise: 動詞を学習する (復習：90分) TOEFL vocab: Day 1の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 品詞を復習する。
3回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 2を学習する TOEFL exercise: 動詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 2の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動詞を復習する。
4回目	須藤路子	What's your major? Schools で使う表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 3の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 句動詞 phrasal verbsを復習する。
5回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制(1)を学習する	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 4の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制を復習する。
6回目	須藤路子	What does she look like? Appearances に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 1-5を学習する。 TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 (復習：90分)

				TOEFL vocab: Day 5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制(2)を復習する。
7回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 1-5 vocab quiz TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 90分) TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 1-5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 主語と動詞の一致を復習する。
8回目	須藤路子	Let's take a trip! Travels に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 6 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 代名詞を復習する。
9回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
10回目	須藤路子	How about going out for dinner? Restaurants における表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
11回目	須藤路子	Reading exercise: newspapers 新聞の読み方を学習する。 TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation の為に収集したデータに基づき、テキストを作成する。 Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。 (復習: 90分) 新聞の読み方を復習する。 TOEFL vocab: Day 9 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 不定詞を復習する。
12回目	須藤路子	Oral presentations:新聞の記事に関してOral presentationを行う。 SS chapter: 6 Let's go shopping! Shopping に関する表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 2.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、誤答箇所を復習し、模試の準備をする。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 10の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動名詞を復習する。
13回目	須藤路子	TOEFL模試を実施する。 How are you feeling? Feelings に関する表現を学習する。	TOEFLのSection 1とSection 2を模試形式で実施する。	(予習: 1.5時間) Conversation for communicationの場面における会話ができるように、Oral examinationの準備をする。

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松原 理佐	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松原 理佐		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を設定し、達成のための課題を実行する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 </p>		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%), TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（Oral examination）（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral examination, Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについても全体指導と個人指導を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	旺文社編	旺文社	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、各回の授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモビア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] r.matsubara.oo@juntendo.ac.jp</p> <p>[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ることを。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>授業初回に予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりで大切に保管しておいてください。 TOEFL ITP Section 2 (文法問題) を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です (小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載)。 5月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が隔週であります (日程や時間帯は初回授業時に教員より通知)。こちらにも参加するようにしてください。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション、Introduction: overview, self-introductions, 英語の文法や単語の形の仕組み TOEFLスコアによりクラス分けを実施する。授業目的、授業方法(基本、授業は英語で実施する)、シラバス、評価方法等を説明する。	講義	<p>(予習：1.5時間) 学内TOEFLを受験する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。 TOEFL exercise: 品詞 を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL結果を分析し、学内受験 2 回目の目標設定をする。</p>
2回目	松原 理佐	Greetingsに関する表現を学習し、実践する。“How do you do?” “How's everything?” “Nice to meet you.” “Let me introduce you to my friend.” などの表現を学習し、実践する。 TOEFL exercise: 品詞 を学習する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2を学習する。 TOEFL exercise: 動詞 を学習する</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 品詞を復習する。</p>
3回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 2を学習する TOEFL exercise: 動詞 を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動詞 を復習する。</p>
4回目	松原 理佐	What's your major? Schools で使う表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4 を学習する。 TOEFL exercise: 時制を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 句動詞 phrasal verbsを復習する。</p>
5回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 4 を学習する。 TOEFL exercise: 時制(1)を学習する	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 5 を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制を復習する。</p>
6回目	松原 理佐	What does she look like? Appearances に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 5 を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5 を学習する。 TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間)</p>

				TOEFL vocab: Day 5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制(2)を復習する。
7回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 1-5 vocab quiz TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 主語と動詞の一致を復習する。
8回目	松原 理佐	Let's take a trip! Travels に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 代名詞を復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
10回目	松原 理佐	How about going out for dinner? Restaurants における表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
11回目	松原 理佐	Reading exercise: newspapers 新聞の読み方を学習する。 TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に収集したデータに基づき、テキストを作成する。 Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) 新聞の読み方を復習する。 TOEFL vocab: Day 9 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 不定詞を復習する。
12回目	松原 理佐	Oral presentations:新聞の記事に関してOral presentationを行う。 SS chapter: 6 Let's go shopping! Shopping に関する表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 2.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、誤答箇所を復習し、模試の準備をする。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 10の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動名詞を復習する。
13回目	松原 理佐	TOEFL模試を実施する。 How are you feeling? Feelings に関する表現を学習する。	TOEFLのSection 1とSection 2を模試形式で実施する。	(予習: 1.5時間) Conversation for communicationの場面における会話ができるように、Oral examinationの準備をする。

科目名	英語I		授業形態	講義
英語科目名	English I		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	松原 理佐		ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松原 理佐			
授業概要				
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を設定し、達成のための課題を実行する。 			
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 </p>			
成績評価の方法				
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（Oral examination）（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
Oral examination, Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについても全体指導と個人指導を実施する。				
テキスト				
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0	
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0	
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	旺文社編	旺文社	978-4-01-094192-8	
参考文献				
Handoutsは、各回の授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモビア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] r.matsubara.oo@juntendo.ac.jp</p> <p>[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ることを。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>授業初回到予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりで大切に保管しておいてください。 TOEFL ITP Section 2 (文法問題) を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です (小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載)。 5月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が隔週であります (日程や時間帯は初回授業時に教員より通知)。こちらにも参加するようにしてください。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション、Introduction: overview, self-introductions, 英語の文法や単語の形の仕組み TOEFLスコアによりクラス分けを実施する。授業目的、授業方法(基本、授業は英語で実施する)、シラバス、評価方法等を説明する。	講義	<p>(予習：1.5時間) 学内TOEFLを受験する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL結果を分析し、学内受験2回目の目標設定をする。</p>
2回目	松原 理佐	Greetingsに関する表現を学習し、実践する。“How do you do?” “How's everything?” “Nice to meet you.” “Let me introduce you to my friend.” などの表現を学習し、実践する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2を学習する。 TOEFL exercise: 動詞を学習する</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 品詞を復習する。</p>
3回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 2を学習する TOEFL exercise: 動詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動詞を復習する。</p>
4回目	松原 理佐	What's your major? Schools で使う表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 句動詞 phrasal verbsを復習する。</p>
5回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制(1)を学習する	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制を復習する。</p>
6回目	松原 理佐	What does she look like? Appearances に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5を学習する。 TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間)</p>

				TOEFL vocab: Day 5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制(2)を復習する。
7回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 1-5 vocab quiz TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 主語と動詞の一致を復習する。
8回目	松原 理佐	Let's take a trip! Travels に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 代名詞を復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
10回目	松原 理佐	How about going out for dinner? Restaurants における表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
11回目	松原 理佐	Reading exercise: newspapers 新聞の読み方を学習する。 TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に収集したデータに基づき、テキストを作成する。 Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) 新聞の読み方を復習する。 TOEFL vocab: Day 9 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 不定詞を復習する。
12回目	松原 理佐	Oral presentations:新聞の記事に関してOral presentationを行う。 SS chapter: 6 Let's go shopping! Shopping に関する表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 2.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、誤答箇所を復習し、模試の準備をする。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 10の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動名詞を復習する。
13回目	松原 理佐	TOEFL模試を実施する。 How are you feeling? Feelings に関する表現を学習する。	TOEFLのSection 1とSection 2を模試形式で実施する。	(予習: 1.5時間) Conversation for communicationの場面における会話ができるように、Oral examinationの準備をする。

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation) Oral examination (20%),		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題(小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター(林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版36冊。 専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
			予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	松本恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義	【予習】 (90分) 【復習】 (90分) TOEFL学習の計画を立てる
2	松本恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本恵美子	模擬テスト	講義	予習90分 復習90分
9	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習

科目名	英語I	授業形態	講義	
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	2単位	
代表教員	吉岡 貴雄	ナンバリング	BAP1200/BAR1200	
担当教員	吉岡 貴雄			
授業概要				
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。			
到達目標	アカデミックな英語の技術を試すTOEFL ITPにおいて450点が獲得できるレベルの設問を解き、文法、リスニング各セクションに慣れる。文法のStructureセクション、リスニングのショートカンパセーションにおいて設問タイプが認識でき、対応できるようになる。複数文節の文章を理解し、英語独特の音のつながりを聞き取り、TOEFL特有のアカデミックな語彙の習得することを目指す。			
授業の位置づけ	TOEFLの得点と、TOEFLで用いられる学術的な英語は、学生の今後の学業や仕事の幅をひろげてくれるツールになることを忘れず授業を行います。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1			
履修上の注意、履修要件	授業で求められた事柄には積極的に取り組んでください。TOEFLの得点を向上させるという目標を強く持ってください。			
成績評価の方法				
評価方法	語彙クイズ30%、定期テスト(復習テスト) 30%、プレゼンテーション10%、TOEFLテスト30%			
評価基準	語彙クイズ、復習テストで規定以上の成績をおさめる。 TOEFLテストで年度初めの結果より上昇させる。 (それぞれの規定点数は授業で説明する)			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内で返却し、必要な箇所を復習します。更に復習を奨励します。				
テキスト				
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂		
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功, 秋本 陽二	Jリサーチ出版		
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略				
参考文献				
その他のクラス教材は担当者が用意します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	ありません。授業の前後に質問を受けることは可能です。また、質問は教員の宿題として責任をもって取り組みます			
担当教員の実務経験	アメリカの大学、大学院修了。TOEFL PBT、TOEFL iBT受験経験。TOEFL準備講座担当10年以上。			
備考	スケジュール等の変更がある場合は授業中に行ないます。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	吉岡 貴雄	【初回オリエンテーション】 TOEFL概要、Structure、リスニングセクション演習、語彙学習説明	講義	【予習】 (90分) TOEFLのテスト構成と語彙を学習【復習】 (90分) 語彙復習
2	吉岡 貴雄	語彙クイズ、Structureセクション、ショートカンパセーションセクション演習	講義	【予習】 (120分) 語彙クイズ準備、語彙暗記 (英語から日本語の意味が分かるように、英語の音から日本語の意味が分かるように)

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	須藤 路子	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	須藤 路子		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を設定し、達成のための課題を実行する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。 Class PLは、Proficient Learners'Classである。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則、すべて英語で実施する。 2. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 3. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 4. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（Oral examination）（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral examination, Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアのについても全体指導と個人指導を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	旺文社編	旺文社	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、各回の授業において配布する。			

その他				
連絡先・オフィスアワー		[連絡先] msudou@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取る。		
担当教員の実務経歴		学内TOEFL導入以来、TOEFL教育を実施 第二言語としての英語習得を専門とし、特に音声教育が専門 英語発音矯正講習等実施し、実験研究・論文多数		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	須藤路子	オリエンテーション、Introduction: overview, self-introductions TOEFLスコアによりクラス分けを実施する。授業目的、授業方法(基本、授業は英語で実施する)、シラバス、評価方法を説明する。	原則、授業を全て英語で実施する。	(予習：90分) 学内TOEFLを受験する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 (復習：90分) TOEFL結果を分析し、学内受験2回目の目標設定をする。
2回目	須藤路子	Greetingsに関する表現を学習し、実践する。“How do you do?” “How's everything?” “Nice to meet you.” “Let me introduce you to my friend.”などの表現を学習し、実践する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 2を学習する。 TOEFL exercise: 動詞を学習する (復習：90分) TOEFL vocab: Day 1の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 品詞を復習する。
3回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 2を学習する TOEFL exercise: 動詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 2の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動詞を復習する。
4回目	須藤路子	What's your major? Schools で使う表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 3の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 句動詞 phrasal verbsを復習する。
5回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制(1)を学習する	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。 (復習：90分) TOEFL vocab: Day 4の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制を復習する。
6回目	須藤路子	What does she look like? Appearances に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：90分) TOEFL vocab: Day 1-5を学習する。 TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 (復習：90分)

				TOEFL vocab: Day 5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制(2)を復習する。
7回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 1-5 vocab quiz TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 90分) TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 1-5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 主語と動詞の一致を復習する。
8回目	須藤路子	Let's take a trip! Travels に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 6 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 代名詞を復習する。
9回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
10回目	須藤路子	How about going out for dinner? Restaurants における表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。 (復習: 90分) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
11回目	須藤路子	Reading exercise: newspapers 新聞の読み方を学習する。 TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 90分) Oral presentation の為に収集したデータに基づき、テキストを作成する。 Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。 (復習: 90分) 新聞の読み方を復習する。 TOEFL vocab: Day 9 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 不定詞を復習する。
12回目	須藤路子	Oral presentations:新聞の記事に関してOral presentationを行う。 SS chapter: 6 Let's go shopping! Shopping に関する表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 2.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、誤答箇所を復習し、模試の準備をする。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 10の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動名詞を復習する。
13回目	須藤路子	TOEFL模試を実施する。 How are you feeling? Feelings に関する表現を学習する。	TOEFLのSection 1とSection 2を模試形式で実施する。	(予習: 1.5時間) Conversation for communicationの場面における会話ができるように、Oral examinationの準備をする。

科目名	英語I		授業形態	講義
英語科目名	English I		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	松原 理佐		ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松原 理佐			
授業概要				
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を設定し、達成のための課題を実行する。 			
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 </p>			
成績評価の方法				
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（Oral examination）（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
Oral examination, Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについても全体指導と個人指導を実施する。				
テキスト				
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0	
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0	
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	旺文社編	旺文社	978-4-01-094192-8	
参考文献				
Handoutsは、各回の授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモビア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] r.matsubara.oo@juntendo.ac.jp</p> <p>[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ること。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>授業初回到予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりで大切に保管しておいてください。 TOEFL ITP Section 2 (文法問題) を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です (小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載)。 5月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が隔週であります (日程や時間帯は初回授業時に教員より通知)。こちらにも参加するようにしてください。</p>			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション、Introduction: overview, self-introductions, 英語の文法や単語の形の仕組み TOEFLスコアによりクラス分けを実施する。授業目的、授業方法(基本、授業は英語で実施する)、シラバス、評価方法等を説明する。	講義	<p>(予習：1.5時間) 学内TOEFLを受験する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL結果を分析し、学内受験2回目の目標設定をする。</p>
2回目	松原 理佐	Greetingsに関する表現を学習し、実践する。“How do you do?” “How's everything?” “Nice to meet you.” “Let me introduce you to my friend.” などの表現を学習し、実践する。 TOEFL exercise: 品詞を学習する。 TOEFL vocab: Day 1を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2を学習する。 TOEFL exercise: 動詞を学習する</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 品詞を復習する。</p>
3回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 2を学習する TOEFL exercise: 動詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 2の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動詞を復習する。</p>
4回目	松原 理佐	What's your major? Schools で使う表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 3を学習する。 TOEFL exercise: 句動詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 3の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 句動詞 phrasal verbsを復習する。</p>
5回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 4を学習する。 TOEFL exercise: 時制(1)を学習する	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 4の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制を復習する。</p>
6回目	松原 理佐	What does she look like? Appearances に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 5を学習する。 TOEFL exercise: 時制(2)を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	<p>(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5を学習する。 TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。</p> <p>(復習：1.5時間)</p>

				TOEFL vocab: Day 5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 時制(2)を復習する。
7回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 1-5 vocab quiz TOEFL exercise: 主語と動詞の一致を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-5 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 主語と動詞の一致を復習する。
8回目	松原 理佐	Let's take a trip! Travels に関する表現を学習し、実践する。 TOEFL vocab: Day 6 を学習する。 TOEFL exercise: 代名詞を学習する。 TOEFL 11 Patternsをグループで作成する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。 グループワークを実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 6 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 代名詞を復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 7 を学習する。 TOEFL exercise: 名詞・冠詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
10回目	松原 理佐	How about going out for dinner? Restaurants における表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 8 を学習する。 TOEFL exercise: 前置詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 7 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 名詞・冠詞を復習する。
11回目	松原 理佐	Reading exercise: newspapers 新聞の読み方を学習する。 TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 9 を学習する。 TOEFL exercise: 不定詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に収集したデータに基づき、テキストを作成する。 Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。 (復習: 1.5時間) 新聞の読み方を復習する。 TOEFL vocab: Day 9 の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 不定詞を復習する。
12回目	松原 理佐	Oral presentations:新聞の記事に関してOral presentationを行う。 SS chapter: 6 Let's go shopping! Shopping に関する表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 10を学習する。 TOEFL exercise: 動名詞を学習する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 2.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、誤答箇所を復習し、模試の準備をする。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 10の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 動名詞を復習する。
13回目	松原 理佐	TOEFL模試を実施する。 How are you feeling? Feelings に関する表現を学習する。	TOEFLのSection 1とSection 2を模試形式で実施する。	(予習: 1.5時間) Conversation for communicationの場面における会話ができるように、Oral examinationの準備をする。

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation)		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題(小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター(林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版40冊。 専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
			予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	松本恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義	【予習】 (90分) 【復習】 (90分) TOEFL学習の計画を立てる
2	松本恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本恵美子	模擬テスト	講義	予習90分 復習90分
9	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習

科目名	英語I	授業形態	講義
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1200/BAR1200
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	Oral examination (20%), Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(50%),TOEFLスコア(20%), Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation) Oral examination (20%),		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題 (小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター (林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版36冊。 専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
			予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	松本恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義	【予習】 (90分) 【復習】 (90分) TOEFL学習の計画を立てる
2	松本恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本恵美子	模擬テスト	講義	予習90分 復習90分
9	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習

科目名	英語I	授業形態	講義	
英語科目名	English I	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	2単位	
代表教員	吉岡 貴雄	ナンバリング	BAP1200/BAR1200	
担当教員	吉岡 貴雄			
授業概要				
全体内容	本講義は、社会で活躍できる英語力を養成することを目標にする。具体的には、学内で実施されるTOEFL受験に対応できる英語の基礎を確立する入門クラスである。TOEFLは医療機関での資格認定に利用できる試験であり、問題のレベルは日本人にはかなり高度である。英語の講義を聞く、文献を読む、英語で答える際に不可欠なスキルであるListening, Reading, Writingの力をチェックする試験である。本講義は、Listening, Readingを重視し、TOEFL受験に慣れるため読解に不可欠な文法の基礎を含め語彙の拡充を目指す。リスニングは容易なレベルからスタートしレベルアップを図り、実力向上を目指す。授業では語彙テストの他に、英語で書く簡単なWritingの課題も含め、コミュニケーション力の向上を目指す。			
到達目標	アカデミックな英語の技術を試すTOEFL ITPにおいて450点が獲得できるレベルの設問を解き、文法、リスニング各セクションに慣れる。文法のStructureセクション、リスニングのショートカンパセーションにおいて設問タイプが認識でき、対応できるようになる。複数文節の文章を理解し、英語独特の音のつながりを聞き取り、TOEFL特有のアカデミックな語彙の習得することを目指す。			
授業の位置づけ	TOEFLの得点と、TOEFLで用いられる学術的な英語は、学生の今後の学業や仕事の幅をひろげてくれるツールになることを忘れず授業を行います。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1			
履修上の注意、履修要件	授業で求められた事柄には積極的に取り組んでください。TOEFLの得点を向上させるという目標を強く持ってください。			
成績評価の方法				
評価方法	語彙クイズ30%、定期テスト(復習テスト) 30%、プレゼンテーション10%、TOEFLテスト30%			
評価基準	語彙クイズ、復習テストで規定以上の成績をおさめる。 TOEFLテストで年度初めの結果より上昇させる。 (それぞれの規定点数は授業で説明する)			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内で返却し、必要な箇所を復習します。更に復習を奨励します。				
テキスト				
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂		
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功, 秋本 陽二	Jリサーチ出版		
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略				
参考文献				
その他のクラス教材は担当者が用意します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	ありません。授業の前後に質問を受けることは可能です。また、質問は教員の宿題として責任をもって取り組みます			
担当教員の実務経験	アメリカの大学、大学院修了。TOEFL PBT、TOEFL iBT受験経験。TOEFL準備講座担当10年以上。			
備考	スケジュール等の変更がある場合は授業中に行ないます。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	吉岡 貴雄	【初回オリエンテーション】 TOEFL概要、Structure、リスニングセクション演習、語彙学習説明	講義	【予習】 (90分) TOEFLのテスト構成と語彙を学習【復習】 (90分) 語彙復習
2	吉岡 貴雄	語彙クイズ、Structureセクション、ショートカンパセーションセクション演習	講義	【予習】 (120分) 語彙クイズ準備、語彙暗記 (英語から日本語の意味が分かるように、英語の音から日本語の意味が分かるように)

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	須藤 路子	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	須藤 路子		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を達成する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。 Class PLは、Proficient Learners'Classである。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則、すべて英語で実施する。 2. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 3. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 4. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. グローバルスタンダードにより、英語習熟度を測定する。また、シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについては、クラス全体に対し、その評価を説明し、併せて個人面談を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆で単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	(旺文社編)	(旺文社)	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、授業において配布する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー		[連絡先] msudou@juntendo.ac.jp		
		[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外ははアポイントを取ることを。		
担当教員の実務経験		学内TOEFL導入以来、TOEFL教育を実施 第二言語としての英語習得を専門とし、特に音声教育が専門 英語発音矯正講習等実施し、実験研究・論文多数		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	須藤路子	オリエンテーション。 後期の授業についての説明と解説を行う。	原則、授業を全て英語で実施する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 14を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。 (復習：1.5時間) 授業内容を復習する。
2回目	須藤路子	TOEFL listening exercisenを実施する。 TOEFL vocab: Day 15を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 会話をペアワークにより行う。また、口頭により学習した英語表現を質疑応答する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 15の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 比較を復習する。
3回目	須藤路子	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 否定を復習する。
4回目	須藤路子	English in movies 映画を鑑賞し、口語表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使用した口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 17を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 受動態を復習する。
5回目	須藤路子	TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 TOEFL Listening Section	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞 を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使用した口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 18を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 関係詞を復習する。
6回目	須藤路子	[授業内容] TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞 を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙 を学習する。 (復習：1.5時間)

				TOEFL vocab: Day 19を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 接続詞を復習する。
7回目	須藤路子	[授業内容] TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 15-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 語彙を復習する。
8回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz 15-20 TOEFL exerciseを実施する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を復習する。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
9回目	須藤路子	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz TOEFL exerciseを実施する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	[予習: 1.5時間] Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Academic words (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
10回目	須藤路子	自分が選んだテーマに関し、講義形式のpresentationを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
11回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、模試の準備をする。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
12回目	須藤路子	TOEFL 模試のListening Comprehensionを実施し、解説を行う。 TOEFL vocab quiz: Academic wordsを学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。 リスニング・スピーキング練習を行い、グループワークで正答の確認を行う。	(予習: 2時間) TOEFL 模試 Section 2 (Structure and Written Expression), Section 3 (Reading Comprehension) を自分で解答してくる。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL模試の誤答を学習する。
13回目	須藤路子	Writing exercise: CV writingを実施する。 TOEFL 模試の解答をチェックする。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークでCVを作成し、ペアにフィードバックし、再度ペアで修正を実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL模試のSection 2 (配布分) を各自解答してくる。 (復習: 1.5時間) 授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。
14回目	須藤路子	Pronunciation Clinicを実施する。 「伝わる英語の話し方」の英語発音訓練を実施する。	スピーチサイエンスに理論に基づく発音矯正の講義を行い、実際に音声を生成する。	予習1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべてのLessonを復習する。
15回目	須藤路子	Evaluation と英語学習法について説明する。	学内TOEFL2回目の結果をもとに、英語コミュニケーション力の向上について	予習1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべての

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松原 理佐	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松原 理佐		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を達成する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. グローバルスタンダードにより、英語習熟度を測定する。また、シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況进行评估する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについては、クラス全体に対し、その評価を説明し、併せて個人面談を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	(旺文社編)	(旺文社)	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモビア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー		[連絡先] @juntendo.ac.jp		
		[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ることを。		
担当教員の実務経験				
備考 授業初回到予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりまで大切に保管しておいてください。 前学期に引き続き、TOEFL ITP Section 2（文法問題）を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です（小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載）。 10月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が毎週あります（日程や時間帯は初回授業時に教員より通知）。こちらにも参加するようにしてください。				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション。 後期の授業についての説明と解説を行う。		(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 14を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。 (復習：1.5時間) 授業内容を復習する。
2回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 15を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。	会話をペアワークにより行う。また、口頭により学習した英語表現を質疑応答する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 15の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 比較を復習する。
3回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 否定を復習する。
4回目	松原 理佐	English in movies 映画を鑑賞し、口語表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 17を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 受動態を復習する。
5回目	松原 理佐	TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 TOEFL Listening Section	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 18を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 関係詞を復習する。
6回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。 (復習：1.5時間)

				TOEFL vocab: Day 19を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 接続詞を復習する。
7回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 15-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 語彙を復習する。
8回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz 15-20 TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を復習する。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	[予習: 1.5時間] Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Academic words (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
10回目	松原 理佐	自分が選んだテーマに関し、講義形式のpresentationを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
11回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、模試の準備をする。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
12回目	松原 理佐	TOEFL 模試のListening Comprehensionを実施し、解説を行う。 TOEFL vocab quiz: Academic wordsを学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、グループワークで正答の確認を行う。	(予習: 2時間) TOEFL 模試 Section 2 (Structure and Written Expression), Section 3 (Reading Comprehension) を自分で解答してくる。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL模試の誤答を学習する。
13回目	松原 理佐	Writing exercise: CV writingを実施する。 TOEFL 模試の解答をチェックする。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークでCVを作成し、ペアにフィードバックし、再度ペアで修正を実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL模試のSection 2 (配布分) を各自解答してくる。 (復習: 1.5時間) 授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。
14回目	松原 理佐	Pronunciation Clinicを実施する。 「伝わる英語の話し方」の英語発音訓練を実施する。	スピーチサイエンスに理論に基づく発音矯正の講義を行い、実際に音声を生産する。	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべてのLessonを復習する。
15回目	松原 理佐	Evaluation と英語学習法について説明する。	学内TOEFL2回目の結果をもとに、英語コミュニケーション力の向上について	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべての

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松原 理佐	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松原 理佐		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を達成する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. グローバルスタンダードにより、英語習熟度を測定する。また、シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況进行评估する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについては、クラス全体に対し、その評価を説明し、併せて個人面談を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	(旺文社編)	(旺文社)	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモピア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー		[連絡先] @juntendo.ac.jp		
		[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ることを。		
担当教員の実務経験				
備考 授業初回に予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりまで大切に保管しておいてください。 前学期に引き続き、TOEFL ITP Section 2（文法問題）を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です（小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載）。 10月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が毎週あります（日程や時間帯は初回授業時に教員より通知）。こちらにも参加するようにしてください。				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション。 後期の授業についての説明と解説を行う。		(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 14を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。 (復習：1.5時間) 授業内容を復習する。
2回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 15を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。	会話をペアワークにより行う。また、口頭により学習した英語表現を質疑応答する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 15の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 比較を復習する。
3回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 否定を復習する。
4回目	松原 理佐	English in movies 映画を鑑賞し、口語表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 17を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 受動態を復習する。
5回目	松原 理佐	TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 TOEFL Listening Section	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 18を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 関係詞を復習する。
6回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。 (復習：1.5時間)

				TOEFL vocab: Day 19を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 接続詞を復習する。
7回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 15-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 語彙を復習する。
8回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz 15-20 TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を復習する。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	[予習: 1.5時間] Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Academic words (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
10回目	松原 理佐	自分が選んだテーマに関し、講義形式のpresentationを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
11回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、模試の準備をする。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
12回目	松原 理佐	TOEFL 模試のListening Comprehensionを実施し、解説を行う。 TOEFL vocab quiz: Academic wordsを学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、グループワークで正答の確認を行う。	(予習: 2時間) TOEFL 模試 Section 2 (Structure and Written Expression), Section 3 (Reading Comprehension) を自分で解答してくる。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL模試の誤答を学習する。
13回目	松原 理佐	Writing exercise: CV writingを実施する。 TOEFL 模試の解答をチェックする。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークでCVを作成し、ペアにフィードバックし、再度ペアで修正を実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL模試のSection 2 (配布分) を各自解答してくる。 (復習: 1.5時間) 授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。
14回目	松原 理佐	Pronunciation Clinicを実施する。 「伝わる英語の話し方」の英語発音訓練を実施する。	スピーチサイエンスに理論に基づく発音矯正の講義を行い、実際に音声を生成する。	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべてのLessonを復習する。
15回目	松原 理佐	Evaluation と英語学習法について説明する。	学内TOEFL2回目の結果をもとに、英語コミュニケーション力の向上について	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべての

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation) TOEFLスコア 60%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題 (小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター (林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版36冊。専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	松本 恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義
			予習・復習・レポート課題等と学習時間
			【予習】(90分) 【復習】(90分) TOEFL学習の計画を立てる

2	松本 恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本 恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本 恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本 恵美子	模擬テスト	講義	予習 90分 予習 90分
9	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
15	松本 恵美子	復習テスト	講義	

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	吉岡 貴雄	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	吉岡 貴雄		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	アカデミックな英語の技術を試すTOEFL ITPにおいて480～500点が獲得できるレベルの設問を解き、文法、リスニング、リーディング各セクションへの対応法を磨く。文法、リスニングは前期の発展形式の設問に、リーディングはロングパッセージに取り組む。英語の感覚を高め、テストに活かす。TOEFL特有のアカデミックな語彙を分野別に学び、確実に増やす。		
授業の位置づけ	TOEFLの得点と、TOEFLで用いられる学術的な英語は、学生の今後の学業や仕事の幅をひろげてくれるツールになることを忘れず授業を行います。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	授業で求められた事柄には積極的に取り組んでください。TOEFLの得点を向上させるという目標を強く持ってください。		
成績評価の方法			
評価方法	語彙クイズ20%、定期テスト(復習テスト)+プレゼンテーション20%、TOEFLテスト60%		
評価基準	語彙クイズ、復習テストで規定以上の成績をおさめる。 TOEFLテストで年度初めの結果より上昇させる。 (それぞれの規定点数は授業で説明する)		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内で返却し、必要な箇所を復習します。更に復習を奨励します。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功, 秋本 陽二	Jリサーチ出版	
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
その他のクラス教材は担当者が用意します。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	ありません。授業の前後に質問を受けることは可能です。また、質問は教員の宿題として責任をもって取り組みます		
担当教員の実務経験	アメリカの大学、大学院修了。TOEFL PBT、TOEFL iBT受験経験。TOEFL準備講座担当10年以上。		
備考	スケジュール等の変更がある場合は授業中に行ないます。		
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	吉岡 貴雄	【初回オリエンテーション】クラス概要、夏季語彙課題確認テスト、リスニング、リーディングセクション演習	講義
			予習・復習・レポート課題等と学習時間
			【予習】語彙復習テスト準備(120分)【復習】(90分)語彙復習

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	須藤 路子	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	須藤 路子		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を達成する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。 Class PLは、Proficient Learners'Classである。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則、すべて英語で実施する。 2. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 3. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 4. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. グローバルスタンダードにより、英語習熟度を測定する。また、シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況を評価する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについては、クラス全体に対し、その評価を説明し、併せて個人面談を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆で単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	(旺文社編)	(旺文社)	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、授業において配布する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー		[連絡先] msudou@juntendo.ac.jp [オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外ははアポイントを取ることを。		
担当教員の実務経験		学内TOEFL導入以来、TOEFL教育を実施 第二言語としての英語習得を専門とし、特に音声教育が専門 英語発音矯正講習等実施し、実験研究・論文多数		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	須藤路子	オリエンテーション。 後期の授業についての説明と解説を行う。	原則、授業を全て英語で実施する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 14を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。 (復習：1.5時間) 授業内容を復習する。
2回目	須藤路子	TOEFL listening exercisenを実施する。 TOEFL vocab: Day 15を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 会話をペアワークにより行う。また、口頭により学習した英語表現を質疑応答する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 15の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 比較を復習する。
3回目	須藤路子	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 否定を復習する。
4回目	須藤路子	English in movies 映画を鑑賞し、口語表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使用した口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 17を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 受動態を復習する。
5回目	須藤路子	TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 TOEFL Listening Section	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞 を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使用した口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 18を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 関係詞を復習する。
6回目	須藤路子	[授業内容] TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞 を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙 を学習する。 (復習：1.5時間)

				TOEFL vocab: Day 19を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 接続詞を復習する。
7回目	須藤路子	[授業内容] TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 15-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 語彙を復習する。
8回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz 15-20 TOEFL exerciseを実施する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を復習する。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
9回目	須藤路子	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz TOEFL exerciseを実施する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	[予習: 1.5時間] Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Academic words (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
10回目	須藤路子	自分が選んだテーマに関し、講義形式のpresentationを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
11回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、模試の準備をする。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
12回目	須藤路子	TOEFL 模試のListening Comprehensionを実施し、解説を行う。 TOEFL vocab quiz: Academic wordsを学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。 リスニング・スピーキング練習を行い、グループワークで正答の確認を行う。	(予習: 2時間) TOEFL 模試 Section 2 (Structure and Written Expression), Section 3 (Reading Comprehension) を自分で解答してくる。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL模試の誤答を学習する。
13回目	須藤路子	Writing exercise: CV writingを実施する。 TOEFL 模試の解答をチェックする。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークでCVを作成し、ペアにフィードバックし、再度ペアで修正を実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL模試のSection 2 (配布分) を各自解答してくる。 (復習: 1.5時間) 授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。
14回目	須藤路子	Pronunciation Clinicを実施する。 「伝わる英語の話し方」の英語発音訓練を実施する。	スピーチサイエンスに理論に基づく発音矯正の講義を行い、実際に音声を生成する。	予習1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべてのLessonを復習する。
15回目	須藤路子	Evaluation と英語学習法について説明する。	学内TOEFL2回目の結果をもとに、英語コミュニケーション力の向上について	予習1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべての

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松原 理佐	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松原 理佐		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で基礎的なプレゼンテーションを実施できる。 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解できる。 3. 英語として適切な表現を使用し、実践的なコミュニケーションができる。 4. TOEFLスコアの目標値を達成する。 		
授業の位置づけ	グローバル社会で活躍するための基礎となる英語コミュニケーション力を習得し、グローバル人材としての異文化への理解を身に付ける。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修要件] 学内TOEFL受験のスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年に回実施されるTOEFL学内受験を受験し、15%以上のスコアアップを目指す。 2. 単語数について、40%以上の増加を目指す。 3. 受講者の習熟度に応じて、標準として定める時間以上の学習を必要とする場合がある。 		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。（Presentation） 2. グローバルスタンダードにより、英語習熟度を測定する。また、シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。（TOEFLスコア） 3. 授業における回答（Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む）によって取り組み状況进行评估する。（Class participation） 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Oral presentationの評価は、授業にて提示し、改善点を解説・指導する。TOEFLスコアについては、クラス全体に対し、その評価を説明し、併せて個人面談を実施する。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	978-4-523-17734-0
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功・秋本 陽二	Jリサーチ出版	978-4-86392-413-0
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略	(旺文社編)	(旺文社)	978-4-01-094192-8
参考文献			
Handoutsは、授業において配布する。 また、参考図書として『最強のTOEFL ITP®テスト文法問題攻略』 上原雅子 著 コスモビア ISBN: 978-4-86454-173-2 を推奨する。			
その他			

連絡先・オフィスアワー		[連絡先] @juntendo.ac.jp		
		[オフィスアワー] 火曜日12:15-12:45 3:00-3:30 上記以外はアポイントを取ることを。		
担当教員の実務経験				
備考 授業初回に予定表を配ります。基本これに従って授業を進めるので、学期の終わりまで大切に保管しておいてください。 前学期に引き続き、TOEFL ITP Section 2（文法問題）を特に重点的に強化します。Freshman Test等の問題演習は、必ず時間を測ってください。 初回・単語や文法の小テストのある回・前期最終回以外はzoomでのオンライン授業です（小テスト回は初回授業で配布する予定表に記載）。 10月から、Study Groupと呼ばれるzoomでの課外授業が毎週あります（日程や時間帯は初回授業時に教員より通知）。こちらにも参加するようにしてください。				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1回目	松原 理佐	オリエンテーション。 後期の授業についての説明と解説を行う。		(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 14を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。 (復習：1.5時間) 授業内容を復習する。
2回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 15を学習する。 TOEFL exercise: 比較を学習する。	会話をペアワークにより行う。また、口頭により学習した英語表現を質疑応答する。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 15の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 比較を復習する。
3回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 16を学習する。 TOEFL exercise: 否定を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。 (復習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 16の単語を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 否定を復習する。
4回目	松原 理佐	English in movies 映画を鑑賞し、口語表現を学習する。 TOEFL vocab: Day 17を学習する。 TOEFL exercise: 受動態を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 17を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 受動態を復習する。
5回目	松原 理佐	TOEFL vocab: Day 18を学習する。 TOEFL exercise: 関係詞を学習する。 TOEFL Listening Section	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。 (復習：1.5時間) 映画で使った口語表現を学習する。授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。 TOEFL vocab: Day 18を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 関係詞を復習する。
6回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Day 19を学習する。 TOEFL exercise: 接続詞を学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習：1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。 (復習：1.5時間)

				TOEFL vocab: Day 19を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 接続詞を復習する。
7回目	松原 理佐	[授業内容] TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Day 20を学習する。 TOEFL exercise: 語彙を学習する。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 15-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 20を覚える。 授業で配布されるTOEFL exercise: 語彙を復習する。
8回目	須藤路子	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz 15-20 TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Day 1-20を復習する。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
9回目	松原 理佐	TOEFL exercise: Structure and written expressionを実施する。 TOEFL vocab: Vocab quiz TOEFL exerciseを実施する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	[予習: 1.5時間] Oral presentation のテーマを設定し、そのためのデータ、情報をインターネット、雑誌、新聞等から収集する。 TOEFL vocab: Academic words (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
10回目	松原 理佐	自分が選んだテーマに関し、講義形式のpresentationを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。	パワーポイントを使用し、英語でプレゼンテーションを行う。聞いている学生は、発表者のプレゼンテーションの評価を行い、提出する。評価基準は、授業時提示する。	(予習: 1.5時間) Oral presentation の為に作成したテキストを基に、発音、delivery等を練習する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
11回目	松原 理佐	TOEFL listening exerciseを実施する。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 TOEFL exerciseを実施する。 ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、正答の確認を行う。	(予習: 1.5時間) TOEFL exercise のテキストを使用し、模試の準備をする。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL vocab: Academic wordsを覚える。 授業で配布されるTOEFL exerciseを復習する。
12回目	松原 理佐	TOEFL 模試のListening Comprehensionを実施し、解説を行う。 TOEFL vocab quiz: Academic wordsを学習する。	ペアワークで課題の会話を行う。リスニング・スピーキング練習を行い、グループワークで正答の確認を行う。	(予習: 2時間) TOEFL 模試 Section 2 (Structure and Written Expression), Section 3 (Reading Comprehension) を自分で解答してくる。 TOEFL vocab: Academic wordsを学習する。 (復習: 1.5時間) TOEFL模試の誤答を学習する。
13回目	松原 理佐	Writing exercise: CV writingを実施する。 TOEFL 模試の解答をチェックする。	原則、授業を全て英語で実施する。 ペアワークでCVを作成し、ペアにフィードバックし、再度ペアで修正を実施する。	(予習: 1.5時間) TOEFL模試のSection 2 (配布分) を各自解答してくる。 (復習: 1.5時間) 授業で配布されるTOEFL exerciseを行う。
14回目	松原 理佐	Pronunciation Clinicを実施する。 「伝わる英語の話し方」の英語発音訓練を実施する。	スピーチサイエンスに理論に基づく発音矯正の講義を行い、実際に音声を生成する。	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべてのLessonを復習する。
15回目	松原 理佐	Evaluation と英語学習法について説明する。	学内TOEFL2回目の結果をもとに、英語コミュニケーション力の向上について	予習: 1.5時間 (復習: 1.5時間) Vocab exercise, Conversation for communication, TOEFL exercise のすべての

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation) TOEFLスコア 60%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題 (小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター (林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版40冊。専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	松本 恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義
			予習・復習・レポート課題等と学習時間
			【予習】(90分) 【復習】(90分) TOEFL学習の計画を立てる

2	松本 恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本 恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本 恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本 恵美子	模擬テスト	講義	予習 90分 予習 90分
9	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
15	松本 恵美子	復習テスト	講義	

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	松本 恵美子	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	松本 恵美子		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。		
到達目標	1.医療用語を含んだ語彙をTOEFL学習を通じて豊かにする 2.様々な活動を通じてリスニングの底力を養う 3.医療、健康などのテーマの素材を用い、英語の構造を確認し、読解力を養う		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	授業で行う活動には積極的に参加すること。		
成績評価の方法			
評価方法	TOEFLスコア(60%),Class participation (Vocab quizzes, TOEFL confirmation tests, TOEFL exercisesを含む)(30%),Presentation(10%)で評価する。 詳細は、クラスのオリエンテーションにおいて提示する。		
評価基準	1. 英語でプレゼンテーションを行い、内容を相手に理解させることができる。(Presentation) 2. シチュエーションごとに基礎的な会話を理解し、英語として適切な表現で実践的なコミュニケーションができる。(Oral examination) (TOEFLスコア) 3. 授業における回答 (Vocab quizzesとTOEFL exercisesの評価を含む) によって取り組み状況を評価する。(Class participation) TOEFLスコア 60%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて個人面談を行います。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題			
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター			
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
1. A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題 (小中 秀彦, 南雲堂, 2013) 2. TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター (林 功, 秋本 陽二, Jリサーチ出版, 2018)			
その他			
連絡先・オフィスアワー	教員にアポイントを取ってください。		
担当教員の実務経験	大学生用英語教科書の執筆、監修。TOEIC, TOEFL, IELTS等資格試験対策本、出版40冊。専門は言語テスト、英語教授法、TESOL。現在の研究分野は医療英語のカリキュラム開発。		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	松本 恵美子	TOEFL(Test of English as a Foreign Language)とTOEFL ITP (TOEFL Institutional Test Program)の概要について。オリエンテーション、TOEFL学習方法、目標の設定。	講義
			予習・復習・レポート課題等と学習時間
			【予習】(90分) 【復習】(90分) TOEFL学習の計画を立てる

2	松本 恵美子	単語テスト Listening PartA (短い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
3	松本 恵美子	単語テスト Listening PartB (長い会話問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
4	松本 恵美子	単語テスト Listening PartC (講義問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
5	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
6	松本 恵美子	単語テスト Structure & Written Expression 演習	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
7	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (指示語に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
8	松本 恵美子	模擬テスト	講義	予習 90分 予習 90分
9	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (詳細に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
10	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 設問別演習 (全体に関する問題)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
11	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (医学・健康)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
12	松本 恵美子	単語テスト Listening 分野別演習 (天文学・生物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
13	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (人類学・動物学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
14	松本 恵美子	単語テスト Reading Comprehension 分野別演習 (社会学・心理学)	講義	【予習】 (120分) 単語テストの予習 【復習】 (90分) 授業内容の暗唱、復習
15	松本 恵美子	復習テスト	講義	

科目名	英語II	授業形態	講義
英語科目名	English II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	吉岡 貴雄	ナンバリング	BAP1201/BAR1201
担当教員	吉岡 貴雄		
授業概要			
全体内容	英語Iを引き継ぎ、社会で活躍できる英語力を養成することを目標とする。TOEFL受験で習熟度が不足している領域を認識し、その弱点を克服するため重点的に学修し、実力を向上するための発展クラスである。具体的には、文法の基礎は前期で理解できている前提で、更に語彙を拡充し、TOEFL受験に対応できるような読解、リスニングの実力の向上を目指す。とりわけ語彙はリスニングでも読解でも不足すると最大の障壁となるため重視する。実践的な応用力を養成するため、リスニングの練習を重ね、読解力の向上のため、より多くの練習を重ねる。毎週の授業でより難解な語彙テストの他に、英語で書くWritingの課題を含め、実践的なコミュニケーション力の養成を目指す。		
到達目標	アカデミックな英語の技術を試すTOEFL ITPにおいて480～500点が獲得できるレベルの設問を解き、文法、リスニング、リーディング各セクションへの対応法を磨く。文法、リスニングは前期の発展形式の設問に、リーディングはロングパッセージに取り組む。英語の感覚を高め、テストに活かす。TOEFL特有のアカデミックな語彙を分野別に学び、確実に増やす。		
授業の位置づけ	TOEFLの得点と、TOEFLで用いられる学術的な英語は、学生の今後の学業や仕事の幅をひろげてくれるツールになることを忘れず授業を行います。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3		
履修上の注意、履修要件	授業で求められた事柄には積極的に取り組んでください。TOEFLの得点を向上させるという目標を強く持ってください。		
成績評価の方法			
評価方法	語彙クイズ20%、定期テスト(復習テスト)+プレゼンテーション20%、TOEFLテスト60%		
評価基準	語彙クイズ、復習テストで規定以上の成績をおさめる。 TOEFLテストで年度初めの結果より上昇させる。 (それぞれの規定点数は授業で説明する)		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内で返却し、必要な箇所を復習します。更に復習を奨励します。			
テキスト			
A Shorter Course in Usage and Vocabulary 5分間 ポイントで解く語法・語彙問題	小中 秀彦	南雲堂	
TOEFL(R)TEST必ず☆でる単スピードマスター	林 功, 秋本 陽二	Jリサーチ出版	
TOEFL ITP テスト リスニング問題攻略			
参考文献			
その他のクラス教材は担当者が用意します。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	ありません。授業の前後に質問を受けることは可能です。また、質問は教員の宿題として責任をもって取り組みます		
担当教員の実務経験	アメリカの大学、大学院修了。TOEFL PBT、TOEFL iBT受験経験。TOEFL準備講座担当10年以上。		
備考	スケジュール等の変更がある場合は授業中に行ないます。		
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	吉岡 貴雄	【初回オリエンテーション】クラス概要、夏季語彙課題確認テスト、リスニング、リーディングセクション演習	講義
			予習・復習・レポート課題等と学習時間
			【予習】語彙復習テスト準備(120分)【復習】(90分)語彙復習

科目名	英語表現I	授業形態	講義
英語科目名	English Expressions I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	Marcellus Nealy	ナンバリング	BAP1202/BAR1202
担当教員	Marcellus Nealy		
授業概要			
全体内容	<p>言語は、コミュニケーションのためのツールです。自分の考えや経験、感情を他者と共有することができます。語学学習の最終目標は、テストを受けることではなく、コミュニケーションをとることであるべきです。テストは、言語学習の進捗を評価するための目印に過ぎないのです。このクラスでは、英語でのコミュニケーション能力を強化・発展させることを目標とします。そのために、語彙の増強、慣用句の研究、文法の復習、そして多くの練習を行います。コミュニケーションは双方向のプロセスであるため、ペアや小グループで作業することが期待されます。英語コミュニケーションの流暢さは、戦略的な学習と組み合わせた実際の練習に依存するため、授業はアクティビティベースとし、アクティブラーニングに重点を置くことにしています。ロールプレイ、様々なシチュエーションのビデオ作成、プレゼンテーション、ドラマや演劇のシーンの演技など、英語を話す練習をする機会を最大限に提供するために、様々なタスクが求められます。また、コミュニケーションには常に語彙の増強と文法の練習が必要であるため、語彙を増やし、英文法の理解を深めるための宿題を毎週こなすことが期待されます。最後に、将来の医療従事者として、臨床現場での対人コミュニケーションに関する基本的な考え方を学ぶ必要があります。このコースでは、それらもカバーする予定です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> - ポキャブラリーを増やす - 文法を強化する - 話す自信をつける - スピーキングの流暢さを高める - 臨床コミュニケーションスキルの構築 		
授業の位置づけ	基礎分野/言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1 CP3		
履修上の注意、履修要件	<p>このクラスは、アクティブラーニングアプローチに大きく基づいています。授業を効果的に行うためには、皆さんの全面的な協力と積極的な態度が必要です。</p> <p>授業に参加しない、授業中に寝る、スマートデバイスで遊ぶなど、学習に逆効果になるような態度は厳禁で、厳しく対処します。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	<p>課題 - 40 ビデオプロジェクト - 30 期末試験・プロジェクト - 30</p>		
評価基準	<p>成績は、学生が課題を完了するために費やした努力の量に基づいて評価されます。努力は、生徒の思考の深さ、適切な文法の使用、書く長さ（文章課題）、話す長さ（録音課題）、創造性のレベル（ビデオ課題）により評価されます。</p> <p>翻訳ソフトを使用しての課題提出は厳禁です。翻訳ソフトの使用は容易に判断できますので、明らかに翻訳ソフトを使用している課題には0点を与えます。</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> - 授業での直接的なフィードバック - メールメッセージ - 書きかけの課題に対する注意点 			
テキスト			
医療系学生のためのつたわの英語[Web音声付]	代田浩之（監修）、並木有希（編集）、Marcellus Nealy（編集）、Tom Kain（編集）	南江堂	4524228136
参考文献			
文法を徹底的に復習する教科書に加え、辞書を持つことが求められます。スマホのアプリでも、電子辞書でも、本でもかまいません。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	予約制		

担当教員の実務経験	<p>2015年～現在 順天堂大学 医学部 准教授</p> <p>2013年～現在 NHK WORLD アナウンサー、ナレーター</p> <p>2013 - 2020 ベネッセホールディングス株式会社 チャレンジ・イングリッシュ・プロジェクト コンサルタント</p> <p>2007 - 2015 テンブル大学ジャパンキャンパス コンティニュアス教育部 講師</p>
備考	<p>また、以下は私の職業上の言語使用や自己表現に関連するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 医学教育日本ジャーナルのコピーエディター - UMOJA: TOPOJO Excursions Black Diaspora Edition」の編集・寄稿者。 - 東京のアート集団「Cinq5sm」の創設メンバー。 - ラジオ番組「NUPHORIA」（78.9湘南ビーチFM）で週替わりで司会を担当 - DREAMS COME TRUE」サポートボーカリスト

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>このクラスはオリエンテーションのためのクラスです。授業時間の大部分は、お互いを知り、自己紹介の方法を学ぶことに費やされます。この時間は、あなたの英語レベルを評価し、それに応じてコースの内容を調整することができるため、非常に重要な時間です。</p>	対面式レクチャー	毎週の宿題
2	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるための道具だからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p> <p>一般的なトピック - 日本食について語る - 詳細を共有する。誰が、何を、どこで、いつ、なぜ、どのように(5WH)</p> <p>クリニカルコミュニケーション - プロフェッショナル自己紹介</p>	レクチャー	毎週の宿題
3	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるための道具だからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p> <p>一般的なトピック - トーク・アバウト・ジャパンII - 観光 - 詳細を共有する。誰が、何を、どこで、いつ、なぜ、どのように(5WH)</p>	レクチャー	毎週の宿題

		クリニカルコミュニケーション - 授受の指示		
4	Nealy, Marcellus	準備時間 90分 レビュー90分 語学力を向上させるためには、できるだけ多くの言語アウトプットをすることが不可欠です。これにはスピーキングとライティングが含まれます。年に数回、ビデオプロジェクトが行われます。ビデオプロジェクトの目的は、言語アウトプットの機会を提供することです。このプロジェクトでは、パートナーが割り当てられます。 ビデオプロジェクト#1- 授業中に始め、教室の外で完成させる課題が与えられます。課題の詳細は、グループの進行状況によって異なります。そのため、詳細は授業中にお伝えします。 詳細を共有するための練習 誰が、何を、どこで、いつ、なぜ、どのように(5WH)	レクチャー	毎週の宿題
5	Nealy, Marcellus	準備時間 90分 レビュー90分 コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。 一般的なトピック - 日本を語るII - 文化 - 良いパラグラフを書く クリニカルトピック - 共感	レクチャー	毎週の宿題
6	Nealy, Marcellus	準備時間 90分 レビュー90分 コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。 一般的なトピック - 日本のお話IV-習慣 - 良いパラグラフの書き方 pt II クリニカルトピック - エンパシーII、アクティブリスニングI	レクチャー	毎週の宿題
7	Nealy, Marcellus	準備時間 90分 レビュー90分 コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。 一般的なトピック - 他人のお話をする - 国 - 良いパラグラフを書くこと" クリニカルトピック - 臨床トピック 共感力III、積極的傾聴II	レクチャー	毎週の宿題
8	Nealy, Marcellus	準備時間 90分 レビュー90分	レクチャー	毎週の宿題

		<p>語学力を向上させるためには、できるだけ多くの言語アウトプットをすることが不可欠です。これにはスピーキングとライティングが含まれます。年に数回、ビデオプロジェクトが行われます。ビデオプロジェクトの目的は、言語アウトプットの機会を提供することです。このプロジェクトでは、パートナーが割り当てられます。</p> <p>ビデオプロジェクト#2 - 授業中に始め、教室の外で完成させる課題が与えられます。課題の詳細は、グループの進捗状況によって異なります。そのため、詳細は授業中にお伝えします。</p>		
9	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p> <p>一般的なトピック - 他人のことを話すこと-文化 - 適切なイントロダクションの書き方</p> <p>クリニカルトピック - 患者さんの家族への声かけ - アクティブリスニングIII</p>	レクチャー	毎週の宿題
10	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>リスニングの練習、新しい言葉の発見、医療従事者と患者の関係についてより深く考え、共感とヘルスケアの役割をより理解するために、映画「パッチ・アダムス」を見る時間をとります。授業時間の都合上、映画の最初の部分は見ることはできませんが、後で見ることができるようリンクを提供します。</p>	レクチャー	毎週の宿題
11	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p> <p>- パッチ・アダムスについてのディスカッション</p>	レクチャー	毎週の宿題
12	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p> <p>一般的なトピック - 哲学的な考え方の話 人生の意味 - 5ポイントエッセイ - クリシェ - トランジション</p> <p>クリニカルトピック - クオリティ・オブ・ライフ</p>	レクチャー	毎週の宿題
13	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>コンテンツがなければ言語は意味がありません。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして使い、言語を練習していきます。一般的なトピックと、医療に関連したトピックの両方を用意します。今週は、以下のようなトピックです。</p>	レクチャー	毎週の宿題

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	英語表現I	授業形態	講義
英語科目名	English Expressions I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray	ナンバリング	BAP1202/BAR1202
担当教員	Bussinger Clarence Ray		
授業概要			
全体内容	Learning English expression as a tool for communication allows us to share our ideas with others. Effective communication is how you assess your progress with learning a language. In this class, our goal will be to strengthen and develop your ability to communicate in English. This will be done through vocabulary building, the study of idiomatic phrases, grammar review, and lots of practice. Because communication is an interactive process, you will be expected to work in pairs or small groups. Since fluency in English communication depends on actual practice combined with strategic study, the class will be activity-based, and emphasis will be placed on active learning. You will be expected to do role-play, make videos that depict various situations, give presentations, act out scenes in a drama or play, and various other tasks that are designed to provide you with the maximum opportunity to practice speaking English. You will also be expected to complete weekly homework assignments that are designed to help you increase your vocabulary and improve your understanding of English grammar. You will also learn how to communicate with patients in a medical setting.		
到達目標	Build vocabulary Strengthen grammar Increase speaking confidence Increase spoken fluency for communication and medical uses		
授業の位置づけ	基礎分野/言語		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1 CP3		
履修上の注意、履修要件	Please note that attendance and participation are linked. If you are not in class, it means you are not participating. Therefore, your participation points will automatically decrease along with your attendance points. This class is based heavily on an active learning approach. For the lessons to be effective, your full cooperation and positive attitudes are needed. Poor attitudes, unwillingness to engage in classroom activities, sleeping in class, playing on smart devices, and any other behavior that is counterproductive to your learning is strictly prohibited and will be dealt with harshly. Classes will be held on Zoom		
成績評価の方法			
評価方法	You can express ideas and feeling clearly in English. You can understand expressions used in ordinary English communication.		
評価基準	Regular tests - 20% Assignments - 40% Class Projects - 40%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Direct feedback in class Email messages Notes on written assignments			
テキスト			
医療系学生のためのつたわる英語[Web音声付]	代田浩之(監修), 並木有希(編集), Marcellus Nealy(編集), Tom Kain(編集)	南江堂	4524228136
参考文献			
No specific reference material is assigned. It is assumed that you will make the use of standard references, such as dictionaries.			
その他			
連絡先・オフィスアワー	By appointment		
担当教員の勤務経験	2015 - present Juntendo University		

	Faculty of Medicine Lecturer 2004 - 2015 Tokiwa University Faculty of English Associate professor 2002 - 2004 Sophia University Faculty of General Studies Lecturer 1994 - 2002 Kumon Leysin Academy of Switzerland Department of Foreign Languages Chairman
備考	Healthcare will be an integral part of the semester.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Bussinger, Clay	Getting to know each other. Learning ways of introducing yourself.	Lecture	Preparation: Write a list of personal history(90分) Review: Practice speaking your composition (90分)
2	Bussinger, Clay	Talk about Japan food Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH)	Lecture	Preparation: Practice the pronouns of English (90分) Review: Practice speaking our classroom exercise (90分)
3	Bussinger, Clay	Talk about Japan II - sight seeing Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH)	Lecture	Preparation: Write a list of places to visit in Japan (90分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
4	Bussinger, Clay	Presentation I - You will be given an assignment that is to be started in class and completed outside of the classroom. Details will be given in class. Practice for Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH)	Lecture	Preparation: Find a topic you wish to explore (90分) Review: Prepare for presentation (90分)
5	Bussinger, Clay	Talk about Japan II - culture Presentation preparation Making effective slides I	Lecture	Preparation: Research the places you found (90分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
6	Bussinger, Clay	Talk about Japan IV - customs Presentation preparation Making effective slides II	Lecture	Preparation: Find customs of Japan (90分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
7	Bussinger, Clay	Presentation I in class Clear PowerPoint structure	Lecture	Preparation: Read menus of PowerPoint (90分) Review: Practice the presentation skills (90分)
8	Bussinger, Clay	Presentation II - You will be given an assignment that is to be started in class and completed outside of the classroom. The details of the assignment depend on the progress of the group. Therefore, details will be given in class.	Lecture	Preparation: Brainstorm topics for video (90分) Review: (90分) Completion of Video Project
9	Bussinger, Clay	Talking about others - culture Writing a proper introduction	Lecture	Preparation: Research foreign customs interesting to you (90分) Review: (90分) Prepare for presentation

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	英語表現I	授業形態	講義
英語科目名	English Expressions I	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	百溪 英一	ナンバリング	BAP1202/BAR1202
担当教員	百溪 英一		
授業概要			
全体内容	21世紀は英語によるコミュニケーションのスキルは社会で活躍するには不可欠である。その実践的な英語力の養成が本講義の目標である。本講義は、1年必修科目英語I、英語IIに続く選択科目クラスでTOEFL受験に特化したクラスではないが、TOEFLのWritingも意識し、英語を実践的に使用するための授業とする。具体的には、英語によるネット情報の把握だけではなく、情報内容の要約、内容に関する意見等を英語でまとめ、それを発表することを中心とする。そのための基本の学習と練習を重ねる。テーマに即した英語による簡単な発表を参加者に課すほか、より多くの語彙を学修し、コミュニケーション力の向上を目指す。コミュニケーションは一人では成立しないため、その向上には積極的に英語を用いた授業参加が求められる。		
到達目標	<p>①テキストのSection 1. PresentationとSection2, Application dialogの内容を完全に暗記します。長文を区切って文章の意味を捉える力をつけます。</p> <p>②Application dialogの役割を取り替えてスムーズなやり取りができるように練習します。</p> <p>③Section 5 Vocabulary buildingと</p> <p>④Section 6 Japanese-English drillで様々な会話で使える単語やパターンを学びます。会話力がつければ、英文を読むことも楽になります。使いみちの広い単語やイディオムについても使えるようにしましょう。講義の状況で他のSectionも学びます。</p> <p>⑤それぞれのトピックスについても是非興味を持って調べたり、関心を持ってください。</p>		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>最初の講義でどのように講義を進めていくかの説明とテキストの活用法について説明します。</p> <p>事前に、シラバスに沿ってテキストを予習しておくこと。その日の講義内容について特に会話パターンは丸暗記をしてください。</p> <p>次の講義の時に空で唱えられるようにしてください。</p> <p>○付属のCD-ROMの音源をスマートフォンなどに入れて、聞けるようにすると実力がつくでしょう。</p> <p>○講義ごとに前回の講義で学んだ内容についての小テストを実施します。小テストは講義中に採点して回収して点数を記録します。次回の講義で返却します。</p> <p>○小テストの内容は定期試験にも出しますから、きっちり保存してください。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	授業・課題の理解度を見る小テスト(50%)、定期試験(50%)により評価する。		
評価基準	<p>小テスト(50%)、定期試験(50%)により評価するが、様々な状況の話題に関して、会話を聞いて理解でき、適切な返答ができるかを評価する。</p> <p>状況は異なっても会話のキャッチボールができる力があるかを語彙力と会話パターンの学習成果を評価する。</p> <p>相手に応じて、適切で丁寧な表現ができるかを評価する。</p> <p>英語で時事問題を読んで内容が把握できるかを評価する。</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
小テストは通常、次回講義にて返却する。誤答が多い問題については必要な解説を行う。			
テキスト			
アメリカ口語教本<最新改訂版> 中級用	W. L. クラーク	研究社	978-4-327-44089-3
参考文献			
その他			
連絡先・オフィスアワー	16:30~18:00		
担当教員の実務経験	2013-2016年東都医療大学教授として、基礎看護英語の講義を担当。実務的な英語はアメリカ、フランス、タイ、ケニア、メキシコなど海外研究機関での国際共同研究や指導、海外の大学での講義(メキシコ:バハ・カリフォルニア大学、アメリカ:テネシー大学など)、国際学会の主催や参加、国内での外国人博士研究員や研修生の英語での指導を通じて生きた英語コミュニケーションの経験が40年以上ある。		

備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	百溪 英一	Lesson1. DIY-Do It Yourselfの Section1. Presentationについて先生が読んでCDのネイティブの声を聞きます。	<p>○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら。</p> <p>○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましよう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。</p> <p>○Footnoteの単語や熟語を覚えます。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。</p> <p>□CDでネイティブの会話を聞きましよう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましよう。</p>	<p>【予習】 Lesson1. DIY-Do It YourselfのSection1. 2.を読んで理解してくること。(90分)</p> <p>【復習】 Section1. 2.を暗記します。(90分)</p> <p>Section5. 6を復習して覚える。</p> <p>Footnoteの英語の日本語訳を覚える。</p> <p>小テストの予習をしてください。</p>
2	百溪 英一	【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。DIY-Do It Yourself	<p>Lesson1 Section1と 2. について読み上げと会話練習を復習。</p> <p>○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましよう。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。</p> <p>△Section3のConversation Syleで応用力をつけましよう。</p> <p>△Section5でボキャブラリーを増やましよう。</p>	<p>【予習】 Lesson1. DIY-Do It Yourselfの Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分)</p> <p>【復習】 Lesson1, の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分)</p> <p>Footnoteの英語の日本語訳を覚える。</p> <p>次回の小テストの予習をしてください。</p>
3	百溪 英一	Lesson2. The Pen Is Mightier Than the Sword, Section1. Presentationについて先生が読んで、CDの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましよう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましよう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましよう。	<p>○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら</p> <p>○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましよう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。</p> <p>○Footnoteの単語や熟語を覚えます。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。</p> <p>□CDでネイティブの発音を聞きましよう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましよう。</p>	<p>【予習】 Lesson2のThe Pen Is Mightier Than the Sword Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分)</p> <p>前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。(90分)</p> <p>【復習】 Lesson2 の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。Section5. 6を復習して覚える。</p> <p>Footnoteの英語の日本語訳を覚える。</p> <p>次回の小テストの予習をしてください。</p>
4	百溪 英一	【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。The Pen Is Mightier Than the Sword	<p>○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましよう。</p> <p>□Presentationの状況をイメージして</p>	<p>【予習】 Lesson2. The Pen Is Mightier Than the Swordの Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分)</p> <p>【復習】 Lesson2 の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分)</p>

			Application Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3のConversation Styleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。	Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。
5	百溪 英一	Lesson 3. Coffee Time Section1. Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら。 ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら。 ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】Lesson 3 Coffee TimeのSection1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。 【復習】Lesson3のSection1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) Section5. 6を復習して覚える。 Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。
6	百溪 英一	【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。 Lesson3 Coffee Time Lesson3 Section1と2.について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3のConversation Styleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。	Lesson3 Section1と2.について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3のConversation Styleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。	【予習】Lesson3のCoffee timeのSection1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。 【復習】Lesson3. .のSection1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。
7	百溪 英一	Lesson4. Greenpeace Section1. Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながら ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモする	【予習】Lesson4. GreenpeaceのSection1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。 【復習】Lesson4のSection1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) Section5. 6を復習して覚える。 Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。

			と役立ちます。内容についても話題提供できるくらい知しましょう。	
8	百溪 英一	<p>【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。 Lesson4 Greenpeace Lesson4 Section1と 2. について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3 のConversation Syleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。</p>	<p>Lesson4 Section1と 2. について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3 のConversation Syleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。</p>	<p>【予習】 Lesson4. Greenpeaceの Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。 【復習】 Lesson4の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) 次回の小テストの予習をしてください。</p>
9	百溪 英一	<p>Lesson5. Charity Begins at Home Section1. Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながらで文章が脳に蓄えられていきます。 ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立つ。</p>	<p>Section1. Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながらで文章が脳に蓄えられていきます。 ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましょう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立つ。</p>	<p>【予習】 Lesson5. Charity Begins at Home の Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 【復習】 Lesson5の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) Section5. 6を復習して覚える。 Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。</p>
10	百溪 英一	<p>【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。 Charity Begins at Home Lesson5 Section1と 2について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3 のConversation Syleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。</p>	<p>Lesson5 Section1と 2について読み上げと会話練習を復習。 ○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましょう。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。 △Section3 のConversation Syleで応用力をつけましょう。 △Section5でボキャブラリーを増やしましょう。</p>	<p>【予習】 Lesson5. Charity Begins at Home の Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 【復習】 Lesson5の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) 次回の小テストの予習をしてください。</p>
11	百溪 英一	Lesson6. On-Line Section1. Presentation	Lesson6. On-Line Section1. Presentationについて先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。 ○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながらで文章が脳に蓄えられていきま	<p>【予習】 Lesson6. On-Lineの Section1. 2.を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1. 2.について実施される小テストの勉強をしてきてください。 【復習】 Lesson6の Section1. 2.の内容を理解して暗記する。(90分) Section5. 6を復習して覚える。 Footnoteの英語の日本語訳を覚える。 次回の小テストの予習をしてください。</p>

			す。 ○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましよう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。 ○Footnoteの単語や熟語を覚えます。 □Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。 □次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 □CDでネイティブの発音を聞きましよう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立つ。	
12	百溪 英一	<p>【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。Lesson6 Section1と2について読み上げと会話練習を復習。</p> <p>○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましよう。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。</p> <p>△Section3のConversation Syleで応用力をつけましよう。</p> <p>△Section5でボキャブラリーを増やましよう。</p>		<p>【予習】Lesson6. On-LineのSection1.2を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1.2について実施される小テストの勉強をしてきてください。</p> <p>【復習】Lesson6のSection1.2の内容を理解して暗記する。(90分) 次回の小テストの予習をしてください。</p>
13	百溪 英一	<p>Lesson7. Working for The TimesのSection1, Presentationを先生が読んで、CDのネイティブの声を聞きます。</p> <p>○読み上げ練習をします。目で文を見て声を出す、周りの声も聞きながらで文章が脳の海馬に蓄えられていきます。</p> <p>○Presentationの文章構造、イディオムなどを文章を区切ってよく見ましよう。区切り線(/)を鉛筆で書き入れるのもあり。</p> <p>○Footnoteの単語や熟語を覚えます。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。</p> <p>□CDでネイティブの発音を聞きましよう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。</p>		<p>【予習】Lesson7. Working for the TimesのSection1.2を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1.2について実施される小テストの勉強をしてきてください。</p> <p>【復習】Lesson7のSection1.2の内容を理解して暗記する。(90分) Section5.6を復習して覚える。Footnoteの英語の日本語訳を覚える。次回の小テストの予習をしてください。</p>
14	百溪 英一	<p>【小テスト】前回の講義の小テストをします。主にApplication dialogとFoot noteの中から問題が出ます。Working for The Times Lesson7 Section1と2について読み上げと会話練習を復習。</p> <p>○読み上げ練習や文章を区切ってよく見ましよう。</p> <p>□Presentationの状況をイメージしてApplication Dialogueで会話を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。</p> <p>□次いで、テキストを見ずにAパートBパートに分かれて練習します。</p> <p>△Section3のConversation Syleで応用力をつけましよう。</p> <p>△Section5でボキャブラリーを増やましよう。</p>		<p>【予習】Lesson7. Working for The TimesのSection1.2を読んで内容を覚えてくる。(90分) 前回のSection1.2について実施される小テストの勉強をしてきてください。</p> <p>【復習】Lesson7のSection1.2の内容を理解して暗記する。(90分)</p>
15	百溪 英一	<p>テキストの各LessonのSection1と2などから穴埋め問題や簡単な文法、単語、日本語と英語の繋がりなどの復習を短く行う。</p> <p>CDのネイティブの会話を聴いて内容に合った日本語を選ぶやさしいヒアリングの重要な点を復習する。</p> <p>【定期試験】を実施する。</p>	<p>90分の講義時間の中で20分ほど、定期試験範囲に指定したUnitの本文、会話文、重要単語と熟語について解説確認する。</p> <p>60分間は定期試験範囲とした各Unitの学習レベルを確認するための試験を実施する。</p>	<p>【予習】(90分) 予習内容は1~14回の講義の内容で示された重要な部分特に定期試験範囲に指定したUnitについて再確認する。</p> <p>【復習】(90分) 復習内容は1~15回までに学んだ内容、講義の中で特に重要だとされた部分を身につくように整理確認する。</p>

科目名	英語表現II	授業形態	講義
英語科目名	English Expressions II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	Marcellus Nealy	ナンバリング	BAP1203/BAR1203
担当教員	Marcellus Nealy		
授業概要			
全体内容	<p>言語は、コミュニケーションのためのツールです。自分の考えや経験、感情を他者と共有することができる。語学学習の最終目標は、テストを受けることではなく、コミュニケーションをとることであるべきです。テストは、言語学習の進捗を評価するための目印に過ぎないのです。このクラスでは、英語でのコミュニケーション能力を強化・発展させることを目標とします。そのために、語彙の増強、慣用句の研究、文法の復習、そして多くの練習を行います。コミュニケーションは双方向のプロセスであるため、ペアや小グループで作業することが期待されます。英語コミュニケーションの流暢さは、戦略的な学習と組み合わせた実際の練習に依存するため、授業はアクティビティベースとし、アクティブラーニングに重点を置くことにしています。ロールプレイ、様々なシチュエーションのビデオ作成、プレゼンテーション、ドラマや演劇のシーンの演技など、英語を話す練習をする機会を最大限に提供するために、様々なタスクが求められます。また、コミュニケーションには常に語彙の増強と文法の練習が必要であるため、語彙を増やし、英文法の理解を深めるための宿題を毎週こなすことが期待されます。最後に、将来の医療従事者として、臨床現場での対人コミュニケーションに関する基本的な考え方を学ぶ必要があります。このコースでは、それらもカバーする予定です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> - ポキャブラリーを増やす - 文法を強化する - 話す自信をつける - スピーキングの流暢さを高める - クリニカルコミュニケーションスキルを身につける 		
授業の位置づけ	基礎分野 言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1 CP3		
履修上の注意、履修要件	<p>このクラスは、アクティブラーニングアプローチに大きく基づいています。授業を効果的に行うためには、皆さんの全面的な協力と積極的な態度が必要です。</p> <p>授業に参加しない、授業中に寝る、スマートデバイスで遊ぶなど、学習に逆効果になるような態度は厳禁で、厳しく対処します。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	<p>課題 - 40 ビデオプロジェクト - 30 期末試験・プロジェクト - 30</p>		
評価基準	<p>成績は、学生が課題を完了するために費やした努力の量に基づいて評価されます。努力は、生徒の思考の深さ、適切な文法の使用、書く長さ（文章課題）、話す長さ（録音課題）、創造性のレベル（ビデオ課題）により評価されます。翻訳ソフトを使用しての課題提出は厳禁です。翻訳ソフトの使用は容易に判断できますので、明らかに翻訳ソフトを使用している課題には0点を与えます。</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> - 授業での直接的なフィードバック - メールメッセージ - 書きかけの課題に対する注意点 			
テキスト			
医療系学生のためのつたわる英語[Web音声付]	代田浩之（監修）、並木有希（編集）、Marcellus Nealy（編集）、Tom Kain（編集）	南江堂	4524228136
参考文献			
<p>文法を徹底的に復習する教科書に加え、辞書を持つことが求められます。スマホのアプリでも、電子辞書でも、本でもかまいません。</p>			
その他			
連絡先・オフィスアワー	予約制		

担当教員の実務経験	<p>2015年～現在 順天堂大学 医学部 准教授</p> <p>2013年～現在 NHK WORLD アナウンサー、ナレーター</p> <p>2013 - 2020 ベネッセホールディングス株式会社 チャレンジ・イングリッシュ・プロジェクト コンサルタント</p> <p>2007 - 2015 テンブル大学ジャパンキャンパス コンティニューアス教育部 講師</p>
備考	<p>また、以下は私の職業上の言語使用や自己表現に関連するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 医学教育日本ジャーナルのコピーエディター - UMOJA: TOPOJO Excursions Black Diaspora Edition」の編集・寄稿者。 - 東京のアート集団「Cinqi5sm」の創設メンバー。 - ラジオ番組「NUPHORIA」(78.9湘南ビーチFM) で週替わりで司会を担当 - DREAMS COME TRUE」サポートボーカリスト

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー 90分</p> <p>このクラスはオリエンテーションのためのクラスです。授業時間の大部分は、お互いを知り、自己紹介の方法を学ぶことに費やされます。この時間は、あなたの英語レベルを評価し、それに応じてコースの内容を調整することができるため、非常に重要な時間です。</p>	レクチャー	毎週の宿題
2	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 復習時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語がアイデアを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的な 死んだらどうなるんですか？</p> <p>クリニカル プロフェッショナルな自己紹介</p>	レクチャー	毎週の宿題
3	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 復習時間 90分</p> <p>映画『ホワット・ドリームス・メイ・カム』を見る 授業時間の都合上、授業中に映画を見始めますが、ご自宅最後まで見ていただくことになります。リンクはGoogle classroomで提供されます。この映画では、「死んだらどうなるか」「思考と自分の認識する現実との関係」「個人のアイデンティティ」「うつ病とその生活の質への影響」という問題を扱っています。</p>	レクチャー	毎週の宿題
4	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p>	レクチャー	毎週の宿題

		<p>コミュニケーション能力を高めるためには、できるだけ多くのアウトプットをすることが絶対に重要です。すべての課題は、その機会を提供するために作成されています。今週のビデオ課題もそのひとつです。</p> <p>ビデオプロジェクト#1 -Afterlife tourist video. 授業中に始めて、教室の外で完成させるという課題が出ます。課題の詳細は、グループの進行状況によって異なります。そのため、詳細は授業中にお伝えします。</p> <p>詳細を共有するための練習 誰が、何を、どこで。 いつ、なぜ、どのように (5WH)</p>		
5	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的なトピック 臨死体験 - リスニング練習 - 良いパラグラフを書く</p> <p>クリニカルトピック - 共感</p>	レクチャー	毎週の宿題
6	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的な 宗教とスピリチュアリティ</p> <p>ディスカッションの実践 良いパラグラフを書く</p>	レクチャー	毎週の宿題
7	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的なもの 文化認識 意見表明 良いパラグラフを書くこと"</p> <p>クリニカルトピック 共感I、アクティブリスニング</p>	レクチャー	毎週の宿題
8	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 復習時間 90分</p> <p>コミュニケーション能力を高めるためには、できるだけ多くのアウトプットをすることが絶対に重要です。すべての課題は、その機会を提供するために作成されています。今週のビデオ課題もその一つです。</p> <p>ビデオ課題#2 - 世界の宗教を比較する 授業中に始め、授業外で完成させる課題をお渡しします。課題の詳細は、グループの進行状況によって異なります。そのため、詳細は授業中にお伝えします。</p>	レクチャー	毎週の宿題

9	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的な 医療における共感の役割 I ディスカッション、ディープシンキングプラクティス 適切なイントロダクションの書き方</p> <p>クリニカルトピック 患者さんの家族への声かけ アクティブリスニングII</p>	レクチャー	毎週の宿題
10	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的なもの コンフォートフード</p> <p>クリニカル 患者家族とのコミュニケーション</p>	レクチャー	毎週の宿題
11	Nealy, Marcellus	Movie discussion	レクチャー	毎週の宿題
12	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的なトピック 5つのポイントエッセイ</p> <p>クリニカルトピック あなたのプロフェッショナルとしての目標</p>	レクチャー	毎週の宿題
13	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 レビュー時間 90分</p> <p>コンテンツがなければ、言語は意味をなさない。それは、言語が考えを伝えるためのツールだからです。このコースでは、さまざまなトピックをコンテンツとして、言語を練習します。一般的なトピックと医療に関連するトピックの両方を用意します。今週のトピックは以下の通りです。</p> <p>一般的なトピック 5ポイントエッセイ 説得の技術</p> <p>クリニカルトピック 患者さんへの対応と動揺のレビュー</p>	レクチャー	毎週の宿題
14	Nealy, Marcellus	<p>準備時間 90分 復習時間 90分</p> <p>コミュニケーション能力を高めるためには、できるだけ多くのアウトプットをすることが絶対に重要で</p>	レクチャー	ビデオプロジェクトに取り組み続ける

科目名	英語表現II			授業形態	講義
英語科目名	English Expressions II			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	2単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray			ナンバリング	BAP1203/BAR1203
担当教員	Bussinger Clarence Ray				
授業概要					
全体内容	Learning English expression as a tool for communication allows us to share our ideas with others. Effective communication is how you assess your progress with learning a language. In this class, our goal will be to strengthen and develop your ability to communicate in English. This will be done through vocabulary building, the study of idiomatic phrases, grammar review, and lots of practice. Because communication is an interactive process, you will be expected to work in pairs, and in small groups. Since fluency in English communication depends on actual practice combined with strategic study, the class will be activity-based, and emphasis will be placed on active learning. You will be expected to do role-play, make videos that depict various situations, give presentations, act out scenes in a drama or play, and various other tasks that are designed to provide you with the maximum opportunity to practice speaking English. You will also be expected to complete weekly homework assignments that are designed to help you increase your vocabulary and improve your understanding of English grammar. You will also learn how to communicate with patients in a medical setting.				
到達目標	Build vocabulary Strengthen grammar Increase speaking confidence Increase spoken fluency for communication and medical uses				
授業の位置づけ	基礎分野/言語				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1 CP3				
履修上の注意、履修要件	This class is based heavily on an active learning approach. The only way to improve English expression is to actively express ones thoughts and feelings. Classes will be held on Zoom				
成績評価の方法					
評価方法	Regular Tests - 20% Assignments - 40% Class Projects - 30%				
評価基準	You can express ideas and feeling clearly in English. You can understand expressions used in ordinary English communication.				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
Direct feedback in class Email messages Notes on written assignments					
テキスト					
医療系学生のためのつたわる英語[Web音声付]	代田浩之(監修), 並木有希(編集), Marcellus Nealy(編集), Tom Kain(編集)	南江堂	4524228136		
参考文献					
No specific reference material is assigned. It is assumed that you will make use of standard references, such as dictionaries.					
その他					
連絡先・オフィスアワー	By appointment				
担当教員の実務経験	2015 - present Juntendo University Faculty of Medicine Lecturer 2004 - 2015 Tokwa University				

	Faculty of English Associate professor			
	2002 - 2004 Sophia University Faculty of General Studies Lecturer			
	1994 - 2002 Kumon Leysin Academy of Switzerland Department of Foreign Languages Chairman			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Bussinger, Clay	How was your vacation Discussion practice Spacial description	Lecture	Preparation: Make notes on recent activities (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
2	Bussinger, Clay	Presentation I: photograph Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH) Spacial description	Lecture	Preparation: Chose three photos that have special meaning to you (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
3	Bussinger, Clay	Presentation I: photograph Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH) Spacial description	Lecture	Preparation: Make notes on one photo and practice your lines (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
4	Bussinger, Clay	Presentation I - You will be given a video assignment that is to be started in class and completed outside of the classroom. Details will be given in class. Practice for Sharing details: Who, What, Where, When, Why, How (5WH)	Lecture	Preparation: Find a video you like and explain the attraction (90 分) Review: (90分) Prepare for presentation
5	Bussinger, Clay	Organization & Structure Video Presentation preparation Making effective slides I	Lecture	Preparation: Practice your lines, intonation and pronunciation (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
6	Bussinger, Clay	Organization & Structure Video Presentation I Peer comments	Lecture	Prepare presentation Preparation: Check the types of organization of English (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
7	Bussinger, Clay	Organization & Structure Video Presentation II Peer comments	Lecture	Preparation: Practice your lines for video (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)
8	Bussinger, Clay	Healthcare: ideal position Group work	Lecture	Preparation: Check the chapter in the text (90 分) Review: (90分) Completion of Video Project
9	Bussinger, Clay	Healthcare: ideal position Group work Writing a proper introduction	Lecture	Preparation: reread your text. Write an introduction (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分) Prepare for presentation
10	Bussinger, Clay	Healthcare Presentation Preparation I Writing a proper conclusion	Lecture	Preparation: Write a conclusion (90 分) Review: Practice speaking our classroom exercise with a partner (90分)

科目名	医療英語	授業形態	講義
英語科目名	Medical English	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	百溪 英一	ナンバリング	BAP1204/BAR1204
担当教員	百溪 英一		
授業概要			
全体内容	<p>理学療法学科学生を対象とした本講義のポイントは以下の通りである。</p> <p>①臨床の様々な現場で患者との英語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を修得する。実際に使えない英語は意味がないので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的な単語と簡単な構文を駆使することにより、かなり喋れるようになることを目指す。</p> <p>②専門分野の知識と理解深めるためには英語力が不可欠である。講義を通じて必要な単語を覚えて英文の構造の理解を学ぶことで、英語が読み取れるようになる。本講義の内容は、解剖学、生理学、病理学などの専門科目の内容とリンクするので国家試験に向けた学びも英語を通じて強化することができる。英語論文や抄録の翻訳にもチャレンジして最新情報を取り入れる力をつける。</p> <p>③学修した内容については小テストを実施して確認をする。従って予習や復習が大切である。小テストの内容については講義の中で説明します。</p> <p>④理学療法士が勤務する医療の現場で遭遇する状況での患者や仲間との英語でのコミュニケーションの実用的なフレーズを学びます。</p>		
到達目標	<p>世界はグローバル化の時代に入りました。2004年には600万人程だった外国人旅行者が2014年には1200万人を超えました。そのために、医療の領域における国際共通語である英語力のニーズも高まってきたということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目では外国人患者様や医療者とのコミュニケーションスキルの実現に有用な専門領域に関連する話題を英語で表現できるようにします。 ・医療や介護の現場における働く仲間の理解、基礎的英単語や英語を通じて医学全般の最新知識を身につけていける力を養うことを目標とします。 ・すでに学んできた医療系基礎の用語を英語でも覚えていきます。 ・英語を母国語とする患者さんや医療チームの仲間と現場で使うのが楽しみになるような使える実践的なフレーズも増やします。 ・それぞれの講義では皆さんの英語で話す話題が増えて教養にも役立つ講義を目指します。 		
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の目的は本学科で学んできた専門的医療知識や考え方を、より論理的な言語である英語で理解することにより他科目の学習の復習もできます。 ・医学の歴史や日本の医療の現実、感染症、免疫、などを最小限の英単語でどこまで理解できるかを学びます。 ・医療を学ぶ学生として、また日本人として自分の専門性や自分自身を英語で語れるようにする重要性を学びます。 ・実習や卒業後の医療現場での実務の中で最低限どのくらい英語を知っていればよいのかの目処をつけてもらいます。 		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>共通DP1-CI：①④ 共通DP1-CII：① 共通DP1-CII：①②③④ 理学DP1-CI：①②④ 理学DP2-CI：①②④⑤⑥ 理学DP3-CI：①②④⑤⑥ 理学DP4-CI：①②④⑤⑥ 共通DP3-CI：①②③④⑥ 理学DP5-CI：①②③④⑥ 理学DP2-CI：①②③④</p>		
履修上の注意、履修要件	<p>事前に、講義用のホームページで予告される学習内容とシラバスに沿ってテキストを予習しておくこと。</p> <p>その日の講義内容について特にどのようなテーマのUnitなのかをできるだけ知っておいてください。</p> <p>各Unitで学ぶ内容を見てわからない単語があれば調べておくこと。</p> <p>その状況を想像しながら英語のテキストを読むようにしてください。</p> <p>講義ごとに前回の講義で学んだ内容について、Topical DialogとInformationから小テスト問題が出ますので覚えてください。</p> <p>家庭学習でもネイティブの発音をCDを聞いたり、HPを開いて聞いて耳を慣らします。音源をスマートフォンに入れていつでも聞けるようにしても良いでしょう。</p> <p>定期試験は本文からの出題と小テストの内容となります。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	小テスト(50%)、定期試験(50%)により評価する。		
評価基準	<p>テキスト中の各ユニットのテーマの内容の理解と、なぜ学ぶ必要があるのかを理解する。</p> <p>各ユニットの中に出てくる専門用語その他の英語表現についての確に意味がつかめて訳ができること。</p> <p>各ユニットの中に出てくるテーマについて英語で話題に参加できる力をつけること。</p> <p>専門科目で学んだ事、学ぶことの概要を英語で表現することができるか。</p> <p>医療現場で患者さんと会話する場合に、相手の心の状況を踏まえて、感じの良い会話、丁寧な会話表現ができるように表現の違いを学ぶ。</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			

<p>小テストについてはGoogle formを用いて行い、回答を返信後に生の点数が自動的に返されます。 さらに、英語表現の場合には回答に幅があるため、担当講師が各回答を検証して、回答の幅がある場合には点数の修正を行います。 小テストの結果についての傾向や注意事項については必要に応じて講義の中で解説します。</p>				
テキスト				
医学系学生のための総合英語	高津昌宏ほか	南雲堂	9784523176466	
参考文献				
<p>当該学年の講義に特化したインターネットホームページを解説して、必要な講義支援資料やYoutube動画などの情報を提供します。 HPについては講義開始前に、大学の事務局から提示されます。</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	(14:50~16:20)			
担当教員の実務経験	<p>2013-2016年東都医療大学（東都大学）教授として、基礎看護英語、解剖生理学、病理学の講義を担当。看護系専門学校などでも同様に解剖生理学、病理学、生理学、微生物学などの基礎医学系講義を担当してきた。また担当教員は順天堂大学医学部神経学講座の協力研究員や非常勤講師として多発性硬化症やクローン病などの医学研究を行っています。 担当教員自身の実務的な英語はアメリカ、フランス、タイ、ケニア、メキシコなど海外研究機関での国際共同研究や指導、国際学会の主催や参加、国内での外国人博士研究員や研修生の指導を通じて生きた英語コミュニケーションの経験が40年間ほどあるので、様々な状況での専門知識の英語での解説や、英語を使う外国人とのユーモアも交えた交流のヒントが提供できるでしょう。</p>			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	百溪 英一	<p>Unit 1-1. The Human Bodyでは医療スタッフとして重要な解剖学や生理学に関連した重要な英語表現を学びます。 特に、細胞、組織、臓器、器官系といった構造的な知識（解剖組織学的知識）と大まかな機能（生理学的知識）を英語で話ができるように、本文に出てくる基本的な英単語がわかるかの確認をします。Unit1は2回の講義でやります。</p>	<p>Unit 1.The Human Bodyの 本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。 内容は1年生の解剖生理学で学んだ内容ですから、英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読み話の内容や展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて会話のキャッチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても英語で話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>【予習】（90分） Unit 1. The Human Bodyを読んで内容を理解してくること。 Vocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationに目を通しておく。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テスト（本文や単語）の予習をしてください。 Topical Dialogについても自分がAかBになったつもりでイメージしてください。</p>
2	百溪 英一	<p>Unit 1-2. The Human Bodyでは医療スタッフとして重要な解剖学や生理学に関連した重要な英語表現をさらに学びます。 Vocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationを学びます。 特に、細胞、組織、臓器、器官系といった構造的な知識（解剖組織学的知識）と大まかな機能（生理学的知識）を英語で話ができるように、本文に出てくる基本的な英単語がわかるかの確認をします。 Informationの解剖図の日本語や英語は間違いなく思えましょう。</p>	<p>○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読み話の内容や展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて会話のキャッチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。</p>	<p>【予習】（90分） Unit 1. The Human Bodyを読んで内容を理解してくること。 前回の講義内容を思い出してVocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationに目を通しておく。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テスト（本文や単語）の予習をしてください。 Topical Dialogについても自分がAかBになったつもりでイメージしてください。</p>

3	百溪 英一	<p>Unit 2. Nutrition and Fitness</p> <p>人が生体の恒常性を維持するためにはそのためのエネルギーを外部から供給しなければなりません。そのために食品として栄養を摂取するわけです。しかし、食べ物が乏しく、一日中食べ物探しをしていた時代と代わり、現代は飽食の時代となり、過食による肥満や成人病が社会問題になっています。本Unit2ではこの問題に関わる実用的で重要な話題を学びます。Unit2は1回の講義でやります。</p>	<p>○Unit 2の本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。 栄養と生活習慣病という現代病について英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。</p> <p>○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。 ○Unit 1について的小テストをやります。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 2. Nutrition and Fitnessを読んで内容を理解して、わからない単語を調べておくこと。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、次の講義でやる小テストの予習をしてください。</p>
4	百溪 英一	<p>Unit 3-1. Communicable Diseases</p> <p>目的：数年来、社会を脅かしてきているCOVID-19以外にも多くの伝染病が知られている。このUnitでは重要な伝染用の病原体やその伝播様式、その予防方法を英語でどのように言うのかを学びます。医療者として伝染病について話をして、情報交流する機会は多く、海外の情報の取得にも感染症の英語表現や英単語を覚えておくべきです。 このUnit3は2回の講義で学びます。</p>	<p>○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は伝染病の病原菌や伝染経路その予防法などを英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 3. Communicable Diseasesを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。</p>
5	百溪 英一	<p>Unit 3-2. Communicable Diseases</p> <p>前回に続いて本文を読んでフレーズを覚えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。</p>	<p>○Topical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 3. Communicable Diseasesを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語とフレーズを覚えてください。</p>
6	百溪 英一	<p>Unit 4-1. Hygiene and Public Health</p> <p>Unit3で学んだ伝染病の予防のためにはUnit4の公衆衛生が重要です。公衆衛生の概念が確立からしたのは微生物の発見に始まる近代医学の歴史と、公衆衛生の基本となる上下水道の整備から、SARSの話題まで英語で学びます。 このUnit4は2回の講義で学びます。</p>	<p>○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は伝染病と公衆衛生の歴史と発展を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 4. Hygiene and Public Healthを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。</p>
7	百溪 英一	<p>Unit 4-2. Hygiene and Public Health</p> <p>目的：Unit4の内容を詳しく学びます。 前回に続いて公衆衛生について学びます。単語やフレーズを覚えましょう。</p>	<p>○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展</p>	<p>【予習】(90分) Unit 4. Hygiene and Public Healthを読んで内容を理解してくること。</p>

			開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。 今回の講義で行われる小テストのための予習をしてください。
8	百溪 英一	Unit 5. Reforming Japanese Health care 医療職として日本の医療制度について知るべきです。日本の医療制度は世界的にも優れたものとされていますが、様々な問題点も内在していることを学びます。医療の経済や3分診療の問題点、介護保険導入の問題点、介護者の苦勞について学びます。 このUnit5は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医療制度と問題点、高齢化社会を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 5. Reforming Japanese Health careを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。
9	百溪 英一	Unit6 Needlestick Injuries in Medicine 針刺し事故という医療現場での医療者(主に医師や看護師)のリスクについての話題を学びます。日米の針刺し事故の違いについて、医療の職場を安全性という観点から客観的に見ることを学びます。針刺し事故により生じる感染症の種類についても学びます。こういった重要な話題について英語でも交流できることは重要です。 このUnit6は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医療制度と問題点、高齢化社会を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 6. R Needlestick Injuries in Medicineを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、このunitの小テストの予習をしてください。
10	百溪 英一	Unit 7-1. Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan 日本の伝染病、細菌学の黎明期を作った、北里柴三郎の実績を学びます。重要なことは北里以前の日本には感染病に関する科学的な研究がなかったことも知りましょう。さらに、自らが興味を持って学んだ細菌学の研究のみならず、その知見や研究成果を国民の公衆衛生の向上に還元して、伝染病の法律制定のために政府に圧力をかけるなど、研究室に閉じこもった学者ではない高い志と実践についても学びたいと思います。 微生物培養や免疫抗体などの英語表現についても学びます。 ◎このUnit7は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テスト（本文の単語中心）をやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医学史のなかの北里柴三郎と野口英世の業績を学びます。英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役	【予習】（90分） Unit 7. Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japanを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストに向けて予習をしてください。

			立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	
11	百溪 英一	Unit 8. The Medical Laboratory Technologist 病院における医療チームの一員である臨床検査技師の仕事について英語で学びます。また、臨床検査技師が取り扱う検体（サンプル）やどのような検査をしているのかについても学びます。 ◎このUnit8は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テスト（本文の単語中心）をやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は臨床検査技師の仕事英語で詳しく知りましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 8. The Medical Laboratory Technologistを読んで内容を理解してくること。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
12	百溪 英一	Unit 10-1. Radiological Technology 医療チームの一員として、多くの疾病の診断や治療に必要な放射線を利用した技術を取り扱う専門家である診療放射線技師の仕事について英語で学びます。放射線という危険な技術を扱うために高度な知識と技術の進展やどのように貢献しているのかを学ぶことは医療スタッフとしても大切です。 ◎このUnit10は1回の講義で学びます。	○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は診療放射線技師の仕事と取り扱う機器等を英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を読みましょう。言葉のキャチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語も覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 10. Radiological Technologyを読んで内容を理解してくること。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
13	百溪 英一	Unit 11-1. Physical Therapy 医療チームの一員として、患者と接しながら多岐にわたる仕事を担う、理学療法士の仕事について学びます。理学療法士の歴史、大きく6つの領域に分かれている理学療法士の仕事についても知りましょう。心肺領域、老年医学領域、神経学領域、整形外科領域、小児科領域。表皮領域があります。関連する専門用語も覚えます。 ◎このUnit11は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は理学療法の歴史、専門分野などを英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	【予習】（90分） Unit 13. Speech-Language Therapy as a Vocationを読んで内容を理解してくること。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
14	百溪 英一	Unit 14. Orthoptic and Visual Science ○前回の講義の単語テストをやります。 ○読み上げ練習をします。視覚矯正法、視覚科学、取り扱う腫瘍疾病について英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	○主題の概要をイメージしてメインテキストとストーリーと単語を学びます。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。	【予習】（90分） Unit 12と13の本文を読んで内容を理解してくること。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。

	<p>○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。</p> <p>○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>○NoteやInformationの単語や熟語も覚えましょう。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。</p>
--	--	--

<p>第15回講義（定期試験も実施） ○第1回から14回までの総復習です。 ○講義で学んだUnit内容がどのようなものだったかを確認します。 ○Reading Comprehensionにて学んだ確認をします。 ○各Unitで学んだ主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文がどのような内容だったかを再確認します。 AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>百溪 英一</p>	<p>テキストの各LessonのSection1と2などから穴埋め問題や簡単な文法、単語、日本語と英語の繋がりなどの復習を短く行う。 CDのネイティブの会話文を聴いて内容に合った日本語を選ぶやさしいヒアリングの重要な点を復習する。期末試験を実施する。</p>	<p>90分の講義時間の中で20分ほど、定期試験範囲に指定したUnitの本文、会話文、重要単語と熟語について解説確認する。 60分間は定期試験範囲とした各Unitの学習レベルを確認するための試験を実施する。 多岐選択式プラス記述式（英単語など）で実施します。</p>	<p>【予習】（90分） 予習内容は1~14回の講義の内容で示された重要な部分特に定期試験範囲に指定したUnitについて再確認する。 テキスト：各LessonのSectionから英単語の意味、日本語と英語の繋がり、本文中の内容を覚えているか（日本語でも英語でも）の確認問題、穴埋めや単語の記述なども出します。 講義中に大切だと説明した単語や熟語についてはしっかり覚えましょう。 医療スタッフ向けの英語表現の実際についても学んでおくこと。 小テストの内容がヒントとなりますが問題数は多くなります。講義専用のホームページなどを活用して、試験のためだけでなく医療英語の基礎力と応用力をつけてください。</p> <p>【復習】（90分） 復習内容は1~15回までに学んだ内容、講義の中で特に重要だとされた部分をも身につくように整理確認する。</p>
--	--------------	---	---	--

科目名	医療英語	授業形態	講義
英語科目名	Medical English	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	百溪 英一	ナンバリング	BAP1204/BAR1204
担当教員	百溪 英一		
授業概要			
全体内容	<p>診療放射線学科学学生を対象とした本講義のポイントは以下の通りである。</p> <p>①臨床の様々な現場で患者との英語によるコミュニケーションを実現するための基礎となる慣用表現を修得する。実際に使えない英語は意味がないので、発音練習の中でアクセント、フレーズ、イントネーションなども知り、基本的な単語と簡単な構文を駆使することにより、かなり喋れるようになることを目指す。</p> <p>②専門分野の知識と理解深めるためには英語力が不可欠である。講義を通じて必要な単語を覚えて英文の構造の理解を学ぶことで、英語が読み取れるようになる。本講義の内容は、解剖学、生理学、病理学などの専門科目の内容とリンクするので国家試験に向けた学びも英語を通じて強化することができる。英語論文や抄録の翻訳にもチャレンジして最新情報を取り入れる力をつける。</p> <p>③学修した内容については小テストを実施して確認をする。従って予習や復習が大切である。小テストの内容については講義の中で説明します。</p> <p>④理学療法士が勤務する医療の現場で遭遇する状況での患者や仲間との英語でのコミュニケーションの実用的なフレーズを学びます。</p>		
到達目標	<p>世界はグローバル化の時代に入りました。2004年には600万人程だった外国人旅行者が2014年には1200万人を超えました。そのために、医療の領域における国際共通語である英語力のニーズも高まってきたということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目では外国人患者様や医療者とのコミュニケーションスキルの実現に有用な専門領域に関連する話題を英語で表現できるようにします。 ・医療や介護の現場における働く仲間の理解、基礎的英単語や英語を通じて医学全般の最新知識を身につけていける力を養うことを目標とします。 ・すでに学んできた医療系基礎の用語を英語でも覚えていきます。 ・英語を母国語とする患者さんや医療チームの仲間と現場で使うのが楽しみになるような使える実践的なフレーズも増やします。 ・それぞれの講義では皆さんの英語で話す話題が増えて教養にも役立つ講義を目指します。 		
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の目的は本学科で学んできた専門的医療知識や考え方を、より論理的な言語である英語で理解することにより他科目の学習の復習もできます。 ・医学の歴史や日本の医療の現実、感染症、免疫、などを最小限の英単語でどこまで理解できるかを学びます。 ・医療を学ぶ学生として、また日本人として自分の専門性や自分自身を英語で語れるようにする重要性を学びます。 ・実習や卒業後の医療現場での実務の中で最低限どのくらい英語を知っていればよいのかの目処をつけてもらいます。 		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>共通DP1-CI：①④ 共通DP1-CII：① 共通DP1-CII：①②③④ 理学DP1-CI：①②④ 理学DP2-CI：①②④⑤⑥ 理学DP3-CI：①②④⑤⑥ 理学DP4-CI：①②④⑤⑥ 共通DP3-CI：①②③④⑥ 理学DP5-CI：①②③④⑥ 理学DP2-CI：①②③④</p>		
履修上の注意、履修要件	<p>事前に、講義用のホームページで予告される学習内容とシラバスに沿ってテキストを予習しておくこと。</p> <p>その日の講義内容について特にどのようなテーマのUnitなのかをできるだけ知っておいてください。</p> <p>各Unitで学ぶ内容を見てわからない単語があれば調べておくこと。</p> <p>その状況を想像しながら英語のテキストを読むようにしてください。</p> <p>講義ごとに前回の講義で学んだ内容について、Topical DialogとInformationから小テスト問題が出ますので覚えてください。</p> <p>家庭学習でもネイティブの発音をCDを聞いたり、HPを開いて聞いて耳を慣らします。音源をスマートフォンに入れていつでも聞けるようにしても良いでしょう。</p> <p>定期試験は本文からの出題と小テストの内容となります。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	小テスト(50%)、定期試験(50%)により評価する。		
評価基準	<p>テキスト中の各ユニットのテーマの内容の理解と、なぜ学ぶ必要があるのかを理解する。</p> <p>各ユニットの中に出てくる専門用語その他の英語表現についての確に意味がつかめて訳ができること。</p> <p>各ユニットの中に出てくるテーマについて英語で話題に参加できる力をつけること。</p> <p>専門科目で学んだ事、学ぶことの概要を英語で表現することができるか。</p> <p>医療現場で患者さんと会話する場合に、相手の心の状況を踏まえて、感じの良い会話、丁寧な会話表現ができるように表現の違いを学ぶ。</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			

<p>小テストについてはGoogle formを用いて行い、回答を返信後に生の点数が自動的に返されます。 さらに、英語表現の場合には回答に幅があるため、担当講師が各回答を検証して、回答の幅がある場合には点数の修正を行います。 小テストの結果についての傾向や注意事項については必要に応じて講義の中で解説します。</p>				
テキスト				
医学系学生のための総合英語	高津昌宏ほか	南雲堂	9784523176466	
参考文献				
<p>当該学年の講義に特化したインターネットホームページを解説して、必要な講義支援資料やYoutube動画などの情報を提供します。 HPについては講義開始前に、大学の事務局から提示されます。</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	(14:50~16:20)			
担当教員の実務経験	<p>2013-2016年東都医療大学（東都大学）教授として、基礎看護英語、解剖生理学、病理学の講義を担当。看護系専門学校などでも同様に解剖生理学、病理学、生理学、微生物学などの基礎医学系講義を担当してきた。また担当教員は順天堂大学医学部神経学講座の協力研究員や非常勤講師として多発性硬化症やクローン病などの医学研究を行っています。 担当教員自身の実務的な英語はアメリカ、フランス、タイ、ケニア、メキシコなど海外研究機関での国際共同研究や指導、国際学会の主催や参加、国内での外国人博士研究員や研修生の指導を通じて生きた英語コミュニケーションの経験が40年間ほどあるので、様々な状況での専門知識の英語での解説や、英語を使う外国人とのユーモアも交えた交流のヒントが提供できるでしょう。</p>			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	百溪 英一	<p>Unit 1-1. The Human Bodyでは医療スタッフとして重要な解剖学や生理学に関連した重要な英語表現を学びます。 特に、細胞、組織、臓器、器官系といった構造的な知識（解剖組織学的知識）と大まかな機能（生理学的知識）を英語で話ができるように、本文に出てくる基本的な英単語がわかるかの確認をします。Unit1は2回の講義でやります。</p>	<p>Unit 1.The Human Bodyの 本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。 内容は1年生の解剖生理学で学んだ内容ですから、英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読み話の内容や展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて会話のキャッチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 <input type="checkbox"/>内容についても英語で話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>【予習】（90分） Unit 1. The Human Bodyを読んで内容を理解してくる。 Vocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationに目を通しておく。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テスト（本文や単語）の予習をしてください。</p>
2	百溪 英一	<p>Unit 1-2. The Human Bodyでは医療スタッフとして重要な解剖学や生理学に関連した重要な英語表現をさらに学びます。 Vocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationを学びます。 特に、細胞、組織、臓器、器官系といった構造的な知識（解剖組織学的知識）と大まかな機能（生理学的知識）を英語で話ができるように、本文に出てくる基本的な英単語がわかるかの確認をします。 Informationの解剖図の日本語や英語は間違いなく思えましょう。</p>	<p>○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読み話の内容や展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて会話のキャッチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。</p>	<p>【予習】（90分） Unit 1. The Human Bodyを読んで内容を理解してくる。 Vocabulary, Topical Dialog, Translation, Informationに目を通しておく。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テスト（本文や単語）の予習をしてください。 Topical Dialogについても自分がAかBになったつもりでイメージしてください。</p>

3	百溪 英一	<p>Unit 2. Nutrition and Fitness</p> <p>人が生体の恒常性を維持するためにはそのためのエネルギーを外部から供給しなければなりません。そのために食品として栄養を摂取するわけです。しかし、食べ物が乏しく、一日中食べ物探しをしていた時代と代わり、現代は飽食の時代となり、過食による肥満や成人病が社会問題になっています。本Unit2ではこの問題に関わる実用的で重要な話題を学びます。Unit2は1回の講義でやります。</p>	<p>○Unit 2の本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。 栄養と生活習慣病という現代病について英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。</p> <p>○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。 ○Unit 1について的小テストをやります。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 2. Nutrition and Fitnessを読んで内容を理解して、わからない単語を調べておくこと。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、次回の講義でやる小テストの予習をしてください。</p>
4	百溪 英一	<p>Unit 3-1. Communicable Diseases</p> <p>目的：数年来、社会を脅かしてきているCOVID-19以外にも多くの伝染病が知られている。このUnitでは重要な伝染用の病原体やその伝播様式、その予防方法などを英語でどのように言うのかを学びます。医療者として伝染病について話をして、情報交流する機会は多く、海外の情報の取得にも感染症の英語表現や英単語を覚えておくべきです。 このUnit3は2回の講義で学びます。</p>	<p>○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は伝染病の病原菌や伝染経路その予防法などを英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 3. Communicable Diseasesを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。</p>
5	百溪 英一	<p>Unit 3-2. Communicable Diseases</p> <p>前回に続いて本文を読んでフレーズを覚えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。</p>	<p>○Topical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャッチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 3. Communicable Diseasesを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語とフレーズを覚えてください。</p>
6	百溪 英一	<p>Unit 4-1. Hygiene and Public Health</p> <p>Unit3で学んだ伝染病の予防のためにはUnit4の公衆衛生が重要です。公衆衛生の概念が確立からしたのは微生物の発見に始まる近代医学の歴史と、公衆衛生の基本となる上下水道の整備から、SARSの話題まで英語で学びます。 このUnit4は2回の講義で学びます。</p>	<p>○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は伝染病と公衆衛生の歴史と発展を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚(↑↓)を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。</p>	<p>【予習】(90分) Unit 4. Hygiene and Public Healthを読んで内容を理解してくること。</p> <p>【復習】(90分) NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。</p>
7	百溪 英一	<p>Unit 4-2. Hygiene and Public Health</p> <p>目的：Unit4の内容を詳しく学びます。 前回に続いて公衆衛生について学びます。単語やフレーズを覚えましょう。</p>	<p>○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展</p>	<p>【予習】(90分) Unit 4. Hygiene and Public Healthを読んで内容を理解してくること。</p>

			開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。 今回の講義で行われる小テストのための予習をしてください。
8	百溪 英一	Unit 5. Reforming Japanese Health care 医療職として日本の医療制度について知るべきです。日本の医療制度は世界的にも優れたものとされていますが、様々な問題点も内在していることを学びます。医療の経済や3分診療の問題点、介護保険導入の問題点、介護者の苦勞について学びます。 このUnit5は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医療制度と問題点、高齢化社会を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 5. Reforming Japanese Health careを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。
9	百溪 英一	Unit6 Needlestick Injuries in Medicine 針刺し事故という医療現場での医療者(主に医師や看護師)のリスクについての話題を学びます。日米の針刺し事故の違いについて、医療の職場を安全性という観点から客観的に見ることを学びます。針刺し事故により生じる感染症の種類についても学びます。こういった重要な話題について英語でも交流できることは重要です。 このUnit6は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医療制度と問題点、高齢化社会を英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 6. R Needlestick Injuries in Medicineを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、このunitの小テストの予習をしてください。
10	百溪 英一	Unit 7-1. Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan 日本の伝染病、細菌学の黎明期を作った、北里柴三郎の実績を学びます。重要なことは北里以前の日本には感染病に関する科学的な研究がなかったことも知りましょう。さらに、自らが興味を持って学んだ細菌学の研究のみならず、その知見や研究成果を国民の公衆衛生の向上に還元して、伝染病の法律制定のために政府に圧力をかけるなど、研究室に閉じこもった学者ではない高い志と実践についても学びたいと思います。 微生物培養や免疫抗体などの英語表現についても学びます。 ◎このUnit7は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テスト（本文の単語中心）をやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は日本の医学史のなかの北里柴三郎と野口英世の業績を学びます。英語で復習です。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役	【予習】（90分） Unit 7. Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japanを読んで内容を理解していただくこと。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストに向けて予習をしてください。

			立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	
11	百溪 英一	Unit 8. The Medical Laboratory Technologist 病院における医療チームの一員である臨床検査技師の仕事について英語で学びます。また、臨床検査技師が取り扱う検体（サンプル）やどのような検査をしているのかについても学びます。 ◎このUnit8は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テスト（本文の単語中心）をやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は臨床検査技師の仕事英語で詳しく知りましょう。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を覚えます。AとBの会話文全体を声を出して読んで、話の展開を覚えます。次いで、AパートBパートに分かれて言葉のキャチボールを練習します。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語を覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 8. The Medical Laboratory Technologistを読んで内容を理解してください。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
12	百溪 英一	Unit 10-1. Radiological Technology 医療チームの一員として、多くの疾病の診断や治療に必要な放射線を利用した技術を取り扱う専門家である診療放射線技師の仕事について英語で学びます。放射線という危険な技術を扱うために高度な知識と技術の進展やどのように貢献しているのかを学ぶことは医療スタッフとしても大切です。 ◎このUnit10は1回の講義で学びます。	○前回の講義の単語テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は診療放射線技師の仕事と取り扱う機器等を英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。 ○主題の概要をイメージしてTopical Dialogで会話文を読みましょう。言葉のキャチボールを練習します。英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。 ○NoteやInformationの単語や熟語も覚えます。 □内容についても話題提供できるくらい知りましょう。	【予習】（90分） Unit 10. Radiological Technologyを読んで内容を理解してください。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
13	百溪 英一	Unit 11-1. Physical Therapy 医療チームの一員として、患者と接しながら多岐にわたる仕事を担う、理学療法士の仕事について学びます。理学療法士の歴史、大きく6つの領域に分かれている理学療法士の仕事についても知りましょう。心肺領域、老年医学領域、神経学領域、整形外科領域、小児科領域。表皮領域があります。関連する専門用語も覚えます。 ◎このUnit11は1回の講義で学びます。	○前回の講義の小テストをやります。 ○本文を先生が読んで、CDのネイティブの声を聞いて復唱。内容は理学療法の歴史、専門分野などを英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。 ○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	【予習】（90分） Unit 13. Speech-Language Therapy as a Vocationを読んで内容を理解してください。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください、小テストの予習をしてください。
14	百溪 英一	Unit 14. Orthoptic and Visual Science ○前回の講義の単語テストをやります。 ○読み上げ練習をします。視覚矯正法、視覚科学、取り扱う腫瘍疾病について英語で学びます。その時、喋りのリズム、切るところ(/)や抑揚（↑↓）を本文にメモすると役立ちます。○本文を読んでReading Comprehensionに答えます。	○主題の概要をイメージしてメインテキストとストーリーと単語を学びます。 英語会話を聞く時、自分の覚えているフレーズだとすぐに分かるのです。	【予習】（90分） Unit 12と13の本文を読んで内容を理解してください。 【復習】（90分） NoteとInformationに出てくる医学生物学用語を覚えてください。

科目名	医療英語			授業形態		講義	
英語科目名	Medical English			開講学期	2023年度後期(AUT)		
対象学年	2年			単位数	2単位		
代表教員	Bussinger Clarence Ray			ナンバリング	BAP1204/BAR1204		
担当教員	Bussinger Clarence Ray						
授業概要							
全体内容	<p>The main points of this course are as follows.</p> <p>(1) To acquire crucial expressions that are the basis for relevant communication in English with patients in various clinical settings. Students will acquire English to be used in practice, by learning accents, phrases, and intonation through pronunciation practice, and by using basic vocabulary and simple sentence structures.</p> <p>(2) The goal is for students to be able to speak English well by practicing pronunciation, learning accents, phrases and intonations, and using basic vocabulary and simple syntax. Students will be able to read English by learning the necessary vocabulary, and understanding the structure of English sentences through lectures.</p> <p>(3) The content of this course will prepare students to have positive interactions with patients, which will lead to positive results in patient care.</p> <p>4) Students will learn practical phrases for communicating in English with patients and peers in situations encountered in the medical field. In order to demonstrate the skills learned, students will develop and present typical caregivers/patient scenarios in class.</p>						
到達目標	<p>Japan has entered the era of globalization: welcoming from about 6 million foreign visitors in 2004 to more than 12 million in 2014. This means that the need for English language skills, a lingua franca in the medical field, has also increased.</p> <p>In this course, students will be able to express topics related to their areas of expertise in English, which is useful for realizing communication skills with foreign patients and medical professionals.</p> <p>This course is designed to help students understand their colleagues working in the medical and nursing fields, and to develop the ability to acquire the latest knowledge of medicine in general through basic English vocabulary and English.</p> <p>The course is designed to help students to understand their peers working in the medical and nursing fields and to acquire up-to-date knowledge of all aspects of medicine through basic English vocabulary and English.</p> <p>The course will also provide you with practical exercises that you will look forward to using with native English speaking patients and medical team members. Practicing through presentations will give you the skills and confidence to succeed in your medical field.</p> <p>Each lecture is designed to increase the number of topics that you can talk about in English and to be useful for your education.</p>						
授業の位置づけ	<p>Students will learn the importance of being able to speak about themselves and their specialty in English as a medical student.</p> <p>Students will also learn the minimum level of English they need to know for practical training and dealing with patients.</p>						
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1 CP3						
履修上の注意、履修要件	<p>This class is based heavily on an active learning approach. For the lessons to be effective, your full cooperation and positive attitudes are needed.</p> <p>Poor attitudes, unwillingness to engage in classroom activities, sleeping in class, playing on smart devices, and any other behavior that is counterproductive to your learning is strictly prohibited and will be dealt with harshly.</p>						
成績評価の方法							
評価方法	<p>Regular tests - 20%</p> <p>Assignments - 40%</p> <p>Class Projects - 40%</p>						
評価基準	<p>This class is based on an active learning approach. Healthcare, especially patient interaction, will be an integral part of this class. Student will give a number of presentations, poster presentations, PowerPoint presentations, and Infographic presentations.</p>						
試験・課題等に対するフィードバック方法							
<p>Direct feedback in class</p> <p>Email messages</p> <p>Notes on written assignments</p>							
テキスト							
医療系学生のためのつたわる英語[Web音声付]	代田浩之(監修), 並木有希(編集), Marcellus Nealy(編集), Tom Kain(編集)	南江堂	4524228136				
参考文献							
No specific reference material is assigned. It is assumed that you will make use of standard references, such as dictionaries.							
その他							

連絡先・オフィスアワー	By appointment
担当教員の実務経験	<p>2015 - present Juntendo University Faculty of Medicine Lecturer</p> <p>2004 - 2015 Tokiwa University Faculty of English Associate professor</p> <p>2002 - 2004 Sophia University Faculty of General Studies Lecturer</p> <p>1994 - 2002 Kumon Leysin Academy of Switzerland Department of Foreign Languages Chairman</p>
備考	<p>In principl, classes will be held on Zoom.</p> <p>From the beginning of the class, students will listen to, and speak, more practical, general English in order to get used to using the language. As the semester progresses, the course will focus more and more on Medical terminology and practice.</p>

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Bussinger, Clay	Chapter 1: Self-introductions; vocabulary; reading	Lecture	Preparation: Make a list of personal information (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
2	Bussinger, Clay	Chapter 1: Introductions, continued. Present one interview.	Lecture	Preparation: practice speaking your list (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
3	Bussinger, Clay	Chapter 2: Communicating with patients; verbal cues; vocabulary	Lecture	Preparation: Read the section on verbal clues (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
4	Bussinger, Clay	Chapter 2: Communicating with patients; verbal cues; vocabulary	Lecture	Preparation: Check vocabulary and tips on verbal cues (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
5	Bussinger, Clay	Chapter 2: continued Communicating with patients; verbal cues; vocabulary Prepare for presentation I	Lecture	Preparation: Decide your verbal cues to present and practice speaking (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
6	Bussinger, Clay	Chapter 3: Communicating with family. Prepare for presentation I	Lecture	Preparation: Read the section on dealing with family members (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
7	Bussinger, Clay	Chapter 3: Communicating with family. Presentation I	Lecture	Preparation: Read the second section on Family. Write your script (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
8	Bussinger, Clay	Chapter 3: Communicating with family. Presentation I, continued if necessary	Lecture	Preparation: Practice your scripts, enunciation and intonation (90分) Review: Practice our class work with a partner (90分)
9	Bussinger, Clay	Chapter 4: History taking Chief complaint	Lecture	Preparation: Read the section on history taking (90分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語I			授業形態	講義
英語科目名	Chinese I			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	祝 頌燕			ナンバリング	BAP1205/BAR1205
担当教員	祝 頌燕				
授業概要					
全体内容	現在中国語を母語とする人は約13億人以上、第二言語としても約2億人が使用しているといわれ、世界最大の話者人口を有する言語である。本講義では、中国語の発音と文法を基礎から学修し、初歩的なコミュニケーション能力を身に付けることを目的し、中国語勉強の土台をつくるプログラムである。授業の前半は発音をしっかりマスターし、後半から文法、会話に挑み、読み、聞き、書きをバランスよく学修することを目指す。基礎単語約300～400語、簡単な日常挨拶語を学修することを目標とする。				
到達目標	1、声調を含む発音を正しく発音することができる。 2、基本単語約300～400語、ピンインの読み方と綴り方を身につけ、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、簡単な意見（賛成、反対）を中国語で表現できる。				
授業の位置づけ	第二外国語				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	中国語は文法がやさしく、単語も日本語と同じか似ているものが多いので、日本人には習得しやすい言語と思われるでしょう。しかし、中国語は日本語とは全く違う言語であり、同じ漢字でも発音も全然違うし、日本語にはない発音も多いため、教科書に付属の音声CDを繰り返し聞いて、発音の練習を重ね、正しい発音をマスターすること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題の提出（40％） 期末試験（60％）				
評価基準	日常会話ができる				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内で適宜に返却する。					
テキスト					
初級中国語きっかけ24	相原茂 蘇紅	朝日出版社			
参考文献					
『初めての中国語学習辞典』相原 茂 朝日出版社 『どうちがう？似たもの中国語』相原 茂 蘇紅 朝日出版社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後、随時対応する。				
担当教員の実際経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	祝 頌燕	オリエンテーション 中国という14億人の人口がいる国とは？ 中国語とは？ 授業、試験、評価を説明する	講義	【予習】シラバスをよく確認しておく。教科書33～34ページを読み、中国語に対する基本的な理解を得たうえで授業に臨む（90分） 【復習】中国と中国語を知っておく（90分）	
2	祝 頌燕	lesson1 声調	講義	【予習】音声ダウンロードする。音声教材を用い、声調と母音を聞いておく（90分） 【復習】音声教材を聞き、母音の違いを把握し正しい発音する（90分）	

		単母音 複母音		
3	祝 頌燕	lesson 2 母音の復習 声母 (子音) 無気音と有気音 そり舌音 消えるoとe	講義	【予習】音声教材を用い、子音を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、子音の違いを聞き分ける (90分)
4	祝 頌燕	lesson3 前回の復習 鼻音を伴う母音 またしても消えるe	講義	【予習】音声教材を用い、鼻母音を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、鼻母音の違いを把握し発音しながら練習する (90分)
5	祝 頌燕	lesson 4 前回の復習 声調変化 r 化 軽声 声調の組み合わせ	講義	【予習】音声教材を用い、声調変化と r 化を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、軽声と声調変化を把握し発音しながら練習する (90分)
6	祝 頌燕	発音の復習 ピンインの書き取り練習 発音矯正 ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を用い、ピンインを聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、ピンインの綴りと声調記号を覚える。挨拶言葉をすぐ言えるように練習する (90分)
7	祝 頌燕	lesson5 キャンパスで (1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
8	祝 頌燕	lesson 6 キャンパスで (2) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
9	祝 頌燕	lesson7 学食で (1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
10	祝 頌燕	lesson 8 学食で (2) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
11	祝 頌燕	lesson 9 浅草で (1) 新出単語	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分)

科目名	中国語I			授業形態	講義
英語科目名	Chinese I			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	祝 頌燕			ナンバリング	BAP1205/BAR1205
担当教員	祝 頌燕				
授業概要					
全体内容	現在中国語を母語とする人は約13億人以上、第二言語としても約2億人が使用しているといわれ、世界最大の話者人口を有する言語である。本講義では、中国語の発音と文法を基礎から学修し、初歩的なコミュニケーション能力を身に付けることを目的し、中国語勉強の土台をつくるプログラムである。授業の前半は発音をしっかりマスターし、後半から文法、会話に挑み、読み、聞き、書きをバランスよく学修することを目指す。基礎単語約300～400語、簡単な日常挨拶語を学修することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、声調を含む発音を正しく発音することができる。 2、基本単語約300～400語、ピンインの読み方と綴り方を身につけ、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、簡単な意見（賛成、反対）を中国語で表現できる。 				
授業の位置づけ	第二外国語				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	中国語は文法がやさしく、単語も日本語と同じか似ているものが多いので、日本人には習得しやすい言語と思われるでしょう。しかし、中国語は日本語とは全く違う言語であり、同じ漢字でも発音も全然違うし、日本語にはない発音も多いため、教科書に付属の音声CDを繰り返し聞いて、発音の練習を重ね、正しい発音をマスターすること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題の提出（40％） 期末試験（60％）				
評価基準	日常会話ができる				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内で適宜に返却する。					
テキスト					
初級中国語きっかけ24	相原茂 蘇紅	朝日出版社			
参考文献					
『初めての中国語学習辞典』相原 茂 朝日出版社 『どうちがう？似たもの中国語』相原 茂 蘇紅 朝日出版社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後、随時対応する。				
担当教員の実際経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	祝 頌燕	オリエンテーション 中国という14億人の人口がいる国とは？ 中国語とは？ 授業、試験、評価を説明する	講義	【予習】 シラバスをよく確認しておく。教科書33～34ページを読み、中国語に対する基本的な理解を得たうえで授業に臨む（90分） 【復習】 中国と中国語を知っておく（90分）	
2	祝 頌燕	lesson1 声調	講義	【予習】 音声ダウンロードする。音声教材を用い、声調と母音を聞いておく（90分） 【復習】 音声教材を聞き、母音の違いを把握し正しい発音する（90分）	

		単母音 複母音		
3	祝 頌燕	lesson 2 母音の復習 声母 (子音) 無気音と有気音 そり舌音 消えるoとe	講義	【予習】音声教材を用い、子音を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、子音の違いを聞き分ける (90分)
4	祝 頌燕	lesson3 前回の復習 鼻音を伴う母音 またしても消えるe	講義	【予習】音声教材を用い、鼻母音を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、鼻母音の違いを把握し発音しながら練習する (90分)
5	祝 頌燕	lesson 4 前回の復習 声調変化 r 化 軽声 声調の組み合わせ	講義	【予習】音声教材を用い、声調変化と r 化を聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、軽声と声調変化を把握し発音しながら練習する (90分)
6	祝 頌燕	発音の復習 ピンインの書き取り練習 発音矯正 ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を用い、ピンインを聞いておく (90分) 【復習】音声教材を聞き、ピンインの綴りと声調記号を覚える。挨拶言葉をすぐ言えるように練習する (90分)
7	祝 頌燕	lesson5 キャンパスで (1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
8	祝 頌燕	lesson 6 キャンパスで (2) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
9	祝 頌燕	lesson7 学食で (1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
10	祝 頌燕	lesson 8 学食で (2) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。 (90分)
11	祝 頌燕	lesson 9 浅草で (1) 新出単語	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する (90分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語II			授業形態	講義
英語科目名	Chinese II			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	祝 頌燕			ナンバリング	BAP1206/BAR1206
担当教員	祝 頌燕				
授業概要					
全体内容	中国語Ⅰの文法をまんべんなくマスターするためのプログラムである。学生は前期で学修した中国語Ⅰをしっかりと覚えた上で、一層複雑な文法、会話の勉強に挑む。予習と復習をきちんと行い、文法をしっかりとマスターし、授業中の会話にも積極的に参加することにより、日常生活に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。常用語400～500語による中国語単文の日本語訳と日本語の中国語訳ができ、中国語検定準4級に合格することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、声調を含む発音を正しく発音することができる。 2、基礎単語約800語、ピンインの読み方と綴り方を身に付け、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、相手とのやりとりができる。 				
授業の位置づけ	第二外国語				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	前期に中国語Ⅰを受講していることが受講条件となる。前期に引き続き、音声教材を繰り返し聞いて、正しく発音すること。基本文法を理解したうえで、ヒヤリング、スピーキングをしっかり練習すること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題の提出（40%）期末試験（60%）				
評価基準	初級中国語を聴く、話す、読む、書くことができる				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内で適宜に返却する					
テキスト					
初級中国語きっかけ24	相原茂 蘇紅	朝日出版社			
参考文献					
『はじめての中国語学習辞典』相原 茂 朝日出版社 『どうちがう？似たもの中国語』相原 茂 蘇紅 朝日出版社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後、随時対応する。				
担当教員の実務経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	祝 頌燕	前期の復習 発音チェック 会話表現の復習 夏休みについての会話	講義	【予習】前期学んだ内容を音声教材で確認、夏休みについての会話文を作っておく（90分） 【復習】音声教材を聞き、単語、基本表現、会話文を身に付ける（90分）	
2	祝 頌燕	lesson13 電気店で 新出単語 本文 語法ポイント	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する（90分） 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。（90分）	

		Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習		
3	祝 頌燕	lesson14 ドラッグストアで 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
4	祝 頌燕	lesson15 居酒屋で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
5	祝 頌燕	lesson16 中華料理店で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
6	祝 頌燕	lesson17 タクシー乗り場で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
7	祝 頌燕	lesson18 電話をかける 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
8	祝 頌燕	lesson19 電車の中で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
9	祝 頌燕	lesson20 温泉旅館で(1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
10	祝 頌燕	lesson21 温泉旅館で(2) 新出単語 本文	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語II			授業形態	講義
英語科目名	Chinese II			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	祝 頌燕			ナンバリング	BAP1206/BAR1206
担当教員	祝 頌燕				
授業概要					
全体内容	中国語Ⅰの文法をまんべんなくマスターするためのプログラムである。学生は前期で学修した中国語Ⅰをしっかりと覚えた上で、一層複雑な文法、会話の勉強に挑む。予習と復習をきちんと行い、文法をしっかりとマスターし、授業中の会話にも積極的に参加することにより、日常生活に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。常用語400～500語による中国語単文の日本語訳と日本語の中国語訳ができ、中国語検定準4級に合格することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、声調を含む発音を正しく発音することができる。 2、基礎単語約800語、ピンインの読み方と綴り方を身に付け、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、相手とのやりとりができる。 				
授業の位置づけ	第二外国語				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	前期に中国語Ⅰを受講していることが受講条件となる。前期に引き続き、音声教材を繰り返し聞いて、正しく発音すること。基本文法を理解したうえで、ヒヤリング、スピーキングをしっかりと練習すること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題の提出（40％）期末試験（60％）				
評価基準	初級中国語を聴く、話す、読む、書くことが出来る				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内で適宜に返却する					
テキスト					
初級中国語きっかけ24	相原茂 蘇紅	朝日出版社			
参考文献					
『はじめての中国語学習辞典』相原 茂 朝日出版社 『どうちがう？似たもの中国語』相原 茂 蘇紅 朝日出版社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後、随時対応する。				
担当教員の実務経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	祝 頌燕	前期の復習 発音チェック 会話表現の復習 夏休みについての会話	講義	【予習】前期学んだ内容を音声教材で確認、夏休みについての会話文を作っておく（90分） 【復習】音声教材を聞き、単語、基本表現、会話文を身に付ける（90分）	
2	祝 頌燕	lesson13 電気店で 新出単語 本文 語法ポイント	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する（90分） 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。（90分）	

		Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習		
3	祝 頌燕	lesson14 ドラッグストアで 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
4	祝 頌燕	lesson15 居酒屋で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
5	祝 頌燕	lesson16 中華料理店で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
6	祝 頌燕	lesson17 タクシー乗り場で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
7	祝 頌燕	lesson18 電話をかける 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
8	祝 頌燕	lesson19 電車の中で 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
9	祝 頌燕	lesson20 温泉旅館で(1) 新出単語 本文 語法ポイント Drill ヒヤリング、スピーキングの練習 応答練習	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分) 【復習】音声教材を聞き、学習した内容をすべてすらすら言えるようにする。(90分)
10	祝 頌燕	lesson21 温泉旅館で(2) 新出単語 本文	講義	【予習】音声教材を繰り返し聞き、新出単語と本文を音読し、内容を把握する(90分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語I			授業形態	講義
英語科目名	French I			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	五十嵐 雅子			ナンバリング	BAP1207/BAR1207
担当教員	五十嵐 雅子				
授業概要					
全体内容	フランス語の初学者を対象とし、基礎的な会話表現を理解し、活用できることを目指します。歴史を刻むバリのエッフェル塔、ベルサイユ宮殿、睡蓮の絵で著名なオルセー美術館など、あるいは光あふれる地中海の保養地やプロバンスなど、観光先進国フランスの文化と社会の魅力を映像で紹介し、生きた言葉の理解を深めましょう。簡単な挨拶とABCから始め、綴りと発音の関係を学び、基礎的な会話のリスニングと口頭練習を繰り返し、そこに出てくる単語や文法項目の把握と理解を確認しながら進めます。挨拶や自己紹介、日本文化の紹介などを通じて、フランス語圏の人々とコミュニケーションをとることができれば、日本にいても世界が一段と広がることでしょう。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベットを覚える 2. つづりと音の関係を覚え、フランス語特有の発音ができるようになる 3. フランスの文化や日常の映像を通じてヨーロッパ文化の一端を理解し、説明できる 4. 基本的な挨拶や自己紹介、身の回りの話題についての簡単な会話を交わすことができる 5. 基本的な文法とその仕組みを覚え、展開活用することができる 6. Webを活用し、簡単な文章を読むことができる 				
授業の位置づけ	言語とスポーツ系				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	人生の豊かさを育む科目です。フランスを知りたい、新しい言葉を学びたいなど好奇心を持って授業に臨みましょう。音を聞いて学ぶ学習法が中心です。スマホやパソコンなどで映像を見たり、音声を聞いたり、授業外の余暇時間を活用して下さい。初級外国語の学習成果は触れている時間の長さで決まります。教科書に基づいた映像教材のほかに、ネットにアップされている入門教材や、フランス社会に関する映像を活用し、学びの幅を広げていきましょう。カフェ、マルシェ、シネマ、メゾン、シャトー、プチ〜などの言葉やマドレーヌ、ガトーショコラに代表されるお菓子の名前などフランス語由来の日本語はたくさんあります。judo、manga、sushiなど日本語もフランス語に入っています。探してみましょ。授業の進み方によって、シラバスは変更されることがあります。				
成績評価の方法					
評価方法	文法や聞き取りを中心とした小テスト、期末のテストのほか、授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)を評価の対象とします。				
評価基準	小テストなどの課題30% 期末のテスト50% 授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)10%				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業の前後を原則とします					
テキスト					
きみはな きみと話したい! フランス語 スマート版 Parlons et Lisons le français	大久保 正憲 / 木島 愛	朝日出版社	9784255352992	必ずスマート版を購入して下さい。同じ名前の旧版があります。間違っても購入しないように注意して下さい	
参考文献					
Web映像・音声などを予習復習に活用します。 教科書には単語集がついていますので、辞書の購入は不要です。備考欄を参照して下さい。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業の前後が確実です。それ以外に時間が必要な場合は、授業の前後に口頭で予約してください。				
担当教員の実務経験					
備考	教科書の単語集で学習を進めて下さい。Web辞書の閲覧はいりません。 特に作文などWeb辞書によって、教科書範囲外の表現を見かけます。正解とはしません。 教科書の単語集を用いて基本的な外国語学習を進めます。 まず教科書の表現をしっかりと覚えましょう。Web辞書で手を抜いた学習をしてはなりません。 辞書を使うのは中級に進んでからです。				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	五十嵐 雅子	Introduction 初級外国語の勉強方法についての説明 フランス語の音に慣れる 【基本】 音声聞いて繰り返しこと アルファベ 綴りと発音の関係を学ぶ。 予習・復習の方法 Webサイトの使い方 アルファベを例に (音声・映像・会話練習・辞書)	講義	【予習】 (90分) Webによる予習。(教科書のタイトルで検索 https://text.asahipress.com/text-web/france/kimihana/index.html) 【復習】 (90分) 音声ダウンロードにより、Arphabet(アルファベ)の復習。 フランス語のつづりと音の関係の確認。 音声を聞いて繰り返す
2	五十嵐 雅子	Leçon 1-1 あいさつ、自己紹介 Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 文法：国籍を表す形容詞 職業を表す単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画(dialogue)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は教科書の最後に掲載されているが、授業での予習プリントのLeçonごとの単語集を利用する。意味を調べるより、繰り返し発音し、音での学びを進めることを優先する。 【復習】 (90分) 動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
3	五十嵐 雅子	Leçon 1-2 あいさつ、自己紹介 Petits Dialogues 文法：主語人称代名詞 動詞êtreの活用 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
4	五十嵐 雅子	Leçon 1-3 あいさつ、自己紹介 Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web動画<友達紹介>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
5	五十嵐 雅子	Leçon 2-1 ほら、あります Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 提示表現/何だろう？/誰のだろう？	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
6	五十嵐 雅子	Leçon 2-2 ほら、あります Petits Dialogues 文法：名詞の性・数 不定冠詞 定冠詞 場所の前置詞 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
7	五十嵐 雅子	Leçon 2-3 ほら、あります Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web動画<バリのデパート>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
8	五十嵐 雅子	中間まとめ 2つのDialogues これまでの復習と確認 発音と綴り 特に動詞 êtreの活用 身の回りの単語 Phrases clé	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
9	五十嵐 雅子	Leçon 3-1 持っている？ Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 Phrases clé： Tu as des frère? <フランス語の数> 0～2 0	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
10	五十嵐 雅子	Leçon 3-2 持っている？ Petits Dialogues 文法：動詞avoirの活用	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語I			授業形態	講義
英語科目名	French I			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	五十嵐 雅子			ナンバリング	BAP1207/BAR1207
担当教員	五十嵐 雅子				
授業概要					
全体内容	フランス語の初学者を対象とし、基礎的な会話表現を理解し、活用できることを目指します。歴史を刻むバリのエッフェル塔、ベルサイユ宮殿、睡蓮の絵で著名なオルセー美術館など、あるいは光あふれる地中海の保養地やプロバンスなど、観光先進国フランスの文化と社会の魅力を映像で紹介し、生きた言葉の理解を深めましょう。簡単な挨拶とABCから始め、綴りと発音の関係を学び、基礎的な会話のリスニングと口頭練習を繰り返し、そこに出てくる単語や文法項目の把握と理解を確認しながら進めます。挨拶や自己紹介、日本文化の紹介などを通じて、フランス語圏の人々とコミュニケーションをとることができれば、日本にいても世界が一段と広がることでしょう。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベットを覚える 2. つづりと音の関係を覚え、フランス語特有の発音ができるようになる 3. フランスの文化や日常の映像を通じてヨーロッパ文化の一端を理解し、説明できる 4. 基本的な挨拶や自己紹介、身の回りの話題についての簡単な会話を交わすことができる 5. 基本的な文法とその仕組みを覚え、展開活用することができる 6. Webを活用し、簡単な文章を読むことができる 				
授業の位置づけ	言語とスポーツ系				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3				
履修上の注意、履修要件	人生の豊かさを育む科目です。フランスを知りたい、新しい言葉を学びたいなど好奇心を持って授業に臨みましょう。音を聞いて学ぶ学習法が中心です。スマホやパソコンなどで映像を見たり、音声を聞いたり、授業外の余暇時間を活用して下さい。初級外国語の学習成果は触れている時間の長さで決まります。教科書に基づいた映像教材のほかに、ネットにアップされている入門教材や、フランス社会に関する映像を活用し、学びの幅を広げていきましょう。カフェ、マルシェ、シネマ、メゾン、シャトー、プチ〜などの言葉やマドレーヌ、ガトーショコラに代表されるお菓子の名前などフランス語由来の日本語はたくさんあります。judo、manga、sushiなど日本語もフランス語に入っています。探してみましょう。授業の進み方によって、シラバスは変更されることがあります。				
成績評価の方法					
評価方法	文法や聞き取りを中心とした小テスト、期末のテストのほか、授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)を評価の対象とします。				
評価基準	小テストなどの課題30% 期末のテスト50% 授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)10%				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業の前後を原則とします					
テキスト					
きみはな きみと話したい! フランス語 スマート版 Parlons et Lisons le français	大久保 正憲 / 木島 愛	朝日出版社	9784255352992	必ずスマート版を購入して下さい。同じ名前の旧版があります。間違っても購入しないように注意して下さい	
参考文献					
Web映像・音声などを予習復習に活用します。 教科書には単語集がついていますので、辞書の購入は不要です。備考欄を参照して下さい。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業の前後が確実です。それ以外に時間が必要な場合は、授業の前後に口頭で予約してください。				
担当教員の実務経験					
備考	教科書の単語集で学習を進めて下さい。Web辞書の閲覧はいりません。 特に作文などWeb辞書によって、教科書範囲外の表現を見かけます。正解とはしません。 教科書の単語集を用いて基本的な外国語学習を進めます。 まず教科書の表現をしっかりと覚えましょう。Web辞書で手を抜いた学習をしてはなりません。 辞書を使うのは中級に進んでからです。				
授業計画					

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	五十嵐 雅子	Introduction 初級外国語の勉強方法についての説明 フランス語の音に慣れる 【基本】 音声聞いて繰り返しこと アルファベ 綴りと発音の関係を学ぶ。 予習・復習の方法 Webサイトの使い方 アルファベを例に (音声・映像・会話練習・辞書)	講義	【予習】(90分) Webによる予習。(教科書のタイトルで検索 https://text.asahipress.com/text-web/france/kimihana/index.html) 【復習】(90分) 音声ダウンロードにより、Arphabet(アルファベ)の復習。 フランス語のつづりと音の関係の確認。 音声を聞いて繰り返す
2	五十嵐 雅子	Leçon 1-1 あいさつ、自己紹介 Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 文法：国籍を表す形容詞 職業を表す単語	講義	【予習】(90分) Webの動画(dialogue)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は教科書の最後に掲載されているが、授業での予習プリントのLeçonごとの単語集を利用する。意味を調べるより、繰り返し発音し、音での学びを進めることを優先する。 【復習】(90分) 動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
3	五十嵐 雅子	Leçon 1-2 あいさつ、自己紹介 Petits Dialogues 文法：主語人称代名詞 動詞êtreの活用 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】(90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
4	五十嵐 雅子	Leçon 1-3 あいさつ、自己紹介 Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web動画<友達紹介>	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】(90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
5	五十嵐 雅子	Leçon 2-1 ほら、あります Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 提示表現/何だろう？/誰のだろう？	講義	【予習】(90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】(90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
6	五十嵐 雅子	Leçon 2-2 ほら、あります Petits Dialogues 文法：名詞の性・数 不定冠詞 定冠詞 場所の前置詞 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】(90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
7	五十嵐 雅子	Leçon 2-3 ほら、あります Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web動画<バリのデパート>	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】(90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
8	五十嵐 雅子	中間まとめ 2つのDialogues これまでの復習と確認 発音と綴り 特に動詞 êtreの活用 身の回りの単語 Phrases clé	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 【復習】(90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
9	五十嵐 雅子	Leçon 3-1 持っている？ Dialogue： 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。聞き取り、和文仏訳。 Phrases clé： Tu as des frère? <フランス語の数> 0～2 0	講義	【予習】(90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】(90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
10	五十嵐 雅子	Leçon 3-2 持っている？ Petits Dialogues 文法：動詞avoirの活用	講義	【予習】(90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語II	授業形態	講義
英語科目名	French II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	五十嵐 雅子	ナンバリング	BAP1208/BAR1208
担当教員	五十嵐 雅子		
授業概要			
全体内容	フランス語Ⅰに続いて、フランス語の基礎の習熟を図ります。日常生活の会話表現をもとに、すでに学んだフランス語の基本的な知識を振り返り、音声データによるリスニング、口頭練習を繰り返す過程で、新しい単語や言い回しの知識と運用能力を付けましょう。グルメ、ワインやファッションなどヨーロッパ文化の中心であるフランスの歴史や風俗、習慣、フランス人気質にも触れ、言葉の背景をより深く理解する手立てとします。ラテン系のルーツを持つフランス語は、11世紀初頭の「ノルマンの征服」の時代には英国の宮廷の言葉となり、以後の英語の歴史に大きな影響を与えることとなりました。フランス語の学修によって、これまで学んできた英語がより厚みのあるものとなることも期待できます。第2外国語学習の醍醐味を満喫して下さい。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベットを正しく発音できる 2. つづりと音の関係を習得し、文章を正しい発音で読むことができる。 3. フランスの文化や日常の映像を通じてヨーロッパ文化の一端を理解し、説明できる 4. 簡単な挨拶や自己紹介、身の回りの話題についての会話を交わすことができる 5. 基本的な文法を覚え、展開活用することができる。 6. Web辞書等を使って簡単な文章を読むことができる 		
授業の位置づけ	言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>前期の継続です。この授業はフランス、フランス語を学ぶことで人生を豊かにするばかりでなく、専門科目の学習を深めます。フランスを知りたい、新しい言葉を学びたいという気持ちから学習を始めたとしても、第二外国語の学習方法は医療系の学習と大いに共通するものを見つけて下さい。</p> <p>語学は単語学習が基礎です。医療系ではまず「人体の構造と機能」の科目で多くの暗記事項が出てきます。そこには何らかの法則性があるのですが、それは言葉の規則である「文法」に近似しています。</p> <p>どうでしょう、ほかにもあるのでしょうか。映像教材が効果的に使えるのもおなじです。改めて映像の意味を考えてみませんか。</p> <p>最後に学びの幅について。</p> <p>初級外国語の学習成果は触れている時間の長さで決まります。授業のテキストに基づいた映像教材のほかに、ネットにアップされている英語版の入門教材や、フランス社会や文化に関する映像を活用し、学びの幅を広げていきます。カフェ、マルシェ、シネマ、メゾン、シャトー、プチ～などの言葉やマドレーヌ、ガトーショコラに代表されるお菓子の名前などフランス語由来の日本語はたくさんあります。judo、manga、sushiなど日本語もフランス語に入っています。探してみましょう。</p> <p>授業の進み方によって、シラバスは変更されることがあります。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	文法や聞き取りを中心とした小テスト、期末のテストのほか、授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)を評価の対象とします。		
評価基準	小テストなどの課題30% 期末テスト50% 授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)10%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業中を原則とします			
テキスト			
きみはな きみと話したい! フランス語 スマート版 Parlons et Lisons le français	大久保 正憲 / 木島 愛	朝日出版社	9784255352992
必ずスマート版を購入して下さい。同じ名前の旧版があります。間違っても購入しないように注意して下さい			
参考文献			
Web映像・音声などを予習復習に活用します。 教科書には単語集がついていますので、辞書の購入は不要です。備考欄を参照して下さい。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	授業の前後を原則とします		
担当教員の実務経歴			

備考	教科書の単語集で学習を進めて下さい。Web辞書の閲覧はいりません。 特に作文などWeb辞書によって、教科書範囲外の表現を見かけます。正解とはしません。 教科書の単語集を用いて基本的な外国語学習を進めます。 まず教科書の表現をしっかりと覚えましょう。Web辞書で手を抜いた学習をしてはなりません。 辞書を使うのは中級に進んでからです。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	五十嵐 雅子	初級外国語の勉強方法について確認 【基本】 音声聞いて繰り返すこと アルファベ 綴りと発音の関係を再確認。未知の文章を読む 予習・復習の方法 いろいろなWebサイトの使い方 (音声・映像・会話練習・辞書) Web<フランスについての映像>	講義	【予習】 (90分) Webによる予習。(教科書のタイトルで検索 https://text.asahipress.com/text-web/france/kimihana/index.html) 【復習】 (90分) 音声ダウンロードにより フランス語の文字と音の関係の確認。 Webで基本的音声のサイトを複数聞いて正しい発音を再現する。
2	五十嵐 雅子	Leçon 5-1 買いもの Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 ・数字 : Je voudrais/Combien de Vocabulaire : 食品に関する単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
3	五十嵐 雅子	Leçon 5-2 買いもの Petits Dialogues 文法 : 動詞vouloirの活用 部分冠詞 中性代名詞en 指示代名詞ceci, cela 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
4	五十嵐 雅子	Leçon 5-3 買いもの 数字 Webの動画(通常速度)を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices 数字21~2010 Lecture Web<パリのマルシェ>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
5	五十嵐 雅子	Leçon 6-1 どこに？ Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 Phrases clé : 曜日、月、日付、四季 Web<日、月、四季>	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
6	五十嵐 雅子	Leçon 6-2 どこに？ Petits Dialogues 文法 : aller, venirの活用 前置詞+定冠詞の縮約 ~国へ・~国から 強勢形人称代名詞、疑問副詞 Web<日付、英語との対比>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
7	五十嵐 雅子	Leçon 6-3 どこに？ Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web<Festivals en France>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
8	五十嵐 雅子	中間まとめ 2つのDialogues これまでの復習と確認 発音と綴り 特に動詞の活用 身の回りの単語 Phrases clé	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
9	五十嵐 雅子	Leçon 7-1 何時に？ 時刻の表現 Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 Phrases clé : Quelle heures est-il? Web<フランス語の数>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語II	授業形態	講義
英語科目名	French II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	五十嵐 雅子	ナンバリング	BAP1208/BAR1208
担当教員	五十嵐 雅子		
授業概要			
全体内容	フランス語Ⅰに続いて、フランス語の基礎の習熟を図ります。日常生活の会話表現をもとに、すでに学んだフランス語の基本的な知識を振り返り、音声データによるリスニング、口頭練習を繰り返す過程で、新しい単語や言い回しの知識と運用能力を付けましょう。グルメ、ワインやファッションなどヨーロッパ文化の中心であるフランスの歴史や風俗、習慣、フランス人気質にも触れ、言葉の背景をより深く理解する手立てとします。ラテン系のルーツを持つフランス語は、11世紀初頭の「ノルマンの征服」の時代には英国の宮廷の言葉となり、以後の英語の歴史に大きな影響を与えることとなりました。フランス語の学修によって、これまで学んできた英語がより厚みのあるものとなることも期待できます。第2外国語学習の醍醐味を満喫して下さい。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語のアルファベットを正しく発音できる 2. つづりと音の関係を習得し、文章を正しい発音で読むことができる。 3. フランスの文化や日常の映像を通じてヨーロッパ文化の一端を理解し、説明できる 4. 簡単な挨拶や自己紹介、身の回りの話題についての会話を交わすことができる 5. 基本的な文法を覚え、展開活用することができる。 6. Web辞書等を使って簡単な文章を読むことができる 		
授業の位置づけ	言語とスポーツ系		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>前期の継続です。この授業はフランス、フランス語を学ぶことで人生を豊かにするばかりでなく、専門科目の学習を深めます。フランスを知りたい、新しい言葉を学びたいという気持ちから学習を始めたとしても、第二外国語の学習方法は医療系の学習と大いに共通するものを見つけて下さい。</p> <p>語学は単語学習が基礎です。医療系ではまず「人体の構造と機能」の科目で多くの暗記事項が出てきます。そこには何らかの法則性があるのですが、それは言葉の規則である「文法」に近似しています。</p> <p>どうでしょう、ほかにもあるのでしょうか。映像教材が効果的に使えるのもおなじです。改めて映像の意味を考えてみませんか。</p> <p>最後に学びの幅について。</p> <p>初級外国語の学習成果は触れている時間の長さで決まります。授業のテキストに基づいた映像教材のほかに、ネットにアップされている英語版の入門教材や、フランス社会や文化に関する映像を活用し、学びの幅を広げていきます。カフェ、マルシェ、シネマ、メゾン、シャトー、プチ～などの言葉やマドレーヌ、ガトーショコラに代表されるお菓子の名前などフランス語由来の日本語はたくさんあります。judo、manga、sushiなど日本語もフランス語に入っています。探してみましょう。</p> <p>授業の進み方によって、シラバスは変更されることがあります。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	文法や聞き取りを中心とした小テスト、期末のテストのほか、授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)を評価の対象とします。		
評価基準	小テストなどの課題30% 期末テスト50% 授業への参加態度(予習復習・自主学習を含む)10%		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業中を原則とします			
テキスト			
きみはな きみと話したい！フランス語 スマート版 Parlons et Lisons le français plus facilement	大久保 正憲 / 木島 愛	朝日出版社	9784255352992
必ずスマート版を購入して下さい。同じ名前の旧版があります。間違っても購入しないように注意して下さい			
参考文献			
Web映像・音声などを予習復習に活用します。 教科書には単語集がついていますので、辞書の購入は不要です。備考欄を参照して下さい。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	授業の前後を原則とします		
担当教員の実務経歴			

備考	教科書の単語集で学習を進めて下さい。Web辞書の閲覧はいりません。 特に作文などWeb辞書によって、教科書範囲外の表現を見かけます。正解とはしません。 教科書の単語集を用いて基本的な外国語学習を進めます。 まず教科書の表現をしっかりと覚えましょう。Web辞書で手を抜いた学習をしてはなりません。 辞書を使うのは中級に進んでからです。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	五十嵐 雅子	初級外国語の勉強方法について確認 【基本】 音声聞いて繰り返すこと アルファベ 綴りと発音の関係を再確認。未知の文章を読む 予習・復習の方法 いろいろなWebサイトの使い方 (音声・映像・会話練習・辞書) Web<フランスについての映像>	講義	【予習】 (90分) Webによる予習。(教科書のタイトルで検索 https://text.asahipress.com/text-web/france/kimihana/index.html) 【復習】 (90分) 音声ダウンロードにより フランス語の文字と音の関係の確認。 Webで基本的音声のサイトを複数聞いて正しい発音を再現する。
2	五十嵐 雅子	Leçon 5-1 買いもの Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 ・数字 : Je voudrais/Combien de Vocabulaire : 食品に関する単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
3	五十嵐 雅子	Leçon 5-2 買いもの Petits Dialogues 文法 : 動詞vouloirの活用 部分冠詞 中性代名詞en 指示代名詞ceci, cela 前回の確認 Dialogue 文法 単語	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
4	五十嵐 雅子	Leçon 5-3 買いもの 数字 Webの動画(通常速度)を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices 数字21~2010 Lecture Web<パリのマルシェ>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
5	五十嵐 雅子	Leçon 6-1 どこに？ Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 Phrases clé : 曜日、月、日付、四季 Web<日、月、四季>	講義	【予習】 (90分) Webの動画(遅い速度)を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
6	五十嵐 雅子	Leçon 6-2 どこに？ Petits Dialogues 文法 : aller, venirの活用 前置詞+定冠詞の縮約 ~国へ・~国から 強勢形人称代名詞、疑問副詞 Web<日付、英語との対比>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Dialogue 文法の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
7	五十嵐 雅子	Leçon 6-3 どこに？ Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 Exercices Lecture Web<Festivals en France>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。 聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単元全体の復習 小テストの準備 【復習】 (90分) Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
8	五十嵐 雅子	中間まとめ 2つのDialogues これまでの復習と確認 発音と綴り 特に動詞の活用 身の回りの単語 Phrases clé	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習
9	五十嵐 雅子	Leçon 7-1 何時に？ 時刻の表現 Dialogue : 聞き取り、繰り返し、覚える。 書く。和文仏訳。 Phrases clé : Quelle heures est-il? Web<フランス語の数>	講義	【予習】 (90分) Webの動画を見る。聞き取り、繰り返し。書いてみる。 単語は単語集で確認する。 【復習】 (90分) 音声・動画を見る Dialogueを繰り返す。単語、文法を復習

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	国語表現法	授業形態	講義	
英語科目名	Japanese Technical Writing	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	1年	単位数	2単位	
代表教員	柿崎 廣幸	ナンバリング	BAP1209/BAR1209	
担当教員	柿崎 廣幸			
授業概要				
全体内容	医療技術の分野は、人の生命に直結し、人間を相手とする分野である。そこでは言葉によるコミュニケーションが不可欠である。そのために自分の考えをきちんとまとめて伝える能力や言葉のやりとりを通して他人と理解し合う能力が必要となる。コミュニケーションの基幹をなすのは「話す」と「書く」ことであるが、ここでは「書く」ことを中心に講義を進める。さて高度な情報化、技術化社会の出現で「書く」ことがより重要な意味を持つ時代になっているが、それは自分の考えやメッセージを正確に伝えられるかどうかで時代を生き抜く適性を判断されるということを含んでいるとも言える。本講義では、まず学生の「書く力」を正確に把握し、講義、読解、作文演習、添削、小テストなどを通じて国語表現力（文章表現力）を身に付けることを目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の表記（現代仮名遣い、送り仮名、句読点、外来語の表記、常用漢字等）について理解し、正しく使うことができる。 ・日本語の特質（文法、主語と述語、修飾語と被修飾語の関係、敬語等）を理解し、明解な文章を書くことができる。 ・与えられたテーマについて適正に構成し、論理的な文章を書くことができる。 ・医療に関する記事や文学作品などに興味を持ち、それを学修や生活に生かすことができる。 ・レポート、論文、はがき、手紙、案内状、メール文等のさまざまな文章を書くことができる。 			
授業の位置づけ	言語とスポーツ系			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1C1、理学DP-1C1、放射DP-1C1 他者理解と自己表現のためのコミュニケーション能力は、将来医療現場において患者との対応に必須である。言葉（国語）の正しい表現法を学ぶことで他者を理解したり、社会や医療現場で通じる実践的な自己表現を獲得できる。			
履修上の注意、履修要件	講義には国語辞書（携帯に便利なものでも可、電子辞書も可）を必ず持参のこと。高校で使用した「国語便覧」があれば確保しておくこと。文章を書く基本的なことから段階的に講義を進め、前半はほぼ毎時小テストを実施し、次時に返却、解説をするので欠席、遅刻はしないこと。やむを得ず欠席した場合は欠時に使用したプリント、資料をすぐ担当者から手に入れ自己学修をすることが必要である。また次時で使用する教材の一部分を講義の最後に必ず配布するので予習すること。また返却された小テスト、添削された課題作文等を復習、検討して学んだことをしっかり定着させることも肝要なことである。「書くことは読むことに裏付けられている。」とよくいうが、読書の量が文章力を保証するということである。講義の中で適宜読んでほしい文章、作品等を紹介するので、「読む」という行為にも力を入れること。なお、大学の立地条件を生かし、神田神保町の古書店街で将来の文献探索のために役立つようにフィールドワークを行う。神保町には医療関係専門の古書店もある。また多くの医療関係の本を備えた大型書店もあるので知っておくことが必要である。			
成績評価の方法				
評価方法	講義中の小テスト（30％）、課題作文（50％）、その他課題（20％）で評価する。			
評価基準	講義中の小テスト（30％）、課題作文（50％）、その他課題（20％）で評価する。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
・授業内で返却、講評、解説する。				
テキスト				
参考文献				
・教材は毎時担当者で用意する。参考書「新しい国語表記ハンドブック」（第八版）三省堂				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・教員のオフィスアワーを確認すること。			
担当教員の実務経歴				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	柿崎 廣幸	初回ガイダンス 1、授業の概要説明、 2、日本語の表記、仮名遣い、漢字、文字について理解する。 3、句読点等文章表現に必要な基本的事項、ルールを説明する。ルールを身に付け、ルールに則ることがかえって面倒でないことを理解する。	講義	【予習】（90分） 1,シラバスをよく読んでおく。 2,辞書、ノート等の準備の確認。 【復習】（90分） 日本語の表記の基本的事項、ルールについて、初めて学んだこと、今まで誤って

		3、「自己紹介」の文を書く。最初の講義なので学生諸君と担当者の互いの理解のために紹介の文を書く。 4、次回の「文体の使い分け、話しことば、書きことば、あいまいな表現、文の乱れ」の資料配付。		覚えていたことなどを整理して、見直し、正しい知識を定着させ、次回の小テストの準備をする。
2	柿崎 廣幸	1、小テストの実施。 2、「自己紹介の文」についての講評。 3、文体には「敬体、常体」があり、相手や目的に応じて使うこと、文章中に不用意に話しことばを用いないことなどを学ぶ。 4、複数の解釈ができる文や主語と述語、修飾語と被修飾語のねじれがある文、呼応の関係が不適切な文のおかしさを理解し、それを適切な文にすることを学ぶ。 5、次回の「文を区切る、表現の工夫、接続詞、指示語」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、文体の種類と、話しことば、書きことばを調べて、それぞれどのように使い分けるかをまとめておく。 2、あいまいな文、文の乱れの原因は何か、主語と述語、修飾語と被修飾語、呼応の関係などを調べておく。 【復習】(90分) 1、文体、話しことば、書きことば、あいまいな表現、文の乱れについて再度見直し、次回の小テストの準備をする。
3	柿崎 廣幸	1、小テストの実施。 2、前回の小テストの返却、講評。 3、一つ文が長いと読み手にとって分かりにくいこと、対応関係が乱れることを防ぐために、簡潔に書くことを理解する。 4、比喩、擬声語、擬態語、倒置法、体言止め、文末表現などさまざまな表現技法を理解する。 5、接続語句は文と文との論理的関係を示し、指示語は前の文の内容を後の文に持ち込むことにより両文を関係付けることを理解する。適切な使い方を学び論理的文章を書けるようにする。 6、次回の「悪文治療」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、一つの文が長いとなぜ読みにくいかを考えてみる。 2、比喩、擬声語、擬態語、倒置法などの表現法について確認しておく。 3、接続詞、指示語にはどのようなものがあり、どのような働きをするか確認しておく。 【復習】(90分) 1、文を区切って書くことの必要、さまざまな表現技法、接続語句、指示語の適切な使い方を再度確認し、次回の小テストの準備をする。 2、返却された小テストの復習。
4	柿崎 廣幸	1、小テストの実施。 2、前回の小テストの返却、講評。 3、「悪文治療」、ここまで正しい表記や基本的な表現の仕方について学んできた。そのまとめとして、文章をいろいろな観点から点検して、不適切な表現を指摘し改めることで自分の表現力を高める。 4、次回の「神保町フィールドワーク」の説明と資料配付。 5、6回「感じたことを表現する。」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、いわゆる「悪文」といわれる文を改め適切な文にするにはこれまで学んだことを総動員する必要があるため、1回から3回まで学んだことをすべて再確認しておくこと。 【復習】(90分) 1、これまで学んだことを、再度見直し、どのような文章も適切な表現に改めることができるようにする。 なお、「悪文治療」の小テストは6回の講義で実施。 2 返却された小テストの復習。
5	柿崎 廣幸	1、教室にて点呼。注意事項伝達。 2、神保町に移動。 3、フィールドワーク 4、各自点呼を受け解散。(点呼の場所は天候によるので当日指示。)	フィールドワーク	【予習】(90分) 1、配布された資料をよく見ておく。神保町について調べておく。 【復習】(90分) 2、指示された要領でフィールドワークのレポートを書く。次回提出。
6	柿崎 廣幸	1、「悪文治療」の小テスト。 2、4回的小テストの返却。 3、「フィールドワーク」の講評。 4、「感じたことを表現する。」文章を書くことは自分の思いを表現することである。思いのものは感じることである。ここでは写真を見て感じたことをもとに想像し、そこから生じた思いを表現してみる。回収。 4、次回「情景を表現する。」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、配布された資料を見て、感じたことをまとめておく。 【復習】(90分) 1、感じたことから生じた自分の思いを十分に表現できたかを確認する。 2、返却された小テストの復習。
7	柿崎 廣幸	1、前回の小テストの返却、講評。 2、「フィールドワーク」のレポートの返却、講評。 3、「情景を表現する。」表現するには、情報を的確に把握することが大事である。今回は一枚の写真を提示する。写真にはさまざまな情報がある。目に見える情報はもちろん、目に見えない情報も見えて取れる。それらを的確に読み取り表現してみる。回収。 4、次回「紹介の文章を書く。」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、配布された資料から読み取れる情報をまとめておく。 【復習】(90分) 1、見える情報、見えない情報を読み取り、それらを表現に十分に生かすことができたかを確認する。 2、返却された小テストの復習。
8	柿崎 廣幸	1、前回の作文の返却、講評。 2、「紹介の文章を書く」紹介するというのは、あることについて、それが何なのか、どのようなものなのかということ、他の人に伝えることである。それを知らない人にも理解できるような文章を書くことが大切である。以上のことを踏まえ「自分を紹介する」文章を書いてみる。書くための材料を集める方法、整理の仕方を学ぶ。 3、次回「自分の意見を文章に書く」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、配布された資料を読み、「自分を紹介する文章」を書くために必要な材料を集め、まとめておく。 【復習】(90分) 1、知らない人にも十分に分かるように自分を紹介できたか検証してみる。 2、返却された作文の検証。
9	柿崎 廣幸	1、前回の作文の返却、講評。 2、「自分の意見を文章に書く。」意見を述べるためには、普段から社会のさまざまな事象に対して関心を持ち、考えを深め、自分自身の考えや行動を見つめ直すことが必要となる。構成メモの作成の方法を学ぶ。回収。 3、次回「与えられた課題で文章を書く。」課題「心に残るあること。」の資料配付。	講義	【予習】(90分) 1、配布された資料を読み、自分の考えをまとめておく。構成メモにできる範囲で記入しておく。 【復習】(90分) 1、自分の意見、主張を読み手に納得させることができる文章が書けたかを検証

科目名	スポーツ理論・実技		授業形態	演習
英語科目名	Sports Theory and Practice		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	1単位
代表教員	青木 和浩		ナンバリング	BAP1210/BAR1210
担当教員	青木 和浩、門屋 悠香			
授業概要				
全体内容	健康やスポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論及び実践方法についての理解を深める。個々の体力に応じた様々なトレーニングの実践及び対象者の目的に応じた各種スポーツの方法について実技を中心に学修する。本講義では、トレーニングの基礎理論とその具体的方法について、体育館等での実技を通して、健康やスポーツ科学への学問的な理解を深めることと各自の健康づくりや体力向上を目的として展開する。実技内容は、レクリエーションスポーツ、ネット型ゲーム、ストレッチング、有酸素トレーニング、無酸素トレーニング、筋力トレーニング等を実施する。また実技を通して対人へのコミュニケーション能力の養成も目標とする。			
到達目標	1.各種スポーツの実践を通して、健康づくりや体力向上の取り組みを学ぶとともに生涯にわたりスポーツに親しみ実践していく態度を養う。 2.実技の授業を通じて、コミュニケーション能力を育み、豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力を養う。			
授業の位置づけ	本科目は、初年次共通科目として位置付けられている。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	授業内容は教場や天候等の状況により、授業計画が前後することがあるので、授業内のアナウンスやJ-Passを確認すること。授業内の評価は、出席状況や授業内での課題、小レポートで評価を行う。課題レポートは、授業の振り返りを基にレポートを作成する。授業中は、安全面に十分注意し、事故や怪我の無いように高い倫理観をもって望んでほしい。 ※新型コロナウイルス対策により、オンライン授業での実施となる場合もある。その際は、オンライン上でも実技可能な服装や環境を準備し、安全面にも配慮しながら実施する。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート（100％）			
評価基準	・各種スポーツに関するルールや技術を習得できる（授業内評価） ・スポーツ理論と実践を理解する（課題レポート）			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
参考文献				
・資料がある場合は、授業内で配布する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	k-aoki@juntendo.ac.jp スポーツ健康科学部 体力トレーニング研究室（1509号室） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木、門屋	初回ガイダンス (1) 授業計画と進め方を説明する (2) 評価方法の説明をする (3) 課題レポートの説明する	講義	【予習】（90分） シラバスの内容を熟読しておく 【復習】（90分） 授業計画を参考に授業の進め方について理解する。
2	青木 他	レクリエーションスポーツ① 「レクリエーションゲーム1」 (1) レクリエーションゲームのルールを学ぶ (2) レクリエーションゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】（90分） レクリエーションゲームについて、どのようなスポーツかを調べておく 【復習】（90分） レクリエーションゲームのルールを復習する

3	青木 他	トレーニング① 「ストレッチング」 (1) ストレッチングの効果を学ぶ (2) 複数のストレッチングを実施する	演習	【予習】 (90分) ストレッチングの種類を調べておく 【復習】 (90分) ストレッチングの種類と実施上の留意点を復習する
4	青木 他	レクリエーションスポーツ② 「レクリエーションゲーム2」 (1) グループに分かれてレクリエーションゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) 前回と異なるレクリエーションゲームの種類を調べる 【復習】 (90分) レクリエーションゲームのルールを復習する
5	青木 他	トレーニング② 「有酸素運動」 (1) 有酸素運動の効果を学ぶ (2) 有酸素運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 有酸素運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した有酸素運動の効果と実施上の留意点を復習する
6	青木 他	レクリエーションスポーツ③ 「ボールゲーム1」 (1) ボールを用いたゲームのルールを学ぶ (2) ボールを用いたゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】 (90分) ボールゲームの種類とルールを調べておく 【復習】 (90分) 実施したボールゲームの運動効果とルールを復習する
7	青木 他	トレーニング③ 「筋力トレーニング」 (1) 筋力トレーニングの効果を学ぶ (2) 筋力トレーニングを実施する	演習	【予習】 (90分) 筋力トレーニングの種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した筋力トレーニングの運動効果と実施上の留意点を復習する
8	青木 他	レクリエーションスポーツ④ 「ボールゲーム2」 (1) グループに分かれてボールゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) 前回と異なるボールゲームの種類とルールを調べておく 【復習】 (90分) 実施したボールゲームの運動効果とルールを復習する
9	青木 他	トレーニング④ 「無酸素運動」 (1) 無酸素運動の効果を学ぶ (2) 複数の無酸素運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 無酸素運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した無酸素運動の運動効果と実施上の留意点を復習する
10	青木 他	レクリエーションスポーツ⑤ 「ボールゲーム3」 (1) ボールゲームのルールを学ぶ (2) ボールゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】 (90分) ボールゲームの種類を調べておく 【復習】 (90分) ボールゲームの運動効果とルール、実施上の留意点を復習する
11	青木 他	トレーニング⑤ 「自重を用いた運動」 (1) 自重を用いた運動の効果を学ぶ (2) 自重を用いた複数の運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 自重を用いた運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した自重を用いた運動の効果と実施上の留意点を復習する
12	青木 他	レクリエーションスポーツ⑥ 「ネット型ゲーム1」 (1) グループに分かれてネット型ゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) ネット型スポーツの種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施したネット型ゲームの運動効果とルール、実施上の留意点を復習する
13	青木 他	トレーニング⑤ 「トレーニング内容の立案と実施」 (1) 各自で実施する健康増進・体力向上を目的としたトレーニング内容の立案する (2) 立案に基づいた運動を実施する	演習	【予習】 (90分) これまでのトレーニングの授業で実施した内容をまとめる 【復習】 (90分) 立案内容と実施内容が合っていたかを確認しておく
14	青木 他	体力測定 (1) 現在の自身の体力測定を行う (2) 生涯スポーツを実施する上での運動処方を検討する	演習	【予習】 (90分) 高校時代の体力テスト結果を調べておく 【復習】 (90分) 測定結果と他者との比較を行い、自身の特徴を確認する
15	青木 他	レポート作成 これまでの授業実施内容から、生涯スポーツに親しむために必要な運動や授業で得られた感想を整理しレポート作成を行う	演習	【予習】 (90分) これまでの授業内容の留意点をまとめておく 【復習】 (90分) レポート内容を確認し、各自の生涯スポーツへのかかわり方を考える

科目名	スポーツ理論・実技		授業形態	演習
英語科目名	Sports Theory and Practice		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	1単位
代表教員	青木 和浩		ナンバリング	BAP1210/BAR1210
担当教員	青木 和浩、門屋 悠香			
授業概要				
全体内容	健康やスポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論及び実践方法についての理解を深める。個々の体力に応じた様々なトレーニングの実践及び対象者の目的に応じた各種スポーツの方法について実技を中心に学修する。本講義では、トレーニングの基礎理論とその具体的方法について、体育館等での実技を通して、健康やスポーツ科学への学問的な理解を深めることと各自の健康づくりや体力向上を目的として展開する。実技内容は、レクリエーションスポーツ、ネット型ゲーム、ストレッチング、有酸素トレーニング、無酸素トレーニング、筋力トレーニング等を実施する。また実技を通して対人へのコミュニケーション能力の養成も目標とする。			
到達目標	1.各種スポーツの実践を通して、健康づくりや体力向上の取り組みを学ぶとともに生涯にわたりスポーツに親しみ実践していく態度を養う。 2.実技の授業を通じて、コミュニケーション能力を育み、豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力を養う。			
授業の位置づけ	本科目は、初年次共通科目として位置付けられている。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	授業内容は教場や天候等の状況により、授業計画が前後することがあるので、授業内のアナウンスやJ-Passを確認すること。授業内の評価は、出席状況や授業内での課題、小レポートで評価を行う。課題レポートは、授業の振り返りを基にレポートを作成する。授業中は、安全面に十分注意し、事故や怪我の無いように高い倫理観をもって望んでほしい。 ※新型コロナウイルス対策により、オンライン授業での実施となる場合もある。その際は、オンライン上でも実技可能な服装や環境を準備し、安全面にも配慮しながら実施する。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート（100％）			
評価基準	・各種スポーツに関するルールや技術を習得できる（授業内評価） ・スポーツ理論と実践を理解する（課題レポート）			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
参考文献				
・資料がある場合は、授業内で配布する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	k-aoki@juntendo.ac.jp スポーツ健康科学部 体力トレーニング研究室（1509号室） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木、門屋	初回ガイダンス (1) 授業計画と進め方を説明する (2) 評価方法の説明をする (3) 課題レポートの説明する	講義	【予習】（90分） シラバスの内容を熟読しておく 【復習】（90分） 授業計画を参考に授業の進め方について理解する。
2	青木 他	レクリエーションスポーツ① 「レクリエーションゲーム1」 (1) レクリエーションゲームのルールを学ぶ (2) レクリエーションゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】（90分） レクリエーションゲームについて、どのようなスポーツかを調べておく 【復習】（90分） レクリエーションゲームのルールを復習する

3	青木 他	トレーニング① 「ストレッチング」 (1) ストレッチングの効果を学ぶ (2) 複数のストレッチングを実施する	演習	【予習】 (90分) ストレッチングの種類を調べておく 【復習】 (90分) ストレッチングの種類と実施上の留意点を復習する
4	青木 他	レクリエーションスポーツ② 「レクリエーションゲーム2」 (1) グループに分かれてレクリエーションゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) 前回と異なるレクリエーションゲームの種類を調べる 【復習】 (90分) レクリエーションゲームのルールを復習する
5	青木 他	トレーニング② 「有酸素運動」 (1) 有酸素運動の効果を学ぶ (2) 有酸素運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 有酸素運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した有酸素運動の効果と実施上の留意点を復習する
6	青木 他	レクリエーションスポーツ③ 「ボールゲーム1」 (1) ボールを用いたゲームのルールを学ぶ (2) ボールを用いたゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】 (90分) ボールゲームの種類とルールを調べておく 【復習】 (90分) 実施したボールゲームの運動効果とルールを復習する
7	青木 他	トレーニング③ 「筋力トレーニング」 (1) 筋力トレーニングの効果を学ぶ (2) 筋力トレーニングを実施する	演習	【予習】 (90分) 筋力トレーニングの種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した筋力トレーニングの運動効果と実施上の留意点を復習する
8	青木 他	レクリエーションスポーツ④ 「ボールゲーム2」 (1) グループに分かれてボールゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) 前回と異なるボールゲームの種類とルールを調べておく 【復習】 (90分) 実施したボールゲームの運動効果とルールを復習する
9	青木 他	トレーニング④ 「無酸素運動」 (1) 無酸素運動の効果を学ぶ (2) 複数の無酸素運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 無酸素運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した無酸素運動の運動効果と実施上の留意点を復習する
10	青木 他	レクリエーションスポーツ⑤ 「ボールゲーム3」 (1) ボールゲームのルールを学ぶ (2) ボールゲームの基礎練習を行う	演習	【予習】 (90分) ボールゲームの種類を調べておく 【復習】 (90分) ボールゲームの運動効果とルール、実施上の留意点を復習する
11	青木 他	トレーニング⑤ 「自重を用いた運動」 (1) 自重を用いた運動の効果を学ぶ (2) 自重を用いた複数の運動を実施する	演習	【予習】 (90分) 自重を用いた運動の種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施した自重を用いた運動の効果と実施上の留意点を復習する
12	青木 他	レクリエーションスポーツ⑥ 「ネット型ゲーム1」 (1) グループに分かれてネット型ゲームを行う (2) ゲームの運営を行う	演習	【予習】 (90分) ネット型スポーツの種類を調べておく 【復習】 (90分) 実施したネット型ゲームの運動効果とルール、実施上の留意点を復習する
13	青木 他	トレーニング⑤ 「トレーニング内容の立案と実施」 (1) 各自で実施する健康増進・体力向上を目的としたトレーニング内容の立案する (2) 立案に基づいた運動を実施する	演習	【予習】 (90分) これまでのトレーニングの授業で実施した内容をまとめる 【復習】 (90分) 立案内容と実施内容が合っていたかを確認しておく
14	青木 他	体力測定 (1) 現在の自身の体力測定を行う (2) 生涯スポーツを実施する上での運動処方を検討する	演習	【予習】 (90分) 高校時代の体力テスト結果を調べておく 【復習】 (90分) 測定結果と他者との比較を行い、自身の特徴を確認する
15	青木 他	レポート作成 これまでの授業実施内容から、生涯スポーツに親しむために必要な運動や授業で得られた感想を整理しレポート作成を行う	演習	【予習】 (90分) これまでの授業内容の留意点をまとめておく 【復習】 (90分) レポート内容を確認し、各自の生涯スポーツへのかかわり方を考える

科目名	スポーツ健康運動方法論	授業形態	演習	
英語科目名	Sports, Health, and Exercise Sciences	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	青木 和浩	ナンバリング	BAP1211/BAR1211	
担当教員	青木 和浩、門屋 悠香			
授業概要				
全体内容	本講義では、スポーツや健康にかかわる様々な運動方法について学ぶ。授業内容は、体力要素に関する基礎理論及び各種運動処方の方法論について理解を深める。健康の維持増進や体力の向上を目指した運動方法やアスリートの競技力向上を目指した運動方法の理論と実践方法を展開する。具体的な項目として、子ども・中年・高齢者・障害者・アスリートに応じたスポーツ健康科学の理論、基本的指導法、対象者に応じた運動指導の留意点、健康づくり運動の実践例の紹介など、スポーツや健康に関する運動プログラムの実践方法を学修する。更に応用としてスポーツ健康科学を広い視点でとらえ、年齢に応じた体力・運動指導や実践方法の提案やその評価方法に関する理解なども目標とする。			
到達目標	1.様々な対象者における健康の維持増進や体力向上のための運動方法の理論を理解することができる。 2.様々な対象者における健康の維持増進や体力向上のための運動プログラムの実践方法を説明できる。 3.自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して自己研鑽に励み、自己成長していく能力を養う。			
授業の位置づけ	本授業は、初年次共通科目に位置付けられている。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	様々な対象者に応じた運動方法の理論と実践について、各分野の専門家をゲストスピーカーとして呼びます。事前の予習や事後の復習を怠ることなく、積極的な姿勢で受講してください。各講義中に小課題、ディスカッションを実施します。また、自己の専門分野に関わる運動プログラムの実践方法について課題作成、レポートを課し、その内容も評価します。受講生の積極的な姿勢を期待しています。 ※新型コロナ感染予防のため、オンライン授業での実施をする場合もあります。その場合、授業運用の若干の変更もあるので留意すること。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート（100％）			
評価基準	・各テーマの内容を十分に理解し、運動処方の実践方法を理解できること（授業内）。 ・全テーマから、自身の将来を見据えた運動処方の提案することができること（課題レポート）。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
参考文献				
・配布講義資料を使用する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	k-aoki@juntendo.ac.jp スポーツ健康科学部 体力トレーニング研究室（1509号室） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木、門屋	初回ガイダンス (1) 授業計画と進め方を説明する (2) 評価方法の説明をする (3) 課題作成の方法を説明する	講義	【予習】（90分） スポーツと健康について調べておく 【復習】（90分） 授業計画を参考に授業の進め方について理解する。
2	青木 他	運動方法の基礎（アスリート①） (1) アスリートの身体的特徴を学ぶ (2) アスリートの運動方法の特徴を学ぶ (3) アスリートの競技力向上に関する運動プログラムについて学ぶ	演習	【予習】（90分） 「アスリート」の体の特徴について予習しておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「アスリート」の特徴をレポートしておく

3	青木 他	運動処方の実践方法（アスリート②） （1）アスリートとドーピング問題を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）適切な課題解決方法を提案する	演習	【予習】（90分） 「アスリート」を対象とした問題点を調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
4	青木 他	運動方法の基礎（児童・生徒） （1）児童・生徒の身体的特徴を学ぶ （2）児童・生徒の運動方法の特徴を学ぶ （3）児童・生徒の健康増進や体力向上に関するプログラムについて学ぶ	演習	【予習】（90分） 「児童・生徒」の体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「児童・生徒」の特徴をレポートしておく
5	青木 他	運動方法の実践方法（児童・生徒） （1）児童・生徒を対象とした健康増進や体力向上を目指した運動実践の方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）適切な課題解決方法を作成する	演習	【予習】（90分） 「児童・生徒」を対象とした運動方法の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
6	青木 他	運動方法の基礎（成人） （1）成人の身体的特徴を学ぶ （2）成人の体力向上に関する留意点を学ぶ （3）成人の生理学的側面について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「成人」の体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「成人」の特徴をレポートしておく
7	青木 他	運動方法の実践方法（成人） （1）成人を対象とした体力向上を目指した運動実践の方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）成人の体力に関する課題と対策を作成する	演習	【予習】（90分） 「成人」を対象とした運動方法の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自のまとめを整理しておく
8	青木 他	運動方法の基礎（アスリート②） （1）アスリートの動きを学ぶ （2）バイオメカニクスに関する基礎知識を学ぶ （3）アスリートの競技力評価について学ぶ	演習	【予習】（90分） バイオメカニクスについて調べておく 【復習】（90分） バイオメカニクスの基礎をまとめておく
9	青木 他	運動方法の実践方法（アスリート②） （1）バイオメカニクスを用いた運動方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）アスリートにおける課題と解決方法をまとめる	演習	【予習】（90分） スポーツバイオメカニクスについて調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
10	青木 他	運動方法の基礎（高齢者） （1）高齢者の心と体の特徴を学ぶ （2）高齢者の運動方法の留意点を学ぶ （3）高齢者の健康増進や体力向上方法について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「高齢者」の心と体に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「高齢者」の特徴をレポートしておく
11	青木 他	運動方法の実践方法（高齢者） （1）高齢者を対象とした健康増進や体力向上を目指した実践方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）各自、適切なプログラムを作成する	演習	【予習】（90分） 「成人」を対象とした健康増進の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
12	青木 他	運動方法の基礎（障害者） （1）障害者の身体的特徴を学ぶ （2）障害者の運動方法の留意点を学ぶ （3）障害者の健康増進や体力向上方法について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「障害者」の健康や体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「障害者」の特徴をレポートしておく
13	青木 他	運動処方の実践方法（障害者） （1）障害者を対象とした健康増進や体力向上を目指した実践方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）各自、適切なプログラムを作成する	演習	【予習】（90分） 「障害者」を対象とした健康増進の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
14	青木 他	スポーツと健康における諸問題 （1）各自でこれまでの授業中から得られた知識から諸問題をまとめる（2）諸問題の解決方法をレポートする	演習	【予習】（90分） 課題作成の準備を行う 【復習】（90分） 課題作成の振り返りを行う
15	青木 他	運動プログラムの実践提案 （1）各自、対象者に応じた運動プログラムを作成し、レポートを作成する。	演習	【予習】（90分） 課題の準備を行う 【復習】（90分） 課題の評価における振り返りを行う

科目名	スポーツ健康運動方法論	授業形態	演習	
英語科目名	Sports, Health, and Exercise Sciences	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	青木 和浩	ナンバリング	BAP1211/BAR1211	
担当教員	青木 和浩、門屋 悠香			
授業概要				
全体内容	本講義では、スポーツや健康にかかわる様々な運動方法について学ぶ。授業内容は、体力要素に関する基礎理論及び各種運動処方の方法論について理解を深める。健康の維持増進や体力の向上を目指した運動方法やアスリートの競技力向上を目指した運動方法の理論と実践方法を展開する。具体的な項目として、子ども・中年・高齢者・障害者・アスリートに応じたスポーツ健康科学の理論、基本的指導法、対象者に応じた運動指導の留意点、健康づくり運動の実践例の紹介など、スポーツや健康に関する運動プログラムの実践方法を学修する。更に応用としてスポーツ健康科学を広い視点でとらえ、年齢に応じた体力・運動指導や実践方法の提案やその評価方法に関する理解なども目標とする。			
到達目標	1.様々な対象者における健康の維持増進や体力向上のための運動方法の理論を理解することができる。 2.様々な対象者における健康の維持増進や体力向上のための運動プログラムの実践方法を説明できる。 3.自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して自己研鑽に励み、自己成長していく能力を養う。			
授業の位置づけ	本授業は、初年次共通科目に位置付けられている。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C3			
履修上の注意、履修要件	様々な対象者に応じた運動方法の理論と実践について、各分野の専門家をゲストスピーカーとして呼びます。事前の予習や事後の復習を怠ることなく、積極的な姿勢で受講してください。各講義中に小課題、ディスカッションを実施します。また、自己の専門分野に関わる運動プログラムの実践方法について課題作成、レポートを課し、その内容も評価します。受講生の積極的な姿勢を期待しています。 ※新型コロナ感染予防のため、オンライン授業での実施をする場合もあります。その場合、授業運用の若干の変更もあるので留意すること。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート（100％）			
評価基準	・各テーマの内容を十分に理解し、運動処方の実践方法を理解できること（授業内）。 ・全テーマから、自身の将来を見据えた運動処方の提案することができること（課題レポート）。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
参考文献				
・配布講義資料を使用する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	k-aoki@juntendo.ac.jp スポーツ健康科学部 体力トレーニング研究室（1509号室） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木	初回ガイダンス (1) 授業計画と進め方を説明する (2) 評価方法の説明をする (3) 課題作成の方法を説明する	講義	【予習】（90分） スポーツと健康について調べておく 【復習】（90分） 授業計画を参考に授業の進め方について理解する。
2	青木 他	運動方法の基礎（アスリート①） (1) アスリートの身体的特徴を学ぶ (2) アスリートの運動方法の特徴を学ぶ (3) アスリートの競技力向上に関する運動プログラムについて学ぶ	演習	【予習】（90分） 「アスリート」の体の特徴について予習しておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「アスリート」の特徴をレポートしておく

3	青木 他	運動処方の実践方法（アスリート②） （1）アスリートとドーピング問題を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）適切な課題解決方法を提案する	演習	【予習】（90分） 「アスリート」を対象とした問題点を調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
4	青木 他	運動方法の基礎（児童・生徒） （1）児童・生徒の身体的特徴を学ぶ （2）児童・生徒の運動方法の特徴を学ぶ （3）児童・生徒の健康増進や体力向上に関するプログラムについて学ぶ	演習	【予習】（90分） 「児童・生徒」の体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「児童・生徒」の特徴をレポートしておく
5	青木 他	運動方法の実践方法（児童・生徒） （1）児童・生徒を対象とした健康増進や体力向上を目指した運動実践の方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）適切な課題解決方法を作成する	演習	【予習】（90分） 「児童・生徒」を対象とした運動方法の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
6	青木 他	運動方法の基礎（成人） （1）成人の身体的特徴を学ぶ （2）成人の体力向上に関する留意点を学ぶ （3）成人の生理学的側面について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「成人」の体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「成人」の特徴をレポートしておく
7	青木 他	運動方法の実践方法（成人） （1）成人を対象とした体力向上を目指した運動実践の方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）成人の体力に関する課題と対策を作成する	演習	【予習】（90分） 「成人」を対象とした運動方法の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自のまとめを整理しておく
8	青木 他	運動方法の基礎（アスリート②） （1）アスリートの動きを学ぶ （2）バイオメカニクスに関する基礎知識を学ぶ （3）アスリートの競技力評価について学ぶ	演習	【予習】（90分） バイオメカニクスについて調べておく 【復習】（90分） バイオメカニクスの基礎をまとめておく
9	青木 他	運動方法の実践方法（アスリート②） （1）バイオメカニクスを用いた運動方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）アスリートにおける課題と解決方法をまとめる	演習	【予習】（90分） スポーツバイオメカニクスについて調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
10	青木 他	運動方法の基礎（高齢者） （1）高齢者の心と体の特徴を学ぶ （2）高齢者の運動方法の留意点を学ぶ （3）高齢者の健康増進や体力向上方法について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「高齢者」の心と体に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「高齢者」の特徴をレポートしておく
11	青木 他	運動方法の実践方法（高齢者） （1）高齢者を対象とした健康増進や体力向上を目指した実践方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）各自、適切なプログラムを作成する	演習	【予習】（90分） 「成人」を対象とした健康増進の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
12	青木 他	運動方法の基礎（障害者） （1）障害者の身体的特徴を学ぶ （2）障害者の運動方法の留意点を学ぶ （3）障害者の健康増進や体力向上方法について学ぶ	演習	【予習】（90分） 「障害者」の健康や体力に関する問題点を調べておく 【復習】（90分） 各自の専門分野における「障害者」の特徴をレポートしておく
13	青木 他	運動処方の実践方法（障害者） （1）障害者を対象とした健康増進や体力向上を目指した実践方法を学ぶ （2）具体的な実践方法をディスカッションする （3）各自、適切なプログラムを作成する	演習	【予習】（90分） 「障害者」を対象とした健康増進の具体的なメニューを調べておく 【復習】（90分） ディスカッション内容と各自の提案内容を整理しておく
14	青木 他	スポーツと健康における諸問題 （1）各自でこれまでの授業中から得られた知識から諸問題をまとめる（2）諸問題の解決方法をレポートする	演習	【予習】（90分） 課題作成の準備を行う 【復習】（90分） 課題作成の振り返りを行う
15	青木 他	運動プログラムの実践提案 （1）各自、対象者に応じた運動プログラムを作成し、レポートを作成する。	演習	【予習】（90分） 課題の準備を行う 【復習】（90分） 課題の評価における振り返りを行う

科目名	フレッシュャーズゼミナール	授業形態	演習
英語科目名	Freshers Seminar	開講学期	2023年度前期(SPR)、2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	BAP1300
担当教員	高橋 哲也、坂井 建雄、池田 浩、宮森 隆行、藤原 俊之、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、相澤 純也、山口 智史、齊藤 正和、中村 絵美、澤 龍一		
授業概要			
全体内容	本講義では、大学で学ぶために必要なアカデミックリテラシー（ノートテイキング、情報検索、レポート作成法など）を学修する。さらに理学療法士の各専門領域や周辺領域の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。特に後期は2年生と合同でゼミナールを行い、同じグループの他者に自分の意見を伝え、他者の意見を聞くことで、能動的な学習姿勢、協調的態度、医療人としての基本的なマナーを学ぶ。また少人数のグループで特定のテーマについて調査し、ディスカッションを通じて内容をまとめ、他のグループに向けてプレゼンテーションを行うことにより、少人数グループ学習による能動的な学習姿勢、協調的態度及び社会の中で働く医療人としての基本的なマナーを学ぶ。		
到達目標	1) 大学で学ぶことの意味を知り、ノートテイキング、情報検索、レポート作成法などを身に着ける 2) 理学療法関係分野の最新トピックスを聞き、他者に自分の意見を伝え、他者の意見を聞くことで、能動的な学習姿勢、協調的態度、医療人としての基本的なマナーを身に着ける 3) 少人数グループ学習による能動的な学習姿勢、協調的態度及び社会の中で働く医療人としての基本的なマナーを身に着ける。		
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間通じて配置されている1年次のゼミナールある ・大学生の学習を支援するとともに、小人数のグループで積極的なディスカッション能力を育成する ・将来のキャリアプランを育むために、先輩の体験談なども参考にして、自己実現に対する支援を行う 		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	DP-1, C-I-①②④, II-① DP-2, C-I-④ DP-4, C-I-④⑤⑥ DP-5, C-I-①②		
履修上の注意、履修要件	大学で学ぶために必要なアカデミックリテラシーは大学生活の基本になるため、積極的な学修姿勢で臨むこと。また、各専任講師の講義は各分野の最前線に触れることができる貴重な機会であることから、問題意識と新たな知識に触れる好奇心を持って臨むこと。さらに、少人数のグループ学習は、能動的な学習姿勢、協調的態度及び社会の中で働く医療人としての基本的なマナーを学ぶために極めて重要であるため、積極的な受講を期待する。		
成績評価の方法			
評価方法	課題発表 (40%) ミニテスト (30%) 同一ゼミ内の他者からの評価 (30%)		
評価基準	課題発表 (40%) : 学生評価、教員評価 ミニテスト (30%) : 教員評価 同一ゼミ内の他者からの評価 (30%) : 学生評価 最終的な評価は総合的に判断する		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行う。			
テキスト			
参考文献			
特になし。必要に応じてプリントを授業の時に配布する。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日17:00-18:00 保健医療学部理学療法学科(御茶ノ水センタービル)507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験	担当する医師、理学療法士は臨床経験、教育経験、研究の経験を要している。		
備考			
授業計画			

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也 全科目担当者	【オリエンテーション】 保健医療学部理学療法学科のディプロマポリシーやカリキュラムポリシーを確認し、大学での学びに必要なスタディ・スキルについて学ぶ。ゼミ発表と担当教員の紹介も併せて行う。		【予習】(90分) 学生便覧の該当箇所を読んでくること 【復習】(90分) ディプロマポリシーやカリキュラムポリシーを再度確認しておくこと
2	医学教育研究室教員	【医療人としての基本的態度を学ぶ2】 「日本医学教育歴史館」で順天堂及び医療の歴史を学ぶ		【予習】(90分) 順天堂大学日本医学教育歴史館ホームページを確認しておくこと http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/ 【復習】(90分) 見学資料を再度見直し理解を深めること
3	情報センター職員 学術メディアセンター職員	【アカデミックリテラシー1】 大学図書館における情報収集方法について学ぶ。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
4	藤原 俊之 全科目担当者	【医療人としての基本的態度を学ぶ1】 リハビリテーション医学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
5	高橋 哲也 全科目担当者	【アカデミックリテラシー2】 ノートのとり方・テキストの読み方について学ぶ。講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
6	高橋 哲也 全科目担当者	【アカデミックリテラシー3】 アカデミック・ライティングの基本スキルや効果的な方法、レポートの書き方を学ぶ。 講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
7	高橋 哲也 全科目担当者	【アカデミックリテラシー4】 わかりやすいプレゼンテーションを行うためにプレゼンテーションの基本スキルを学ぶ。 講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
8	坂井 建雄 全科目担当者	【理学療法の理解1】 解剖学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
9	長岡 功 全科目担当者	【理学療法の理解2】 生化学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
10	池田 浩 全科目担当者	【理学療法の理解3】 スポーツ整形外科学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
11	神経生理学療法学担当教員 全科目担当者	【理学療法の理解4】 神経生理学療法学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
12	内部障害系理学療法学担当教員	【理学療法の理解5】 内部障害系理学療法学の最新トピックスについて講義を受け、聞いた内容を少人数のグループでディスカッションをする。		【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと

	全科目担当者	ョンをする。		【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
13	全科目担当者	【ミニプレゼンテーション1】 少人数のグループで特定のテーマについて調査した内容をディスカッションし、まとめる。ミニプレゼンテーションに向けたテーマ、役割分担を決める。		【予習】(90分) 与えられた役割を実行しディスカッションの準備をする 【復習】(90分) プレゼンテーションの準備をする
14	全科目担当者	【ミニプレゼンテーション2】 各グループで特定のテーマについてまとめたものを他のグループに向けてプレゼンテーションを行う。(前半組)		【予習】(90分) プレゼンテーションの準備をする 【復習】(90分) プレゼンテーションの資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させる
15	全科目担当者	【ミニプレゼンテーション3】 各グループで特定のテーマについてまとめたものを他のグループに向けてプレゼンテーションを行う。(後半組)		【予習】(90分) プレゼンテーションの準備をする 【復習】(90分) プレゼンテーション資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させる
16	高橋 哲也 全科目担当者	後期オリエンテーション 保健医療学部理学療法学科のディプロマポリシーやカリキュラムポリシーを確認し、大学での学びに必要なスタディ・スキルについて再確認する。 上級生との交流を通して、理学療法を学ぶ態度を再確認する。		【予習】(90分) 前期で得られた理学療法に関連する知識を整理し、自己紹介とともに紹介できるようにしておくこと。 【復習】(90分) 共有された理学療法に関連する知識や経験を十分に復習すること。
17	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分) 自身の報告および発表に対するフィードバックを復習するとともに、共有された他者の報告および発表を復習し、次回のディスカッションに活かすこと
18	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分) 自身の報告および発表に対するフィードバックを復習するとともに、共有された他者の報告および発表を復習し、次回のディスカッションに活かすこと
19	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分) 自身の報告および発表に対するフィードバックを復習するとともに、共有された他者の報告および発表を復習し、次回のディスカッションに活かすこと
20	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分) 自身の報告および発表に対するフィードバックを復習するとともに、共有された他者の報告および発表を復習し、次回のディスカッションに活かすこと
21	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分) 自身の報告および発表に対するフィードバックを復習するとともに、共有された他者の報告および発表を復習し、次回のディスカッションに活かすこと
22	全科目担当者	学年間の相互学習 理学療法(士)に関連するテーマを定め、テーマについて学年間でのグループワークを行い、最後にプレゼンテーションを行い、理学療法についての理解を深める。		【予習】(90分) 事前に与えられた理学療法(士)に関連するテーマについて調べて自分の意見を準備しておくこと 【復習】(90分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	解剖学I		授業形態	講義
英語科目名	Anatomy I		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	坂井 建雄		ナンバリング	PBP2000
担当教員	坂井 建雄			
授業概要				
全体内容	<p>人体を支持する骨格は個々の骨が関節でつながれて形作られ、骨格筋は骨格を動かして身体の運動を行い、両者を合わせて運動器という。身体は全身でまた各部位でさまざまな運動を行っており、そのそれぞれが骨格と骨格筋の協調によって行われる。下肢は全身を支えて直立二足歩行を行い、上肢は手でもものをつかんで操り、腹部は内臓の保持と腰のひねり、胸部は呼吸運動、頸部は首の支持と傾斜・回旋、頭部は顎を動かし表情を作るなど、こういったあらゆる身体運動を可能にするのは、206個ほどの骨とそこに付着し収縮する骨格筋であり、それぞれの骨と関節と骨格筋の構造を正確に学ぶことによって、身体運動の仕組みを深く理解することができる。骨格筋は特定の神経によって支配され収縮する。骨については個々の骨の名称・位置と形状・構造の特徴及び骨格筋については名称・位置と形状・骨への付着部位・運動作用・支配神経について学ぶ。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の骨格を構成する骨の名称、形態について説明できる。 ・人体の骨格の関節について、名称、構造、可動性について説明できる。 ・人体の骨格筋について、名称、形態、起始、停止、作用、神経支配について説明できる。 ・人体の主要な関節の運動と筋の作用について説明できる。 			
授業の位置づけ	理学療法学の基礎となる運動器の構造を、機能と関連づけて学習する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、共通DP3-C1・2、理学DP3-C1・2、理学DP 4-C1・2、理学DP 5-C1・2			
履修上の注意、履修要件	解剖学の学習では、骨や筋肉の名称を覚えることが目的ではありません。骨にどのような特徴があり、関節によってつながれてどのように動くのか、また筋肉の一つ一つが骨につながってどのように関節を動かすのか、そのように身体の構造を機能と関連づけて知ることが大切です。骨格と関節と筋の構造は運動機能と直結しており、理学療法士の仕事に役立つ重要な基礎になります。教科書だけでなく、参考書の解剖アトラスを駆使して、しっかりした運動器の解剖学の知識と理解を身につけてください。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（70%）および授業内の小テスト（30%）をもとに評価を行う。			
評価基準	運動器（骨格、関節、筋）の構造を機能と関連づけて説明できる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
『標準解剖学』	坂井建雄	医学書院	978-4-260-02473-0	
参考文献				
坂井建雄・松村譲児監訳（2017）『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系』第3版 医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	tatsuo@juntendo.ac.jp オフィス（保健医療学部5階501）での面談は、メールで予約をすること。			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2023/4/14 金 2限	坂井 建雄	【骨格系総論】 骨の構造・機能、関節の種類と構造	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】（90分） 「標準解剖学」第1章AとC、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系」40-55頁を確認しておくこと。 【復習】（90分）

				講義で説明した人体の骨と関節の総論について、正確に知識として獲得しておくこと。
2 2023/4/21 金 2限	坂井 建雄	【筋系総論】 骨格筋の構造・機能、神経、補助装置、筋の作用と運動	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第1章AとC、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」56-63頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した人体の骨格筋の総論について、正確に知識として獲得しておくこと。
3 2023/4/28 金 2限	坂井 建雄	【上肢の骨格】 上肢帯と自由上肢の骨の名称と形態、関節	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第6章A・B・D、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」240-297頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した上肢の骨と関節について、正確に知識として獲得しておくこと。
4 2023/5/12 月 4限	坂井 建雄	【上肢の筋1】 上肢帯と上腕の筋	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第6章C、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」298-315、332-339頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した上肢帯と上腕の筋について、正確に知識として獲得しておくこと。
5 2023/5/19 金 2限	坂井 建雄	【上肢の筋2】 前腕と手の筋	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第6章C、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」316-331、340-355頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した前腕と手の筋について、正確に知識として獲得しておくこと。
6 2023/5/26 金 2限	坂井 建雄	【上肢の神経・脈管】 上肢の神経・血管、頭頸部の神経	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第6章E・G、第8章J、第9章E、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」362-407頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した上肢と頭頸部の神経・血管について、正確に知識として獲得しておくこと。
7 2023/6/2 金 2限	坂井 建雄	【下肢の骨格】 下肢帯と自由下肢の骨の名称と形態、関節	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第7章A・B・D、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」410-479頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した下肢の骨と関節について、正確に知識として獲得しておくこと。
8 2023/6/9 金 2限	坂井 建雄	【下肢の筋1】 下肢帯と大腿の筋	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第7章C、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」480-491、508-515頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した下肢帯と下肢の筋について、正確に知識として獲得しておくこと。
9 2023/6/16 金 2限	坂井 建雄	【下肢の筋2】 下腿と足の筋	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第7章C、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」492-507、516-529頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した下腿と足の筋について、正確に知識として獲得しておくこと。
10 2023/6/23 金 2限	坂井 建雄	【上下肢の運動と筋】 上下肢の関節運動と筋の作用	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第6・7章CとD、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」240-355頁、410-507頁を確認しておくこと。 【復習】(90分) 講義で説明した体肢の関節運動と筋の作用について、正確に知識として獲得しておくこと。
11 2023/6/30	坂井 建雄	【下肢の神経・血管】 下肢の神経・血管、体幹の神経	講義、プリントを配布、授業終了後に小テストに回答する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第7章E・G「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系」

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	解剖学II	授業形態	講義
英語科目名	Anatomy II	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年	単位数	2単位
代表教員	小池 正人	ナンバリング	PBP2001
担当教員	小池 正人、坂井 建雄、安西 なつめ		
授業概要			
全体内容	<p>人体の機能は、生命を維持する植物機能と生命を活用する動物機能とに大別される。本講義では、人体の器官、臓器のうち、解剖学Iで扱ったもの以外を取り扱う。これにより、解剖学Iでの学修内容とあわせて、人体の構造全体について理解することを目指す。具体的には、前半の諸講義において、動物機能を営む器官系のうち、神経系（中枢神経系と末梢神経系）を重点的に扱う。さらに感覚の種類に基づく各種感覚器系について学修する。後半では、植物機能を営む器官系である消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、免疫系についてその大要を理解するための講義を行う。加えて内臓機能の調節に関わる自律神経についても学修する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命維持を行う内臓系の器官の名称、形態、機能について説明できる。 ・ 循環系の構成の概要について説明できる。 ・ 内臓機能の調節と生体防御の仕組みについて説明できる。 ・ 神経系（中枢神経系と末梢神経系）の構成と中枢神経系の各部位の役割について概説できる。 ・ 主要な下行伝導路である皮質脊髄路とその調節機構について説明できる。 ・ 各種感覚器の構造と役割、体性感覚の上行伝導路について説明できる。 		
授業の位置づけ	<p>本講義の内容は、別途開講される生理学の諸講義との関連が深い。後期の解剖学実習IIでは、解剖学IおよびIIで学習した内容に基づき、運動器と神経組織を中心とした肉眼及び顕微鏡を用いた観察を行い、知識の定着を確実なものにする。</p>		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-2-C1、理学DP-3-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>解剖学の学習では、器官や部位の名称を覚えることが目的ではありません。器官を身体の部位の中に位置づけて、形状・部分について知ること、さらに器官系の中に位置づけて内部構造と働きについて知ること、それらを通して器官の構造と機能を関連づけることが大切です。自分の身体について積極的に疑問をもちそれを解決するという学修姿勢をもって講義に臨んで頂ければと考えております。とくに神経系・感覚器系については、リハビリテーションの現場で遭遇する、運動障害や感覚障害がどのようにして起こるのかについての理解を心掛け、目的を絞って学習することが重要です。各回の講義は指定教科書を各自で読んで理解できるようになることを目指しているの、復習により講義に関連した部分の指定教科書の章末問題や小テストなどでしっかりと知識を定着させ、試験に臨んでいただきたいと思ます。全ての講義に出席することが重要ですが、やむを得ず欠席した場合は教科書、参考書、プリントなどで自己学修をすることが必要です。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	原則、講義ごとの小テスト（30%）、定期試験（70%）とする。		
評価基準	<p>以下の点に着目して評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命維持を行う内臓系の器官の名称、形態、機能について説明できるか。 ・ 循環系の構成の概要について説明できるか。 ・ 内臓機能の調節と生体防御の仕組みについて説明できる。 ・ 神経系（中枢神経系と末梢神経系）の構成と中枢神経系の各部位の役割について概説できるか。 ・ 主要な下行伝導路である皮質脊髄路とその調節機構について説明できるか。 ・ 各種感覚器の構造と役割、体性感覚の上行伝導路について説明できるか。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内やJuntendo Passportを使用して返却する。			
テキスト			
『系統看護学講座 解剖生理学』第11版	坂井建雄; 岡田隆夫; 宇賀貴紀	医学書院	978-4260046879
参考文献			
坂井建雄『標準解剖学』（医学書院, 2017）			
その他			
連絡先・オフィスアワー	mkoike@juntendo.ac.jp 医学部神経生物学・形態学（A棟9F南） 事前メール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験			
備考			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 4/14	坂井 建雄	【人体の構造と機能】 人体の構造、器官系、細胞と組織、内部環境	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第1章を確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した人体の総論について、正確に知識として獲得しておくこと。
2 4/21	安西 なつめ	【消化器1】 口腔、食道、腹部の消化管	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第2章AとBを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した消化器の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
3 4/28	安西 なつめ	【消化器2】 肝臓、膵臓、腹膜腔、腸間膜	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第2章CとDを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した消化器の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
4 5/12	安西 なつめ	【呼吸器】 鼻腔、喉頭、気管・気管支、肺、胸膜	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第5章AとBを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した呼吸器の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
5 5/19	坂井 建雄	【循環器1】 縦隔、心臓の構造と機能	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第4章A～Cを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した縦隔と心臓の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
6 5/26	坂井 建雄	【循環器2】 全身の動脈、静脈、リンパ管、胎児循環	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第4章D～Fを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した血管系の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
7 6/2	安西 なつめ	【血液と生体防御】 血液、造血器、リンパ組織、脾臓、胸腺	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第3章Cと第9章Bを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した血液と生体防御の仕組みについて、正確に知識として獲得しておくこと。
8 6/9	坂井 建雄	【泌尿器】 腎臓、尿管、膀胱	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第5章を確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した腎・泌尿器の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。
9 6/16	坂井 建雄	【自律神経と内分泌】 内分泌腺、ホルモン、交感神経、副交感神経	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第6章を確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した自律神経と内分泌の仕組みについて、正確に知識として獲得しておくこと。
10 6/23	安西 なつめ	【生殖器】 男性生殖器、女性生殖器	講義	【予習】 (90分) 「系統看護学講座 解剖生理学」第10章A～Cを確認しておくこと。 【復習】 (90分) 講義で説明した男性・女性生殖器の構造と機能について、正確に知識として獲得しておくこと。

科目名	解剖学実習I		授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Anatomy I		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	1単位
代表教員	坂井 建雄		ナンバリング	PBP2002
担当教員	坂井 建雄			
授業概要				
全体内容	運動器を構成する骨格と骨格筋は、人体の中で3次元的に配置され、つながりあって働いている。本実習の目的は、これまでの講義で学んだ運動器についての解剖学的な知識を応用して、骨格の位置と形態・特徴的な構造を3次元的に理解すること、更に骨格筋の位置と形態・付着部位と作用を人体の動きと対応させて理解することである。人体骨格模型を用いて単独の骨の観察とスケッチ、骨格での筋の付着部位の同定、連結させた状態での関節の動きの実習、更に学生自身の体表からの骨格・骨格筋・筋運動の観察を通して、人体での骨格と骨格筋の構造と働きについての理解を深める。また本学医学部の人体解剖実習における解剖体及び解剖標本を利用して、実際の人体そのものを観察するとともに、医学の教育と研究が献体者からの厚意や社会からの支援によって行われていることを理解する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の骨格を構成する骨の名称、形態について説明できる。 ・人体の骨格の関節について、名称、構造、可動性について説明できる。 ・人体の骨格筋について、名称、形態、起始、停止、作用、神経支配について説明できる。 ・人体の主要な関節の運動と筋の作用について説明できる。 			
授業の位置づけ	理学療法学の基礎となる運動器の構造について、実習を通して学習する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、共通DP3-C1・2、理学DP3-C1・2、理学DP 4-C1・2、理学DP 5-C1・2			
履修上の注意、履修要件	解剖学の学習では、骨や筋肉の名称を覚えることが目的ではありません。骨にどのような特徴があり、関節によってつながれてどのように動くのか、また筋肉の一つ一つが骨につながってどのように関節を動かすのか、そのように身体の構造を機能と関連づけて知ることが大切です。骨格と関節と筋の構造は運動機能と直結しており、理学療法士の仕事に役立つ重要な基礎になります。教科書だけでなく、参考書の解剖アトラスを駆使して、しっかりした運動器の解剖学の知識と理解を身につけてください。			
成績評価の方法				
評価方法	実習中の態度および提出された課題によって評価する			
評価基準	運動器の各部の名称と構造について、正確に説明できる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系』第3版	坂井建雄・松村譲児監訳	医学書院	978-4-260-02534-8	
参考文献				
参考書：坂井建雄（2017）『標準解剖学』医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	tatsuo@juntendo.ac.jp オフィス（保健医療学部5階501）での面談は、メールで予約をすること。			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2023/10/2 月	坂井 建雄 解剖学・生体構造科学教員	【骨学実習1】 全身の骨格、脊柱、骨盤	骨格模型を観察し、課題についての回答とスケッチを、レポートとして提出する。	【予習】(90分) 「標準解剖学」第1章A②、第4章B、第5章B、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系」40-55、102-105、140-143頁を確認しておくこと。

科目名	解剖学実習II	授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Anatomy II	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	1単位
代表教員	小池 正人	ナンバリング	PBP2003
担当教員	小池 正人		
授業概要			
全体内容	本実習は、解剖学IIの講義で扱った諸器官の理解を促すための実習と運動器と神経系を中心とした顕微鏡レベルの人体の構造（組織学）の基本について学修する。具体的には、四大組織（皮膚と消化管）、皮膚（上皮、結合組織、感覚受容器）、運動器（骨、軟骨、骨格筋、腱、血管）、神経系（中枢神経系、末梢神経系）、循環器系（心臓）に焦点を絞り、ヒトないし動物由来の切片を用いた光学顕微鏡観察（バーチャルスライドの利用も含む）を行う。さらに、中枢神経系については本学医学部の解剖体を用いて、脳と脊髄（全脳やスライス標本）の構造について観察を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡を用いて組織細胞を観察できるようになる。 ・人体の組織が上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織の4大組織からなることを、実例を挙げて説明できる。 ・皮膚と消化管の基本構造を組織学的に説明できる。 ・嚙下について解剖学的に説明できる。 ・運動器を構成する骨格筋、腱、骨、軟骨について組織学的に説明できる。 ・心臓の基本構造を組織学的に説明できる。 ・脊髄と末梢神経、皮膚の感覚受容器、神経筋接合部について組織学的に説明できる。 ・脳の基本構造について解剖学的に説明できる。 		
授業の位置づけ	前期に履修する解剖学I、IIは、肉眼解剖学的な観点で人体の構成についての理解を目指している。後期の解剖学実習IIでは、組織学的な観点での人体の構成を理解することを目指しており、解剖学I、IIでの学習内容を補完する役割を果たす。特に本実習では、サルコペニア、ロコモ、フレイルに関連する構造に絞って実際の標本を用いた観察を行うことを目指している。 全8回中6回は組織切片の顕微鏡観察やバーチャルスライドによる組織学実習と、まとめの講義（嚙下、関節の構造など）からなる。特に、皮膚、小腸、膝関節、踵、手指などのマイクロとマクロを繋ぐ同じ標本を、観点を変えて何度も観察することで、筋肉、腱、関節、末梢神経などの運動器系の一般構造についての深い理解を目指す。解剖学Iでは各種筋の起始停止、支配神経について学習したが、解剖学実習IIではその共通の構造についての顕微鏡観察を行うことになる。最後の2回の脳解剖実習では、解剖学IIで学習した中枢神経系について、組織標本と人脳のスライス標本を用いてその構造の概要についての理解を深めることを目的とする。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1C1・2C1、理学DP-1C1・2C1・3C1		
履修上の注意、履修要件	各実習では関連する解剖学I、IIの講義について明示するので、前期で学習した内容を事前に復習することが望ましい。 予習用の教材として昨年度の実習講義を配信するので、大いに活用して欲しい。 実習は全て出席を原則とする。遅刻早退も原則認めない。 2-5回目の実習で配布される確認テストを用いて、自身の学修状況を確認すること。 組織学実習・脳解剖実習それぞれでまとめの小テストを行い、最終成績に加味する予定である。 指定教科書のプロメテウスアトラスの像と対比しながら何が顕微鏡下で観察できるか予測することが重要である。 脳解剖実習では、ご遺体の脳を観察するので、実習にあたっては特に礼意を失わないように注意しなければならない。実習風景や標本の撮影はもちろん、実習の内容をSNSなどに投稿することは厳禁である。 MRIビューアを用いた脳の観察は、全国で本学のみ実施されている。積極的に取り組んでもらいたい。 COVID-19の状況次第では学年を2グループに分けて実習を実施する可能性がある。事前の連絡に従うこと。		
成績評価の方法			
評価方法	出席及び組織学実習・脳解剖実習それぞれでまとめの小テストの成績を加味して評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚と消化管の基本構造を4大組織の観点で説明できるか。 ・運動器を構成する骨格筋、腱、骨、軟骨について4大組織の観点で説明できるか。 ・心臓の基本構造を組織学的に説明できるか。 ・嚙下について解剖学的に説明できるか。 ・脊髄と末梢神経、皮膚の感覚受容器、神経筋接合部について組織学的に説明できるか。 ・脳の基本構造について解剖学的に説明できるか。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。			
テキスト			
『系統看護学講座 解剖生理学』第10版	坂井建雄; 岡田隆夫	医学書院	978-4-260-03171-4
『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系』第3版	坂井建雄; 松村 譲児	医学書院	978-4-260-02534-8

参考文献				
オリジナルの実習書ないしプリントを配布する。 参考書 坂井建雄『標準解剖学』（医学書院, 2017）				
その他				
連絡先・オフィスアワー		mkoike@juntendo.ac.jp 医学部神経生物学・形態学（A9F北側） 事前メール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 9/27	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【組織学実習ガイダンス・細胞・4大組織】</p> <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習全体の目的、実習の諸注意・評価法について理解する。 ・人体の階層性について理解する。 ・手指、空腸を例に、組織が上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織の4大組織からなることを大まかに理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝臓の切片を用いて顕微鏡の操作方法についてガイダンスを行う。 ・肝臓の切片を用いて1つの細胞を同定する。 ・パーチャルスライドで手指の観察を行う。 ・手指の皮膚、空腸の上皮の観察を行う。 	実習講義と顕微鏡・パーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学II講義の関連項目（細胞と組織、腹部の消化管、肝臓、皮膚）について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の1章B「素材からみた人体」の①②⑥、2章B「腹部消化管の構造と機能」の③、C「膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能」の②、9章A「皮膚の構造と機能」の①の項を読んでおくこと。 3. プロメテウスアトラスで手指の局所解剖について調べておくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
2 10/11	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【上皮、結合組織、皮膚、軟骨】</p> <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造を通して上皮および結合組織について理解する ・結合組織の種類について理解する ・特殊な結合組織としての軟骨について理解する <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の三層構造を観察する。 ・皮膚の真皮、皮下組織、アキレス腱の標本の観察をもとに、結合組織について理解する。 ・気管軟骨を例に軟骨組織について理解する。 	実習講義と顕微鏡・パーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学II講義の関連項目（気管と気管支、皮膚）について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の、9章A「皮膚の構造と機能」の①の項を読んでおくこと。 3. プロメテウスアトラスで踵の局所解剖について調べておくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
3 10/18	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【骨組織、関節】</p> <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長管骨の一般的な構造を理解する。 ・骨組織を構成する骨芽細胞、骨細胞、破骨細胞の分布と骨単位について理解する。 ・骨のリモデリングについて理解する。 ・膜内骨化と軟骨内骨化について理解する。 ・骨組織の長軸方向の成長の仕組みについて理解する。 ・関節の構造について理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨の内部構造を肉眼で観察する。 ・手根の横断像の観察を元に、緻密骨を構成する骨単位を観察する。 ・膝関節の縦断像の観察をもとに、伸長中の骨と骨組織でみられる骨芽細胞、骨細胞、破骨細胞を観察する。 ・膝関節の縦断像の観察をもとに、関節の一般構造、関節軟骨、滑膜を観察する。 	実習講義と顕微鏡・パーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学I講義第1、4回について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の、7章A「骨格とはどのようなものか」、B「骨の連結」の項を読んでおくこと。 3. プロメテウスアトラスで骨の一般構造、手掌、膝関節の局所解剖について調べておくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
4 11/15	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【筋組織】</p> <p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格筋の構造と筋収縮のメカニズムについて理解する。 ・心臓の構造、心筋と骨格筋の組織学的相違点について理解する。 ・横紋筋と平滑筋の違いと人体における平滑筋の分布について理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指の縦断像、手掌の横断像の観察をもとに、骨格筋の構造と筋収縮のメカニズムについて理解する。 	実習講義と顕微鏡・パーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学I講義、解剖学II講義の関連項目（腹部の消化管、心臓の構造、全身の動脈）について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の、2章B「腹部消化管の構造と機能」の③、4章B「心臓の構造」の③、7章C「骨格筋」の項を読んでおくこと。 3. プロメテウスアトラスで手指、手掌の局所解剖について調べておくこと。 <p>【復習】（90分）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・心臓の標本の観察を元に、心筋の構造について理解する。 ・空腸の標本を元に平滑筋の構造を観察する。 		<p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
5 11/29	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【神経組織】 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経系の解剖学的・機能的構成について理解する。 ・末梢神経系の伝える情報の種類について理解する。 ・ニューロンの構造について理解する。 ・中枢神経系の一般的な組織構築について理解する。 ・末梢神経系の一般的な組織構築について理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坐骨神経の標本を用いて末梢神経の一般構造を観察する。 ・三叉神経の標本を用いて神経節を観察する。 ・手指と筋の標本を用いて、末梢神経の終末の構造を観察する。 ・脊髄の標本を用いて、中枢神経系の神経細胞とグリア細胞を観察する。 ・空腸の標本を用いて、神経叢を観察する。 	実習講義と顕微鏡・バーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学II講義第11-15回について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の7章C「骨格筋」③、8章A「神経系の構造と機能」の①④、B「脊髄と脳」の①、C「脊髄神経と脳神経」①、F「感覚機能と上行性伝導路」の①?④、9章A「皮膚の構造と機能」の①の項を読んでおくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
6 12/13	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【まとめ、確認テスト】 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の部位による上皮の種類の違いについて理解する。 ・喉頭・食道の縦断像を例に、嚥下の仕組みについて理解する。 ・運動器の一般的な構成について理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喉頭の構造の概観を観察する。 ・運動器（手掌・踵・膝関節）の標本を用いて、各構成成分の組織学的特徴を上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織の4大組織の観点から再度学習する。 	実習講義と顕微鏡・バーチャルスライドを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの5回の解剖学実習IIで観察した内容について4大組織の観点から復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の1章B「素材からみた人体」の①②⑥、2章A「口・咽頭・食道の構造と機能」の②、B「腹部消化管の構造と機能」の③、3章A「呼吸器の構造」の②、7章C「骨格筋」の③、D「末梢循環系の構造」の①、7章A「骨格とはどのようなものか」、B「骨の連結」、C「骨格筋」、8章C「脊髄神経と脳神経」の①、F「感覚機能と上行性伝導路」の①?④、9章A「皮膚の構造と機能」の①の項を読んでおくこと。 3. プロメテウスアトラスで骨の一般構造、手指、手掌、踵、膝関節の局所解剖について調べておくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。</p>
7 1/10	医学部 神経生物学・形態学教員	<p>【中枢神経系の肉眼解剖】 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経系の構成について理解する。 <p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人脳、人脳スライス標本、模型などを用いて、脳の全景・縦断像・スライス標本・脳神経・脳血管の観察を行う。 	実習講義と脳標本を用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学II講義第11-15回について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の8章A「神経系の構造と機能」の①④、B「脊髄と脳」、C「脊髄神経と脳神経」の②、8章E「運動機能と下行伝導路」、F「感覚機能と上行性伝導路」の⑤、の項を読んでおくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。限られた時間の実習になるので、東京都医学研・脳神経病理データベース内の脳の肉眼写真を参照し復習すること。 https://pathologycenter.jp</p>
8 1/17	医学部 神経生物学・形態学教員 放射線診断学 教員 保健医療学部 診療放射線学科 後藤政美 中澤美咲	<p>【MRIビューアを用いた中枢神経系の観察】 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRIビューアを用いて、前回確認した代表的なスライス標本とMRI像の対比、皮質脊髄路の描出による走行の確認、脳血管について学習する。 <p>確認テスト</p> <p>6回目までの組織学、7、8回目の神経解剖学についての確認テストをそれぞれ行う。確認テストの得点は総合成績に加味される。</p>	実習講義とMRIビューアを用いた実習からなる。	<p>【予習】（90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の解剖学II講義第11-15回、前回の実習内容について復習しておくこと。 2. 「系統看護学講座 解剖生理学」の8章A「神経系の構造と機能」の①④、B「脊髄と脳」、C「脊髄神経と脳神経」の②、8章E「運動機能と下行伝導路」、F「感覚機能と上行性伝導路」の⑤、の項を読んでおくこと。 <p>【復習】（90分）</p> <p>実習での観察内容を元に、「系統看護学講座 解剖生理学」の関連項目を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。 東京都医学研・脳神経病理データベース内の脳の肉眼写真を参照し復習すること。 https://pathologycenter.jp</p>

科目名	生理学I		授業形態	講義
英語科目名	Physiology I		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	家崎 貴文		ナンバリング	PBP2004
担当教員	家崎 貴文			
授業概要				
全体内容	<p>人体の機能は、植物性機能と動物性機能に大別されるが、生理学においては主として植物性機能について学修する。植物性機能には、生体維持の基本である「細胞と組織」、「体液と電解質」や、生命活動の基本である「血液」、「循環」、「呼吸」、「消化・吸収」、「代謝」、「排泄」、「内分泌」、「自律神経」などが含まれる。また、細胞の正常な活動の前提条件である生体の恒常性（ホメオスタシス）の概念を理解するとともに、ホメオスタシスの維持のため、これらの機能が相互に密接に関連していることを理解する。生体維持や生命活動の基盤となる様々な仕組みを、各臓器、システムごとに系統的に学ぶことにより、人体の生理機能の全体像を理解し、種々の疾病時における病態を理解するための基礎的な知識を身に付ける。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の維持のメカニズムの概略を理解し説明できる。 ・細胞膜や細胞小器官の役割や機能を理解し説明できる。 ・血液の組成や成分およびその機能の概略を理解し説明できる。 ・消化・吸収、循環、呼吸、排泄、代謝等、生命活動の基本を理解し説明できる。 ・内分泌系や自律神経系による内臓機能の調節について理解し説明できる。 ・身体機能の防御と適応のしくみについて理解し説明できる。 			
授業の位置づけ	本講義を通して、人体の生理機能の全体像を理解し、種々の疾病時における病態を理解するための基礎的な知識を身に付ける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I 理学DP3-C I			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 講義の際に、不明な点は積極的に質問すること。 3. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験により評価する（100％）。			
評価基準	各講義の内容に関して、必要最低限の知識を理解し、説明することができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内でのフィードバックおよびJuntendo Passportを用いる。				
テキスト				
系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能1 第11版		医学書院	978-4-260-04687-9	
参考文献				
系統看護学講座 解剖生理学 第11版 医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	家崎 貴文 iesaki@juntendo.ac.jp 保健医療学部診療放射線学科 事前メール連絡で随時対応 渡邊 マキノ makinow@juntendo.ac.jp 医学部生理学第二講座 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	家崎 貴文	【生命現象と人体】 生命を維持するためのメカニズムの概略や、体液の区分とその組成、体内水分、体内環境の調節のメカニズム	講義	【予習】（90分） 指定教科書（系統看護学講座 解剖生理学 第11版、 医学書院）の該当部分

		ムについて学習する。		(第1章C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
2	家崎 貴文	【細胞の機能】 細胞小器官や細胞膜の機能を、細胞の構造と関連付けて学ぶ。また、細胞を構成する物質やエネルギーの生成についても学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第1章B)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
3	渡邊 マキノ	【血液】 体液と電解質や、血液の組成および各成分の機能について学ぶ。また、血漿タンパク質や、止血・凝固・線溶の機序についても学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第3章C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
4	渡邊 マキノ	【消化1】 消化器系の概要について学ぶ。また、消化管運動の機序やそれによる内容物の混和と移送についても学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第2章A~C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
5	渡邊 マキノ	【消化2】 消化液の分泌様式と機序や、それによる食物消化の促進、栄養素の消化・吸収の機序について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第2章A~C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
6	渡邊 マキノ	【循環1】 循環器系において中心的な役割を果たす心臓の機能およびその調節について学ぶ。また、心筋細胞の電気的活動についても学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第4章C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
7	家崎 貴文	【循環2】 循環器系のシステムとしての血管系、微小循環、血圧およびその調節について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第4章E、F)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
8	家崎 貴文	【循環3】 循環器系の病態生理について、代表的な病態であるショックや心不全、高血圧等を通して学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第4章E)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
9	家崎 貴文	【呼吸1】 肺の換気機能による肺内腔のガスの入れ換えや、換気障害の病態生理について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第3章B)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
10	家崎 貴文	【呼吸2】 気相から液相へのガス交換、血液によるガスの運搬、および呼吸の調節機構について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第3章B)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
11	家崎 貴文	【内分泌1】 ホルモンによる内臓機能の調節の概要について学ぶ。また、視床下部、下垂体、甲状腺から分泌されるホルモンの作用について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第6章B、C)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
12	家崎 貴文	【内分泌2】 副甲状腺、副腎、膵臓から分泌されるホルモンや、性ホルモンの作用について学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第6章C~E)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
13	家崎 貴文	【身体機能の防御と適応】 身体機能を防御するための、皮膚や免疫系の役割、機能について学ぶ。また、代謝、運動、体温調節等についても学習する。	講義	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第9章B~D)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。

科目名	生理学II		授業形態	講義
英語科目名	Physiology II		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	小西 清貴		ナンバリング	PBP2005
担当教員	小西 清貴			
授業概要				
全体内容	本講義は、「神経細胞」「感覚」「運動」「統合機能」などの動物性機能（神経機能）を中心に学修する。神経細胞が連なる神経系により、我々は外界の情報を受容し、様々な情報を統合し、その結果を行動に反映させる。これらの各ステップについて、その仕組みを学ぶ。「神経細胞」では、神経細胞の静止電位、活動電位と神経伝導、神経伝達について、「感覚」では、体性感覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚それぞれの末梢の感覚受容器及び中枢神経伝導路について、「運動」では、脊髄を中心に、脳幹、小脳、大脳基底核、大脳皮質での運動形成機構について、「統合機能」では、高次認知機能、情動、睡眠を中心に、神経解剖学の内容を参照しつつ、体系的な講義を行う。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静止電位、活動電位および興奮の軸索伝導、シナプス伝達の仕組みについて理解し説明できる。 ・ 体性感覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚系の機能および動作原理を理解し説明できる。 ・ 反射、運動学習、随意運動が成立するための脳内機構を理解し説明できる。 ・ 本能行動の脳内機構、記憶などの高次認知機能の脳内機構、睡眠のメカニズムと脳波について理解し説明できる。 			
授業の位置づけ	生理学（神経分野）は神経系の基本的機能を幅広く扱うもので、その後に修める神経系疾患の病態の理解に必須となる基盤である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 講義の際に、不明な点は積極的に質問すること。 3. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験により評価する。			
評価基準	試験において例年概ね60%の得点率で合格としている。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却する。				
テキスト				
『系統看護学講座 解剖生理学』第11版		医学書院		
参考文献				
講義資料を適宜配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	skonishi@juntendo.ac.jp 医学部生理学第一講座（新研究棟6階） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小西 清貴	【静止電位・活動電位と興奮の伝導・伝達】 静止膜電位および活動電位を成立させるイオンとイオンチャネルによる仕組みを学ぶ。膜の局所で発生した活動電位がどのように軸索を伝導し、神経細胞間で伝達されるかを学ぶ。	対面形式（予定）で予習した箇所を講義する。	【予習】（90分） 指定教科書（系統看護学講座 解剖生理学 第10版、医学書院）の該当部分（第8章）を読んでおくこと。 【復習】（90分） 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
2	小西 清貴	【骨格筋】 骨格筋の性質、および神経伝達や収縮機構について学習する。	対面形式（予定）で予習した箇所を講義する。	【予習】（90分） 指定教科書の該当部分（第7章）を読んでおくこと。

				【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
3	田中 政輝	【自律神経】 交感神経系および副交感神経系の構造と機能および神経伝達物質について学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第6章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
4	田中 政輝	【体性感覚】 体性感覚の種類と、それらの感覚受容器、情報伝達経路についての基本的知識を習得する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
5	小川 昭利	【視覚】 眼球、特に網膜の構造、および眼球から大脳皮質までの視覚経路の障害と視野欠損の関係を学習する。大脳皮質視覚連合野の2つの経路の機能的特徴について学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
6	小川 昭利	【聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚】 聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚それぞれについて、感覚受容と伝導神経回路について学ぶ。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
7	田中 政輝	【脊髄】 膝蓋腱反射を中心に、脊髄反射の神経回路について学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
8	田中 政輝	【脳幹】 脳幹の基本的な働きを理解すると共に、脳幹反射と脳死の関係などの基礎知識を学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
9	長田 貴宏	【大脳基底核と小脳、大脳運動野】 基底核回路の概略、運動調節系としての役割、およびパーキンソン病の病態を学習する。小脳および大脳運動野の神経回路の概略、運動調節系としての役割を理解し、運動失調の病態を学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
10	田中 政輝	【間脳と辺縁系、睡眠】 本能行動、情動行動における間脳と辺縁系の神経機構、および睡眠時の脳波的特徴を学習す	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
11	長田 貴宏	【大脳皮質】 さまざまな大脳認知機能とその機能局在を学習し、脳損傷時の症状から脳損傷部位を推論する。記憶の種類とそれらの神経機構を理解し、記憶障害の症状からその病態を推論する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
12	小西 清貴	【神経細胞、骨格筋、自律神経】 神経細胞の静止電位と活動電位、伝導と伝達、骨格筋の収縮、交感神経系および副交感神経系の構造と機能および神経伝達物質について学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第6、7、8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
13	小川 昭利	【感覚】 眼球、特に網膜の構造、および眼球から大脳皮質までの視覚経路の障害と視野欠損の関係を学習する。聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚それぞれについて、感覚受容と伝導神経回路について学ぶ。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。
14	田中 政輝	【運動】 膝蓋腱反射を中心に、脊髄反射の神経回路について学習する。脳幹の基本的な働きを理解すると共に、脳幹反射と脳死の関係などの基礎知識を学習する。基底核回路の概略、運動調節系としての役割、およびパーキンソン病の病態を学習する。小脳および大脳運動野の神経回路の概略、運動調節系としての役割を理解し、運動失調の病態を学習する。	対面形式(予定)で予習した箇所を講義する。	【予習】(90分) 指定教科書の該当部分(第8章)を読んでおくこと。 【復習】(90分) 講義と小テストでの学習内容を確認すること。

科目名	生理学実習		授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Physiology		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年		単位数	1単位
代表教員	小西 清貴		ナンバリング	PBP2006
担当教員	小西 清貴、渡邊 マキノ、家崎 貴文			
授業概要				
全体内容	本実習では、人体の植物性及び動物性機能について、既に講義で学んだ内容を体験することにより、人体の各機能についてさらに理解を深める。植物性機能としては循環機能として心電図（双極肢誘導、単極肢誘導など）の実習を行う。動物性機能では、骨格筋、末梢神経、中枢神経を中心とした内容を扱い、筋電図（伝導速度計測、Hoffmann反射など）、脳波（α波、誘発電位など）の計測等を行う。人体の各機能の観察・計測を体験し、その手技を学ぶとともに、各機能を個体レベルで多方面から理解・考察する能力を養う。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心電図について理解し、測定することができる。 ・脳波の原理を理解し、その使用方法を実践できる。 ・筋電図の原理を理解し、その使用方法を実践できる。 ・認知課題と関連する認知機能とを理解し、認知機能検査を実践できる。 			
授業の位置づけ	座学の講義で修めた生理学分野の内容を体験を通して再確認し理解を深めるための機会である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I 理学DP3-C I			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 実習の際に、不明な点は積極的に質問すること。 3. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。 4. 実習終了後は備品を整頓し、よく確認して、紛失または破損した場合は担当教員に申し出ること。不具合を放置すると次回の人たちが迷惑するので、必ず報告すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	レポート作成（50%）、発表会での発表およびその準備（50%）により評価する。			
評価基準	実習で学んだことを論理的に過不足なくまとめることができるか。 スライドの作成および発表会でのプレゼンができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
実習中に対応するかJuntendo Passportを使用する。				
テキスト				
参考文献				
系統看護学講座 解剖生理学 第11版、医学書院 実習資料を配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	小西 清貴 skonishi@juntendo.ac.jp 医学部医学部生理学第一講座（新研究棟6階） 事前メール連絡で随時対応 家崎 貴文 iesaki@juntendo.ac.jp 保健医療学部診療放射線学科 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1（3コマ連続）	小西 清貴、家崎 貴文	実習のイントロダクション	実習書および補足事項の説明を講義形式で行う	<p>【予習】（90分） 生理学の復習をしておくこと。</p> <p>【復習】（90分） 実習書に全体に目を通して理解するように努めること。</p>

科目名	運動学		授業形態	講義
英語科目名	Kinesiology		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	眞壁 寿		ナンバリング	PBP2007
担当教員	眞壁 寿、藤野 雄次、春山 幸志郎			
授業概要				
全体内容	運動学は人の身体運動について学ぶ理学療法の基礎となる重要な科目の1つである。その領域は広く、筋骨格系の構造・機能、身体に加わる力との関係、身体運動の発現とその制御機序、運動技能の獲得過程などを扱う学問である。本講義では、力、力のモーメント、身体でこ、仕事とエネルギーなどの運動力学と関節の構造と機能、筋張力と関節トルク、身体各部の関節、脊柱体幹の運動学を修得する。また姿勢、重心、姿勢制御、歩行周期、歩行の距離・時間因子、歩行時の重心移動と下肢関節運動、歩行時の床反力、足底圧中心、歩行時の筋活動、歩行時のエネルギー消費、運動学習理論、学習の転移、フィードバック、パフォーマンスと運動技能などを修得する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・筋骨格系の構造、機能、関節運動（肩、肘、手、手指、股、膝、足、脊柱）と靭帯および筋の作用を理解し、説明できる。 ・身体に加わる力、モーメントなどの力学的諸原理を用いて、身体運動を運動学的（kinematic）及び運動力学的（kinetic）に記述、理解、説明できる。 ・身体重心の位置、支持基底面の広さ、身体アライメント、立ち直り及び平衡反応、姿勢制御戦略、感覚情報などの観点から姿勢の保持と安定を理解し、説明できる。 ・歩行周期、歩行の距離と時間因子を理解し、正常歩行の関節運動、筋活動、重心移動、床反力などを歩行周期との関連で説明できる。 ・異常歩行の原因とそのメカニズムを理解し、説明できる。 ・運動技能を獲得するうえでの学習理論の枠組みを理解し、説明できる。 			
授業の位置づけ	運動学では身体運動の仕組みを学びます。運動学で学んだ筋骨格系の構造や機能、関節運動、姿勢や動作の基礎知識を基に、疾患・障害を有する対象者の特徴的な姿勢・動作を分析するための専門科目です。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-CⅠ、共通DP3-CⅠ、理学DP3-CⅠ、理学DP4-CⅠ、理学DP5-CⅠ			
履修上の注意、履修要件	運動学は、身体運動を研究する学問であり、その諸原理は解剖学、生理学、物理学から得ている。高校での力学の基礎、特に変位、速度、加速度、力、力の合成と分解、仕事とエネルギーを復習しておくことを勧めます。講義の前半は、筋骨格系の構造、機能、関節運動と靭帯および筋の作用について講義を行う。解剖学の学習と平行して行うことを勧める。講義の後半は、姿勢、人体の重心、歩行周期、正常歩行、異常歩行、運動学習などを学習する。運動学は身体運動を扱う理学療法士にとって重要な科目の一つです。積極的な学習を行ってください。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100％）により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・筋骨格系の構造、機能、関節運動（肩、肘、手、手指、股、膝、足、脊柱）と靭帯および筋の作用を理解し、説明できる。 ・身体に加わる力、モーメントなどの力学的諸原理を用いて、身体運動を運動学的（kinematic）及び運動力学的（kinetic）に記述、理解、説明できる。 ・身体重心の位置、支持基底面の広さ、身体アライメント、立ち直り及び平衡反応、姿勢制御戦略、感覚情報などの観点から姿勢の保持と安定を理解し、説明できる。 ・歩行周期、歩行の距離と時間因子を理解し、正常歩行の関節運動、筋活動、重心移動、床反力などを歩行周期との関連で説明できる。 ・異常歩行の原因とそのメカニズムを理解し、説明できる。 ・運動技能を獲得するうえでの学習理論の枠組みを理解し、説明できる。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学	石川朗、種村留美（総編集）	中山書店	978-4-521-73664-8	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・筋骨格系のキネシオロジー（原著第3版）Donald A. Neumann（原著者）Paul D. Andrew、有馬慶美、日高正巳（監訳）医歯薬出版（参考書） ・エッセンシャルキネシオロジー 機能的運動学の基礎と臨床 弓岡光徳、溝田勝彦、村田伸（監訳）南江堂（参考書） ・身体運動学 関節の制御機構と筋機能 市橋則明（編集）Medical View（参考書） ・ペリー 歩行分析 正常歩行と異常歩行 Jacquelin Perry（原著者） 武田功（総括監訳者）医歯薬出版（参考書） ・脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション 阿部浩明、大畑光司（編集） MEDICAL VIEW（参考書） ・観察による歩行分析 月城慶一、江原義弘、盆子原秀三（訳）医学書院（参考書） ・配布講義資料を使用する。 				
その他				

連絡先・オフィスアワー	木曜日9:00~10:30保健医療学部理学療法学科(御茶の水センタービル)505号室 眞壁 寿:h.makabe.lv@juntendo.ac.jp(御茶ノ水センタービル5階505号室) 事前メール連絡で随時対応 藤野雄次:y.fujino.pb@juntendo.ac.jp(御茶ノ水センタービル5階508号室) 事前メール連絡で随時対応 春山幸志郎:k.haruyama.us@juntendo.ac.jp(御茶ノ水センタービル5階508号室) 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて実習を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・運動学(kinematics)と運動力学(kinetics) ・並進運動、回転運動 ・力、力の合成と分解、モーメント、つりあい ・身体でこ、仕事量、仕事率、運動と位置エネルギー、力学的エネルギーの保存 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュートンの運動法則 ・変位、速度、加速度 ・ベクトルの合成と分解 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力、力の合成と分解、モーメント ・身体でこ、仕事、エネルギー
2	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・関節の分類、関節運動 ・骨格筋の構造、形状、筋収縮のしくみ、筋線維の種類、運動単位、筋収縮様式、筋のはたらき(動筋、拮抗筋、共同筋) ・筋張力、筋の張力特性(長さ、収縮様式、収縮速度)、関節トルク 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋収縮のしくみ <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関節の分類、関節運動 ・筋収縮のしくみ、筋線維の種類、筋収縮様式、筋のはたらき ・筋の張力特性、関節トルク
3	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・肩関節を構成する骨、靭帯、関節包、その他の構成組織 ・胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲胸郭関節、肩甲上腕関節、肩甲上腕リズム ・上腕と肩甲骨の運動に関与する筋、肩関節の安定性に関与する筋 ・三角筋と肩峰下インピンジメント 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩関節の基本構造 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩関節の基本構造 ・肩甲上腕リズム ・肩関節複合体の各関節の基本構造 ・上腕と肩甲骨の運動と安定に関与する筋
4	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・肘関節を構成する骨、関節、靭帯、肘外反角、ヒューター線・三角 ・前腕を構成する骨、関節、肘関節と前関節包内運動、肘関節の運動に関与する筋、前腕の運動に関与する筋 ・肘関節の可動域制限の原因、肘関節部の末梢神経障害 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肘関節と前腕の基本構造 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肘関節と前腕の基本構造 ・肘関節と前腕の関節運動に関わる靭帯と筋の作用 ・肘関節の制限と末梢神経障害
5	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・手関節の構造と機能、橈骨手根関節、手根中央関節、手関節の靭帯 ・手関節の関節運動、手関節の運動に関係する筋 ・手関節と手の筋の神経支配 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手関節の基本構造 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手関節の基本構造 ・手関節の関節運動と運動に関係する筋 ・手関節と手の筋の神経支配
6	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・手指の構造と機能、手根中手関節、中手指節関節、指節間関節 ・手内筋、手外筋、指伸長機構の補助組織、テノデーシス作用、母指の運動に関与する手外筋、腱鞘 ・手のアーチ、手関節部の末梢神経障害、手の変形 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指の基本構造 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手指の基本構造 ・手内筋、手外筋、テノデーシス作用 ・手のアーチ、末梢神経障害、手の変形
7	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・股関節を構成する骨と関節、股関節の関節包と靭帯 ・股関節の関節運動、関節包内運動 ・股関節の運動に関与する筋 ・股関節筋群と脊柱・骨盤のアライメント 	講義	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・股関節の基本構造 <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・股関節の関節運動 ・股関節の運動に関与する筋

8	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・膝関節を構成する骨と関節 ・膝関節の関節包と靭帯、半月板、滑液包 ・膝関節の関節運動、脛骨大腿関節の骨運動、脛骨大腿骨関節の関節包内運動、膝蓋大腿関節の運動 ・膝関節の運動に関与する筋、膝関節の靭帯損傷 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膝関節の基本構造 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膝関節の基本構造 ・膝関節の骨運動と関節包運動 ・膝関節の運動に関わる靭帯と筋作用
9	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・足関節・足部を構成する骨と関節 ・足関節・足部の靭帯 ・足関節・足部の関節運動 ・足関節・足部の運動に関与する筋 ・足部の機能、足部のアーチ構造 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足関節と足部の基本構造 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足関節と足部の基本構造 ・足関節と足部の関節運動、関与する筋 ・足部のアーチ構造とその役割
10	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・脊柱（頸部、胸部、腰部）の基本構造 ・脊柱の彎曲、靭帯、運動、脊髄神経 ・脊柱（頸部、胸部、腰部）の関節と運動、運動に関与する筋 ・椎間板変性、ヘルニア 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊柱の基本構造 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊柱の基本構造、彎曲 ・脊柱の関節と運動、運動に関与する筋 ・椎間板変性、ヘルニア
11	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、重心、安静立位姿勢のアライメント、安静立位姿勢の制御 ・外乱動揺下での立位制御、立ち直り、平衡反応、運動戦略 ・姿勢制御における感覚機構、予測的姿勢制御 ・人体の重心点の算出 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位姿勢での重心線 ・支持基底面とは <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢、重心、立位姿勢での重心線 ・外乱動揺下での立位制御、運動戦略 ・予測的姿勢制御、重心点の算出
12	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行周期、立脚相と遊脚相、歩行の距離因子、歩行の時間因子 ・歩行時の身体重心移動と下肢の関節運動 ・歩行時の床反力と足底圧中心 ・歩行時の筋活動 ・歩行速度とエネルギー消費量 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行周期 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行時の重心移動、下肢関節運動、筋活動、床反力、足圧中心
13	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・異常歩行のメカニズム ・各関節（足関節、膝関節、股関節）に関する異常歩行 ・骨盤と体幹に関する異常歩行、 ・代表的な異常歩行 ・歩行評価のためのツール 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な異常歩行 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常歩行の原因、メカニズム
14	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・正常歩行の神経制御 ・様々な測定機器による歩行の評価、3次元動作解析装置、身体セグメント協調性評価、表面筋電図による評価、加速度波形による評価 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常歩行の神経制御 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表面筋電図による評価 ・協調性、加速度による評価
15	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<ul style="list-style-type: none"> ・運動学習と記憶 ・運動学習の3つの段階 ・運動学習効果と練習の質と量について ・学習の転移と動機づけ ・運動学習におけるフィードバック ・運動パフォーマンスとスキル ・運動学習の諸理論について 	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記憶について <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動学習の段階 ・運動学習の諸理論

科目名	運動学実習	授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Kinesiology	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	1単位
代表教員	眞壁 寿	ナンバリング	PBP2008
担当教員	眞壁 寿、藤野 雄次、春山 幸志郎		
授業概要			
全体内容	運動学で修得した知識をもとに、体表からの視診や触診を通して、正常な関節構成体の構造と機能を確認する。また種々の身体運動や動作を運動学的に分析することを通じて、身体運動や動作の特徴やその仕組み、運動学的な計測手法について理解する。本実習では、上下肢帯及び上下肢の機能解剖と関節運動、脊柱及び体幹の機能解剖と関節運動、筋力、筋トルク計測方法、筋電図計測方法、筋力と筋放電量との関係、身体動作時の筋活動量計測、重心動揺計の計測方法、感覚入力と立位時重心動揺、立位姿勢における立ち直りやバランス反応、身体動作時の重心及び重心の加速度算出、身体動作時の床反力計測、ビデオカメラや3次元動作解析装置を用いた身体動作分析、歩行の時間・距離因子、歩行時の下肢運動計測や床反力計測などを習得する。また臨床応用に向け、高齢者、変形性股関節症、膝関節症、片麻痺、パーキンソン病、運動失調患者の姿勢動作の特徴と分析を行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上下肢帯および上下肢を構成する組織を体表から捉えることができる。また、上下肢の各関節運動の運動学的特徴を理解する。 ・頭頸部ならびに体幹を構成する組織のランドマークとなる骨と表層の筋を体表から捉えることができる。 ・関節トルク概念、関節トルクと関節角度、筋収縮様式、関節運動速度との関係を理解する。また、筋電図概念とその解析内容を理解し、筋活動と発揮筋力との関係、筋疲労と周波数成分との関係を説明できる。 ・人体の重心位置の算出方法、立位姿勢のアライメント評価方法、身体重心位置と支持基底面との関係を理解する。重心動揺計の概念、重心動揺計の計測方法、安静立位時の重心動揺に及ぼす要因、外乱を加えた際の立ち直りとバランス反応を理解する。 ・3次元動作解析装置、床反力計、ビデオカメラを用いた歩行や身体動作分析を理解する。 		
授業の位置づけ	運動学実習では、運動学で学習した知識をもとに、実際の身体運動を分析することを通じて、その知識や仕組みについて理解を深めていきます。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I、共通DP3-C I、理学DP3-C I、理学DP4-C I、理学DP5-C I		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・運動学で修得した知識の理解をさらに深め、人の動きを運動学的に診ることへの興味、関心をさらに高めてください。 ・動きやすい服装（トレーニングウェア、トレーニングパンツ）に着替えて実習に臨んでください。 ・測定機器の取り扱いについては教員の指示に従い、注意して測定機器を取り扱ってください。 		
成績評価の方法			
評価方法	成績評価方法 レポート・プレゼンテーション（80％）、ルーブリック評価（20％）により評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・上下肢帯および上下肢を構成する組織を体表から捉えることができる。また、上下肢の各関節運動の運動学的特徴を説明できる。 ・頭頸部ならびに体幹を構成する組織のランドマークとなる骨と表層の筋を体表から捉えることができる。 ・関節トルク概念、関節トルクと関節角度、筋収縮様式、関節運動速度との関係を理解する。また、筋電図概念とその解析内容を理解し、筋活動と発揮筋力との関係、筋疲労と周波数成分との関係を説明できる。 ・人体の重心位置の算出方法、立位姿勢のアライメント評価方法、身体重心位置と支持基底面との関係を理解する。重心動揺計の概念、重心動揺計の計測方法、安静立位時の重心動揺に及ぼす要因、外乱を加えた際の立ち直りとバランス反応を説明できる。 ・3次元動作解析装置、床反力計、ビデオカメラを用いた歩行や身体動作分析を説明できる。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
実習内やJuntendo Passportを使用して返却			
テキスト			
15レクチャーシリーズ理学療法・作業療法運動学実習	石川朗・種村留美	中山書店	978-4-521-73666-2
参考文献			
運動学	石川朗 種村留美（総編集）	中山書店（参考書）	
臨床運動学	石川朗 種村留美（総編集）	中山書店（参考書）	
その他			
連絡先・オフィスアワー	<p>木曜日9：00～10：30保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）505号室 眞壁 寿：h.makabe.lv@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階505号室） 事前メール連絡で随時対応 藤野雄次：y.fujino.pb@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室）事前メール連絡で随時対応 春山幸志郎：k.haruyama.us@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室）事前メール連絡で随時対応</p>		

担当教員の実務経験		病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて実習を行う。		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	運動学実習オリエンテーションにて、運動学実習の進め方、グループ分け、レポート作成と提出の仕方などを説明する。 講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習（グループワーク） ・肩甲骨回旋角度、肩関節外転角度を実際に計測し、肩甲骨腕リズムについての考察を行う。 ・ハンドヘルドダイナモメータを使用し、肘関節角度の大きさを変えて関節モーメントを計算する。	講義、グループワーク	【予習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書p77-86 【復習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書p77-86 【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。
2	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	運動学実習オリエンテーションにて、運動学実習の進め方、グループ分け、レポート作成と提出の仕方などを説明する。 講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・肩甲骨回旋角度、肩関節外転角度を実際に計測し、肩甲骨腕リズムについての考察を行う。 ・ハンドヘルドダイナモメータを使用し、肘関節角度の大きさを変えて関節モーメントを計算する。	講義、グループワーク	予習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書p77-86 【復習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書77-86 【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。
3	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	運動学実習オリエンテーションにて、運動学実習の進め方、グループ分け、レポート作成と提出の仕方などを説明する。 講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・肩甲骨回旋角度、肩関節外転角度を実際に計測し、肩甲骨腕リズムについての考察を行う。 ・ハンドヘルドダイナモメータを使用し、肘関節角度の大きさを変えて関節モーメントを計算する。	講義、グループワーク	【予習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書p77-86 【復習】（90分） 上肢帯および上肢の関節運動（1）（2）教科書p35-56 筋力、教科書77-86 【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。
4 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	筋収縮様式と運動との関係、関節角度と筋発揮力、2関節筋と関節可動域との関係を実習する。 講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・腕立て伏せ運動を行い、腕立て伏せ運動の各相に動く筋とその筋の収縮様式を実習する。 ・手関節肢位と握力の大きさとの関係を実習する。 ・膝関節伸展位と屈曲位における股関節可動域の違いを実習する。	講義、グループワーク	【【予習】（90分） 下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動（2）、教科書p45-56 【復習】（90分） 下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動（2）、教科書p45-56 【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。
5	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	筋収縮様式と運動との関係、関節角度と筋発揮力、2関節筋と関節可動域との関係を実習する。 講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項	講義、グループワーク	【予習】（90分） 下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動（2）、教科書p45-56

		<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕立て伏せ運動を行い、腕立て伏せ運動の各相に働く筋とその筋の収縮様式を実習する。 ・手関節肢位と握力の大きさとの関係を実習する。 ・膝関節伸展位と屈曲位における股関節可動域の違いを実習する。 		<p>【復習】 (90分)</p> <p>下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動 (2)、教科書p45-56</p> <p>【課題】</p> <p>グループ (10名) に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
6	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>筋収縮様式と運動との関係、関節角度と筋発揮力、2関節筋と関節可動域との関係を実習する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕立て伏せ運動を行い、腕立て伏せ運動の各相に働く筋とその筋の収縮様式を実習する。 ・手関節肢位と握力の大きさとの関係を実習する。 ・膝関節伸展位と屈曲位における股関節可動域の違いを実習する。 	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動 (2)、教科書p45-56</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>下肢帯および下肢の関節運動、教科書p11-22 上肢帯および上肢の機能解剖、教科書p23-34 上肢帯および上肢の関節運動 (2)、教科書p45-56</p> <p>【課題】</p> <p>グループ (10名) に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
7 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>骨盤の傾斜角度が座位および立位アライメントに及ぼす影響、骨盤運動と下肢の運動連鎖の関係を実習する。以下の実習課題をグループで行い、その結果と考察をレポートにまとめ、翌週に報告する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での座位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での立位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤の動き (前後傾、回旋、前後移動) に伴う、下肢運動連鎖を評価する。 	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【課題】</p> <p>グループ (10名) に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
8	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>骨盤の傾斜角度が座位および立位アライメントに及ぼす影響、骨盤運動と下肢の運動連鎖の関係を実習する。以下の実習課題をグループで行い、その結果と考察をレポートにまとめ、翌週に報告する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での座位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での立位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤の動き (前後傾、回旋、前後移動) に伴う、下肢運動連鎖を評価する。 	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【課題】</p> <p>グループ (10名) に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
9	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>骨盤の傾斜角度が座位および立位アライメントに及ぼす影響、骨盤運動と下肢の運動連鎖の関係を実習する。以下の実習課題をグループで行い、その結果と考察をレポートにまとめ、翌週に報告する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での座位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤を通常位、前傾位、後傾位での立位姿勢アライメントを評価する。 ・骨盤の動き (前後傾、回旋、前後移動) に伴う、下肢運動連鎖を評価する。 	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【復習】 (90分)</p> <p>脊柱・体幹の関節運動、教科書p67-76 姿勢1制止姿勢、教科書p97-106</p> <p>【課題】</p> <p>グループ (10名) に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
10 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次	<p>Pauwels理論を通して身体でのこを理解し、杖使用や姿勢変化によって股関節にかかる負荷の大きさの変化を実習する。身体重心位置と支持基底面との関係から身体の安定性を捉える実習をする。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分)</p> <p>上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p>

	春山幸志郎	<p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項</p> <p>実習 ・杖使用、片足立ち、重り負荷、姿勢変化による股関節にかかる負荷の変化をPauwelsの理論を用いて評価する。</p> <p>・様々な姿勢をとり支持基底面や重心位置を変化させ、身体の安定性を体験する。この体験から身体の安定性を支持基底面と重心位置との関係から捉え直す。</p>		<p>【復習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ(10名)に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
11	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>Pauwels理論を通して身体のでこを理解し、杖使用や姿勢変化によって股関節にかかる負荷の大きさの変化を実習する。身体重心位置と支持基底面との関係から身体の安定性を捉える実習をする。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項</p> <p>実習 ・杖使用、片足立ち、重り負荷、姿勢変化による股関節にかかる負荷の変化をPauwelsの理論を用いて評価する。</p> <p>・様々な姿勢をとり支持基底面や重心位置を変化させ、身体の安定性を体験する。この体験から身体の安定性を支持基底面と重心位置との関係から捉え直す。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ(10名)に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
12	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>Pauwels理論を通して身体のでこを理解し、杖使用や姿勢変化によって股関節にかかる負荷の大きさの変化を実習する。身体重心位置と支持基底面との関係から身体の安定性を捉える実習をする。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項</p> <p>実習 ・杖使用、片足立ち、重り負荷、姿勢変化による股関節にかかる負荷の変化をPauwelsの理論を用いて評価する。</p> <p>・様々な姿勢をとり支持基底面や重心位置を変化させ、身体の安定性を体験する。この体験から身体の安定性を支持基底面と重心位置との関係から捉え直す。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ(10名)に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
13 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>筋電図の基本概念、測定手法、基礎的解析手法、筋収縮力と筋活動との関係、周波数解析、筋電図による筋疲労評価などを学習する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項</p> <p>実習 フリーソフトLabchartをダウンロードし、以下の実習を行う。 ・トルクマシンによって下肢筋電図を測定する。 ・筋電図解析ソフトを用いて筋活動量を積分とRMSにて定量化し、筋発揮トルクと筋活動量との関係を解析する。 ・下肢筋疲労実験を行い、筋疲労前後における筋電図の周波数スペクトルの変化を解析する。</p>	講義、グループワーク	<p>予習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ(10名)に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
14	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>筋電図の基本概念、測定手法、基礎的解析手法、筋収縮力と筋活動との関係、周波数解析、筋電図による筋疲労評価などを学習する。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項</p> <p>実習 フリーソフトLabchartをダウンロードし、以下の実習を行う。 ・トルクマシンによって下肢筋電図を測定する。 ・筋電図解析ソフトを用いて筋活動量を積分とRMSにて定量化し、筋発揮トルクと筋活動量との関係を解析する。 ・下肢筋疲労実験を行い、筋疲労前後における筋電図の周波数スペクトルの変化を解析する。</p>	講義、グループワーク	<p>予習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ(10名)に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
15	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>筋電図の基本概念、測定手法、基礎的解析手法、筋収縮力と筋活動との関係、周波数解析、筋電図による筋疲労評価などを学習する。</p> <p>講義</p>	講義、グループワーク	<p>予習】 (90分) 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】 (90分)</p>

		<p>実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 フリーソフトLabchartをダウンロードし、以下の実習を行う。 ・トルクマシンによって下肢筋電図を測定する。 ・筋電図解析ソフトを用いて筋活動量を積分とRMSにて定量化し、筋発揮トルクと筋活動量との関係を解析する。 ・下肢筋疲労実験を行い、筋疲労前後における筋電図の周波数スペクトルの変化を解析する。</p>		<p>上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
16 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>歩行パラメータ測定と動画撮影による正常歩行の観察と分析を行う。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・10m歩行の測定を行い、正常歩行の距離因子（歩幅、重複歩距離、歩隔、足角）、時間因子（歩行速度、歩行周期、歩行率）を求める。 ・正常歩行の動画を撮影し、各歩行周期での関節運動、筋活動について観察を行う。 ・応用として最大歩行速度、低速歩行、AFO装着歩行、wide base歩行、小刻み歩行などを行い、上記の歩行パラメータの計測、動画による関節運動、筋活動を観察する。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
17	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>歩行パラメータ測定と動画撮影による正常歩行の観察と分析を行う。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・10m歩行の測定を行い、正常歩行の距離因子（歩幅、重複歩距離、歩隔、足角）、時間因子（歩行速度、歩行周期、歩行率）を求める。 ・正常歩行の動画を撮影し、各歩行周期での関節運動、筋活動について観察を行う。 ・応用として最大歩行速度、低速歩行、AFO装着歩行、wide base歩行、小刻み歩行などを行い、上記の歩行パラメータの計測、動画による関節運動、筋活動を観察する。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
18	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>歩行パラメータ測定と動画撮影による正常歩行の観察と分析を行う。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・10m歩行の測定を行い、正常歩行の距離因子（歩幅、重複歩距離、歩隔、足角）、時間因子（歩行速度、歩行周期、歩行率）を求める。 ・正常歩行の動画を撮影し、各歩行周期での関節運動、筋活動について観察を行う。 ・応用として最大歩行速度、低速歩行、AFO装着歩行、wide base歩行、小刻み歩行などを行い、上記の歩行パラメータの計測、動画による関節運動、筋活動を観察する。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【復習】（90分） 上肢帯・上肢の運動学、実習課題、教科書p35-p56</p> <p>【課題】 グループ（10名）に分かれ、左記の実習課題を行う。翌週の同曜日にグループで1つのレポートを提出する。</p>
19 3コマ連続	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>重心動揺計（バランスコーダBW-6000）、トルクマシン（Easy The Plus）、3次元動作解析装置（Vicon）などの機器を使用した計測体験を行う。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・重心動揺計の計測パラメータの意味を理解する。 ・トルクマシンで計測できる筋収縮様式を理解し、角速度と筋力との関係、筋収縮様式と筋力との関係を理解する。 ・3次元動作解析装置のマーカ装着位置、解析可能なパラメータの意味を理解する。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】（90分） 筋力、教科書p77-86 姿勢（2）姿勢制御、教科書p107-130 生体力学、教科書p117-130</p> <p>【復習】（90分） 姿勢（2）姿勢制御、教科書p107-130</p>
20	眞壁 寿 藤野雄次 春山幸志郎	<p>重心動揺計（バランスコーダBW-6000）、トルクマシン（Easy The Plus）、3次元動作解析装置（Vicon）などの機器を使用した計測体験を行う。</p> <p>講義 実習内容の説明とそれに関連する基礎的な事項 実習 ・重心動揺計の計測パラメータの意味を理解する。 ・トルクマシンで計測できる筋収縮様式を理解し、角速度と筋力との関係、筋収縮様式と筋力との関係を理解する。 ・3次元動作解析装置のマーカ装着位置、解析可能なパラメータの意味を理解する。</p>	講義、グループワーク	<p>【予習】（90分） 筋力、教科書p77-86 姿勢（2）姿勢制御、教科書p107-130 生体力学、教科書p117-130</p> <p>【復習】（90分） 姿勢（2）姿勢制御、教科書p107-130</p>

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間発達学		授業形態		講義	
英語科目名	Human Development		開講学期	2023年度前期(SPR)		
対象学年	2年		単位数	1単位		
代表教員	松田 雅弘		ナンバリング	PBP2009		
担当教員	松田 雅弘					
授業概要						
全体内容	本講義では、受胎～死に至るまでの一生涯の人間の発達過程について、運動面・認知面・発達心理・社会性などの経時的な変化に関する過程について理解する。特に乳幼児期～青年前期までの発達・成長は人間の基盤となり、その理解は発達期又はその他のリハビリテーション分野においても重要な知識や応用力を身に付けることになる。そのため人間の形態的・構造的な成長だけでなく、発達過程における脳機能の変化について熟知する必要があり、そのことで運動・認知・心理・社会などの各側面から総合的に人間の発達を理解する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動面、認知面、情動面、心理・社会性の発達など多角的に人間発達を多角的に説明することができる。 ・発達理論の概要を説明することができる。 ・生涯発達する過程を理解し、各発達年齢でのKey pointについて説明できる。 ・運動面の発達に関しては出現する反射・反応について説明できる。 					
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・人間発達学は理学療法を学ぶうえで人の生死を含め、生涯を通じた発達の概要を学ぶため、理学療法士の対象となる全対象者の状態を把握するために重要となる ・発達系理学療法学の基礎となる運動発達、認知発達、社会的発達の基礎を学び、障害児者の病態把握に重要となる 					
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ、CⅡ 共通DP3-CⅠ 共通DP4-CⅠ 共通DP5-CⅠ 共通DP2-CⅠ					
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次の「発達系理学療法学」、「発達系理学療法学演習」の基本となる学問であり、神経理学療法を学ぶうえでも重要となる。また、第1回目に理学療法士国家試験問題を配布し、理学療法士として求められる「人間発達学」の知識を確認しながら講義を受講して欲しい。 ・Active learningの実施形態のため、理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことを望む ・Active learningの取り組みの一環で講義の一部は反転講義を実施する。 					
成績評価の方法						
評価方法	成績は下記の項目を総合的に判断する。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・小テスト 10% ・レポート課題と反転講義の評価 40% (規定以上の日数を出席すること、原則、欠席・遅刻・早退はなし。所定の方法で連絡すること)					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験、小テスト、レポート課題は担当教員が評価を行う ・反転講義は学生による自己評価、他者評価、教育評価によって評価を行う ・最終評価は総合的に判断する 					
試験・課題等に対するフィードバック方法						
【課題】 ・JUNTENDO PASSPORTまたはGoogle classroomの機能を使用して提出とフィードバックを行う。 【試験】 ・試験終了後に適宜フィードバックを行う。						
テキスト						
リハビリテーションのための人間発達学 第3版	大城昌平(編)	メディカルプレス	978-4-907347-90-1			
参考文献						
【教科書】 ・リハビリテーションのための人間発達学 第3版：大城昌平(編)、メディカルプレス、2021年 【参考図書】 ・人間発達学テキスト：細田多穂(監)、南江堂、2014年 ・発達を学ぶ-人間発達学レクチャー-：森岡周、協同医書出版、2015年 ・機能的姿勢-運動スキルの発達-：高橋智宏(監訳)、協同医書出版、2011年						

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感覚運動機能の発達と支援：大城昌平・他（編）、メジカルビュー、2018年 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて書籍の紹介、プリントを配布する。 				
その他				
連絡先・オフィスアワー		木曜日 12:10~13:10 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp 事前にメール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験		<p>【教育経験】</p> <p>2016~2018年 城西国際大学理学療法学科にて「人間発達学」講義担当 2019~現在 順天堂大学理学療法学科にて「人間発達学」講義担当</p> <p>【実務経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援センター、療育機関、特別支援学校、保育所などでの理学療法士としての実務経験 ・発達系理学療法に関する研究 ・子どもロコモなどの運動器に関する啓蒙活動 		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・反転講義の説明 ・人間発達とは何か（発達の定義、代表的な発達理論） ・発達、成長違いと生死について ・理学療法士に求められる人間発達学とは ・小テスト 	対面の講義形式	<p>【予習】（90分） 教科書のp2~14を一読しておくこと</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認 発達理論の理解を深める</p>
2	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児期、新生児期の発達 ・小テスト 	対面の講義形式	<p>【予習】（90分） 教科書のp15~30を一読しておくこと</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
3	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期の発達 ・小テスト 	対面の講義形式	<p>【予習】（90分） 教科書のp31~50を一読しておくこと</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
4	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期前期・後期の発達 ・学童期の発達 ・小テスト 	対面の講義形式	<p>【予習】（90分） 教科書のp51~84を一読しておくこと</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
5	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期~高齢期の発達の特徴 ・小テスト 	対面の講義形式	<p>【予習】（90分） 教科書のp85~134を一読しておくこと 発表準備</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
6	松田雅弘	<ul style="list-style-type: none"> ・脳・神経系、知覚・認知機能の発達と障害 ・小テスト 	反転講義形式（学生のプレゼンテーション）	<p>【予習】（90分） 教科書のp136~153、p196~213を一読しておくこと 発表準備</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
7	松田雅弘	<p>【反転講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体構造、情緒・社会性の発達と障害 ・課題レポートの提出 	反転講義形式（学生のプレゼンテーション）	<p>【予習】（90分） 教科書のp176~194、p232~244を一読しておくこと 反転講義の班は発表準備</p> <p>【復習】（90分） 講義資料、配布資料の確認</p>
8	松田雅弘	<p>【反転講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語機能の発達と障害、内部機能の発達と障害 	反転講義形式（学生のプレゼンテーション）	<p>【予習】（90分） 教科書のp156~171、p216~229を一読しておくこと</p>

科目名	救命救急学	授業形態	講義	
英語科目名	Emergency medicine	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	1年	単位数	1単位	
代表教員	射場 敏明	ナンバリング	PBP2100	
担当教員	射場 敏明			
授業概要				
全体内容	救急医療においては、常に時間軸を意識した診療が必要とされる。すなわち診断や処置に時間を要すれば転帰が変わり得ること意識して診療に当たる必要がある。また対象となる疾病が多岐にわたるため、迅速かつ包括的な判断が重要視されることも覚えておかねばならない。本講義においては、救急領域で診療する頻度の高い疾病の解説とバイタルサインを含む全身観察の手法や局所観察の意義、更にもその具体的な方法と解釈の留意点について解説し、加えて具体的な事例について検討を行う。			
到達目標	頻度の高い疾病の病態とその対処法について正しい知識を得る			
授業の位置づけ	専門基礎分野/疾病と傷害の成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP1-C1・DP2-C1・DP3-C1・DP4-C1・DP5-C1			
履修上の注意、履修要件	将来医療職につくことを意識し、内容にとどまらず学習態度にも留意する。			
成績評価の方法				
評価方法	講義毎の小テスト結果（50%）、定期試験結果（50%）で評価を行う。			
評価基準	頻度の高い疾病の病態とその対処法について正しい知識を小テストを用いて確認。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
出席、受講態度、試験結果を総合評価し、フィードバックする				
テキスト				
参考文献				
救急診療指針 改訂第5版				
その他				
連絡先・オフィスアワー	講義の前後で質疑応答を受け付ける			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	渡邊 心	医療従事者として最低限の急性腹症を知る。 急性腹症を理解するために ①腹部全体の解剖を理解する ②代表的な疾患名を理解する ③これら疾患の診断、治療を理解する。 ④本講義終了時には患者の訴えから可能性のある代表的疾患を挙げられるようにしていただきたい。	講義	【予習】（90分） 講義では主に②に③について解説する。 特に教科書指定はないが事前に腹腔内臓器（後腹膜も含む）の解剖の予習をしてくること。 体表と臓器の位置関係を最低限把握して講義に臨むこと。 【復習】（90分） 講義で解説された、腹腔内臓器（後腹膜も含む）の解剖を復習すること。
2	柳川 洋一	外傷の疫学、基本的な病名の理解、肉眼所見、画像診断、起こりうる症状	講義	【予習】（90分） 解剖学、生理学 【復習】（90分） 解剖学、生理学
3	門田 勝彦	【救命救急医学 脳神経系の救急疾患】 脳神経系の救急疾患は、代表的な症候である意識障害を一例としても、原疾患や病像がきわめて多様であ	講義	【予習】（90分） 1. 意識レベルの評価判定のためのGCS（Glasgow Coma Scale）とJCS（Japan

科目名	臨床心理学	授業形態	講義	
英語科目名	Clinical Psychology	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	2年	単位数	1単位	
代表教員	松永 祐輔	ナンバリング	PBP2101	
担当教員	松永 祐輔			
授業概要				
全体内容	臨床心理学は、人間心理的な適応や発達、障害・苦悩などの特徴を明らかにして、問題の査定や軽減・解消を目指す学問である。本講義では、臨床心理学の基礎的な理解を目的に、心理アセスメントや代表的理論の概要を学ぶ。前半では、まず臨床心理学の基礎として、記憶や注意といった認知機能、発達段階とその特徴など、臨床心理学を学ぶ上で必要な心理学の知見を学ぶ。その上で、精神障害の理解を目的に、統合失調症や気分障害、認知症などについて、臨床心理学的側面から学ぶ。後半では、心理アセスメントの特徴、精神分析や認知行動療法、来談者中心療法など、臨床心理学を理解する上で重要な技法や代表的理論について学ぶ。			
到達目標	臨床心理学の基礎理論や関係する他の心理学理論を理解している。その上で、発達心理および臨床心理について、児童・青年期心理、成人・高齢者心理、患者・障害者心理を理解しているほか、臨床心理検査法や、心理療法およびカウンセリングについても理解している。			
授業の位置づけ	本講義で扱う内容は、特に来談者中心療法等は、現在の医療における様々な分野で重視されている概念である。本講義は、医療従事者として患者のこころを尊重するための基本的な姿勢や考え方を学ぶ科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ディプロマポリシー、コンピテンシーとは、以下の項目について、臨床心理学的側面について関係している。 共通DP1-C1：倫理とプロフェッショナリズム 理学DP2-C1：理学療法を必要としている人々を全人的に理解する能力 理学DP3-C1：人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている 理学DP5-C1：理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力			
履修上の注意、履修要件	ノートを必ず持参すること。資料等は必要に応じて適宜配布する。 小テストはJUNTENDO PASS PORTを使用し、実施する予定である。また、小テストの問題は、原則として授業内で扱った内容を基に出題する。 授業のなかで、質問紙調査を行う場合がある。参加することによって、質問紙調査研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（70％）、小テスト等の課題や平常点（30％）			
評価基準	臨床心理学の基礎理論を理解し説明できるか。 児童・青年期心理、成人・高齢者心理、患者・障害者心理を理解しているか。 臨床心理学的アセスメントや、心理療法についても理解しているか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
実施した小テストは授業内で解説する。				
テキスト				
参考文献				
授業の際に提示する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業中、および終了後にチャットで質問を受け付ける。			
担当教員の実務経験	高齢者専門の病院や透析クリニックにて、7年程度の実務経験がある。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 4/13（木）	松永祐輔	【オリエンテーション】 授業の展開や成績評価のほか、臨床心理学の基本的な考え方などを解説する。	講義	【予習】（90分） 心理学や臨床心理学、精神障害、その他、こころに関係するこれまでの知識を整理しておくこと。

科目名	カウンセリング論		授業形態	講義
英語科目名	Counseling Theory		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年		単位数	1単位
代表教員	道谷 里英		ナンバリング	PBP2102
担当教員	道谷 里英			
授業概要				
全体内容	人々が直面する問題がより複雑、高度化している現代社会において、専門的な対人援助の重要性がますます高まっている。本講義においては、対人援助活動の一つであるカウンセリングに焦点を当て、カウンセリングの定義、類似する他の対人援助活動との違い、カウンセリングを行う者に求められる基本的な態度や技能、カウンセリングのプロセスを学ぶ。カウンセリングを学ぶことを通じて、援助する側と援助される側との関係性を踏まえて、理学療法士としてより良い援助のあり方を学ぶことを目的とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理的な援助であるカウンセリングの理念や基本的なあり方を理解する。 2. 援助者として必要な態度や資質について理解する。 3. 援助を求める人に共感し、その人を受容するための支持的な聴き方の基礎を身につける。 4. 援助者としての自分自身の心の声に耳を傾け、セルフケアの方法を理解する。 			
授業の位置づけ	リハビリテーションを行う上では患者との信頼関係が不可欠です。本科目は、信頼関係を構築するための基礎的な態度やあり方について、カウンセリングの考え方を通じて学ぶ科目です。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP1-C I-② 理学DP4-C I-② 理学DP5-C I-①②			
履修上の注意、履修要件	本科目ではカウンセリングの知識だけでなく、スキルを学ぶことが含まれるため、各学生には能動的に授業に参加する姿勢を強く求めます。毎回、ランダムに指定した座席に着席してもらうため、事前に掲示された座席表を確認してください。また、集合形式での授業実施のため、講師が一人ひとりへフィードバックを行うことは困難ですが、その代り、受講生同士が積極的にフィードバックし合う時間を設けます。相手を尊重し、相手の成長につながるようコメントをするようにお願いします。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験6割、授業ごとのリアクションペーパーや課題の提出4割で評価します。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理的な援助であるカウンセリングの理念やリハビリテーションとの関連を理解し、説明することができるか。 2. 援助者として求められる態度や資質について理解し、説明することができるか。 3. 援助を求める人を支えるための話を聴くうえで大切な態度や行動を理解し、自分自身の課題を説明することができるか。 4. 援助者としてのセルフケアの方法を理解し、説明することができるか。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
毎回のリアクションペーパーに対して、次回の授業で数名の学生のコメントを紹介し、総合的なコメントを行うことによりフィードバックを行います。				
テキスト				
理学療法士(PT)・作業療法士(OT)のための治療心理学:患者によりそう行動アプローチ	武田 建, 中俣 恵美, 出田 めぐみ	創元社	978-4422410852	
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	r-michitani@juntendo.ac.jp メールで個別にアポイントを取ってください。			
担当教員の実務経験	民間企業および大学でのキャリア・カウンセリングやメンタルヘルスに関するカウンセリングの実務経験を活かして講義を行います。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	道谷 里英	【オリエンテーション】 カウンセリングが誕生した社会的背景や人々のwell-beingとの関連、類似する援助行動との違いを理解する。	講義とグループワーク	【予習】 (90分) あなたが誰かの相談にのった経験を通じて、話を聞くことについて難しさを感じたことはありますか。もしあれば、どのような点が難しかったですか。

科目名	病理学概論		授業形態	講義
英語科目名	Pathology		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年		単位数	1単位
代表教員	樋野 興夫		ナンバリング	PBP2103
担当教員	樋野 興夫			
授業概要				
全体内容	「病理学」とは、病気の根幹を追求しようとする「the study of the diseased tissues」を機軸とする。病理学は、実験を通して病気のメカニズムを解明していく「実験病理」とヒトの臓器、組織を主に形態学的に診断する「人体病理」に大別される。更に人体病理は解剖病理と診断病理に大別される。診断病理には、細胞診、術中迅速診断、生検や手術の組織診断がある。特殊染色、免疫組織化学染色、蛍光抗体法、電子顕微鏡観察は補助診断として用いられる。本講義では、将来医療職に従事する学生の「病気に対する正しい理解」を深めることを目的とするものであり、具体的に様々な病変の『正常細胞と異常細胞の違い』を学ぶことで、『病気』の具象的なイメージを捉えることである。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見通せるようになる。 2. 俯瞰的に「がん」の理を理解し「理念を持って現実に向かい、現実の中に理念」を問う人材となる。 3. 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む「具眼の士」の種蒔く人材となる 			
授業の位置づけ	専門基礎分野 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1			
履修上の注意、履修要件	特になし			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート（100%）により評価する			
評価基準	歴史を通して俯瞰的に「がん」の理を理解することができる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内で返却				
テキスト				
「カラーで学べる病理学」	渡辺 照男	Nouvella Hirokawa		
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業前後で対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	樋野 興夫	病気と病理学：病気とは何か、老化現象と病気の関係等	講義	【予習】 （90分） 指定教科書の該当部分を読んでくること。 【復習】 （90分） 授業内で触れたキーワード等について、指定教科書等を使ってにまとめておくこと。
2	樋野 興夫	生体の基本反応：組織・細胞に生じる異常と修復・炎症、免疫等	講義	【予習】 （90分） 指定教科書の該当部分を読んでくること。

科目名	外科学	授業形態	講義	
英語科目名	Surgery	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	2年	単位数	1単位	
代表教員	坂本 一博	ナンバリング	PBP2104	
担当教員	坂本 一博			
授業概要				
全体内容	外科学では、手術後のリハビリテーションの実施にあたって必要な基本的知識を学ぶ。具体的には、各臓器の解剖、生理に加えて、代表的な疾患の病態生理、診断方法、治療方法を解説する。特に消化器外科手術（上部消化管、下部消化管、肝胆膵）、呼吸器外科手術、心臓血管外科手術（心臓外科、血管外科）、乳腺外科手術、小児外科手術、形成外科手術については、手術適応に加えて、各手術の特徴や術前・術後の管理、術後の回復の特徴、術後発生しうる身体機能の低下、術後合併症について必要な知識を修得することで、チーム医療の学びの場とする。外科学の発展や最近の手術の進歩、各分野の話題、治療のエビデンスなどを実際の症例を交えて解説し、外科手術術後の社会復帰や家庭復帰など、外科手術とリハビリテーションの関連を学修する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外科治療を受ける患者や外科治療を受けて間もない患者の病態を理解し、特殊な状況における理学療法法の目標を的確に捉えることができる。 ・ 外科治療における病態の特殊性を理解し、患者の病状について説明できる。 ・ 外科治療を把握し、リハビリテーションがどのように関わるのかを理解し、リハビリテーションの果たすべき役割を説明できる。 			
授業の位置づけ	専門基礎分野 疾病と傷害の成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP2-C1,理学DP3-C1			
履修上の注意、履修要件	外科学では、外科学の変遷と現在行われている外科治療の特徴を理解し、患者の病態を把握することを常に意識するように心掛け、疑問を解決する学修姿勢をもって講義に臨むこと。外科学では、外科総論と診療科（心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科、食道胃外科、大腸肛門外科、肝胆膵外科、消化器低侵襲外科）の各論の講義がある。それぞれの外科治療における患者の病態を理解することが重要である。各外科治療により術前及び術後の患者の状態は異なるため、毎回、履修する項目も異なる。従って、欠席せずに授業内容を修得すること。やむを得ず欠席した場合はすぐにプリント、課題などで自己学修をすることが必要である。復習は授業ごとの課題や小テストでしっかりと知識を定着させることが肝要である。現在の外科治療においても、術前の患者リスクの軽減や術後の早期回復のため、理学療法は重要であり、各講義とも実践的な立場を重視した授業を行う。			
成績評価の方法				
評価方法	講義中の課題（30％）、小テスト（70％）により評価する。			
評価基準	外科手術におけるリハビリテーションの役割を理解できるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
【参考書】 新臨床外科学（第4版）（医学書院） Sabiston Textbook of Surgery, 19th ed. (ELSEVIER) 標準外科学 第12版（医学書院） 病気がみえるvol.9婦人科・乳腺外科 第2版（メヂックメディア） 日本乳癌学会編科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン ①治療編②疫学・診断編（金原出版）				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、外科学の変遷と実際の外科治療について講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	坂本 一博	【外科学総論】 外科学総論では、外科学の変遷と現在の外科治療一般について講義を行う。各手術治療において、術前・術	講義	【予習】（90分） 1. 外科治療の概要、特徴について確認しておくこと

科目名	整形外科学			授業形態	講義
英語科目名	Orthopaedics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年			単位数	2単位
代表教員	池田 浩			ナンバリング	PBP2105
担当教員	池田 浩、中村 絵美				
授業概要					
全体内容	<p>本講義では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 総論 として、運動器疾患に対する基礎知識を学ぶ。 具体的には、解剖学、生理学などを中心として、運動器（骨・関節、脊髄・末梢神経、筋）の正常構造と機能を学ぶ。 2) 外傷学（骨折、脱臼、靭帯損傷など） 3) 脊椎疾患 4) 脊髄損傷（切断肢を含む） 5) 関節リウマチ 6) 骨軟部腫瘍（転移骨腫瘍を含む） 7) 骨代謝疾患（骨粗鬆症を含む） 8) 小児運動器疾患（先天性股関節を含む） 9) スポーツ外傷・障害 10) 手関節疾患（末梢神経障害を含む） 11) 肩関節疾患 12) 股関節疾患 13) 膝関節疾患 14) 足関節疾患（足部を含む） <p>各論として下記の運動器疾患について、診察法、検査法、治療法を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 運動器疾患の基本となる骨・関節、脊髄・末梢神経、筋の正常構造と機能を説明することができる。 2) 整形外科疾患に対する診断法、検査法および治療法を説明することができる。 				
授業の位置づけ	運動器疾患を把握する上で基礎となる授業である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	DP3-C1				
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「学ぶ」とともに「考える」習慣を身につけること。常に疑問を持ち、自分自身で考えて、結論を導き出す習慣を身につけること。 2) 講義中は、積極的に自分の言葉で自分の意見を発言すること。 3) 講義内容のポイントを、定期試験までに習得する。 				
成績評価の方法					
評価方法	授業評価（20%）、定期試験（80%）の合計点により最終評価を行う。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 運動器疾患の基本となる骨・関節、脊髄・末梢神経、筋の正常構造と機能を説明することができるか？ 2) 整形外科疾患に対する診断法、検査法および治療法を説明することができるか？ 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内、クラスルーム（Google）、JUNTENDO PASSPORTを通じて行う。					
テキスト					
PT・OTの整形外科学	池田 浩 他	文光堂	978-4-8306-4702-4		
参考文献					
標準整形外科学 第14版、医学書院、2020年					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日15時～16時（事前に連絡のこと）				

科目名	脳神経外科学			授業形態	講義
英語科目名	Neurosurgery			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	近藤 聡英			ナンバリング	PBP2106
担当教員	近藤 聡英				
授業概要					
全体内容	<p>本講義では、脳神経外科学で扱う主要疾患について疾患概念、病態、検査、診断と手術を含めた治療を概説し、各疾患とリハビリテーションと関わりについて言及する。</p> <p>目標として、以下①?⑨に示す脳神経外科疾患の病態生理、診断法、外科及び非外科的治療法に関する基礎的知識を修得し、それぞれの疾患の治療においてリハビリテーションが果たす役割を理解し説明できることとする。特に、患者の機能回復には様々な職種が共同で治療にあたるチーム医療が重要であることを理解できることを目指す。</p> <p>①脳ヘルニア・脳浮腫、②脳血管障害（脳出血、脳梗塞など）、③脳腫瘍、④神経外傷、⑤てんかんなどの機能的疾患、⑥中枢神経系に発生する先天奇形、⑦脊椎・脊髄疾患、⑧脳膿瘍などの感染性疾患、⑨その他</p>				
到達目標	中枢神経疾患の発症、機序、診断、治療について理解し、各疾患に対する外科的治療手段への理解を深める。将来の実臨床で方針を決定する際の基本知識として、学習内容を応用することができる。				
授業の位置づけ	専門分野 疾病と傷害の成り立ち及び回復過程の促進				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP3-C1				
履修上の注意、履修要件	授業前に、シラバスに沿って参考書等で内容について確認しておくこと。プレテストは同範囲から出題されるため十分な予習が望ましい。ポストテストで理解を深め、自己学習（復習）にてより深い知識を会得する。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100％）により評価する。				
評価基準	脳神経外科関連疾患により罹患した症候を理解し、理学療法的位置づけを説明することができるかどうか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストについては、授業内にフィードバックを行う。					
テキスト					
病気がみえる vol.7 脳・神経	医療情報科学研究所(編)	MEDIC MEDIA	9784896323580		
参考文献					
【参考書】 ・標準脳神経外科学					
その他					
連絡先・オフィスアワー	knd-aki@juntendo.ac.jp メールにて、質問および問い合わせに随時対応する				
担当教員の実務経歴	臨床経験に基づく、中枢神経系疾患に対する外科的介入を中心に講義を行う				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	近藤 聡英	脳神経外科概論 中枢神経系に対する外科介入の種類と意義について理解するために、中枢神経系の生理および正常解剖と系統解剖について学ぶ。今後頻出する神経放射線学的画像について理解する。	講義	【予習】（90分）中枢神経系解剖について解剖学で学んだことを見直しておく。 神経内科ハンドブック 神経学的検査法 神経放射線学的検査の項を熟読する 【復習】（90分）授業で提示された代表的画像診断を神経解剖の見地から見直しておく	
2	近藤 聡英	中枢神経系外傷 中枢神経に発生する外傷性変化の種類、機序、診断について理解をし、それに対する外科介入の意義を画像診断をふまえて学ぶ	講義	【予習】（90分）中枢神経外傷の種類について神経内科ハンドブック 頭部外傷・脊髄外傷の項を熟読する 【復習】（90分）授業で提示された代表的外傷性疾患を画像診断の見地から見直しておく	

科目名	内科学	授業形態	講義	
英語科目名	Internal Medicine	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	2年	単位数	2単位	
代表教員	代田 浩之	ナンバリング	PBP2107	
担当教員	代田 浩之、家崎 貴文			
授業概要				
全体内容	理学療法士は医学的リハビリテーションの専門職であり、リハビリテーションを実践するためには個々の患者の疾患を理解し、身体能力を医学的視点から適切に評価しなければならない。そのためには臨床医学の中心である内科学の基本的知識を身に付ける必要がある。本講義では、リハビリテーションの実施に当って必要な内科領域の基礎的疾患を体系的に理解し、リハビリテーションとの関連を学ぶことを学修目標とする。具体的には内科学総論によって内科学を大局的に捉え、各論では、循環器・呼吸器・消化器・代謝内分泌などの中から代表的疾患を中心に、その疫学、病態生理、症候、診断、治療及び予防などについて幅広く学修し、リハビリテーションを実践する上で必要な基本的知識を修得する。更にはリハビリテーションの実施にあたって必要な診察・手技・画像読影・臨床検査の解釈などについて、より実践的に学修する。内科疾患の予防における理学療法士の役割についても学ぶ。			
到達目標	1. 内科系の主な疾病の疫学及び病態生理と診断法・治療法を理解することで、理学療法に必要な基礎知識を身につける。 2. 理学療法の実践に必要な内科的診断の知識と技術を習得する。			
授業の位置づけ	本講義を通して、内科系の主な疾病について学修し、理学療法の実践に必要な内科的診断の知識と技術を習得する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I 理学DP3-C I			
履修上の注意、履修要件	1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 専門用語に関しては予め調べて理解しておくこと。 3. 関連する解剖学や生理学の内容に関して講義の復習をしておくこと。 4. 講義の際に、不明な点は積極的に質問すること。 5. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験により評価する（100％）。			
評価基準	理学療法の実践に必要な内科的疾患の基本的な知識を理解し説明できるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内でのフィードバックおよびJuntendo Passportを用いる。				
テキスト				
参考文献				
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学（第3版） 医学書院 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝（改訂第2版） 中山書店				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メールにて随時対応。 代田 浩之（daida@juntendo.ac.jp） 家崎 貴文（iesaki@juntendo.ac.jp）			
担当教員の実務経験	医学部、医療看護学部において多くの講義を担当			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	代田浩之	内科学の概要・診断と治療 老年学 内科学全般の診断法・治療法の概要理解する。 加齢と老化のプロセスを理解し、支援の仕方を学習する。	講義	【予習】（90分） 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】（90分） 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。

2	代田浩之	症候学 内科疾患の症候と診断プロセスを理解する。 腫瘍内科学 腫瘍内科の概要を学習する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
3	代田浩之	循環器疾患Ⅰ 心電図・不整脈 心電図の基礎知識と不整脈の概要を学ぶ。 心不全 心不全の病態生理と診断及び治療を学習する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
4	代田浩之	循環器疾患Ⅱ 虚血性心疾患・高血圧・大動脈疾患・末梢動脈疾患・静脈疾患の病態・診断・治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
5	代田浩之	循環器疾患Ⅲ 先天性心疾患・弁膜症・心筋症の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
6	塩田智美	呼吸器疾患Ⅰ 呼吸器疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する(1)。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
7	塩田智美	呼吸器疾患Ⅱ 呼吸器疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する(2)。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
8	上田久美子	消化管疾患 消化管疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
9	福原京子	肝胆膵疾患 肝胆膵疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
10	安藤美樹	血液・造血管疾患 血液・造血管疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
11	加賀英義	代謝性疾患 代謝性疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
12	加賀英義	内分泌疾患 内分泌疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
13	鈴木祐介	腎・泌尿器疾患 腎・泌尿器疾患の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。 【復習】 (90分) 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。
14	松下雅和	アレルギー・膠原病・免疫不全症 アレルギー・膠原病・免疫不全症の病態と診断及び治療の概要を理解する。	講義	【予習】 (90分) 指定参考書の該当部分を読んでおくこと。

科目名	精神医学		授業形態	講義
英語科目名	Psychiatry		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年		単位数	1単位
代表教員	加藤 忠史		ナンバリング	PBP2108
担当教員	加藤 忠史			
授業概要				
全体内容	精神疾患のリハビリテーションでは言うまでもなく、身体疾患においても精神医学的アプローチ、つまり当事者の心理的背景を正しく理解し全人的アプローチを伴ったリハビリテーションが重要であるといえる。本講義では、基礎知識として精神症状の理解と対応を精神疾患の診断や治療法も含め理解し、それらを医療現場で応用できるまでの知識を取得することを目標とする。そのために精神障害の分類や精神症状の理解と対応を把握した上で、「認知症」「薬物依存」「統合失調症」「気分障害」「神経症性障害」「児童・思春期精神障害」「リエゾン精神医学」「地域精神医療と社会復帰」などについて学修する。			
到達目標	各回の授業内容参照			
授業の位置づけ	疾病と障害成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1C1 理学DP-3C1			
履修上の注意、履修要件	事前に教科書で予習すること。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）により評価する。			
評価基準	精神医学の基本的な内容を説明することができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内に返却し、振り返りを実施する。				
テキスト				
参考文献				
【テキスト】標準理学療法学・作業療法学 精神医学				
その他				
連絡先・オフィスアワー	(白井) 火曜・金曜 15:00~16:00 (勝田) 月曜13:00~14:00 (前嶋) 金曜 15:00~16:00 (河野) 月曜 9:00~10:00 (宮田) 火曜午後・水曜午前中 (竹下) 月曜13:00~14:00 (市川) tomoyai@juntendo.ac.jp 順天堂大学医学部付属浦安病院常勤。メールにて適時受け付けます。			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験のある医師が、講義を担当する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	竹下 佳秀	【内容】 器質性精神障害の疾患の概念・症状の特徴を習得し、臨床技術に応用する。 【達成目標】 脳器質性精神障害の経過と原因疾患、経過夜症状の特徴を学び、そのリハビリテーションについて学ぶ	講義	【予習】（90分） 器質性精神障害の定義について理解しておく。 【復習】（90分） 授業で触れた疾患について各自自習する。

科目名	神経内科学		授業形態	講義
英語科目名	Neurology		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年		単位数	2単位
代表教員	和田 太		ナンバリング	PBP2109
担当教員	和田 太、藤原 俊之、眞壁 寿、松田 雅弘、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、山口 智史			
授業概要				
全体内容	人間の動きを理解するうえで、解剖や生理学的な知識が重要であることは勿論であるが、神経疾患においては加えて病因（血管障害、変性疾患、自己免疫疾患、感染症など）、臨床症候、検査（画像検査、電気生理学的検査など）、治療法、経過、予後について理解する必要がある。運動障害は脳・脊髄・末梢神経・筋肉のいずれに障害が生じても惹起されるが、その障害部位により意識障害、運動麻痺、筋力低下、痙性、不随意運動、失調等の特徴的で複雑な症候を生じる。更に神経疾患は治療により急速な症状変動が起こることがあり、治療法や治療経過についての理解も重要である。理学療法においては、これらの症候を知り、疾患自体や時間経過による症状変化を理解したうえで、適切な目標を設定してプログラムを立案しなくてはならない。そのために理学療法士が理解すべき神経疾患の各項目につき学修する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・神経局在診断から原因診断のプロセスを理解・修得し、運動に関わる大脳皮質や基底核などの機能を系統的に学び、運動障害に対する理学療法の目標を的確に捉えることができる。 ・治療可能な神経疾患の治療法を把握し、これらの治療にリハビリテーションがどのように関わるのかを理解することによってリハビリテーションの果たすべき役割を説明できる。 ・後遺症を残す疾患、薬剤・外科治療の効果がない疾患、慢性的に進行していく疾患にリハビリテーションが果たす役割を考えながら疾患を説明できる。 ・視診による観察は大切であり画像や動画を用いて行う授業により、患者の病状について説明できる。 			
授業の位置づけ	専門基礎分野/疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1			
履修上の注意、履修要件	病の多い神経疾患の特徴を理解し、目の前にある運動障害について、なぜそうなるのかという疑問を常に意識するように心掛け、疑問を解決する学習姿勢をもって講義に臨むこと。医学一般、特に神経内科学は解剖学用語を覚える必要はあるが、暗記の学問ではなく、理解することが重要である。一貫した授業内容の積み重ねの上に成り立つため、欠席せずに授業内容を修得すること。やむを得ず欠席した場合はすぐにプリント、課題などで自己学修をすることが必要である。授業ごとのレジュメや小テストをしっかりと復習し知識を定着させる。神経内科は理論的な学問であるため、試験前のまとめでの暗記では理解することは不可能であるが、一度理解できればこれほどダイナミックで面白い学問はないことを実感して欲しい。			
成績評価の方法				
評価方法	講義中の課題（30%）、定期試験（70%）により評価する。			
評価基準	臨床に携わるものとして、神経内科領域は難治疾患が多く、患者に寄り添える姿勢が必要となる。そのため、授業態度、積極性も考慮する。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業時及びJuntendo Passportにて適宜行う。				
テキスト				
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・病気がみえるvol7 脳・神経（第2版） 医療情報科学研究所（編） MEDIC MEDIA ISBN978-4-89632-686-4 ・ベッドサイドの神経の診かた（改訂18版）田崎義昭ほか著 南山堂 ISBN 978-4-525-24798-0 ・神経内科ハンドブック（第5版） 鑑別診断と治療 水野美邦著 医学書院 ISBN 978-4-260-02417-4 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メール連絡で随時対応 和田 太 f.wada.aa@juntendo.ac.jp 各授業内容についての質問は各担当者が対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、講義を行う。			
備考	授業時にプリント配布あり			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1、9/21	和田 太	【神経内科総論（1）】 神経内科（脳神経内科）発展の経緯を知る。神経内科領域で扱う疾患にはどのような疾患があるのかを整理し、それぞれの臨床的特徴の概要を理解する。疾患の発症形態、好発年齢、進行様式、予後などについても	講義	【予習】（90分） 1. 神経内科疾患にはどのような疾患があるか調べておくこと 2. それぞれの疾患の特徴について整理しておくこと

		理解する。また、解剖学や生理学などの神経内科領域に関連する内容の一部についても振り返りを行う。小テストによる知識の確認を行う。		3. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
2、9/28	和田 太	【神経内科総論（2）】 運動の調節機構である大脳皮質、基底核、脳幹、小脳の機能を学ぶ。運動障害に直面した際の神経学的なアプローチの仕方を学ぶ。特に上位運動ニューロンの障害と下位運動ニューロンの障害について理解することは、運動障害の局在診断を行うためのInitial stepとして極めて重要で、必ず修得することが求められる。小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 運動に関与する錐体路、錐体外路の機能解剖について調べておくこと 2. 小脳、脳幹が運動の遂行にどのような働きがあるかについて調べておくこと 3. 感覚の種類と運動とのかかわりを調べておくこと 4. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
3、10/5	山口 智史	【神経内科総論（3）】 神経内科疾患の多くは運動障害を伴う。運動障害は脳・脊髄・末梢神経・筋肉のいずれに障害が生じても惹起されるが、その障害部位により運動麻痺、筋力低下、痙性、不随意運動、失調等の特徴的で複雑な神経症候を生じる。理学療法においては、これらの症候について解剖学的・生理学的観点から神経局在診断を行い、疾患の原因や時間経過による症状変化を理解する。神経解剖及び神経生理について運動障害の観点からSchemeを用いて視覚的に画像供覧する。小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 運動障害のうち痙縮と固縮についてまとめておくこと 2. 不随意運動の種類を調べておくこと 3. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
4、10/12	眞壁 寿	【神経学的検査法（3）各種評価スケール】 神経疾患の診断に必要な評価方法について学ぶ。これらの神経学的評価法は実際の現場で頻繁に用いられている。リハビリテーションにおいても障害を適切に把握し客観的に評価するためには、各疾患に有用かつ信頼性と妥当性のある評価法を適切に選択し評価する能力を養う。神経内科疾患に密接にかかわる評価法の具体例の提示と実践について演習を行う。小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 機能検査、意識障害の評価（Glasgow Coma ScaleとJapan Coma Scale）、脳卒中の評価（NIHSS）、パーキンソン病（Unified Parkinson's Disease Rating Scale ?UPDRS）など神経内科疾患に密接にかかわる評価法にはどのようなものがあるかまとめておくこと 2. 信頼性と妥当性について調べておくこと 3. 「ベッドサイドの神経の診かた」の神経診察の該当する項及び神経内科ハンドブック 第5版：鑑別診断と治療」の症候から鑑別診断及び診断と治療の該当する疾患の項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
5、10/21	藤野 雄次	【神経症候学と神経診察法】 神学的診察の目的は、神経系に異常があるかどうかの判断と、もし異常がある場合には、どこに異常があるかをできるだけ正確に推定することである。病変の分布（局在）を正確にとらえることは、よりの確な病因診断に結び付くので、常に完全な神経学的診察を理学療法士として把握する努力が必要である。そのうえで心にとめるべき点を学ぶ。 以下、注意点 ・神経学的診察に先立つ一般理学所見を見落とさない。 ・頭のてっぺんから足のつま先まですべての所見をとる習慣をつける。 ・精神状態から高次脳機能、脳神経、運動、感覚と系統的に行う習慣を身につける。 最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 神経診察に用いる診察用具について調べておくこと 2. 意識の状態、高次脳機能、脳神経機能、運動、反射、不随意運動の有無、感覚、自律神経など、神経診察法の流れについてまとめておくこと。 3. 「ベッドサイドの神経の診かた」の神経診察の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
6、10/26	松田 雅弘	【神経学的検査法（1）画像検査】 本授業では神経疾患の画像検査の概要と実際の画像の基本的な解釈について学ぶ。神経疾患の局在から病因を理解するうえでCT及びMRI検査についての理解は大切である。神経疾患についての学修すべき画像所見も多い。各疾病について原因、発生機序、検査法、治療法等を理解し、疾病の画像所見と画像の経時的変化を学修することも大切である。神経症候から局在診断を行い、実際の画像所見と矛盾がないか、演習する。また血管造影検査、脳血流シンチ（SPECT）、PET-CT検査についてもその概要を解説する。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. MRI、CT画像の違いについて調べておくこと。 2. MRI、CT、血管造影、脳血流シンチ（SPECT）、PET-CTを行う目的をまとめておくこと 3. 神経内科ハンドブック 第5版：鑑別診断と治療」の神経学的検査法の該当する項を読んでおくこと 【復習】90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
7、11/2	藤原 俊之	【神経学的検査法（2）電気生理学的検査法】 筋電図検査の概説と適応、脳波検査の概要と適応について学ぶ。実際のデータをテキストから引用し脳波、筋電図の適応と実践方法の概要について学ぶ。意識障害、睡眠、てんかんなど脳波検査が病態評価、診断及び治療に有用な疾患についての実際の脳波所見を提示する。末梢神経障害や筋疾患についても同様に具体的なデータを提示する。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 脳波検査が病態評価、診断及び治療に有用である疾患についてまとめておく 2. 神経内科ハンドブック 第5版：鑑別診断と治療」の神経学的検査法の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
8、11/9	和田 太	【神経内科各論-（1）脳血管障害】 脳血管障害は無症候性、局所性脳機能障害（一過性脳虚血発作、脳卒中）、脳血管性痴呆、高血圧性脳症に分類される。脳卒中はさらに脳出血、くも膜下出血、脳動静脈奇形に伴う頭蓋内出血、脳梗塞に分類される。これら脳血管障害の臨床について診断から治療に至る系統的な知識を修得し、現時点で理学療法の最も主要な対象であることの役割についても学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. National Institute of Neurological Disorder and Stroke Committee脳血管疾患分類第3版（NINDS-III）による分類を調べておくこと 2. 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の臨床的特徴と対応する画像所見についてまとめておくこと。

				3. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
9、11/16	羽鳥 浩三	【神経内科各論-（2）神経変性疾患：概要と代表的疾患】 変性疾患とは特別の誘因がなく、ある特定の神経細胞群がゆっくり変性していく疾患の総称である。遺伝性を示す疾患群が多いが、原因が不明であった。近年分子遺伝学の進歩によって病態が徐々に明らかにされつつあるが、治療については依然として困難な場合が多い。リハビリテーションの領域で最も治療困難な変性疾患の概要について画像及び動画を用いて解説する。運動障害をきたす代表的なパーキンソン病と関連疾患についてリハビリテーションの実践について考え学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 神経変性疾患にはどのようなものがあるかまとめておくこと 2. 変性疾患に対するリハビリテーションの目的を調べておくこと 3. 神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療」の診断と治療、変性疾患の項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
10、11/30	春山 幸志郎	【神経内科各論-（3）神経筋疾患】 炎症性筋疾患、神経筋接合部の異常に基づく疾患、進行性筋ジストロフィーなど他の筋疾患の臨床、病因、診断について学ぶ。治療法のない筋疾患も多く理学療法が果たす役割は疾患の管理にとどまらず、社会福祉を含めた幅広い領域において求められる。そのうえでトータルケアについても学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 多発筋炎・皮膚筋炎など炎症性筋疾患の臨床的特徴をまとめておくこと 2. 重症筋無力症、Lambert-Eaton症候群、ボツリヌス中毒の臨床的特徴をまとめておくこと 3. 治療可能な筋疾患と治療困難な筋疾患について調べておくこと 4. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
11、12/7	和田 太	【神経内科各論-（4）末梢神経疾患】 末梢性神経疾患の原因による分類、解剖学的分類、病理学的分類を整理して学ぶ。さまざまな末梢神経疾患の病態、症状、治療法などについて学び、末梢神経障害への理学療法が果たす役割を考える。小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 末梢神経疾患とはどのような疾患があるかを調べておくこと 2. 単ニューロパチー、多発性単ニューロパチー、多発ニューロパチーの違いをまとめておくこと 3. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
12、12/14	和田 太	【神経内科各論-（5）免疫性神経疾患】 中枢神経白質の髄鞘及びオリゴデンドロサイトの障害による脱髄性疾患の最も代表的な多発性硬化症について学ぶ。併せて急性散在性脳脊髄炎など類縁疾患について知識を修得する。加えて免疫性神経疾患の管理上の注意点について学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 脱髄疾患の特徴について脳卒中との相異をまとめておくこと 2. 多発性硬化症について調べておくこと 3. 神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療」の診断と治療、脱髄性疾患の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
13、1/11	高橋 容子	【神経内科各論-（6）神経感染症】 脳炎、髄膜炎、脊髄炎などの感染性神経疾患について学ぶ。併せて感染性疾患についての対応や注意すべき留意事項について学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 神経感染症にはどのような疾患があるかを調べておくこと 2. 理学療法士として感染症についてどのような注意点に配慮が必要か調べておくこと 3. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
14、1/18	和田 太	【神経内科各論-（7）他科との関連のある神経内科疾患：脳神経外科疾患と内科疾患、整形外科疾患】 脳神経内科頭部外傷、脊髄損傷、水頭症、脳腫瘍や小児の二分脊椎などの脳神経外科疾患について学ぶ。内科疾患においては自己免疫性疾患や炎症性疾患などによって二次的に運動障害を合併することが多く、運動障害を来しうる内科疾患をしっかりと把握する必要がある。脊柱管狭窄症などの骨・関節疾患はしばしば神経症状を伴うことから整形外科疾患についても画像を中心に学び、運動障害が他科の疾患と密接にかかわることを学ぶ。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 1. 脳神経外科、整形外科、内科の該当する領域を復習すること 2. 「病気がみえるvol7 脳・神経（第2版）」の該当する項目を読んでおくこと 【復習】（90分） 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること
15、1/25	和田 太	【神経内科各論-（8）神経疾患治療】 神経内科疾患には治療法のない難病も多い。神経疾患の治療薬は、長期的に内服を要するものが多く、その中でも副腎皮質ステロイド薬や免疫調節薬など管理・対応に注意を要する薬剤もある。理学療法士が知っておくべき知識を修得する。最後に小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】（90分） 神経疾患に用いられる薬剤について特に副腎皮質ステロイド薬とパーキンソン病治療薬について調べておくこと 【復習】（90分） 1. リハビリテーションを行う際に必ず押させていかなければならない薬剤をリストアップし、種類別に使用目的と副作用についてまとめること 2. 講義及び小テストで得た知識は、再度整理し、しっかりと知識を定着させること

科目名	小児科学	授業形態	講義	
英語科目名	Pediatrics	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	2年	単位数	1単位	
代表教員	清水 俊明	ナンバリング	PBP2110	
担当教員	清水 俊明			
授業概要				
全体内容	小児の最大の特徴は成長・発達していくことであり、それぞれの月齢、年齢における発達のマイルストーンや身長・体重・頭囲の変化を理解することが大切である。また周産期における胎児・新生児に影響を及ぼす様々な要因を理解し、周産期の問題が胎児・新生児に与える影響のみならず、その後の児の成長・発達に及ぼす影響を学修することも重要である。更に種々の疾病によって生じる小児の生理機能に及ぼす影響やその結果生じてくる症状を学修し、小児に認められる代表的な症候とその原因疾患についても理解する必要がある。本講義では、これらの小児における疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進に必要な知識を講義していく。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児、幼児、学童、思春期と、各世代の小児の生理、特徴について説明できる。 ・各世代による発育・発達について説明できる。 ・基本的な小児科学知識について、理解し説明できる。 ・各疾患（脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形などの系統疾患）の特性を説明でき、なぜリハビリテーションが必要であるか、その役割を理解、説明できる。 ・画像検査における一定の評価能力を身に付ける。 			
授業の位置づけ	専門基礎分野 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP-1C1			
履修上の注意、履修要件	事前に、シラバスに沿って参考文献等で小児の生理、特徴や、テーマとなる疾患の特性、画像所見などを予習してから講義に臨む習慣をつける。疑問点は積極的に質問して解決を図り、疑問のままの形で残さない様にする。常にリハビリテーションとの関係性を念頭に置いて学習する。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の基本的な生理、特徴、発達を理解、説明できるか。 ・理学療法を要する小児疾患、画像検査所見を説明でき、リハビリテーションの関わりを説明できるか。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
標準小児科学 第9版	監修 原 寿郎	医学書院	978-4-260-04781-4	
参考文献				
【参考書】 ・プリントを授業の時に配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	水曜 15：00～17：00 その他<mkishiro@juntendo.ac.jp> 医学部小児科医局（医局棟5階503号室：内線3325） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験、医学部学生、体育学部健康学科学学生および看護学生講義の経験を活かし、実際の症例に関する内容、学生が知りたいと思う内容を交えての講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	稀代 雅彦	【小児科学総論（1）】 正常小児の生理・特徴を知り学ぶ。さらに先天性疾患に関する基本的な医学知識を理解する。	講義	【予習】（90分） 「標準小児科学」の「小児の成長」の項を一読しておき、基本的な内容・専門用語等を理解しておくこと。

科目名	感染症・免疫学		授業形態	講義
英語科目名	Infectious Disease and Immunology		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年		単位数	1単位
代表教員	内藤 俊夫		ナンバリング	PBP2111
担当教員	内藤 俊夫			
授業概要				
全体内容	理学療法士は感染症を持つ患者との接触の機会が多い。感染症の基本を理解し、適切な感染予防と拡大防止について理解をする必要がある。頻度の高い感染症の病態生理、診断、治療の基本を学ぶ。また職業感染予防および感染対策の基本について学ぶ。加えて理学療法士が感染症疾患の回復・予防に貢献できる要素を考察する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度の高い感染症の病態生理、診断、治療について理解している ・職業感染予防について理解している ・感染対策の基本について理解している" 			
授業の位置づけ	専門基礎分野 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1-C1			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 専門用語に関しては予め調べて理解しておくこと。 3. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。" 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）により評価する			
評価基準	臨床感染症および感染対策の基本を説明することができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験、医学部学生、体育学部健康学科学生および看護学生講義の経験を活かし、実際の症例に関する内容、学生が知りたいと思う内容を交えての講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	堀 賢	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の基本（手指衛生、標準予防策、感染経路別予防策）について学習する ・職業感染症と予防について" 	講義	<p>【予習】（90分） 指定参考書の該当部分と配布プリントを読んでおくこと。</p> <p>【復習】（90分） 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。</p>
2	内藤 俊夫	<p>感染症総論 感染症の診断、治療、抗菌薬、HIV感染症、免疫不全、ワクチン</p>	講義	<p>【予習】（90分） 指定参考書の該当部分と配布プリントを読んでおくこと。</p> <p>【復習】（90分） 講義での学習内容を復習しよく理解するように努めること。</p>
3	鈴木 麻衣	<p>細菌感染症1 グラム陽性球菌（肺炎球菌、ブドウ球菌、連鎖球菌） 細菌性肺炎、腎盂腎炎、咽頭炎、蜂窩織炎</p>	講義	<p>【予習】（90分） 指定参考書の該当部分と配布プリントを読んでおくこと。</p>

科目名	薬理学	授業形態	講義
英語科目名	Pharmacology	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	櫻井 隆	ナンバリング	PBP2112
担当教員	櫻井 隆		
授業概要			
全体内容	薬物は、生体の機能分子に作用して様々な機序によって効果を発現し、疾病によって乱れた身体の機能を正常な状態に近づけるように働くが、万能ではなく、身体に有害な作用をもたらすこともある。これら薬の作用、有害作用の発現には個人差があり、複数の薬物を用いると薬効が変化する薬物相互作用も見られる。疾病の治療、予防や検査において使用される薬物を理解するため、主要な薬物について作用機序、有害作用や使用に当たったの注意点などを学修する。また薬効・有害作用の個人差、薬物相互作用の理解等に重要な薬物の体内動態について学ぶ。薬の不適切な使用は人体に害をもたらすだけでなく、社会的な問題ともなりうることから、多くの法律により規制されている。これらの法令、適切な管理についても学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物の投与方法と体内動態について説明できる。 ・主要な薬物の作用機序、重要な副作用について説明できる。 ・薬効・副作用の個人差、薬物相互作用、安全に使用するための注意点について説明できる。 ・薬物に関する主要な法令や管理、薬害について説明できる。 		
授業の位置づけ	専門基礎分野/疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、理学DP3-C1		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学、生理学、生化学、内科学等で学んだ知識を活用（再学習）し、薬の体内動態、主な作用・副作用が生じるメカニズムを理解していく。 ・事前にシラバス記載の課題を行い、授業内容に基づいてこれまで学んだことの復習をしておくこと。 ・小テスト（ポストテスト）により理解度を確認し、配布資料について重要事項を復習しておくこと。 		
成績評価の方法			
評価方法	【成績評価方法】 定期試験（100%）により評価する。		
評価基準	【成績評価基準】 <ul style="list-style-type: none"> ・薬物の投与方法、体内動態を踏まえて安全に使用するための注意点について説明できるか ・主な薬物の作用機序、重要な副作用について説明できるか ・薬物に関する主な法令や管理、薬害について説明できるか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの解答後、正解、解説を配布する。 ・定期試験の参考問題を配布し、最終回の授業において重要問題についての解説を行う。 ・課題等に対するフィードバックは授業内で行う。 			
テキスト			
参考文献			
【テキスト】：特になし プリントを授業の時に配布する。 【参考書】：『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進③ 薬理学』 医学書院			
その他			
連絡先・オフィスアワー	メール（櫻井：tsakurai@juntendo.ac.jp）での事前連絡で随時対応		
担当教員の実務経験			
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※ 予習・復習・レポート課題等と学習時間

科目名	栄養代謝学	授業形態	
英語科目名	Nutrition and Metabolism	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	田村 好史	ナンバリング	PBP2113
担当教員	田村 好史		
授業概要			
全体内容	各種栄養素の摂取は、健康の維持に極めて重要である。栄養には三大栄養素の他にミネラル、ビタミン、微量元素などがあり、いずれも正常な代謝状態の維持に重要な役割を担う。ヒトにおけるエネルギー産生には主に糖質と脂質の酸化が中心となるが、それらの過剰は高血圧、糖代謝障害、脂質代謝異常などの生活習慣病を惹起する。その一方で、ビタミンや微量元素のミネラルの不足があると各種の欠乏症を生じ、生命の恒常性の維持が困難になる。本講義では、栄養素が代謝に与える影響について科学的根拠に基づき総合的に学ぶ。生活習慣病の予防における理学療法士の役割についても学ぶ。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体に必須の栄養素について説明することが出来る。 ・生活習慣病の発症における栄養と代謝の意義について、運動との関連を含めて説明することが出来る。 ・骨格筋の肥大や萎縮における栄養素や運動の役割について説明することが出来る。 		
授業の位置づけ	専門基礎分野/疾病と傷害の成り立ち及び回復過程の促進		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP3-C1		
履修上の注意、履修要件	各授業はそれぞれ独立した部分と、授業間で関連して思考する部分があるため、欠席せずに授業内容を修得すること。やむを得ず欠席した場合はすぐにプリント、課題などで自己学修をすることが必要である。復習は授業ごとの課題や小テストでしっかりと知識を定着させることが肝要である。		
成績評価の方法			
評価方法	講義中の課題など（30%）、定期試験（70%）を目安として統合し評価する。		
評価基準	・身体に必須の栄養素、生活習慣病の発症における栄養と代謝の意義、運動との関連、骨格筋の肥大や萎縮における栄養素や運動の役割について説明することが出来る。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要時に授業内やJuntendo Passportなどを使用して返却。			
テキスト			
参考文献			
<p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エクササイズ科学 健康体力づくりと疾病・介護予防のための基礎と実践 編集：田中喜代次（筑波大学教授）田畑 泉（立命館大学教授）文光堂 ・糖尿病診療ガイドライン 2019 (http://www.jds.or.jp/modules/publication/index.php?content_id=4) ・糖尿病 理学療法診療ガイドライン (https://www.jstage.jst.go.jp/article/rigaku/43/3/43_273/_pdf) <p>【参考情報サイト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病ネットワーク https://dm-net.co.jp/ 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	ys-tamur@juntendo.ac.jp 第2教育棟 6F613号室 事前メール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験	糖尿病やメタボリックシンドロームに対する診療		
備考			
授業計画			
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※
1	田村 好史	<p>【栄養代謝学 概論】</p> <p>生活習慣には、栄養、運動を始めとした様々な要素がある。本講義では、身体に必要な栄養素とともに、現代ではなぜ世界中で生活習慣病がなぜ増えているのか、その背景について概説し、栄養代謝学や運動の重要性を教授する。</p>	講義
			<p>予習・復習・レポート課題等と学習時間</p> <p>【予習】（90分） メタボリックシンドロームや糖尿病について、その基礎知識について参考図書・サイトなどにより調べておく。 【復習】（90分） 小テストで得た知識は実際の臨床に直結した生きた知識であり、再度見直し、しっかりと知識を定着させること</p>

科目名	リハビリテーション医学	授業形態	講義	
英語科目名	Rehabilitation Medicine	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	2年	単位数	2単位	
代表教員	藤原 俊之	ナンバリング	PBP2200	
担当教員	藤原 俊之、補永 薫、高倉 朋和、田沼 明、和田 太			
授業概要				
全体内容	本講義では、リハビリテーションの理念を学び、リハビリテーション医学、社会的リハビリテーション、地域リハビリテーションについても広く学ぶ。リハビリテーション医学においては、疾病からもたらされる障害に関して診断・評価を行うことが重要となる。その上で各患者（児）が有する問題点を障害のレベル別に整理し、治療の方針と内容・期間を決定し、機能予後の予測を行うことが必要である。そこで、ICF及びICIDHの概念を理解することにより、全人的医療であるリハビリテーション医学を学ぶとともに、脳血管障害、運動器、内部障害、がんなどの疾病特性に合わせたリハビリテーション治療についても学び、各障害の捉え方、各疾患、障害に対するリハビリテーション治療の方法を学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念を理解し、リハビリテーション医学、社会的リハビリテーション、地域リハビリテーションについて説明できる。 ・国際生活機能分類（ICF）に基づいて、患者の身体機能・構造、活動、参加を説明できる。 ・各疾患の特性に合わせたリハビリテーション治療につき説明できる。 			
授業の位置づけ	理学療法学はリハビリテーション医学における一領域であり。リハビリテーションの理念を理解し、各疾患の特性に合わせたリハビリテーション治療を理解し、総合的な障害診断、評価、治療を理解することは、理学療法学の基本である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1-C-1、II、III、理学DP-1-C-1、II、共通DP-2-C-1、理学DP-3-C-1、理学DP-4-1、共通DP-3-C-1、理学DP-2-C-1			
履修上の注意、履修要件	各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと（各講義開始前に前回講義内容の確認テストを行う）。			
成績評価の方法				
評価方法	確認テスト（30%）、定期試験(50%)、課題プレゼンテーション(20%)の合計点による最終評価を行う。			
評価基準	小テスト、レポート、期末テストはすべて教員の評価で実施する。 ・毎回の講義をしっかり聴き、最新の情報を自ら調べる姿勢とその成果を評価する。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJUNTENDO PASSPORTを用いてフィードバックを行う。				
テキスト				
参考文献				
現代リハビリテーション医学 千野直一監修 金原出版 ISBN-10: 4307750527				
その他				
連絡先・オフィスアワー	初回の講義にて連絡する。			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、実践的な講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤原 俊之	【リハビリテーション医学概論】 リハビリテーションの理念とリハビリテーション医学について学ぶ。チーム医療としてのリハビリテーション医学における理学療法士の役割とその求められる能力について学ぶ。	講義	【予習・復習】 教科書「リハビリテーション医学総論」の部分をよく読んでおくこと。予習90分・復習90分
2	藤原 俊之	【運動学・神経生理学】 運動障害を理解する上で縦横な運動学、神経生理学について学ぶ。	講義	【予習・復習】 教科書「機能解剖・生理・運動学」の部分をよく読んでおくこと。予習90分・復習90分
3	藤原 俊之	【機能障害評価】 リハビリテーション医学に必須である機能障害の評価法について理解する。	講義	【予習・復習】 教科書「機能障害の評価」の部分をよく読んでおくこと。予習90分・復習90分

科目名	医療倫理論	授業形態		
英語科目名	Medical Ethics	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	3年	単位数	1単位	
代表教員	青木 茂樹	ナンバリング	PBP2201	
担当教員	青木 茂樹			
授業概要				
全体内容	現代社会の国際化、多様化に伴い、ある集団が集合知として共有してきた無形の規範を倫理として明確にしていく必要が増してきている。本講義では、特に医療安全管理学の一環としての、医療者として必要な倫理という観点から、生命倫理、医の倫理、職業倫理、研究倫理につき、できるだけ観念的ではなく実践的な授業を進める。前半は、生命倫理・医の倫理の歴史を含めた概略、20世紀以降特に明文化されたヘルシンキ宣言、リスボン宣言などの考え方から始め、医療と死生観・緩和医療などの問題、職業倫理などの問題を扱う。後半は、実践的に倫理と接遇、研究倫理と研究不正について授業を進めるとともに、医療系倫理のe-learning (CITI) を受講し受講証を得ることも1つの目標とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療倫理や生命倫理の対象を理解する。 2. 医療や生命科学において発生する倫理問題を説明できる。 3. 一般市民としてその問題にどのように向き合い、対処するべきかの基本的な課題を理解する。 4. 実際にその問題に立ち会った際の立ち居振る舞いを想定できる。 5. APRIN研究倫理e-learningコースの受講" 			
授業の位置づけ	保健医療福祉とリハビリテーションの理念			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1-C2			
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自必ず予習を行うこと。 2. 専門用語に関しては予め調べて理解しておくこと。 3. 復習を心がけ知識を定着させるように習慣づけること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験100%			
評価基準	APRIN研究倫理e-learningコースの受講を必須とし、内容を十分に理解し、関連する問題を解くことができるか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
特になし				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	医師としての病院での臨床経験を活かし、講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青木	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、評価方法などについて説明する。 ・医療者に必要な倫理：生命倫理・患者の権利、研究倫理 	講義	<p>【予習】90分 事前配布プリントを確認しておくこと</p> <p>【復習】90分 配布プリントに目を通し、講義内容を確認・理解・習得して次回の講義に臨む</p>

科目名	医療安全管理学	授業形態	講義
英語科目名	Medical Quality and Safety Management	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	山本 宗孝	ナンバリング	PBP2202
担当教員	山本 宗孝		
授業概要			
全体内容	ある公立大学附属病院での患者取り違い事故があった1999年を医療安全元年と考えるとすでに20年近くが経過し、2004年日本医療機能評価機構への事故報告、2015年には医療事故調査制度による死亡事例の報告が義務付けられた。これらの背景を踏まえ、我々の大学病院では早期から医療安全管理部門を設置して、医療事故が発生した際にも院内で調査や再発予防を行うことができるといったひとつの医療安全文化を定着させた。また本院が認証を受けたJCI（国際医療機能評価機構）が定める「全部署間で統一された医療安全」を推進すべく、大学病院におけるこれらの経験を踏まえて、プライマリケアや慢性疾患の治療、高齢者やがん終末期の治療を行う機会の多い診療放射線技師及び理学療法士の業務における医療安全の基礎から実践の会得を目標とする。また医療安全の対応を十分に行ってきても紛争は発生してしまうものである。このような患者と医療側との間の紛争の解決手段としてのADR（裁判外紛争解決）についても解説を加える。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全の基礎から実践の会得 1. 医療事故とその対応法について概説できる。 2. 患者中心の医療の内容を概説できる。 3. 臨床倫理の考え方を概説できる。 4. 医療社会における医療安全管理の重要性を概説できる。 ・医療者-患者間の紛争の予防と解決 1. 過去の医療紛争から得られた再発予防を概説できる 2. 患者クレームに対する対応を概説できる 		
授業の位置づけ	医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力を身につけるための専門基礎分野		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP3-C1、理学DP4-C1		
履修上の注意、履修要件	医療事故は医療過誤（ミス）とは異なりどんなに細心の注意を払っても発生するという特徴を理解し、発生時の検証、再発予防が重要である旨を常に意識するように心掛け、疑問を解決する学修姿勢をもって講義に臨むこと。医療安全管理学は暗記の学問ではなく、過去の事例から学び予防する学問であると理解することが重要である。毎回、履修する項目は異なり、一貫した授業内容の積み重ねの上に成り立つため、欠席せずに授業内容を修得すること。やむを得ず欠席した場合はすぐにプリント、課題などで自己学修をすることが必要である。復習は授業ごとの課題や小テストでしっかりと知識を定着させることが肝要である。将来は患者と直接接触することに主眼をおき、実践的な立場を重視した授業を行う。		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験（100%）により評価する。		
評価基準	保健医療領域における医療安全の位置づけを説明できる。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内やJuntendo Passportを使用して返却。			
テキスト			
リハビリテーション リスク管理 第4版	亀田メディカルセンター リハビリテーション科リハビリテーション室 編集	株式会社メジカルビュー社	978-4-7583-1943-0
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・医療訴訟 事例から学ぶ 桑原博道（著） 梶谷 篤（著） 岩井 完（著） 川崎志保理（著） 小林弘幸（監修）、日本外科学会 ・リハベーション 安全管理学・救急医療学 内山靖 藤井浩美 立石雅子 医歯薬出版 ・失敗の科学 マシュー・サイド（著） 有枝 春（訳） 株式会社ディスカバー・トゥエンティワン 978-4-7993-2023-5 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	y-mune@juntendo.ac.jp 医療安全機能管理部門室（4号館3階） 事前メール連絡で随時対応 授業の内容に関する連絡以外は教務課（保健医療学部）まで問い合わせください。		
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容交えて講義を行う。		

科目名	地域包括マネジメント論			授業形態	講義
英語科目名	Community-Inclusive Management			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年			単位数	1単位
代表教員	澤 龍一			ナンバリング	PBP2203
担当教員	澤 龍一				
授業概要					
全体内容	人口動態や保健・医療・福祉・介護ニーズの変化に伴い、国民の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築が求められている。このような住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるケアシステムのことを地域包括ケアシステムという。本講義では、地域包括ケアシステムの理解を通じて、医療・地域保健の現場で理学療法士が果たすべき役割や他職種連携の重要性を学ぶ。講義は、座学及びグループワークによる授業形式から、地域における関係諸機関との調整及び教育的役割を担う能力を培い、臨床から地域の健康を広く担える人材となる能力を身につけることを最終的な目的とする。				
到達目標	(1) 地域包括ケアシステムの概要を理解し、求められる理学療法士像を説明することが出来る。 (2) 地域マネジメントにおける理学療法士の役割を説明することが出来る。				
授業の位置づけ	本講義では地域包括ケアシステムの概要について学修をし、同システムにおける理学療法士の役割を理解することを目的としている。国の掲げる地域包括ケアシステムの方向性、関係諸制度や他職種との連携について学修することで、理学療法士の専門性を見極めて地域で活躍する基礎を養う。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C II 理学DP1-C II 理学DP2-C I				
履修上の注意、履修要件	厚生労働省HP等を活用し、地域包括ケアシステムについて調べてください。				
成績評価の方法					
評価方法	【成績評価方法】 講義中に実施する小テスト（20%）、提出課題（30%）、定期テスト（50%）を統合して評価する。 【成績評価基準】 地域包括ケアにおいて、理学療法や理学療法士の位置づけを説明することが出来るか。				
評価基準	地域包括ケアシステムの概要について説明することが出来るか 地域マネジメントにおける理学療法士の役割を説明することが出来るか				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
必要に応じて、授業内やJuntendo Passportを使用して返却					
テキスト					
特になし					
参考文献					
必要に応じて講義前・後に資料を配布します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	事前メールにて随時対応または水曜日16:00-17:00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）508号室				
担当教員の実務経験	担当教員は本講義を教える上で十分な臨床経験、教育経験、研究経験を有している。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容		授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	澤龍一	【オリエンテーション、地域包括ケアシステム①】 (1) 授業計画や進め方について説明する。 (2) 地域包括ケアシステムの概要を学修する。		講義	【予習】（90分） 「地域包括ケアシステム」という用語を調べておくこと。 【復習】（90分） 授業内容について復習しておくこと。

科目名	チーム医療論	授業形態		
英語科目名	Team Medical Care	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	3年	単位数	1単位	
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	PBP2204	
担当教員	高橋 哲也			
授業概要				
全体内容	今日の医療は急激に高度化・細分化し、疾病構造・人口構造も大きく変わってきている。医療の現場では、様々な職種の医療専門職者が協働するチーム医療が基本となり、複数の医療専門職者の知識を結集しなければならない。リハビリテーション医療においても、患者中心のあるべき医療の姿を学び、医療サービス提供のための病院の組織やそこで働く様々な医療専門職者の役割を正しく理解し、チーム医療の重要性を認識する必要がある。適切な医療を実践する基盤を構築するためには、各医療専門職者の視点から明らかになった情報や問題点を共有し、チームとしての対応策を立案し、各々の専門性を活かしながら問題解決を図り、組織や社会へと貢献することが重要である。 本講義では、リハビリテーション医療にかかわりのある医療専門職者の活動と役割を知り、専門職間の連携の重要性について理解することを目的とする。 (オムニバス方式/全8回)			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の流れ、病院での医療専門職や医療従事者の役割、様々なチーム医療の実践を説明することができる。 ・チーム医療に必要な基本的知識・技術を説明することができる。 ・チーム医療の中で、理学療法士の役割を説明することができる。 ・理学療法士の専門性を活かし積極的にチーム医療に参画する方法を考えることができる。 			
授業の位置づけ	専門基礎分野 保健医療福祉とリハビリテーションの理念			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-3C1、理学DP-3C1,4C1,5C1			
履修上の注意、履修要件	チーム医療について理解を深めるために、臨床実習ⅠおよびⅡを十分に振り返って臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	成績評価方法：期末試験（100%）			
評価基準	成績評価方法：期末試験（100%）			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
適宜、JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロファイル機能を使用して行う。				
テキスト				
参考文献				
指定教科書【なし】 適宜、資料を配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	木曜日17：00-18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	担当する医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、理学療法士は、本講座を教授する十分な臨床経験、教育経験、研究の経験を要している。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	リハビリテーション医療にかかわりのある医療専門職者について解説し、チーム医療の重要性、必要性、役割について解説する。さらにチーム医療の欠かせない専門職間の連携の重要性について解説する。	講義	【予習】（90分） チーム医療について事前に調べて確認しておくこと 【復習】（90分） 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること

科目名	理学療法概論			授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Physical Therapy			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	高橋 哲也			ナンバリング	SFP3000
担当教員	高橋 哲也、眞壁 寿、松田 雅弘、相澤 純也				
授業概要					
全体内容	本講義では、理学療法及び理学療法士を理解することを目的として、理学療法の歴史、理学療法の対象、研究、職域、業務の実際について学修する。更に対象者の特徴、障害の分類、障害受容、理学療法士に求められる資質、コミュニケーションスキルなどについても学修する。これらの総合的理解を通じて、今後の履修科目の必要性、重要性を理解し、学修意欲向上、今後の理学療法士の方向性を知る。理学療法は医学、障害学、社会福祉学等の複数領域に跨ることから、幅広く関連領域についての教養を取り入れることにも配慮する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 理学療法の定義、理学療法士に求められる能力、理学療法の役割など、理学療法の基本的特徴を説明できる 2) 理学療法の基本モデルや理学療法の対象と範囲を説明できる 3) 理学療法の対象となる主な病態、機能障害を説明できる 4) 理学療法の対象となる主な疾患を説明できる 5) 理学療法の病期の区分方法、病期に基づいた理学療法（地域・予防を含む）を説明できる 6) 理学療法の歴史について説明できる 7) 理学療法に関連する法規について説明できる 8) 理学療法に関連する保険制度について説明できる 9) 世界の理学療法の現状と課題について説明できる 				
授業の位置づけ	本科目は理学療法学の基本であり、理学療法の定義、歴史、対象、法律、研究、職域、業務の実際について学修し、専門科目に対する知的好奇心を拓げる基盤と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1、C-III①②③ 理学DP-1、C-I①② 理学DP-2、C-I①②③				
履修上の注意、履修要件	理学療法概論は、本学科で学ぶ「理学療法学」の基礎になる科目であるため、事前資料や指定教科書をよく読んで、積極的な学修姿勢で臨むこと。また、順天堂関連病院の各講師の講義は各分野の最前線に触れることができる貴重な機会であることから、問題意識と新たな知識に触れる好奇心を持って臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	小テスト（40％）、定期試験（60％）により評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法の定義を理解できているか ・理学療法の歴史、対象、範囲、法律、研究、職域、保険制度などが理解できているか ・世界の理学療法の現状と課題について理解できているか 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
随時必要に応じて行うが、必要に応じてJUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行うこともある。					
テキスト					
理学療法学概論 第7版	奈良勲・高橋哲也・内山靖(編)	医歯薬出版	978-4-263-26586-4		
参考文献					
・そのほか、配布講義資料を使用する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日17：00-18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応				
担当教員の実務経歴	平成元年に理学療法士免許を取得。 平成元年4月～平成7年6月 聖マリアンナ医科大学病院 理学療法士 平成8年4月～平成9年3月 石岡循環器脳神経外科病院 理学療法士 平成10年9月～平成19年3月 群馬県立心臓血管センター リハビリテーション課長 平成31年4月～現在 順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室室長補佐				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也	理学療法学序説1 1) 理学療法の定義、理学療法士に求められる能力、理学療法の役割を知ることで、理学療法の基本的特徴を理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第8章 理学療法(士)の役割とその職域」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
2	高橋哲也	理学療法学序説2 1) 理学療法の基本モデル、クリニカルリーズニング、理学療法の対象と範囲を知ることで、理学療法の基本的特徴を理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第5章 理学療法の基盤」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
3	高橋哲也 松田雅弘	理学療法の対象となる主な病態 1) 関節可動域制限、筋力低下、疼痛、持久性低下、その他の機能障害を知ることで、理学療法の対象となる主な病態を理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第7章 理学療法の対象と治療手段」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
4	高橋哲也 松田雅弘	理学療法の対象となる主な疾患 1) 精神領域の理学療法、産業理学療法、被災地の理学療法支援、動物の理学療法、女性保健の理学療法などを知ることで、理学療法の新たな対象を理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第14章 理学療法の開拓職域」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
5	高橋哲也 松田雅弘	理学療法の学問的体系化と研究法 1) 理学療法の学問的体系を知り、理学療法の研究範囲や研究分野について理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第6章 理学療法の学問的体系化と研究法」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。
6	高橋哲也 吉田久雄	理学療法士になるということ	講義	【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
7	高橋哲也 北原エリ子	小児理学療法の現状と課題	講義	【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
8	高橋哲也 保刈吉秀	脳卒中の理学療法の現状と課題	講義	【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
9	高橋哲也 國枝洋太	認知症の理学療法の現状と課題	講義	【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
10	高橋哲也 相澤純也	スポーツ理学療法の現状と課題	講義	【予習】(90分) 事前配布された資料を確認しておくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること
11	高橋哲也 眞壁寿	理学療法の歴史 1) 医学史の概要、理学療法の歴史・変遷、世界の理学療法(士)の歴史を知ることで、理学療法を発展を理解する。 2) 授業の始めに小テストによる知識の確認を行う。	講義	【予習】(90分) 教科書の「第3章 理学療法の歴史」を読んでおくこと 【復習】(90分) 講義資料を再度見直し、しっかりと知識を定着させること。次回の講義冒頭のミニテスト(一部英語)の準備をすること。

--	--	--	--	--

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日常生活活動学		授業形態	講義
英語科目名	Activities of Daily Living		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	森沢 知之		ナンバリング	SFP3001
担当教員	森沢 知之、松田 雅弘、中村 絵美、澤 龍一			
授業概要				
全体内容	本講義の目的は、日常生活活動の概念と範囲を理解し、理学療法の治療目標の主体をなす日常生活活動の自立に向けた評価方法及び動作獲得や介助・支援の方法を修得することである。正常な日常生活活動を理解した上で、高齢者及び理学療法の対象となる代表的な疾患（脳卒中片麻痺、パーキンソン病、頸髄損傷、関節リウマチ、COPD、心不全など）が日常生活活動に及ぼす影響を学修する。各疾患や状態に応じた基本的なADL評価法（動作分析、FIM、BIなど）を理解・実践し、日常生活活動に関する問題点を抽出する能力を育む。またリハビリテーション工学、職業リハビリテーション、社会リハビリテーションなどの様々な分野からの包括的アプローチについて学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法とADLの位置づけを説明することができる。 ・ADL評価の目的を説明することができる。 ・主なADL評価方法を理解して説明することができる。 ・健常者の各種ADL動作を分析することができる。 ・ADLを支援する福祉機器の特徴と適用を説明することができる。 ・各疾患のADL障害の特徴を理解して説明することができる。 ・ADL指導の実際について症例を通して検討することができる。 			
授業の位置づけ	・日常生活活動学は全ての理学療法に関わる基礎的な授業である。2年前期に開講される「日常生活活動学実習」へとつながる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1 共通DP2-C1 共通DP3-C1 理学DP1-C1 理学DP3-C1 理学DP4-C1 理学DP5-C1			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。 ・各講義終了前に講義内容の確認テストを行う。 ・講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。 ・講義中は積極的に発言すること。 ・グループワーク時には、積極的に議論に参加すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	・定期試験（60％）、講義中の課題（30％）、日々の学習状況（10％）との合計点により最終評価を行う。			
評価基準	・日常生活活動の概念と範囲を理解し、理学療法の治療目標の主体をなす日常生活活動の自立に向けた評価方法及び動作獲得や介助・支援の方法を説明できる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内やJuntendo Passportを使用して返却する。 ・小テストの結果は小テスト終了直後に正答をフィードバックする。 				
テキスト				
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学（第6版）	鶴見隆正	医学書院	978-4-260-04751-7	
参考文献				
・配布講義資料を使用する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・事前メールにて随時対応。			
担当教員の実務経歴	・兵庫医科大学病院等での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	森沢知之	<p>【オリエンテーション、ADL総論①】 ADLの概念・意義・範囲・理学療法での位置づけを学修する。ADLを学ぶ上で最も基礎的な内容であり、以降の授業にも反映されるため、よく理解しておく必要がある。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 	<p>【予習】 (90分) 1. ADLの概念、歴史的推移について調べておくこと。 2. ADLの範囲について調べておくこと 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
2	森沢知之	<p>【ADL総論②】 ICIDHとICF、ノーマリゼーション、QOLについて学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) ICIDH、ICF、ノーマリゼーション、QOLについて調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
3	中村絵美	<p>【ADLの評価①Barthel Index】 ADL評価の目的、評価項目、活用方法を学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) ADL評価を構成する主なADL動作、Barthel Indexについて調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
4	中村絵美	<p>【ADLの評価②FIM】 Functional Independence Measureの特徴と評価方法について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) Functional Independence Measureについて調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
5	松田雅弘	<p>【基本動作の運動学的分析】 重力と重心、物体の安定性、てこの原理などADL動作を行う上での運動学的分析について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 1. ヒトの重心および物体の安定性に関する因子について調べておくこと。 2. てこの種類と原理について調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
6	森沢知之	<p>【ADLの基本動作① 起居動作】 寝返り・起き上がり動作の分析について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 基本的な寝返り・起き上がり動作の方法について各自実践して確認しておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
7	森沢知之	<p>【ADLの基本動作② 立ち上がり動作】 立ち上がり動作の分析について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 基本的な立ち上がり動作の方法について各自実践して確認しておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
8	澤龍一	<p>【ADLを支援する機器①】 福祉用具について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 福祉用具について調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
9	澤龍一	<p>【ADLを支援する機器②】 歩行補助具等・車椅子などの種類と適用について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 歩行補助具(杖・歩行器など)の種類について調べておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>
10	森沢知之	<p>【住居や屋外の生活環境】 日常生活に影響を及ぼす生活環境(屋内・屋外)について学修する。授業の最後には確認テストを行い、理解の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・ディスカッション 	<p>【予習】 (90分) 障害者が自宅で生活する際に、自立した生活活動が困難になりやすい場所を整理しておくこと。 【復習】 (90分) 確認テストの内容は、臨床に直結する重要な知識であり、再度見直し、知識を定着させること</p>

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	日常生活活動学実習			授業形態	実技
英語科目名	Practice of Activities of Daily Living			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	中村 絵美			ナンバリング	SFP3002
担当教員	中村 絵美、松田 雅弘、森沢 知之、澤 龍一				
授業概要					
全体内容	1年次後期科目である日常生活活動学で学んだ知識を基礎に、日常生活活動に関する理学療法の一連の流れ（ADL評価、問題点の抽出、治療や介助・支援方法）を理解し、実践できる力を身に付けることを目標とする。基本的な起居移乗動作、入浴動作、排泄動作、着衣動作、セルフケア、車椅子操作などの動作獲得や介助・支援の方法を修得した上で、代表的な疾患（脳卒中片麻痺、パーキンソン病、頸髄損傷、関節リウマチ、COPD、心不全など）の特性を理解し、各疾患に応じた日常生活活動の方法について実習を通して学修する。また指導用のパンフレットなどを作成し、患者・家族や他者へ説明する能力を育む。更に障害を有する人々が日常生活のなかで感じる障壁について実際に学生自身が障害（模擬）を体験するフィールドワークを実施し、生活のしにくさについて学びを深める。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ADL評価の目的を説明できる。 ・問診によるADL聴取、起居・移乗動作、車いす操作技術を修得している。 ・杖などの応用歩行、階段昇降の指導・介助の方法を修得している。 ・主なADL評価方法を理解し、実践できる。 ・ADL評価の結果から、問題点を抽出することができる。 ・各疾患に対する適切なADL動作指導・介助を選択・実践できる 				
授業の位置づけ	1年次後期の日常生活活動学の講義で学んだ内容を基に行う実技実習科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	DP2-C2, DP2-C3, DP2-C4, DP2-C5, DP5-C2, DP5-C3, DP6-C2, DP6-C3				
履修上の注意、履修要件	実技演習は、実際の臨床場面と同等とし、身だしなみ・態度等に留意して参加してください。（装飾品・爪・服装）				
成績評価の方法					
評価方法	確認小テスト(10%)，グループワーク(10%)，実技試験(40%)，定期筆記試験(40%) の総合点で評価する。				
評価基準	対象者に合わせた適切なADL評価およびADL動作指導・介助を選択・実践できる。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
授業内やJuntendo Passportを使用して返却					
テキスト					
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第6版	鶴見隆正・隆島研吾 編	医学書院	978-4-260-04751-7		
参考文献					
授業の際に提示する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	木曜：9:00～10:30 ※担当教員により変更の可能性あり（授業内に確認） 他：事前メールにて連絡をとったうえで随時対応。				
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員とも理学療法士の教育歴、または病院においてADL指導の経験を持っている。 ・また各教員とも現在も順天堂医院での臨床業務に携わりADL指導を行っている。 				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	中村 絵美 松田 雅弘	【オリエンテーション・実習準備】 1年後期の日常生活活動学で学んだ知識を基礎に日常生活活動に関する理学療法の一連の流れについて学修す	講義	【予習】（90分） 臨床（実習）で患者を触るときと同じ準備をおこない、身だしなみにも留意する	

	森沢 知之 澤 龍一	る。 また、患者に接する際の注意点（リスク管理）について理解する。		こと。 【復習】（90分） 実技演習を行う際の、リスク管理は臨床に直結する重要となるため、実習期間中常に心掛けておくこと
2	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【ADL評価の要点と活用方法】 ADL評価法に共通する身のまわり動作の評価ポイント、その評価時期・目的・方法の選択について	講義・実技	【予習】（90分） 基本的ADLの評価法（BI・FIM）について確認しておくこと。 【復習】（90分） 臨床に直結する知識であるため、対象者に合わせた評価方法・目的・時期の選択が可能となるよう理解を深め、説明できるようにしておくこと。
3・4	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【起居動作①】 寝返り・起き上がり動作とその介助方法	講義・実技	【予習】（90分） 基本的な寝返り・起き上がり動作の方法について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
5・6	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【起居動作②】 立ち上がり動作とその介助方法	講義・実技	【予習】（90分） 基本的な立ち上がり動作の方法について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
7・8	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【移乗動作①】 補助具を使用しない移乗動作の方法およびその介助方法（車椅子-ベッド間）	講義・実技	【予習】（90分） 基本的な移乗動作の方法について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
9・10	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【移乗動作②】 補助具を使用しない移乗の介助と 移乗補助具の使用（リフターなど）	講義・実技	【予習】（90分） 補助具を使用した移乗動作の方法について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
11・12	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【移動動作①】 平地歩行、階段昇降、応用歩行、歩行補助具	講義・実技	【予習】（90分） 平地歩行、階段昇降、応用歩行の動作について確認しておくこと。また歩行補助具の種類について復習しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
13・14	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【移動動作②】 車椅子の駆動と介助方法	講義・実技	【予習】（90分） 車椅子の種類と各部位の名称について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
15・16	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【移動動作③】 障害者体験によるフィールドワーク	実技・発表	【予習】（90分） 移動動作①・②で学修した内容を確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
17・18	中村 絵美 松田 雅弘 森沢 知之 澤 龍一	【セルフケア】 疾患を有する場合の更衣動作、トイレ動作 自助具・日常生活用具の体験	講義・実技	【予習】（90分） 更衣・トイレ動作について確認しておくこと。また自助具・日常生活用具の使用方法について確認しておくこと。 【復習】（90分） 実施した内容については、臨床に直結する技術であるため、対象者に合わせた方法の提示・介助が可能になるよう繰り返し練習し、習得させること。
19・20	中村 絵美 松田 雅弘	【症例検討①（グループワーク・プレゼンテーション）】 ADL障害を抱える症例に対して、適切な評価（量的・質的（動作分析））を行い、評価結果から問題点の抽	グループワーク・発表	【予習】（90分） 各グループ、事前に紹介された症例のADLを評価するために必要な評価方法を選択しておくこと。

科目名	理学療法基礎ゼミナール	授業形態	演習	
英語科目名	Physical Therapy Basic Seminar	開講学期	2023年度前期(SPR)、2023年度後期(AUT)	
対象学年	2年	単位数	2単位	
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	SFP3003	
担当教員	高橋 哲也、宮森 隆行、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、相澤 純也、山口 智史、齊藤 正和、中村 絵美、澤 龍一			
授業概要				
全体内容	理学療法基礎ゼミナールでは、理学療法の各領域について深く学ぶとともに理学療法に関連する課題を理解することを目的とする。さらに、少人数によるゼミナール形式で実施することにより学生の主体的・能動的な学習能力を形成する。グループワークによる文献を検索、収集し、吟味し整理および発表を行うことで「調べる力」「報告する力」「議論する力」を養うとともに、能動的に理学療法を深く理解しようとする姿勢を育成する。			
到達目標	1) 理学療法の領域を理解することができる 2) 各領域における主要な疾患について、文献検索や収集ができる 3) 各領域における課題について理解できる			
授業の位置づけ	フレッシュャーズゼミナールで形成された、学習に主体的・能動的に取り組む姿勢の基盤をさらに発展させる。また、このような主体的・能動的な学習姿勢および各領域に対する理解を専門科目において活用するとともに、理学療法基礎ゼミナールへと発展させる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1- C2①, 理学DP1 - C2①：医療人として社会からの期待を意識し、適切に行動できる 共通DP1 - C3①：健康総合大学である順天堂大学で学んだ者として「仁」の精神に基づき、思いやりを持った行動ができる 共通DP3- C1①, 理学DP5 - C1①：自分の目標に向け適切な情報収集ができ、活用できる 理学DP2 - C1①：患者、家族、他の医療職種と信頼関係が構築でき、良好なコミュニケーションがとれる 理学DP2 - C1③：わかりやすい言葉を使いながら、必要な医療情報を共有し、正確な意思疎通・プレゼンテーションができる			
履修上の注意、履修要件	理学療法に関連する領域を学習するため、フレッシュャーズゼミナールや臨床実習Ⅰを十分に振り返って臨むこと。さらに、少人数のグループ学習において、能動的な学習姿勢および自立的な態度を期待する。			
成績評価の方法				
評価方法	課題発表（60%）、日々の学習状況（40%）			
評価基準	・文献を検索、収集し、吟味できるか ・他者が理解しやすい発表をできるか			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
JUNTENDO-PASSPORTのクラスプロフィール機能を使用して行う。				
テキスト				
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	水曜日16：00～18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	全科目担当者	理学療法の領域について学習する。	講義	【予習】フレッシュャーズゼミナールで学習した各領域について復習する。（90分） 【復習】理学療法がどのような領域で構成されているかについてまとめる。（90分）
2	全科目担当者	スポーツ理学療法、運動器理学療法について学習する。	講義	【予習】フレッシュャーズゼミナールで学習したスポーツ理学療法、運動器理学療法の問題について復習する（90分） 【復習】スポーツ理学療法、運動器理学療法についてまとめる（90分）

3	全科目担当者	前回提示された課題に基づき、文献を検索し発表準備を行う。	グループワーク	【予習】提示されたスポーツ理学療法、運動器理学療法の課題についてまとめる。(90分) 【復習】発表準備を行う。(90分)
4	全科目担当者	提示された課題に基づき発表を行う。	発表	【予習】発表の準備を行う。(90分) 【復習】他の班の発表について振り返りまとめる。(90分)
5	全科目担当者	物理療法、神経系理学療法について学習する。	講義	【予習】フレッシュャーズゼミナールで学習した物理療法、神経系理学療法のトピックスについて復習する(90分) 【復習】物理療法、神経系理学療法についてまとめる(90分)
6	全科目担当者	前回提示された課題に基づき、文献を検索し発表準備を行う。	グループワーク	【予習】提示された物理療法、神経系理学療法の課題についてまとめる。(90分) 【復習】発表準備を行う。(90分)
7	全科目担当者	提示された課題に基づき発表を行う。	発表	【予習】発表の準備を行う。(90分) 【復習】他の班の発表について振り返りまとめる。(90分)
8	全科目担当者	内部障害理学療法、高齢者理学療法について学習する。	講義	【予習】フレッシュャーズゼミナールで学習した内部障害理学療法、高齢者理学療法のトピックスについて復習する(90分) 【復習】内部障害理学療法、高齢者理学療法についてまとめる(90分)
9	全科目担当者	前回提示された課題に基づき、文献を検索し発表準備を行う。	グループワーク	【予習】提示された内部障害理学療法、高齢者理学療法の課題についてまとめる。(90分) 【復習】発表準備を行う。(90分)
10	全科目担当者	提示された課題に基づき発表を行う。	発表	【予習】発表の準備を行う。(90分) 【復習】他の班の発表について振り返りまとめる。(90分)
11	全科目担当者	理学療法士に必要な接遇について学習する。	講義	【予習】人間関係論で学習したコミュニケーションについて復習する。(90分) 【復習】理学療法士に必要な接遇についてまとめる。(90分)
12	全科目担当者	理学療法評価の実践方法について学習する。	グループワーク	【予習】理学療法士の接遇、検査・測定について学習する。(90分) 【復習】理学療法評価を行う際の接遇や評価についてまとめる。(90分)
13	全科目担当者	理学療法評価の実践方法について学習する。	グループワーク	【予習】理学療法士の接遇、検査・測定について学習する。(90分) 【復習】理学療法評価を行う際の接遇や評価についてまとめる。(90分)
14	全科目担当者	理学療法評価の実践方法について学習する。	グループワーク	【予習】理学療法士の接遇、検査・測定について学習する。(90分) 【復習】理学療法評価を行う際の接遇や評価についてまとめる。(90分)
15	全科目担当者	3年生の卒業研究についての理解を深め、各領域に対する自身の関心について吟味する。	グループワーク	【予習】各領域の課題や3年生の卒業研究について復習して臨む(90分) 【復習】自身の関心について十分吟味する(90分)
16	全科目担当者	学年間の相互学習 学年間で臨床実習の振り返りを行う。	グループワーク、発表	【予習】臨床実習で得られた課題をまとめる。(90分) 【復習】グループワークや発表で得られた課題をまとめる。(90分)
17	全科目担当者	学年間の相互学習 学年間で臨床実習の振り返りを行う。	グループワーク、発表	【予習】臨床実習で得られた課題をまとめる。(90分) 【復習】グループワークや発表で得られた課題をまとめる。(90分)
18	全科目担当者	学年間の相互学習 学年間で臨床実習の振り返りを行う。	グループワーク、発表	【予習】臨床実習で得られた課題をまとめる。(90分) 【復習】グループワークや発表で得られた課題をまとめる。(90分)
19	全科目担当者	運動器理学療法に関する課題について学習する。	グループワーク	【予習】前期で学習した運動器理学療法を復習する。(90分) 【復習】課題についてまとめる。(90分)
20	全科目担当者	運動器理学療法に関する課題についてディスカッションし発表準備を行う。	グループワーク	【予習】課題についてまとめる。(90分) 【復習】発表準備を行う。(90分)
21	全科目担当者	運動器理学療法に関する課題について発表を行う。	発表	【予習】発表準備を行う。(90分) 【復習】他の班の発表についてまとめる。(90分)
22	全科目担当者	神経系理学療法の課題について学習する。	グループワーク	【予習】前期で学習した神経系理学療法について復習する。(90分) 【復習】神経系理学療法の課題についてまとめる。(90分)
23	全科目担当者	神経系理学療法の課題についてディスカッションし発表準備を行う。	グループワーク	【予習】課題についてまとめる。(90分) 【復習】発表準備を行う。(90分)

科目名	理学療法管理学		授業形態	講義
英語科目名	Physical Therapy Management		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年		単位数	2単位
代表教員	高橋 哲也		ナンバリング	SFP3004
担当教員	高橋 哲也、飛山 義憲、相澤 純也			
授業概要				
全体内容	本講義ではより質の高い理学療法を実施するため、理学療法を行ううえで必要な管理やマネジメントについて学修することを目標とする。授業では理学療法と国際生活機能分類との関係について理解し、また医療費や診療報酬体系、保健、医療、福祉に関する制度（医療保険、介護保険制度を含む）だけでなく、理学療法教育や臨床実習における管理、理学療法士に必要な職業倫理や社会的役割について学修する。さらに、理学療法業務のマネジメントについても学び、業務に関連する管理・マネジメントについても理解する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士に必要な職業倫理、関連法規などを説明できる ・保健、医療と理学療法とのかかわりや診療報酬体系について説明できる ・理学療法士としてのキャリア形成を理解し、理学療法を行う際のICFや業務に関連する管理・マネジメントを説明できる 			
授業の位置づけ	本講義では内部障害系理学療法学や神経系理学療法学、運動器系理学療法学などの専門科目で学修した知識をさらに発展させ、実際の保健、医療、福祉の場においてどのように実践すべきかを学修する。さらに、その後の臨床実習において本講義で得た知識を活用し発展させる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>共通DP1- C1①, 理学DP1- C1①：医の倫理・生命倫理および患者の権利について理解し、医療人としての倫理観を身につけ、それに沿って行動できる</p> <p>共通DP1- C1②, 理学DP1- C1②：患者の人権を尊重し、守秘義務を果たすことができる</p> <p>共通DP1- C1③, 理学DP1- C1③：インフォームド・コンセントを理解し、実践できる</p> <p>共通DP1- C1④, 理学DP1- C1④：社会資源を使って育成されていることを認識し、医療人としての責任感をもって行動できる</p> <p>共通DP2- C1⑤, 理学DP3, 4- C1⑤：医療安全の重要性を理解し、理学療法に伴う基本的なリスク管理ができる</p> <p>共通DP2- C1⑥, 理学DP3, 4- C1⑥：保健・福祉・社会保障などの知識を身につけ、予防医療および地域医療に参加できる</p>			
履修上の注意、履修要件	1年次の理学療法概論をよく復習したうえで受講すること。			
成績評価の方法				
評価方法	小テスト（50%）、期末試験（50%）を統合して評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士に必要な職業倫理、関連法規を理解できているか ・保健、医療と理学療法とのかかわりや診療報酬体系について説明できるか ・理学療法を行う際のICFや業務に関連する管理・マネジメントについて説明できるか 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
その都度必要に応じて対応するが、JUNTENDO-PASSPORTのクラスプロファイル機能を使用して行うこともある。				
テキスト				
理学療法管理学 15レクチャーシリーズ テキスト	理学療法テキスト	責任編集：長野 聖（四條畷学園大学）、総編集：石川 朗（神戸大学）	中山書店	978-4-521-74813-9
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	水曜日16：00～18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	臨床経験および臨床の管理経験に基づき、理学療法を管理する能力を養成する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也	理学療法管理学総論とリスクマネジメント 理学療法を行ううえで必要な管理、マネジメントの総論および理学療法実施上のリスクマネジメントについて	講義により学習する。	【予習】教科書の11レクチャー、リスク管理を予習すること。（90分） 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。（90

		て事例を踏まえながら学習する。		分)
2	高橋 哲也	医療費と診療報酬 わが国における医療費と診療報酬の支払いのしくみ、理学療法士がかかわるリハビリテーション料の算定・加算について学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の7レクチャー、診療・介護報酬と収益構造を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
3	高橋 哲也	診療報酬の仕組みと理学療法士の社会的役割 人件費とコスト、給与の背景を理解するとともに、診療報酬がどのように決定されるかを学習し、さらに理学療法士がどのように社会に貢献していくべきかを学習する。	講義により学習する。	【予習】1年次の理学療法概論で学習した理学療法士の社会的役割について復習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
4	相澤 純也	社会保障と医療保険制度 日本の社会保障の構成要素と役割を理解する。理学療法業務に必要な医療保険制度の概要を理解する。	講義により学習する。	【予習】教科書の4、5レクチャー、社会保障のしくみと医療保険制度について予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
5	飛山 義憲	予防医療と地域保健、産業保健 保健と医療の連携、理学療法士の保健、予防へのかかわりについて学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の8レクチャー、保健・医療・介護・福祉の連携を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
6	飛山 義憲	理学療法士の権利擁護と職業倫理 理学療法士に必要な倫理やハラスメントについて学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の13レクチャー、権利擁護と職業倫理を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
7	飛山 義憲	理学療法士と関連法規 理学療法士に関連する理学療法士及び作業療法士法などを中心に関連法規を学習する。	講義により学習する。	【予習】1年次の理学療法概論を復習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
8	高橋 哲也 吉田 久雄	理学療法士にとってのキャリア形成、生涯学習 理学療法士の資格を取得した後のキャリア形成の方法や、その後の生涯学習の必要性和重要性について学習する。	講義により学習する。	【予習】1年次の理学療法概論で学習した理学療法士の働き方について復習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
9	高橋 哲也 松田 雅弘	臨床実習管理 臨床実習がどのように管理、マネジメントされているかを学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の14レクチャー、教育管理を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
10	相澤 純也	情報管理 理学療法業務に不可欠な情報収集、記録の意義と管理、コミュニケーション技術について理解する。	講義により学習する。	【予習】教科書の10レクチャー、情報管理について予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
11	高橋 哲也 北原 エリ子	感染症管理 スタンダードプリコーションを含めた理学療法に必要な感染症対策について学習する。	講義により学習する。	【予習】12レクチャー、感染症管理を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
12	高橋 哲也 北原 エリ子	理学療法業務のマネジメント 理学療法業務の実際の流れについて学習する。また、管理者側からみた業務や労務管理、人事考課などについて学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の9レクチャー、業務管理を予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
13	高橋 哲也	理学療法士と職能活動 理学療法士の職能活動を理学療法士協会の活動などから学習する。また、理学療法士の政治・政策への関与についても学習する。	講義により学習する。	【予習】教科書の9レクチャー、15レクチャー予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
14	相澤 純也	専門職とチームケア 理学療法に関わる専門職と事務職の役割、診療報酬上のチーム医療の実例を学び、チームケアを理解する。	講義により学習する。	【予習】教科書の3レクチャー、専門職とチームケアを予習すること。(90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)
15	相澤 純也	学会、ガイドラインとの関わり 理学療法に関連する主な学会の概要を理解する。理学療法の実施、指導の指針となるガイドラインの概要を理解する。	講義により学習する。	【予習】以下を確認しておくこと。 http://jspt.japanpt.or.jp/ http://jspt.japanpt.or.jp/guideline/ (90分) 【復習】授業資料、学習したことをまとめ、説明できるようにすること。(90分)

科目名	検査・測定学			授業形態	講義
英語科目名	Examination and Evaluation			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年			単位数	2単位
代表教員	飛山 義憲			ナンバリング	SFP3100
担当教員	飛山 義憲				
授業概要					
全体内容	本講義では、理学療法における理学療法評価の目的や重要性を理解するとともに、理学療法評価の骨幹となる検査や測定に関する知識を正しく理解し実践できることを目的とする。主として、関節可動域測定や筋力検査の目的や意義、方法に関する基礎知識を修得するとともに、その実施方法について実習を交えて学修する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 理学療法評価の概要や目的を理解する。 2) 関節可動域の測定方法について説明ができ、実際の測定ができる。 3) 徒手筋力検査の検査方法について説明ができ、下肢の検査ができる。 				
授業の位置づけ	本授業では解剖学や運動学で学修する知識を基に関節可動域測定や徒手筋力検査の学修を行うため、解剖学や運動学の科目で得られた知識をさらに発展させる。また、本授業で習得した関節可動域測定や徒手筋力検査は運動器系理学療法学や神経系理学療法学などの専門科目において活用されるため、本授業で得られた知識を専門科目へと発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1①, 理学DP3,4 -C1①：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる 共通DP2 -C1②, 理学DP3,4 -C1②：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる				
履修上の注意、履修要件	本講義では関節の運動方向や、基本軸および移動軸の決定の際に骨のランドマークについての理解および知識が必須であるため、解剖学で学修したこれらの点を復習して授業に臨む。また、関節の運動を引き起こす筋の名称および作用についても理解が必要なため、同時期に開講される運動学の知識も併せて学修する。				
成績評価の方法					
評価方法	小テスト（30%）、実技課題（30%）、期末試験（40%）を統合して評価するが、期末試験は60%以上の得点率を必須とする。				
評価基準	関節可動域測定、下肢の徒手筋力検査について実施方法を理解し、実践できるレベルに到達しているか。また実技の実践方法について、十分な知識を基に詳細に考察することができるか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストについては、回答後の結果開示の際に正答および解説を表示し、リンクを開示し随時復習を可能にする。					
テキスト					
新・徒手筋力検査法 原著第10版	Dale Avers, Marybeth Brown 著 津山直一, 中村耕三 訳	協同医書出版社	978-4-7639-0041-8		
理学療法評価学 第3版	内山 靖 / 岩井 信彦	医学書院	978-4-260-03639-9		
参考文献					
解剖学および運動学指定のテキスト					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日13:00~16:00 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 事前メール連絡で随時対応；y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、検査・測定を実践する能力を養成する。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	飛山 義憲	検査・測定の概要、関節可動域測定について 検査と測定の違いについて学習し、関節可動域のルール、ゴニオメーターの使い方について学習する。	講義および演習により学習を行う。	【予習】解剖学で学習した関節の名称、運動方向について復習する。（90分） 【復習】関節可動域測定のルールとゴニオメーターの使い方についてまとめる。（90分）	
2	宮森 隆行	膝関節、足関節、足部の関節可動域測定	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて膝関節、足関節、足部の運動方向およびランドマークについてまとめる。（90分）	

				【復習】膝関節、足関節、足部の関節可動域測定の実践方法についてまとめる。(90分)
3	宮森 隆行	股関節の関節可動域測定	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて股関節の運動方向およびランドマークについてまとめる。(90分) 【復習】股関節の関節可動域測定の実践方法についてまとめる。(90分)
4	宮森 隆行	肩関節の関節可動域測定	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて肩関節の運動方向およびランドマークについてまとめる。(90分) 【復習】肩関節の関節可動域測定の実践方法についてまとめる。(90分)
5	宮森 隆行	肩甲帯、肘関節、前腕、手の関節可動域測定	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて肩甲帯、肘関節、前腕、手の運動方向およびランドマークについてまとめる。(90分) 【復習】肩甲帯、肘関節、前腕、手の関節可動域測定の実践方法についてまとめる。(90分)
6	宮森 隆行	頸部、胸腰部の関節可動域測定	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて頸部、胸腰部の運動方向およびランドマークについてまとめる。(90分) 【復習】頸部、胸腰部の関節可動域測定の実践方法についてまとめる。(90分)
7	宮森 隆行	手指、足趾の関節可動域測定、関節可動域測定のまとめ	講義および演習により学習を行う。	【予習】実技に向けて手指、足趾の運動方向およびランドマークについてまとめ、さらにこれまで学習した関節可動域測定について復習する。(90分) 【復習】これまでに学習した関節可動域測定の実践方法について改めて復習し、資料を見ずに実践できるようにする。(90分)
8	飛山 義憲	関節可動域測定の実技課題 これまでの授業で行った関節可動域測定の測定結果についてグループワークによりまとめ、検者間信頼性について討議する。さらに、検者間信頼性を高める方法についての討議を行い発表する。	演習により学習を行う。	【予習】これまでに学習した関節可動域測定の方法をまとめる。(90分) 【復習】関節可動域測定の方法について改めて復習し、検者間信頼性を高める方法について理解を深める。(90分)
9	飛山 義憲	股関節の徒手筋力検査（屈曲、屈曲、外転、外旋および膝屈曲）	講義および演習により学習を行う。	【予習】該当する股関節の筋について復習し、起始停止および作用についてまとめる。(90分) 【復習】学習した股関節の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
10	飛山 義憲	股関節の徒手筋力検査（伸展および伸展の変法）	講義および演習により学習を行う。	【予習】該当する股関節の筋について復習し、起始停止および作用についてまとめる。(90分) 【復習】学習した股関節の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
11	飛山 義憲	股関節の徒手筋力検査（外転、内転、外旋、内旋）	講義および演習により学習を行う。	【予習】該当する股関節の筋について復習し、起始停止および作用についてまとめる。(90分) 【復習】学習した股関節の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
12	飛山 義憲	膝関節（屈曲、伸展）、足関節（底屈、背屈と足の内がえし）の徒手筋力検査	講義および演習により学習を行う。	【予習】該当する膝関節および足関節の筋について復習し、起始停止および作用についてまとめる。(90分) 【復習】学習した膝関節および足関節の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
13	飛山 義憲	足関節（内がえし、底屈を伴う外がえし）、足趾の徒手筋力検査	講義および演習により学習を行う。	【予習】該当する足関節および足趾の筋について復習し、起始停止および作用についてまとめる。(90分) 【復習】学習した足関節および足趾の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
14	飛山 義憲	徒手筋力検査の総復習	演習により学習を行う。	【予習】下肢の徒手筋力検査の知識をまとめる。(90分) 【復習】次週の実技テストに向け、下肢の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)
15	飛山 義憲	関節可動域測定、徒手筋力検査の実技テスト	演習により学習を行う。	【予習】実技テストに向けて関節可動域測定、下肢の徒手筋力検査の知識をまとめる。(90分) 【復習】関節可動域測定、下肢の徒手筋力検査の実践方法についてまとめる。(90分)

科目名	検査・測定学演習			授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Practice in Examination and Evaluation			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	宮森 隆行			ナンバリング	SFP3101
担当教員	宮森 隆行、飛山 義憲、高橋 容子、澤 龍一				
授業概要					
全体内容	本演習では、理学療法における検査や測定を含む理学療法評価の流れ、理学療法評価における基本的な検査や測定を演習を通して実践し、学修することを目的とする。主に、検査・測定に必要な関節可動域測定、筋力検査に関する基礎知識を正しく理解し、学生間での演習を通じて実践する。また検査や測定の演習から得られた結果を記録し、結果を解釈する評価過程についても演習を通じて学修する。本演習では、学生間での演習を通じて、インフォームドコンセントを含む患者への倫理的配慮やコミュニケーション、医療従事者としての心構え等についても学修することとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・検査・測定にあたり十分なオリエンテーションができる。 ・関節可動域測定や徒手筋力検査など検査・測定学において学んだ測定および検査を規定された方法に沿って実践できる。 				
授業の位置づけ	本演習は、理学療法の基本的な検査・測定技術である関節可動域測定や筋力検査などを正確に実施できることを目的とするとともに、得られた結果に対して、解剖学・生理学・運動学などの知識を用いて制限因子等を評価することを学修する。本演習で習得した知識・技術は、2年次の臨床実習Ⅱ（検査・測定）にて発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2, 理学DP3,4-C1：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる 共通DP2, 理学DP3,4-C1：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる				
履修上の注意、履修要件	解剖学、運動学についての理解が必須であるため、よく復習をして授業に臨むこと。また検査・測定学において学んだ知識を復習しておくこと。				
成績評価の方法					
評価方法	小テスト（30%）、実技課題（30%）、期末試験（40%）を統合して評価するが、期末試験は60%以上の得点率を必須とする。				
評価基準	関節可動域測定および徒手筋力検査について実施方法を理解し、実践できるレベルに到達しているか。また、実技の実践方法について、十分な知識を基に詳細に考察することができるか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストについては、回答後の結果開示の際に正答および解説を表示し、リンクを開示し随時復習を可能にする。					
テキスト					
新・徒手筋力検査法 原著第10版	Dale Avers, MarybethBrown 著 津山直一, 中村耕三 訳	協同医書出版社	978-4-7639-0041-8		
理学療法評価学 第3版	内山靖, 岩井信彦	医学書院	978-4-260-03639-9		
参考文献					
解剖学および運動学指定のテキスト					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日13:00~16:00 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）508号室 事前メール連絡で随時対応；t.miyamori.hi@juntendo.ac.jp				
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、検査・測定を実践する能力を養成する。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	宮森 隆行 澤 龍一	【検査・測定学の復習】 検査・測定学で学修したオリエンテーションの方法やインフォームドコンセントを得る方法を正しく実施できるか演習する。また、検査・測定学で学修した関節可動域測定・筋力検査について演習を通して再学修する。	講義および演習により学修を行う。	【予習】（90分） 検査・測定学で学んだ関節可動域測定・筋力検査の復習をしておくこと。 【復習】（90分） 演習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。	
2	高橋 容子 宮森 隆行	【上肢の筋力検査】 上肢（肩甲骨①）の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】（90分） 肩甲骨の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。	

				【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
3	高橋 容子 宮森 隆行	【上肢の筋力検査】 上肢(肩甲骨②)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 肩甲骨の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
4	高橋 容子 飛山 義憲	【上肢の筋力検査】 上肢(肩関節①)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 肩関節の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
5	高橋 容子 飛山 義憲	【上肢の筋力検査】 上肢(肩関節②)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 肩関節の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
6	高橋 容子 飛山 義憲	【上肢の筋力検査】 上肢(肘・前腕・手関節)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 肘・前腕・手関節の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
7	高橋 容子 飛山 義憲 宮森 隆行	【上肢の筋力検査の実技テスト】 上肢(肩甲骨・肩・肘・前腕・手関節)の徒手筋力検査	講義および演習により学修した上肢(肩甲骨・肩・肘・前腕・手関節)の徒手筋力検査の実技テストを実施する。評価方法は、1人複数題の課題に関して、オリエンテーション・インフォームドコンセント・各指定課題に関する知識および技術の正確性について評価を行う。	【予習】(90分) 肩甲骨・肩・肘・前腕・手関節の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 肩甲骨・肩・肘・前腕・手関節の徒手筋力検査の方法を理解し、正確に実施できるように準備をする。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
8	澤 龍一 宮森 隆行	【上肢の筋力検査】 上肢(手指①)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 手指の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
9	澤 龍一 宮森 隆行	【上肢の筋力検査】 上肢(手指②)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 手指の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
10	澤 龍一 宮森 隆行	【頸部・体幹の筋力検査】 頸部・体幹(頭頸部)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 頭頸部の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
11	澤 龍一 宮森 隆行	【頸部・体幹の筋力検査】 頸部・体幹(体幹①)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 体幹の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
12	澤 龍一 宮森 隆行	【頸部・体幹の筋力検査】 頸部・体幹(体幹②)の徒手筋力検査	講義および演習により学修を行う。	【予習】(90分) 体幹の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。
13	澤 龍一 宮森 隆行	【頸部・体幹の筋力検査の実技テスト】 頭頸部・体幹の徒手筋力検査	講義および演習により学修した頭頸部・体幹の徒手筋力検査の実技テストを実施する。評価方法は、1人複数題の課題に関して、オリエンテーション・インフォームドコンセント・各指定課題に関する知識および技術の正確性について評価を行う。	【予習】(90分) 頸部・体幹の運動に関与する筋の起始停止および作用についてまとめる。 頭頸部・体幹の徒手筋力検査の方法を理解し、正確に実施できるように準備をする。 【復習】(90分) 演習内容を復習し、しっかりと知識と技術を定着させること。

科目名	運動療法評価学	授業形態	講義
英語科目名	Evaluation in Therapeutic Exercise	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	齊藤 正和	ナンバリング	SFP3102
担当教員	齊藤 正和、飛山 義憲		
授業概要			
全体内容	本講義では、理学療法中の中心的技術である運動療法の歴史の変遷や論理的枠組みについて学ぶ。運動療法の理論、目的、方法、適応などについて、解剖学、運動学、生理学などの専門基礎科目を基盤として学ぶ。また基本的な運動療法や評価に関する知識に加えて、運動器系、神経系、内部障害系などの障害別の運動療法の原理や臨床で適用可能な知識の修得を目指す。更に運動療法に伴うリスクを最小限にするための評価に基づいた運動療法について学修する。加えて運動療法の安全性、妥当性及び効果を判断する際の評価項目や測定値の精度、信頼性、妥当性について学修する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動療法の目的と原理を説明することができる。 ・運動療法を行ううえで重要なリスク管理を理解し、評価に基づく運動療法を実施することができる。 ・疾患や症状に応じた基本的な運動療法の目的や手技及び評価方法について説明することができる。 		
授業の位置づけ	解剖学、生理学、運動学で学んだ知識を活用し、疾患や病態ごとに必要となる理学療法評価、運動療法の目的や実施方法について学習する授業の位置づけとする。理学療法評価の結果に基づく、基本的な運動療法プログラムの立案について学習し、運動器系理学療法学、神経系理学療法学、内部障害系理学療法学などの疾患別理学療法の授業の基礎的な位置づけとする。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP2-CP1 理学DP2-CP2 理学DP2-CP3 理学DP2-CP4 理学DP2-CP5 理学DP6-CP1 理学DP6-CP2 理学DP6-CP3 理学DP6-CP4 理学DP6-CP5 理学DP7-CP1 理学DP7-CP2 理学DP7-CP3 理学DP7-CP4 理学DP7-CP5		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・解剖学、生理学授業で学んだことの復習を行うこと。 ・各講義前後には必ず予習、復習を行うこと。 ・各講義終了前に講義内容のミニテストを行う。 ・不明な部分があれば講義終了後に担当教員に積極的に質問すること。 		
成績評価の方法			
評価方法	授業毎に実施する小テスト (40%) 期末テスト(60%)		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患や症状に応じた運動療法の目的を説明することができるか？ ・運動療法の原理を説明することができるか？ ・疾患や症状に応じた運動療法を行ううえで重要なリスク管理を理解しているか？ ・疾患や症状に応じた理学療法評価の結果を解釈し、結果に基づき運動療法プログラムを立案できるか？ 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
Google classroomを利用して行う			
テキスト			
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・運動療法学 第2版 障害別アプローチの理論と実際, 文光堂, 編集 市橋則明 ・内部障害理学療法学テキスト, 南江堂, 監修 細田多穂 ・別途、講義資料を配布する。 			

その他				
連絡先・オフィスアワー		メールにて随時対応する。		
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	齊藤 正和	オリエンテーション、運動療法の原則や設定と理論	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】運動療法の歴史、運動療法の目的や原則について調べる (90分) 【復習】運動療法の歴史、運動療法の目的や原則について整理する (90分)
2	齊藤 正和	加齢による機能、能力の変化	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】高齢者の運動機能や能力低下の特徴について調べる (90分) 【復習】高齢者の運動機能や能力低下の特徴について整理する (90分)
3	齊藤 正和	運動による呼吸、循環機能の変化	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】安静時および運動時の呼吸・循環機能について調べる (90分) 【復習】安静時および運動時の呼吸・循環機能について整理する (90分)
4	宮森 隆行	運動による筋の変化	講義、グループワーク、ディスカッション 講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】運動による筋肉の変化について調べる (90分) 【復習】運動による筋肉の変化について整理する (90分)
5	飛山 義憲	関節可動域に対する運動療法と評価法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】関節可動域の評価法および運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】関節可動域の評価法および運動療法の特徴について整理する (90分)
6	飛山 義憲	筋力低下に対する運動療法と評価法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】筋力低下の評価法や運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】筋力低下の評価法や運動療法の特徴について整理する (90分)
7	飛山 義憲	運動学習	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】運動学習について調べる (90分) 【復習】運動学習について整理する (90分)
8	宮森 隆行	持久力低下に対する運動療法と評価法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】持久力低下の評価法や運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】持久力低下の評価法や運動療法の特徴について整理する (90分)
9	宮森 隆行	歩行障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】歩行障害に対する運動療法と評価法について調べる (90分) 【復習】歩行障害に対する運動療法と評価法について整理する (90分)
10	宮森 隆行	姿勢障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】姿勢障害に対する評価と運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】姿勢障害に対する評価と運動療法の特徴について整理する (90分)
11	宮森 隆行	協調性障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】協調性障害の評価法および運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】協調性障害の評価法および運動療法の特徴について整理する (90分)
12	飛山 義憲	バランス障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】バランス障害の評価法や運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】バランス障害の評価法や運動療法の特徴について整理する (90分)
13	齊藤 正和	呼吸障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】呼吸障害の評価法や運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】呼吸障害の評価法や運動療法の特徴について整理する (90分)
14	齊藤 正和	循環障害の評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】循環障害の評価法や運動療法の特徴について調べる (90分) 【復習】循環障害の評価法や運動療法の特徴について整理する (90分)
15	齊藤 正和	高齢者の機能、能力障害に対する評価と運動療法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】高齢者特有の機能、能力低下などの評価法や運動療法について調べる (90分) 【復習】高齢者特有の機能、能力低下などの評価法や運動療法について整理する (90分)

科目名	運動療法評価学実習			授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Therapeutic Exercise Evaluation			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	宮森 隆行			ナンバリング	SFP3103
担当教員	宮森 隆行、齊藤 正和				
授業概要					
全体内容	本実習は、理学療法学的な中心的技術である運動療法及び評価についての理論を実際に体得することを目的とする。本実習は、運動学、解剖学、生理学などの専門基礎科目を基盤とする科目である。運動器系・神経系・内部障害系など様々な疾患や症状に対応する運動療法と評価の原理と方法を学習する。ストレッチ、レジスタンストレーニング、バランストレーニング、歩行障害に対する運動療法、心拍数や自覚的運動強度に基づく運動処方、高齢者に対する運動療法などの基本的な手技を習得することを目的とする。また運動療法機器や運動療法評価に用いる機器の使用法や測定値の解釈について、教科書と資料を用いた実習に加え、各実習の課題、グループ発表、小テストを実施する。				
到達目標	1) 運動に対する生体の反応を理解する。 2) 機能、能力障害に対する評価および運動療法の実施方法について理解する。				
授業の位置づけ	本授業では、運動療法評価学で学修した運動療法を行う場合の基礎知識を用いて、各種障害に対する運動療法を学修する。具体的には、関節可動域制限、筋力低下、持久力低下、バランス・姿勢障害、協調性運動障害、循環と代謝に焦点を当て、障害分類、評価の進め方、運動療法の進め方について理解を深め、実践する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C I、DP2-C I 理学DP1-C I、DP2-C I、DP3-C I、DP4-C I、DP5-C I				
履修上の注意、履修要件	前期に学習した運動療法評価学を十分に復習して臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	実習課題(10%)、グループ発表(10%)、小テスト(30%)、定期試験 (50%)による。				
評価基準	各種運動療法の評価内容および方法を理解し、実施できるレベルに到達しているか。また、リスク管理の下で運動療法を安全に実施することができるかを基準とする。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストについては授業内で解説を行い、後日Juntendo Passportに解説をアップロードする。					
テキスト					
運動療法学 第2版	市橋則明編	文光堂	978-4-8306-4503-7		
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	火曜日：15:00-17:00 本郷・お茶の水キャンパス 保健医療学部理学療法学科 5階 t.miyamori.hi@juntendo.ac.jp (事前メールにて随時対応)				
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、理学療法を実践する能力を養成する。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	宮森	運動に対する筋の反応や筋力低下に対する評価と運動機能 (1)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。	
2	宮森	運動に対する筋の反応や筋力低下に対する評価と運動機能 (2)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。	

3	宮森	運動に対する筋の反応や筋力低下に対する評価と運動機能 (3)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
4	宮森	運動に対する筋の反応や筋力低下に対する評価と運動機能 (4)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
5	齊藤	運動による呼吸・循環機能の反応と持久力低下の評価と運動療法 (1)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
6	齊藤	運動による呼吸・循環機能の反応と持久力低下の評価と運動療法 (2)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
7	齊藤	運動による呼吸・循環機能の反応と持久力低下の評価と運動療法 (3)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
8	齊藤	運動による呼吸・循環機能の反応と持久力低下の評価と運動療法 (4)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
9	作山	関節可動域制限に対する評価と運動療法 (1)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
10	作山	関節可動域制限に対する評価と運動療法 (2)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
11	作山	関節可動域制限に対する評価と運動療法 (3)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
12	作山	関節可動域制限に対する評価と運動療法 (4)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
13	齊藤	高齢者の包括的評価と運動療法 (1)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
14	齊藤	高齢者の包括的評価と運動療法 (2)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。
15	藤野	バランス障害に対する評価と運動療法・運動学習 (1)	講義および実習により学習を行う。	【予習】 (90分) 該当部分の解剖学、生理学の復習をしておくこと。 【復習】 (90分) 実習内容を復習し、しっかりと知識を定着させること。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	理学療法画像評価学	授業形態	講義	
英語科目名	Clinical Imaging Evaluation in Physical Therapy	開講学期	2023年度前期(SPR)	
対象学年	3年	単位数	1単位	
代表教員	京極 伸介	ナンバリング	SFP3104	
担当教員	京極 伸介			
授業概要				
全体内容	本講義では、放射線の特徴、各種画像診断機器（一般撮影装置、X線透視装置、CT装置、MRI装置、血管造影装置、核医学装置、超音波装置など）、それらから得られる各種画像の特徴と基本的な読影方法について講義する。また理学療法の対象となる中枢神経疾患（脳卒中、脳血管障害、脊髄損傷など）、整形外科疾患（骨折、変形性関節症、椎間板ヘルニア、靭帯損傷など）、呼吸器疾患（肺炎、慢性閉塞性肺疾患など）、心疾患（心不全、心筋梗塞など）の画像の特徴について臨床例を供覧し、理学療法への活用について教授する。			
到達目標	各種画像診断機器の特徴を理解し説明できる。 リハビリテーションの対象となる代表的疾患の画像所見について理解し説明できる。 画像所見を理解し、それに応じた適切なリハビリテーションプランを選択できる。			
授業の位置づけ	専門分野 理学療法評価学			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	DP3-C1 人体の機能や構造および疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身につけていること。 理学療法を必要としている人々に対して、科学的根拠に基づき理学療法を実践できること。			
履修上の注意、履修要件	事前に解剖学の復習をし、正常人体解剖を理解しておくこと。 講義で学ぶ画像解剖と人体解剖をリンクさせ、理解を深める。 事前あるいは事後に配布される資料やテキストを参考に知識をまとめる。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（90%）と平常点（10%）の合計点より最終評価を行う。			
評価基準	成績不良と判定された場合は再試験あるいは課題レポート提出の対象となる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
juntendo-passportによる情報配信あるいは紙ベースでの資料配付を検討				
テキスト				
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メールにて随時対応 skyogoku@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験	1年次前期の「キャリアデザインゼミナール」、2年次前期の「放射線診断学」、2年次後期の「X線撮影技術学II(血管造影・MRI)」を担当している。 医師としての臨床経験を活かし、学生指導にあたる。			
備考	授業開始時期は決定次第、JUNTENDO-PASSPORTにて告知する。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	京極伸介	【総論】 画像診断の歴史と各種画像診断装置の概説について学習する。	講義	【予習】（90分） 画像診断機器についてテキストで予習し、概略を理解しておくこと。 【復習】（90分） 事前あるいは事後に配布された資料を見直し、必要事項を補足し整理しておくこと。

科目名	物理療法学			授業形態	講義
英語科目名	Physical Agents			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	2単位
代表教員	山口 智史			ナンバリング	SFP3200
担当教員	山口 智史				
授業概要					
全体内容	物理療法の目的である機能障害や活動制限、参加制約の評価、治療、予防を実践するための物理療法の知識（評価手法、物理療法の原理、目的、生理的作用、適応、禁忌、実施方法の手順）についての講義である。本講義では、物理療法で使用される電気生理的エネルギーや生物物理学的エネルギーによる生体反応を理解し、適応及び禁忌についての知識を習得することが主目的である。また物理療法の適応となる病態の理解から、その病態に適した物理療法を選択し、正しく使用するための実施方法と効果判定について教授する。評価手法においては、超音波検査法や電気生理学的検査法などについて教授する。また最新の物理療法に関する知見についても講義し、臨床で物理療法機器を使用するための基礎と応用について教授する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法による生体反応、適応および禁忌について説明することができる。 2. 物理療法の正しい実施方法、効果判定方法について説明することができる。 3. 病態に適した物理療法を選択し、理学療法プログラムに取り入れることができる。 				
授業の位置づけ	物理療法学は、神経系、筋骨格系、循環（心臓・血管）、代謝などの解剖学・生理学・病理学などの科目で学習する知識と高等学校で学習する程度の物理（特に、電磁気学、波、熱、力学）に関する知識を応用する必要がある。また、物理療法学実習の科目では、本授業で学んだ知識を基に、物理療法機器の操作などの実習を行う必要がある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-CⅠ、理学DP2-CⅠ				
履修上の注意、履修要件	物理療法学を十分に理解するためには、解剖学・生理学・病理学などの知識と高等学校で学習する程度の物理（特に、電磁気学、波、熱、力学）に関する知識が必要となる。履修前に、神経系、筋骨格系、循環（心臓・血管）、代謝などの解剖学・生理学・病理学と物理に関する復習を行うことが重要である。				
成績評価の方法					
評価方法	<p>定期試験、授業内課題、授業態度を総合して、全体で100%として評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験：筆記試験により知識の理解度を60%の割合で評価する。 2. 授業内課題：小テスト、レポート、プレゼンテーションなどにより、課題の達成度を20%の割合で評価する。 3. 授業態度：授業への参加や積極性を判断し、20%の割合で評価する。 				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法による生体反応、適応および禁忌について説明することができるか。 2. 物理療法の正しい実施方法、効果判定方法について説明することができるか。 3. 病態に適した物理療法を選択し、理学療法プログラムに取り入れることができるか。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
課題提出締切後、授業内で返却する。講義に関する質問などは、次回講義の最初に解説する。					
テキスト					
物理療法学（標準理学療法学 専門分野）	網本 和 / 菅原 憲一	医学書院	978-4-260-03948-2		
参考文献					
エビデンスから身につける物理療法、庄本康治、羊土社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	火曜日：11:00～12:00				
担当教員の実務経験	日本理学療法士協会が認定する専門理学療法士（物理療法）取得、日本理学療法学会連合の物理療法研究会・副理事長、日本物理療法学会理事、世界理学療法連盟（WPT）サブグループの国際物理療法学会（International Society for Electrophysical Agents in Physical Therapy：ISEAPT）・理事				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	山口 智史	【物理療法学総論】 物理療法の歴史、定義、各種物理療法の紹介、物理療法で使用する評価方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 物理療法の種類について、教科書で確認し、それぞれの目的を大まかに理解す	

				る。 【復習】（90分） 各種物理療法について、目的によって分類することで、適応について大まかに理解する。
2	山口 智史	【物理療法に関わる評価Ⅰ】 病態に合わせて適切な物理療法を選択するための、疼痛評価、超音波検査法などの方法とデータ解釈について講義する。	講義	【予習】（90分） 疼痛の評価について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 疼痛の評価について、実際に使用する。
3	山口 智史	【炎症の病態と物理療法】 炎症の理解、炎症治療に用いられる物理療法（寒冷療法、光線療法、超音波療法、電気刺激療法（TENS）など）の生理的作用、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 炎症の病理について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 炎症が生じる過程で、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
4	山口 智史	【疼痛の病態と物理療法Ⅰ】 急性期疼痛の理解、疼痛治療に用いられる物理療法（寒冷療法、光線療法、超音波療法、電気刺激療法（TENS）など）の生理的作用、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 急性期疼痛について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 急性期疼痛に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
5	山口 智史	【疼痛の病態と物理療法Ⅱ】 亜急性期疼痛の理解、亜急性期疼痛の治療に用いられる物理療法（温熱療法、超音波療法、電気刺激療法（TENS・NMES）など）の生理的作用、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 亜急性期の疼痛について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 亜急性期の疼痛に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
6	山口 智史	【疼痛の病態と物理療法Ⅲ】 慢性期疼痛の理解、慢性期疼痛の治療に用いられる物理療法（温熱療法、光線療法、振動刺激療法など）の生理的作用、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 慢性期疼痛について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 慢性期の疼痛に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
7	山口 智史	【関節可動域制限と物理療法】 関節可動域制限の理解、関節可動域制限の治療に用いられる物理療法（超音波療法、持続性他動運動（CPM）など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 関節可動域制限の病理について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 関節可動域制限に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
8	山口 智史	【物理療法に関わる評価Ⅱ】 病態に合わせて、適切な物理療法を選択するための電気生理学的評価（誘発筋電図・経頭蓋磁気刺激など）の方法とデータ解釈について講義する。	講義	【予習】（90分） 生理学（特に脊髄反射）と解剖学（運動関連脳領域）について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 各種の評価によって、何がわかるのかを整理する。
9	山口 智史	【中枢神経疾患の症状と物理療法Ⅰ】 痙縮の病態の理解、痙縮治療に用いられる物理療法（電気刺激療法（TES）、振動刺激療法など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。廃用性筋力低下の理解、廃用性筋力低下の治療に用いられる物理療法（電気刺激療法（NMES）、パルス磁気刺激など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 痙縮の病態と廃用性筋力低下について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 痙縮と廃用性筋力低下に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
10	山口 智史	【中枢神経疾患の症状と物理療法Ⅱ】 運動麻痺の理解、運動麻痺の治療に用いられる物理療法（電気刺激療法（FES）、バイオフィードバック療法など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） 運動麻痺（特に運動に関わる解剖学）について、教科書で確認する。 【復習】（90分） 運動麻痺に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
11	山口 智史	【創傷の病態と物理療法】 創傷と組織回復の理解、創傷治療に用いられる物理療法（超音波療法、水治療法、電気刺激療法など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分）創傷と組織回復の過程について、教科書で確認する。 【復習】（90分）創傷に対して、各種物理療法がどのような影響を与えることができるのかを整理する。
12	山口 智史	【スポーツ傷害の物理療法】 スポーツ傷害に用いられる物理療法（電気刺激療法、超音波療法、寒冷療法、ショウウェア療法など）の生理的作用、治療内容、適応と禁忌、実施方法について講義する。	講義	【予習】（90分） スポーツ傷害の症状について、教科書で確認する。 【復習】（90分）

科目名	物理療法学実習			授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Electrophysical Agents			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	山口 智史			ナンバリング	SFP3201
担当教員	山口 智史、高橋 容子、春山 幸志郎				
授業概要					
全体内容	「物理療法学」で得た知識（評価手法、物理療法の原理、目的、生理的作用、適応、禁忌、実施方法の手順）について、実技演習を通して、具体的な手順や実施方法について学ぶことが目的である。実技演習では、知識について復習し、学生同士でオリエンテーションや機器操作を行い、自ら物理療法を体験することで、臨床で実施するための一連の流れについて習得する。また、機器の安全性確認、メンテナンスの方法についても教授し、臨床で物理療法を実施する理学療法士として、安全確実に試行できるようになることが目標である。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法による生体反応、適応および禁忌を理解し、病態に応じた適切な物理療法を選択することができる。 2. 物理療法に用いる機器を、適切な手順で操作することができる。 3. 物理療法前後の生体反応から、その効果について論理的に説明することができる。 				
授業の位置づけ	物理療法学実習は、神経系、筋骨格系、循環（心臓・血管）、代謝などの解剖学・生理学・病理学などの科目で学習する知識と高等学校で学習する程度の物理（特に、電磁気学、波、熱、力学）に関する知識を応用する必要がある。また、同時に開講されている「物理療法学」で得た知識として、評価手法、物理療法の原理、目的、生理的作用、適応、禁忌、実施方法の手順を利用して、実技演習を遂行することで、具体的な手順や実施方法を習得する必要がある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1、理学DP3-C1、理学DP4-C1				
履修上の注意、履修要件	講義では、肩や大腿を露出できる服装で出席すること。物理療法学実習の内容を十分に理解するためには、解剖学・生理学・病理学などの知識と高等学校で学習する程度の物理（特に、電磁気学、波、熱、力学）に関する知識が必要となる。履修前に、神経系、筋骨格系、循環（心臓・血管）、代謝などの解剖学・生理学・病理学と物理に関する復習および物理療法学の復習を行うことが重要である。また、物理療法学で学んだ知識に基づいて、実験と実習を行う必要があるが、機器を使用するため、特にリスク管理については復習が必須となる。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験、授業内課題、授業態度を総合して、全体で100%として評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験：筆記試験により知識の理解度を60%の割合で評価する。 2. 授業内課題：小テスト、レポート、プレゼンテーション、グループディスカッション、実技などにより、課題の達成度を20%の割合で評価する。 3. 授業態度：授業への参加や積極性を判断し、20%の割合で評価する。 				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理療法による生体反応、適応および禁忌を理解し、病態に応じた適切な物理療法を選択することができるか。 2. 物理療法に用いる機器を、適切な手順で操作することができるか。 3. 物理療法前後の生体反応から、その効果について論理的に説明することができるか。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
課題提出締切後、授業内で返却する。レポート課題は、次回講義以降で返却とフィードバックする。					
テキスト					
物理療法学（標準理学療法学 専門分野）	網本 和 / 菅原 憲一	医学書院	978-4-260-03948-2		
参考文献					
エビデンスから身につける物理療法、庄本康治、羊土社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	火曜日11:00～12:00（山口智史）				
担当教員の実務経歴	日本理学療法士協会が認定する専門理学療法士（物理療法）取得、日本理学療法学会連合の物理療法研究会・副理事長、日本物理療法学会・理事、世界理学療法連盟サブグループの国際物理療法学会（International Society for Electrophysical Agents in Physical Therapy: ISEAPT）・理事				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

科目名	運動器系理学療法学		授業形態	講義
英語科目名	Musculoskeletal Physical Therapy		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年		単位数	2単位
代表教員	飛山 義憲		ナンバリング	SFP3202
担当教員	飛山 義憲、相澤 純也、中村 絵美			
授業概要				
全体内容	本講義では、運動器系疾患を正しく理解し、運動器系疾患に対する理学療法を学ぶことを目的とする。各運動器系疾患における症状や障害を理解し、それらに対する評価項目およびその実施方法を学ぶ。特に、これまでに学修した検査・測定だけでなく、疾患特異的な整形外科的テストを含めた基本的な評価項目を学ぶとともに、症状や障害の原因を追究する姿勢を身につける。さらに、症状や障害の原因に対する標準的な理学療法を学ぶことで、運動器系疾患に対する基本的な理学療法評価、治療プログラムの立案を自ら実践することを目標とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器系疾患の症状や障害を説明できる。 ・症状や障害に対し行うべき評価を挙げ、実施方法を説明できる。 ・症状や障害の原因に対し行うべき介入を挙げ、実施方法を説明できる。 			
授業の位置づけ	本授業では解剖学や運動学、検査・測定学や運動療法評価学で学修した知識を基に、運動器疾患に対する評価方法や介入方法について学修する。また、本授業で学修した知識は、運動器系理学療法学実習において実際に実技で行うことができるよう発展させる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1①, 理学DP3, 4-C1①：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる 共通DP2-C1②, 理学DP3, 4-C1②：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる 共通DP2-C1③, 理学DP3, 4-C1③：エビデンスに基づく理学療法を理解し、それに基づく基本的な理学療法を計画、実践できる			
履修上の注意、履修要件	各疾患に該当する部位の解剖学、運動学、検査・測定の復習を行い、積極的な態度で授業に臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	期末試験（60％）および小テスト（40％）との合計点により最終評価を行う。ただし、期末試験は60%以上の得点率を必須とする。			
評価基準	授業で扱う運動器疾患に関して症状や障害を理解し、それらに対する理学療法評価を挙げ、実際の実施方法を説明できる程度に理解できているか。また、それらの症状や障害の典型的な原因に対する標準的な介入方法を挙げ、実際の実施方法を説明できる程度に理解できているか。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
小テストは回答送信直後に回答と解説を閲覧できるようにする。				
テキスト				
ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	神野哲也／監、相澤純也、中丸宏二／編	羊土社	978-4-7581-0787-7	
参考文献				
解剖学および運動学、検査・測定学、運動療法評価学指定のテキスト				
その他				
連絡先・オフィスアワー	水曜日13：00～16：00 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 事前メール連絡で随時対応；y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、理学療法を実践する能力を養成する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飛山 義憲	【運動器系疾患の理学療法の概要】 運動器系疾患の理学療法評価及び理学療法をどのように進めていくべきかを概観する。	講義により授業を行う。	【予習】検査・測定学における理学療法評価の流れについて復習する。（90分） 【復習】理学療法評価の流れ、痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究についてまとめる。（90分）
2	飛山 義憲	【変形性膝関節症に対する理学療法】 変形性膝関節症の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】膝関節の解剖学や運動学を復習し、さらに膝関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。

				(90分) 【復習】変形性膝関節症に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。(90分)
3	飛山 義憲	【人工膝関節置換術に対する理学療法】 人工膝関節置換術後の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】膝関節の解剖学や運動学を復習し、さらに膝関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】人工膝関節置換術後に行うべき評価の定量化と原因追究、および典型的な理学療法プロトコルについてまとめる。(90分)
4	相澤 純也	【膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する理学療法】 膝関節靭帯損傷、半月板損傷の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】膝関節の解剖学や運動学を復習し、さらに膝関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。特に整形外科的テストについてまとめる(90分)
5	相澤 純也	【膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する理学療法】 膝関節靭帯損傷、半月板損傷の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】膝関節の解剖学や運動学を復習し、前回の授業内容を復習する。(90分) 【復習】膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。特に整形外科的テストについてまとめる(90分)
6	飛山 義憲	【変形性股関節症に対する理学療法】 変形性股関節症の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】股関節の解剖学や運動学を復習し、さらに股関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】変形性股関節症に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。(90分)
7	飛山 義憲	【人工股関節置換術に対する理学療法】 人工股関節置換術後の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】股関節の解剖学や運動学を復習し、さらに股関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】人工股関節置換術後に行うべき評価の定量化と原因追究、および典型的な理学療法プロトコルについてまとめる。特に、脱臼肢位については重点的にまとめること。(90分)
8	中村 絵美	【大腿骨近位部骨折に対する理学療法】 大腿骨近位部骨折の分類や、観血的治療の種類、術後の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】股関節の解剖学や運動学、大腿骨に関する解剖学を復習し、さらに股関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】大腿骨近位部骨折術後に行うべき評価の定量化と原因追究、および典型的な理学療法プロトコルについてまとめる。特に、人工骨頭置換術と骨接合術の荷重についての考え方、脱臼肢位について重点的にまとめること。(90分)
9	中村 絵美	【大腿骨近位部骨折に対する理学療法】 大腿骨近位部骨折の分類や、観血的治療の種類、術後の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】股関節の解剖学や運動学、大腿骨に関する解剖学を復習し、前回の授業内容を復習する。(90分) 【復習】大腿骨近位部骨折術後に行うべき評価の定量化と原因追究、および典型的な理学療法プロトコルについてまとめる。特に、人工骨頭置換術と骨接合術の荷重についての考え方、脱臼肢位について重点的にまとめること。(90分)
10	相澤 純也	【脊椎疾患に対する理学療法】 脊椎疾患(腰椎椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など)の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】脊椎、特に腰部の解剖学や運動学を復習し、腰部に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】脊椎疾患に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。(90分)
11	相澤 純也	【脊椎疾患に対する理学療法】 脊椎疾患(腰椎椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など)の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】脊椎、特に腰部の解剖学や運動学を復習し、腰部に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分) 【復習】脊椎疾患に対し行うべき評価の定量化と原因追究、および介入方法についてまとめる。(90分)
12	中村 絵美	【肩関節疾患に対する理学療法】 肩関節疾患(腱板損傷など)の症状や障害、それらに対する評価方法と介入方法を学習する。	講義により授業を行う。	【予習】肩関節の解剖学や運動学を復習し、さらに肩関節に関連する痛み、関節可動域制限、筋力低下に対する評価における、定量化と原因追究を復習する。(90分)

科目名	運動器系理学療法実習			授業形態	実技
英語科目名	Practice of Musculoskeletal Physical Therapy			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年			単位数	1単位
代表教員	飛山 義憲			ナンバリング	SFP3203
担当教員	飛山 義憲、相澤 純也、中村 絵美				
授業概要					
全体内容	本実習では、運動器系理学療法において学修した理学療法評価や治療に関する知識をさらに発展させ、各運動器系疾患に対する疾患特異的な評価方法や理学療法の技術を実習を通して習得することを目的とする。前期の運動器系理学療法で学修した知識を復習し、模擬患者に対して理学療法評価を行うことで疾患特異的な注意点を学ぶ。また、各疾患に対する運動療法を自ら体験し、指導することで理学療法の実践方法についても学修する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・症状や障害に対し行うべき評価を、疾患特異的な注意点に気をつけながら実践できる。 ・症状や障害の原因に対し行うべき介入を指導できる。 				
授業の位置づけ	本授業では運動器系理学療法で学修した運動器疾患に対する評価や介入を実習形式で実践する。さらに、本授業で学修した実践方法を臨床実習において行うことができるよう発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1①, 理学DP3, 4-C1①：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる 共通DP2-C1②, 理学DP3, 4-C1②：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる 共通DP2-C1③, 理学DP3, 4-C1③：エビデンスに基づく理学療法を理解し、それに基づく基本的な理学療法を計画、実践できる				
履修上の注意、履修要件	本授業では運動器系理学療法で学修した知識を基に実習を行うため、運動器系理学療法の復習を行い積極的な態度で授業に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	期末試験（50％）、小テスト（25％）、授業内レポート（25％）との合計点により最終評価を行う。ただし、期末試験は60％以上の得点率を必須とする。				
評価基準	授業で扱う運動器疾患に対する理学療法評価を実践できる程度に実施方法、疾患特異的な注意点について理解できているか。 各運動器疾患に対する標準的な介入を実践できる程度に実施方法について理解できているか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストは回答送信直後に回答と解説を閲覧できるようにする。 授業内レポートについては授業内で解説を行う。					
テキスト					
ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	神野哲也／監, 相澤純也, 中丸宏二／編	羊土社	978-4-7581-0787-7		
参考文献					
解剖学、運動学、検査・測定学、運動療法評価学で指定されたテキスト					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日13：00～16：00 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 事前メール連絡で随時対応；y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp				
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、理学療法を実践する能力を養成する。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	飛山 義憲	【運動器疾患における関節可動域の評価と治療】 運動器疾患において関節可動域を評価する際の注意点や関節可動域制限をどのように想定するかについて学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】関節可動域の評価について復習する。（90分） 【復習】運動器疾患において関節可動域を評価する際の注意点や関節可動域制限をどのように想定するかについてまとめる。（90分）	
2	飛山 義憲	【運動器疾患における関節可動域の評価と治療】 運動器疾患において関節可動域を評価する際の注意点や関節可動域制限をどのように想定するかについて学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】関節可動域の評価について復習する。（90分） 【復習】運動器疾患において関節可動域を評価する際の注意点や関節可動域制限をどのように想定するかについてまとめる。（90分）	

3	飛山 義憲	【運動器疾患における筋力の評価と治療】 運動器疾患において筋力を評価する際の注意点や筋力低下をどのように想定するかについて学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】徒手筋力検査の方法、筋力の評価について復習する。(90分) 【復習】運動器疾患において筋力を評価する際の注意点や筋力低下をどのように想定するかについてまとめる。(90分)
4	飛山 義憲	【運動器疾患における筋力の評価と治療】 運動器疾患において筋力を評価する際の注意点や筋力低下をどのように想定するかについて学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】徒手筋力検査の方法、筋力の評価について復習する。(90分) 【復習】運動器疾患において筋力を評価する際の注意点や筋力低下をどのように想定するかについてまとめる。(90分)
5	中村 絵美	【アライメント異常に対する評価と治療】 アライメント異常に対する評価の方法と、その原因に対する介入方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】運動学で学習した姿勢について復習する。(90分) 【復習】アライメントの評価方法、介入方法についてまとめる。(90分)
6	中村 絵美	【アライメント異常に対する評価と治療】 アライメント異常に対する評価の方法と、その原因に対する介入方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】運動学で学習した姿勢について復習する。(90分) 【復習】アライメントの評価方法、介入方法についてまとめる。(90分)
7	飛山 義憲	【変形性膝関節症に対する理学療法】 変形性膝関節症に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】変形性膝関節症に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、痛みが生じる局面を想定できるようにすること。(90分)
8	飛山 義憲	【変形性膝関節症に対する理学療法】 変形性膝関節症に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】変形性膝関節症に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、痛みが生じる局面を想定できるようにすること。(90分)
9	飛山 義憲	【人工膝関節置換術後の理学療法】 人工膝関節置換術後の評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】人工膝関節置換術後の評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、伸展制限の制限因子を特定する手順についてまとめること。(90分)
10	飛山 義憲	【人工膝関節置換術後の理学療法】 人工膝関節置換術後の評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】人工膝関節置換術後の評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、伸展制限の制限因子を特定する手順についてまとめること。(90分)
11	相澤 純也	【膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する理学療法】 膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、整形外科的テストについては実践できるようにまとめること。(90分)
12	相澤 純也	【膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する理学療法】 膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】膝関節靭帯損傷、半月板損傷に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、整形外科的テストについては実践できるようにまとめること。(90分)
13	飛山 義憲	【変形性股関節症に対する理学療法】 変形性股関節症に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】変形性股関節症に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、歩行観察のポイントをまとめること。(90分)
14	飛山 義憲	【変形性股関節症に対する理学療法】 変形性股関節症に対する評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】変形性股関節症に対する評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、歩行観察のポイントをまとめること。(90分)
15	飛山 義憲	【人工股関節置換術後の理学療法】 人工股関節置換術後の評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】人工股関節置換術後の評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、脱臼位に留意したADLを実践できるようまとめること。(90分)
16	飛山 義憲	【人工股関節置換術後の理学療法】 人工股関節置換術後の評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】人工股関節置換術後の評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、脱臼位に留意したADLを実践できるようまとめること。(90分)
17	中村 絵美	【大腿骨近位部骨折術後の理学療法】 大腿骨近位部骨折術後の評価における疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法について学習する。	講義および演習による実技練習を行う。	【予習】大腿骨近位部骨折術後の評価方法と介入方法について復習する。(90分) 【復習】疾患特異的な注意点および理学療法の実践方法についてまとめる。特に、荷重に注意した進め方、脱臼位の有無についてまとめること。(90分)

科目名	神経系理学療法学		授業形態	講義
英語科目名	Neurological Physical Therapy		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年		単位数	2単位
代表教員	眞壁 寿		ナンバリング	SFP3204
担当教員	眞壁 寿、藤野 雄次、春山 幸志郎、山口 智史			
授業概要				
全体内容	神経系疾患への理学療法は、理学療法の大きな柱の1つである。Evidence-Based Medicine (EBM) に基づいた理学療法プログラムを取捨選択できる能力を本講義で修得する。講義では、脳卒中急性期、回復期、維持期などの各病期に応じた理学療法評価、理学療法プログラム、リスク管理、早期離床に向けたアプローチ、機能予後、リハビリテーションエビデンスレベルなどを教授する。また頭部外傷・脳腫瘍・高次脳機能障害を有した疾患に対する理学療法、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多発性硬化症の変性疾患に対する理学療法、重症筋無力症・多発性神経炎・脊髄損傷に対する理学療法などを教授する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中の病期に応じた基本的な理学療法評価、理学療法プログラム、リスク管理を理解し、説明できる。 ・脳卒中の機能予後、リハビリテーションエビデンスレベルを理解し、説明できる。 ・代表的な神経筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症、多発性神経炎、脊髄損傷など）の基本的な理学療法評価、理学療法プログラム、リスク管理を理解し、説明できる。 			
授業の位置づけ	神経系理学療法は理学療法の大きな柱の1つです。各種神経系疾患の理学療法評価、理学療法プログラムを学習します。エビデンスに基づいた理学療法プログラムを取捨選択できる能力を養います。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I、共通DP3-C I、理学DP3-C I、理学DP4-C I、理学DP5-C I			
履修上の注意、履修要件	神経系理学療法は臨床での大きな柱のひとつです。EBMに基づいた理学療法プログラムを取捨選択できる能力をこの授業で養ってください。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100％）により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中の病期に応じた基本的な理学療法評価、理学療法プログラム、リスク管理を理解し、説明できる。 ・脳卒中の機能予後、リハビリテーションエビデンスレベルを理解し、説明できる。 ・代表的な神経筋疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症、多発性神経炎、脊髄損傷など）の基本的な理学療法評価、理学療法プログラム、リスク管理を理解し、説明できる。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
15レクチャーシリーズ神経障害理学療法学Ⅰ	石川朗	中山書店	978-4-521-74496-4	
15レクチャーシリーズ神経障害理学療法学Ⅱ	石川朗	中山書店	978-4-521-74497-1	
参考文献				
脳卒中治療ガイドライン2015 日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会（参考書）				
脳卒中急性期における看護ケアとリハビリテーション完全ガイド 曷川元（編） 慧文社（参考書）				
ビジュアル実践リハ 脳・神経系リハビリテーション 潮見泰蔵（編） 羊土社（参考書）				
最新理学療法学講座 中枢神経系理学療法学 山口智史 山田実（編） 医歯薬出版社（参考書）				
その他				
連絡先・オフィスアワー	木曜日9：00～10：30保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）505号室 眞壁 寿：h.makabe.lv@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階505号室） 事前メール連絡で随時対応 山口智史：t.yamaguchi.ja@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階503号室） 事前メール連絡で随時対応 藤野雄次：y.fujino.pb@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室） 事前メール連絡で随時対応 春山幸志郎：k.haruyama.us@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室） 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。			
備考				
授業計画				

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脳卒中に対する理学療法総論、脳卒中の疫学、病態、急性期離床基準、中止基準、疾患別離床プログラム	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中の疫学 ・中枢神経系の構造と機能 ・脳の血管と灌流領域 ・脳卒中の病態 (脳梗塞、脳塞栓、ラクナ梗塞、脳出血、小脳出血、脳動脈瘤、くも膜下出血) ・脳卒中急性期離床基準、リスク、疾患別離床プログラム <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中の疫学 ・中枢神経系の構造と機能 ・脳の血管と灌流領域 ・脳卒中の病態 (脳梗塞、脳塞栓、ラクナ梗塞、脳出血、小脳出血、脳動脈瘤、くも膜下出血) ・脳卒中急性期離床基準、リスク、疾患別離床プログラム
2	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	意識障害の評価 (JCS、GCS)、連合反応、共同運動、中枢性麻痺の回復過程、Brunnstrom Recovery Stage (BRS)、上田の12段階グレード、軽度の麻痺の評価法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCS、GCS ・連合反応、共同運動 ・BRS ・上田の12段階グレード <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JCS、GCS ・連合反応、共同運動 ・BRS ・上田の12段階グレード
3	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脳卒中の包括的な評価 (日本語版modified Rankin Scale (mRS)、Stroke Impairment Assessment Set (SIAS)、Fugl-Meyer Assessment (FMA)、modified NIH Stroke Scale (mNIHSS))	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・mRS ・SIAS ・FMA ・mmNIHSS <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・mRS ・SIAS ・FMA ・mmNIHSS
4	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	反射・筋緊張異常と評価	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深部腱反射、表在反射、病的反射、クローヌス ・反射の評価と病態の把握 ・固縮、痙縮 ・modified Ashworth Scale (MAS)、Modified Tardieu Scale (MTS) <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深部腱反射、表在反射、病的反射、クローヌス ・反射の評価と病態の把握 ・固縮、痙縮 ・modified Ashworth Scale (MAS)、Modified Tardieu Scale (MTS)
5	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	高次脳機能障害の基礎と理学療法1	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意障害 ・半側空間無視 ・病態失認 ・身体失認 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意障害

				<ul style="list-style-type: none"> ・半側空間無視 ・病態失認 ・身体失認
6	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	高次脳機能障害の基礎と理学療法2	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pusher現象 ・失語症 ・失行症 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pusher現象 ・失語症 ・失行症
7	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	感覚検査と脳神経検査	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚機能、感覚、知覚、認知 ・感覚情報の伝達、感覚の障害、感覚検査 ・脳神経の検査 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚機能、感覚、知覚、認知 ・感覚情報の伝達、感覚の障害、感覚検査 ・脳神経の検査
8	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脳卒中後のリハビリテーション (基本動作、ADL障害)	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりの原因 ・脳卒中中の代表的症状 ・脳卒中リハビリテーションの流れ ・チーム医療 ・嚥下障害、排尿障害 ・生活期におけるQOL ・動作における問題 ・ADL評価指標 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりの原因 ・脳卒中中の代表的症状 ・脳卒中リハビリテーションの流れ ・チーム医療 ・嚥下障害、排尿障害 ・生活期におけるQOL ・動作における問題 ・ADL評価指標
9	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	廃用性症候群と合併症の予防、十分なリスク管理と早期離床	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃用性症候群とその予防 ・リスク管理と早期離床 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃用性症候群とその予防 ・リスク管理と早期離床
10	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脳卒中回復期の理学療法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中リハビリテーションの流れ ・回復期リハビリテーション病棟 ・チーム医療、適切な治療選択と実施、補助具、装具、義足 ・ADL動作 ・退院後の生活 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中リハビリテーションの流れ

				<ul style="list-style-type: none"> 回復期リハビリテーション病棟 チーム医療、適切な治療選択と実施、補助具、装具、義足 ADL動作 退院後の生活
11	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脳卒中生活期の理学療法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療保険から介護保険 介護保険サービス 復職 通所リハと訪問リハ 日常生活とQOL 地域包括ケアシステム <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療保険から介護保険 介護保険サービス 復職 通所リハと訪問リハ 日常生活とQOL 地域包括ケアシステム
12	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	パーキンソン病の理学療法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病態、疫学、症状、障害象 治療薬、日内変動、深部脳刺激 評価 (Hoehn and Yahr stage、UPDRSなど) 理学療法の実際 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病態、疫学、症状、障害象 治療薬、日内変動、深部脳刺激 評価 (Hoehn and Yahr stage、UPDRSなど) 理学療法の実際
13	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	運動失調症と多発性硬化症の理学療法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動失調症 (SCD、MSA、OPCA、SDS)、多発性硬化症 (MS) 運動失調症とMSに対する理学療法評価 運動失調症とMSに対する理学療法 病期に応じたリハビリテーション <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動失調症 (SCD、MSA、OPCA、SDS)、多発性硬化症 (MS) 運動失調症とMSに対する理学療法評価 運動失調症とMSに対する理学療法 病期に応じたリハビリテーション
14	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	ギランバレー症候群 (GBS)、重症筋無力症 (MG)、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)に対する理学療法	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ギランバレー症候群 (GBS)、重症筋無力症 (MG)、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)の病態 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記3疾患の病態、治療、分類、経過、理学療法評価、理学療法
15	眞壁 寿 山口智史 藤野雄次 春山幸志郎	脊髄損傷の理学療法、症状、呼吸障害、排尿障害、Zancolli分類、ASIA機能障害尺度。	講義	<p>【予習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷の病態、治療 <p>【復習】 (90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> Zancolli分類 ASIA機能障害尺度 脊髄損傷の理学療法

科目名	神経系理学療法実習			授業形態	演習
英語科目名	Practice of Neurological Physical Therapy			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年			単位数	1単位
代表教員	眞壁 寿			ナンバリング	SFP3205
担当教員	眞壁 寿、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、山口 智史				
授業概要					
全体内容	本実習では、脳卒中患者を中心とする神経系疾患の運動障害、反射、筋緊張、感覚、脳神経、姿勢動作、リスクなどの評価を実践的に行える能力を養うことを目的とする。具体的には、脳卒中患者のBrunnstrom stage、SIAS、腱反射、病的反射、筋緊張、感覚、脳神経、姿勢動作、リスクなどの評価を実習、グループ活動を通じて習得する。また、典型的な脳卒中患者を例示し、その患者の症状、各種評価結果から障害を分類、統合し、解釈できる能力を養う。その他に、パーキンソン病患者のステージ評価、UPDRS評価、脊髄損傷のZancoli、ASIAなどの評価を実践的に行える能力を養う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中患者の運動障害、反射、筋緊張、感覚、脳神経、姿勢動作、リスクなどの評価を行うことができる。 ・脳卒中患者の症状、評価から障害を分類、統合し、患者の障害像の全体像を把握できる。 ・パーキンソン病患者のステージ評価、UPDRS評価、脊髄損傷患者のZancoli、ASIA評価などを行うことができる。 				
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系理学療法で習得した神経系疾患に対する理学療法の流れ、実践の内容を演習を通して理解し、臨床実習での実践能力の基礎を形成する。 ・神経系疾患に対して用いられる基本的評価方法を実践を通して習得する。 ・神経系理学療法に必要なリスク管理や患者の全体像の理解の要点を理解する。 				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C I、共通DP3-C I、理学DP3-C I、理学DP4-C I、理学DP5-C I				
履修上の注意、履修要件	神経系理学療法の中心となる科目です。神経系理学療法の講義内容を復習したうえで臨んでください。特に脳卒中、パーキンソン病、脊髄損傷の病態や機能障害、能力低下について十分な予習、復習をお願いします。				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験（70%）、演習内容のルーブリック評価（30%）で成績評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系理学療法で習得した神経系疾患に対する理学療法の流れや実践の内容を演習を通して実践できる。 ・神経系疾患に対して用いられる基本的評価方法を実践できる。 ・神経系理学療法に必要なリスク管理や患者の全体像の理解の要点を説明できる。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
実習内やJuntendo Passportを使用して返却					
テキスト					
最新理学療法学講座 中枢神経系理学療法学	山口智史、山田実（編）	医歯薬出版	978-4-263-26741-7		
参考文献					
神経障害理学療法学I 石川朗（総編集）中山書店 神経障害理学療法学II 石川朗（総編集）中山書店 リハ実践テクニク 脳卒中 千田富義 高見彰淑（編）MEDICAL VIEW					
その他					
連絡先・オフィスアワー	毎週火曜日 15:00~17:00 事前メールにて随時対応 眞壁 寿：h.makabe.lv@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階505号室） 山口智史：t.yamaguchi.ja@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階503号室） 藤野雄次：y.fujino.pb@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室） 高橋容子：y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室） 春山幸志郎：k.haruyama.us@juntendo.ac.jp（御茶ノ水センタービル5階508号室）				
担当教員の実務経験	病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて実習を行う。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	初回ガイダンス 脳卒中の基本的理学療法の流れについて、モデルケース（急性期と回復期）を提示し、評価手法とアプローチ方法を学ぶ。	講義・グループワーク	【予習】（90分） 脳卒中に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。 【復習】（90分） 脳卒中に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。
2	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中の基本的理学療法の流れについて、モデルケース（急性期と回復期）を提示し、評価手法とアプローチ方法を学ぶ。	講義・実技・グループワーク	【予習】（90分） 脳卒中に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。 【復習】（90分） 脳卒中に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。
3 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践1：運動障害（片麻痺評価、共同運動、連合反応、軽度の麻痺検出、Brunnstrom Recovery Stage、Stroke Impairment Assessment Set、実技チェック）	講義・実技	【予習】（90分） ・共同運動、連合反応、BRS ・SAIS 【復習】（90分） ・共同運動、連合反応、BRS ・SAIS
4	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践1：運動障害（片麻痺評価、共同運動、連合反応、軽度の麻痺検出、Brunnstrom Recovery Stage、Stroke Impairment Assessment Set、実技チェック）	講義・実技	【予習】（90分） ・共同運動、連合反応、BRS ・SAIS 【復習】（90分） ・共同運動、連合反応、BRS ・SAIS
5 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践2：反射、筋緊張、実技チェックポイント提示	講義・実技	【予習】（90分） ・腱反射 ・病的反射 ・筋緊張 【復習】（90分） ・腱反射 ・病的反射 ・筋緊張
6	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践2：反射、筋緊張、実技チェックポイント提示	講義・実技	【予習】（90分） ・腱反射 ・病的反射 ・筋緊張 【復習】（90分） ・腱反射 ・病的反射 ・筋緊張
7 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践3：感覚、脳神経検査	講義・実技	【予習】（90分） ・感覚検査（表在、深部、位置覚、運動覚） ・脳神経検査（12神経） 【復習】（90分） ・感覚検査（表在、深部、位置覚、運動覚） ・脳神経検査（12神経）

8	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	評価実践3：感覚、脳神経検査	講義・実技	【予習】（90分） ・感覚検査（表在、深部、位置覚、運動覚） ・脳神経検査（12神経） 【復習】（90分） ・感覚検査（表在、深部、位置覚、運動覚） ・脳神経検査（12神経）
9 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	3-8回で学習した実技内容について、学生は習得のための主体的な実技練習を行う。実技練習中において、教員は実技のポイントや留意事項を指導する。	実技・ディスカッション	【予習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査 【復習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査
10	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	3-8回で学習した実技内容について、学生は習得のための主体的な実技練習を行う。実技練習中において、教員は実技のポイントや留意事項を指導する。	実技・ディスカッション	【予習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査 【復習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査
11 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	3-10回で学習した実技内容について、学生間で模擬患者を設定し実技練習を行う。	実技・ディスカッション	【予習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査 【復習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査
12	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	3-10回で学習した実技内容について、学生間で模擬患者を設定し実技練習を行う。	実技・ディスカッション	【予習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査 【復習】（90分） ・運動障害 ・反射、筋緊張 ・感覚、脳神経検査
13 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	基本的手技習得の確認を行った結果について、再習得が必要と判断された場合は再度実技チェックを行う。 必要時、実技や配慮事項についてのフィードバックを受ける。 ・検査項目：運動麻痺・協調運動障害・反射・筋緊張・感覚・脳神経など	実技・ディスカッション	【予習】（90分） 3-12回で実施した実技内容を振り返り、基本的手技が適切に行えるように学習しておく。 【復習】（90分） 練習した実技内容について、知識と技術を整理したうえで不足部分を復習し、手技の反復練習を行う。
14	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	基本的手技習得の確認を行った結果について、再習得が必要と判断された場合は再度実技チェックを行う。 必要時、実技や配慮事項についてのフィードバックを受ける。 ・検査項目：運動麻痺・協調運動障害・反射・筋緊張・感覚・脳神経など	実技・ディスカッション	【予習】（90分） 3-12回で実施した実技内容を振り返り、基本的手技が適切に行えるように学習しておく。 【復習】（90分）

				練習した実技内容について、知識と技術を整理したうえで不足部分を復習し、手技の反復練習を行う。
15 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中者の基本動作・日常生活活動の問題点を確認し、姿勢や動作の観察・分析を通して病態との関連を理解する。	講義・実技・演習	【予習】(90分) 脳卒中者における姿勢や動作の特徴や問題について振り返り、関連する病態を含め学習する(神経系理学療法学の復習)。 【復習】(90分) 脳卒中者における姿勢や動作の特徴や問題について振り返り、観察・分析を通しての病態理解を復習する。
16	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中者の基本動作・日常生活活動の問題点を確認し、姿勢や動作の観察・分析を通して病態との関連を理解する。	講義・実技・演習	【予習】(90分) 脳卒中者における姿勢や動作の特徴や問題について振り返り、関連する病態を含め学習する(神経系理学療法学の復習)。 【復習】(90分) 脳卒中者における姿勢や動作の特徴や問題について振り返り、観察・分析を通しての病態理解を復習する。
17 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中者のバランス・歩行などの実践的動作の問題点を確認し、姿勢や動作の観察・分析を通して病態との関連を理解する。	講義・実技・演習	【予習】(90分) 脳卒中者におけるバランスや歩行の特徴や問題について振り返り、関連する病態を含め学習する(神経系理学療法学の復習)。 【復習】(90分) 脳卒中者におけるバランスや歩行の特徴や問題について振り返り、観察・分析を通しての病態理解を復習する。
18	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中者のバランス・歩行などの実践的動作の問題点を確認し、姿勢や動作の観察・分析を通して病態との関連を理解する。	講義・実技・演習	【予習】(90分) 脳卒中者におけるバランスや歩行の特徴や問題について振り返り、関連する病態を含め学習する(神経系理学療法学の復習)。 【復習】(90分) 脳卒中者におけるバランスや歩行の特徴や問題について振り返り、観察・分析を通しての病態理解を復習する。
19 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中回復期の評価結果とそれに基づく統合と解釈、予後予測、目標設定について、モデルケースを通して考え方を学ぶ。	講義・演習	【予習】(90分) 理学療法における統合と解釈の基本概念、予後予測、目標設定について予め学習しておく。 【復習】(90分) 理学療法における統合と解釈の基本概念、予後予測、目標設定について再度学習を行う。
20	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	脳卒中回復期の評価結果とそれに基づく統合と解釈、予後予測、目標設定について、モデルケースを通して考え方を学ぶ。	講義・演習	【予習】(90分) 理学療法における統合と解釈の基本概念、予後予測、目標設定について予め学習しておく。 【復習】(90分) 理学療法における統合と解釈の基本概念、予後予測、目標設定について再度学習を行う。
21 2コマ連続	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	パーキンソン病の基本的理学療法の流れについて、モデルケースを通して評価手法とアプローチ方法を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	【予習】(90分) パーキンソン病に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。 【復習】(90分) パーキンソン病に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。
22	眞壁 寿 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子 春山 幸志郎	パーキンソン病の基本的理学療法の流れについて、モデルケースを通して評価手法とアプローチ方法を学ぶ。	講義・演習・グループワーク	【予習】(90分) パーキンソン病に対する情報収集項目、基本的評価項目、リスク管理、アプローチまでの一連の流れなど。 【復習】(90分)

科目名	内部障害系理学療法学		授業形態	講義
英語科目名	Cardiopulmonary Physical Therapy		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	2年		単位数	2単位
代表教員	森沢 知之		ナンバリング	SFP3206
担当教員	森沢 知之、高橋 哲也、齊藤 正和			
授業概要				
全体内容	<ul style="list-style-type: none"> 本講義は、基礎医学で学んだ知識を基に、内部障害疾患（循環器疾患・呼吸器疾患・代謝性疾患）に対する理学療法評価の理論と技術を修得することを目的とする。内部障害系理学療法における代表疾患（虚血性心疾患、心不全、大血管疾患、末梢動脈疾患、COPD、肺炎、胸腹部外科手術前後、糖尿病、慢性腎不全など）の特性と病態を理解した上で、各疾患や病態に応じたフィジカルアセスメント（視診・触診・聴診・打診）や各検査測定（血圧・脈拍測定、心電図測定、肺機能検査など）を自ら実践できるように学修する。そのために解剖生理、疾患の特性と病態、各評価方法の意義と結果の解釈を系統的に学ぶ。またグループワークを通して、理学療法評価の結果から問題点を抽出し、リスクの層別化ができる力を育む。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 内部障害系理学療法の評価に必要な解剖、生理を説明することができる。 内部障害系理学療法の代表疾患を挙げ、その特性と病態を説明することができる。 内部障害系理学療法の評価法を理解し、実践することができる。 内部障害系理学療法の評価結果から問題点を抽出し、重症度の層別化することができる。 			
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 基礎医学で学んだ知識（特に内科学）を基に、内部障害系理学療法学の理論と技術を学修する。また3年前期に開講される「内部障害系理学療法学演習」につながる授業である。 			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C1 共通DP2-C1 共通DP3-C1 理学DP1-C1 理学DP2-C1 理学DP3-C1 理学DP4-C1 理学DP5-C1			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 基礎医学で学習した循環、呼吸、代謝系に関連する解剖・生理学、運動学の復習を十分にしておくこと。 各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと（各講義開始前に前回講義内容の確認テストを行う）。 講義中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。 講義中は積極的に発言すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の結果（60％）、確認テストの結果（30％）、講義中の課題（10％）の合計点より最終評価を行う。 			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 内部障害疾患に対する理学療法評価の理論と技術を理解した上で、評価結果から問題点を抽出し、重症度の層別化することができる。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> 授業内やJuntendo Passportを使用して返却。 確認テストの結果は確認テスト終了直後に正答をフィードバックする。 				
テキスト				
最新理学療法学講座 内部障害理学療法学	高橋哲也	医歯薬出版株式会社	978-4-263-26738-7	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> 講義時に随時テキストを配布する。 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> 事前メールにて随時対応。 			
担当教員の業務経験	<ul style="list-style-type: none"> 各教員〔高橋哲也（群馬県立心臓血管センターなど）、齊藤正和（榑原記念病院など）、森沢知之（兵庫医科大学病院など）〕が病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交えて講義を行う。 			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【内部障害系理学療法総論】 内部障害系理学療法の対象疾患、理学療法の方法の目的や効果、ガイドライン・エビデンスなどの総論を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 講義 ディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> 【予習】教科書第1章を読んでくること（90分） 【復習】確認テストの結果も踏まえて授業内容を復習すること（90分）

科目名	内部障害系理学療法実習		授業形態	実験・実習
英語科目名	Practice of Cardiopulmonary Physical Therapy		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年		単位数	1単位
代表教員	高橋 哲也		ナンバリング	SFP3207
担当教員	高橋 哲也、森沢 知之、齊藤 正和			
授業概要				
全体内容	<ul style="list-style-type: none"> 本実習は、基礎医学や内部障害理学療法で学んだ知識を基に、内部障害疾患（循環器疾患・呼吸器疾患・代謝性疾患）に対する理学療法の理論と評価・治療技術を修得することを目的とする。内部障害系理学療法における代表疾患（虚血性心疾患、心不全、大血管疾患、末梢動脈疾患、COPD、肺炎、胸腹部外科手術前後、糖尿病、慢性腎不全など）の特性と病態を理解した上で、各疾患や病態に応じたフィジカルアセスメント（視診・触診・聴診・打診）や各検査測定（血圧・脈拍測定、心電図測定、肺機能検査など）を習得する。また内部障害患者の症例を通して、問題点を抽出し、理学療法プログラムの立案ができる力を育む。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 内部障害理学療法に必要なフィジカルアセスメントを理解し、実践することができる。 心肺運動負荷試験を実践し、運動処方を作成することができる。 吸引の知識と技術を習得し、実践することができる。 血管機能評価の知識と技術を習得し、実践することができる。 内部障害患者の症例を通して、問題点を抽出し、理学療法プログラムの立案することができる。 			
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 2年後期の「内部障害系理学療法」で学修した知識と技術をもとに学修する。 			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<ul style="list-style-type: none"> 共通DP1-C1・2-C1・3-C1、理学DP1-C1・2-C1・3-C1・4-C1・5-C1 			
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> 内部障害理学療法で学習した循環、呼吸、代謝系の理学療法について復習を十分にしておくこと。 各回の実習前後には必ず予習、復習を行うこと。 実習中や講義終了後、わからない部分があれば、必ず担当教員に質問すること。 積極的に実習に参加し、発言すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の結果（50%）、実技テストの結果（40%）、講義中の課題（10%）の合計点より最終評価を行う。 			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 内部障害系理学療法の知識と技術を習得した上で、内部障害患者の症例を通して問題点を抽出し、理学療法プログラムの立案することができる。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> 授業内やJuntendo Passportを使用して返却。 確認テストの結果は確認テスト終了直後に正答をフィードバックする。 				
テキスト				
最新理学療法学講座 内部障害理学療法学	高橋哲也	医歯薬出版株式会社	978-4-263-26738-7	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> 講義時に随時テキストを配布する （準備が望ましい参考書） 伊藤春樹監修 CPXポケットマニュアル 医歯薬出版 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> 事前メールにて随時対応。 			
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> 担当する教員〔高橋哲也（群馬県立心臓血管センターなど）、齊藤正和（榊原記念病院など）、森沢知之（兵庫医科大学病院など）〕が病院での臨床経験を活かし、実際の症例に関する内容を交え講義を行う。 			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【心肺運動負荷試験①】 呼吸ガス分析装置を用いた心肺運動負荷試験の知識と技術を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 演習 ディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> 【予習】教科書第III章を読んでくること（90分） 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること（90分）

2	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【心肺運動負荷試験②】 呼吸ガス分析装置を用いた心肺運動負荷試験の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
3	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【運動処方①】 心肺運動負荷試験の結果に基づいた運動処方を作成する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
4	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【運動処方②】 心肺運動負荷試験の結果に基づいた運動処方を作成する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
5	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【胸部X線写真①】 理学療法に必要な胸部X線写真の知識を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】胸部X線について予習すること (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
6	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【胸部X線写真②】 理学療法に必要な胸部X線写真の知識を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】胸部X線について予習すること (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
7	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【呼吸器疾患のフィジカルアセスメント①】 呼吸器疾患に必要なフィジカルアセスメント (視診、触診など) の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
8	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【呼吸器疾患のフィジカルアセスメント②】 呼吸器疾患に必要なフィジカルアセスメント (視診、触診など) の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
9	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【呼吸器疾患のフィジカルアセスメント③】 呼吸器疾患に必要なフィジカルアセスメント (聴診、打診など) の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
10	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【呼吸器疾患のフィジカルアセスメント④】 呼吸器疾患に必要なフィジカルアセスメント (聴診、打診など) の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
11	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【吸引①】 理学療法士に必要な吸引の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
12	森沢知之 齊藤正和 高橋哲也	【吸引②】 理学療法士に必要な吸引の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
13	齊藤正和 高橋哲也 森沢知之	【循環器疾患のフィジカルアセスメント①】 循環器疾患に必要なフィジカルアセスメント (触診、聴診など) ・血圧測定の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
14	齊藤正和 高橋哲也 森沢知之	【循環器疾患のフィジカルアセスメント②】 循環器疾患に必要なフィジカルアセスメント (触診、聴診など) ・血圧測定の知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
15	齊藤正和 高橋哲也 森沢知之	【運動耐容能の評価①】 6分間歩行試験、シャトルウォーキングテストの知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
16	齊藤正和 高橋哲也 森沢知之	【運動耐容能の評価②】 6分間歩行試験、シャトルウォーキングテストの知識と技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第II章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
17	齊藤正和 高橋哲也 森沢知之	【血管機能評価①】 安静時および運動後の血管機能評価 (足関節上腕血比: ABI) の知識、技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)
18	齊藤正和 高橋哲也	【血管機能評価②】 安静時および運動後の血管機能評価 (足関節上腕血比: ABI) の知識、技術を習得する	・演習 ・ディスカッション	【予習】教科書第III章を読んでくこと (90分) 【復習】実施した内容は臨床に直結する技術であるため、繰り返し練習し、習得すること (90分)

科目名	発達障害系理学療法学		授業形態	講義
英語科目名	Physical Therapy in Developmental Disorders		開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年		単位数	2単位
代表教員	松田 雅弘		ナンバリング	SFP3208
担当教員	松田 雅弘			
授業概要				
全体内容	本講義では、人間発達学で学んだ受胎から発達していく過程での運動・認知を理解し、更に歩行や運動が習熟していく過程についての知識を深める。この発達期に生じる疾患の原因や病態、障害像を理解するとともに、脳性麻痺を代表とする中枢神経疾患などの発達障害を抱えた子どもたちの障害像を学び、療育と理学療法法の展開について修得することを目指す。また講義中に動画や症例提示を行い、発達期特有の理学療法におけるクリニカルリーズニング、理学療法評価、治療プログラムの作成する能力を身に付けるとともに、関連する装具療法、福祉用具の活用などの展開について修得する。適宜、文献レビューも紹介し、国際的な視野にたち発達期における障害への理学療法を実践する能力を高める。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達・認知発達の過程を理解し、その運動や認知の成り立ちを説明できる。 ・発達期中枢系疾患・運動器疾患の病態・障害像を理解して説明できる。 ・発達期の疾患別理学療法法の評価と治療、関連する装具・福祉用具の活用法について説明できる。 ・発達期に関連する社会制度、在宅医療を理解して、説明できる。 			
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法のみならず発達期に生じる疾患のリハビリテーションについて概説する ・子どもを取り巻く社会制度の変遷について理解を深める 			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ、CⅡ 共通DP2-CⅠ 共通DP3-CⅠ 共通DP4-CⅠ 共通DP5-CⅠ			
履修上の注意、履修要件	人間発達学、小児科学を十分理解して望むこと。 各回の講義前後には必ず予習・復習を行うこと。 Active learningの推進の一環として、講義の一部で反転講義を実施する。			
成績評価の方法				
評価方法	期末試験 60% 小テスト 10% 反転講義の評価 30% とし総合的に判断する。 (原則、欠席・遅刻・早退を認めない。事前にわかっている場合には担当教員に連絡すること)			
評価基準	期末試験 60%：教員による評価 小テスト 10%：教員による評価 反転講義の評価 30%：学生評価（自己評価、他者評価）・教員評価 最終評価は総合的に判断する。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
【課題】 ・JUNTENDO PASSPORTまたはGoogle classroomの機能を使用して提出とフィードバックを行う。 【試験】 ・試験終了後に適宜フィードバックを行う。				
テキスト				
小児理学療法学 (15レクチャーシリーズ理学療法テキスト)	奥田憲一, 松田雅弘, 三浦利彦, 石川 朗編集	中山書店	978-4521748160	
参考文献				
【教科書】 小児理学療法学 (15レクチャーシリーズ理学療法テキスト) 奥田憲一, 松田雅弘, 三浦利彦, 石川 朗編集 ISBN : 978-4521748160				

<p>【参考テキスト】 小児理学療法学テキスト改訂第3版 細田多穂監修 南江堂 ISBN：978-4-524-25533-7 発達を学ぶ-人間発達学レクチャー 森岡周 協同医書出版 ISBN：978-4763910776 Crosslink 小児理学療法学 藪中良彦 木元稔 坂本仁 メディカルビュー ISBN 978-4-7583-2007-8 小児リハ評価ガイド 楠本泰士 友利幸之介 メディカルビュー ISBN 978-4-7583-1948-5</p> <p>【その他】 講義でプリント配布</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー		毎週水曜日 15：00～17：00 その他は事前メールにて随時対応 t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp 事前にメール連絡で随時対応		
担当教員の実務経歴		<p>【教育経歴】 植草学園大学、城西国際大学理学療法学科で7年間発達系理学療法の講義担当 埼玉県立大学、東京都立大学大学院で発達系理学療法の非常勤講師 順天堂大学理学療法学科で人間発達学、発達障害系理学療法学を担当</p> <p>【実務経歴】 ・発達支援センター、療育機関、特別支援学校、保育所などでの理学療法士としての実務経歴 ・発達系理学療法に関する研究 ・子どもロコモなどの運動器に関する啓蒙活動</p>		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松田 雅弘	【正常発達（胎児～新生児期）】 オリエンテーション、正常発達（1）－運動発達、原始反射、姿勢反射について学ぶ。	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第1章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 原始反射の種類と反応を覚える。
2	松田 雅弘	【正常発達（乳幼児期）】 正常発達（2）－認知・精神・上肢の発達について学ぶ	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第2章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 歩行が可能になるまでの姿勢と運動の特徴、上肢の運動機能、認知・精神過程の発達について覚える。
3	松田 雅弘	【正常発達（運動と認知）】 発達障害概論と医学的治療、障害児に関わる制度について学ぶ	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第3章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 広義の発達障害と狭義の発達障害を理解する 発達期に生じる疾病と発達への影響を理解する
4	松田 雅弘	【発達障害系理学療法総論】 痙直型脳性麻痺（1）－総論	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第4章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 痙直型四肢麻痺・両麻痺・片麻痺の特徴的な痙性分布、代償運動により生じる姿勢や運動発達の特徴、理学療法評価と介入を理解する 脳性麻痺児に使用する補装具について理解する
5	松田 雅弘	【脳性麻痺（痙直型脳性麻痺）】 痙直型脳性麻痺（2）－乳児期～幼児期について学ぶ	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第5章をよく読んでおくこと 【復習】（90分） 痙直型四肢麻痺・両麻痺・片麻痺で特に出産後から幼児期にかけての理学療法の評価と治療について理解する。

				特に発達を理解を深めて、乳幼児期に実践するべき理学療法の展開に焦点を当てる
6	松田 雅弘	【脳性麻痺（痙直型脳性麻痺）】 痙直型脳性麻痺（2）－学童期～成人期について学ぶ	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第6章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 痙直型四肢麻痺・両麻痺・片麻痺児で学齢期以降の発達の特徴を理解し、二次障害の予防と対応に必要な理学療法評価と介入を理解する。 また、活動性を促す方法を学校生活の観点も踏まえて理解する。
7	松田 雅弘	【脳性麻痺（アテトーゼ型）】 脳性麻痺児者（アテトーゼ型）の病態の理解を深め、理学療法の評価と治療について学ぶ。 脳性麻痺児者（失調・他）の病態の理解を深め、理学療法の評価と治療について学ぶ。	反転講義（学生によるプレゼンテーション）	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第7章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） アテトーゼ型（AT）脳性麻痺に特徴的な運動障害（異常運動）、その他の脳性麻痺により生じる姿勢や運動発達の特徴、理学療法評価と介入を理解する
8	松田 雅弘	【重症心身障害（重度脳性麻痺）】 重症心身障害児者に対する理解を深め、理学療法の評価と治療について学ぶ。	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第8章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 重症心身障害（PIMD）の定義と概念について理解する。神経、呼吸、循環、骨筋系他の多様な疾患と合併症とライフステージにおける理学療法介入について理解する
9	松田 雅弘	【二分脊椎・ベルテス病】（反転講義） 小児整形疾患（二分脊椎・ベルテス病）について理解し、理学療法の評価と治療を学ぶ	反転講義（学生によるプレゼンテーション）	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第9章をよく読んでおくこと。 反転講義を担当する班は準備を行う 【復習】（90分） 小児整形疾患（二分脊椎・ベルテス病）における疫学、原因、病態と全体像をとらえ、理学療法評価、介入方法、外科的手段と理学療法の役割について理解する
10	松田 雅弘	【骨形成不全症、先天性多発性関節拘縮症、発育性股関節形成不全】（反転講義） 小児整形疾患（骨形成不全症・先天性多発性関節拘縮症・発育性股関節形成不全）の疾患、理学療法の評価と治療を学ぶ	反転講義（学生によるプレゼンテーション）	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第10章をよく読んでおくこと。 反転講義を担当する班は準備を行う 【復習】（90分） 小児整形疾患（骨形成不全症・先天性多発性関節拘縮症・発育性股関節形成不全）における疫学、原因、病態と全体像をとらえ、理学療法評価、介入方法、外科的手段と理学療法の役割について理解する
11	松田 雅弘、春山 幸志郎	【デュシェンヌ型筋ジストロフィー：その他の筋ジストロフィー、SMAなど】 デュシェンヌ型筋ジストロフィー、その他の筋ジストロフィー、SMAなどの疾患、障害像、理学療法の評価と治療について学ぶ。	講義形式	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第11章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分） 神経筋疾患の定義と代表疾患であるDMDの疫学、病態、障害像とライフステージに合わせた理学療法評価と介入方法について理解する。 DMD以外の筋ジストロフィー、SMAの病態、特徴についても理解する。
12	松田 雅弘	【ダウン症候群】 ダウン症候群に対する理学療法の評価と治療について学ぶ。	反転講義（学生によるプレゼンテーション）	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第12章をよく読んでおくこと。 反転講義を担当する班は準備を行う 【復習】（90分） ダウン症候群（DS）の原因、病態、循環器・消化器・認知機能面等の合併症をふまえ、ライフステージ（独歩獲得、就学前、学童期以降）に合わせた理学療法介入、社会的サービスについて理解する
13	松田 雅弘	【低出生体重児・ハイリスク児の理学療法】（反転講義） 低出生体重児・ハイリスク児に対する理学療法の評価と治療について学ぶ。	反転講義（学生によるプレゼンテーション）	【予習】（90分） 「小児理学療法学（15レクチャーシリーズ理学療法テキスト）」第13章をよく読んでおくこと。 【復習】（90分）

科目名	スポーツ理学療法学	授業形態	講義
英語科目名	Sports Physical Therapy	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年	単位数	2単位
代表教員	相澤 純也	ナンバリング	SFP3209
担当教員	相澤 純也、宮森 隆行、中村 絵美		
授業概要			
全体内容	本講義では、スポーツ外傷・障害について、その疫学的特徴、病態、発生メカニズム、リスクファクター、医学的治療を整理した上で、国際標準的なスポーツ理学療法におけるリハビリテーションについて講義する。アスリートに関わる専門職チーム、プライバシー保護について理解し、情報収集およびクリニカルテスト（痛み、筋力、関節可動域、エクササイズ・スポーツ制限など）と、エクササイズプログラム（コンディショニング、ストレッチング、ストレングスニング、徒手療法、テーピングなど）の基本的な方法について説明できることを主目標とする。授業は主要スポーツ外傷・障害を部位、病態別に取り上げて、リハビリテーションの流れを系統的に理解できる構成とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ理学療法への理解に必要な解剖・運動学、組織治癒過程、バイオメカニクス、評価の基本知識を説明できる。 ・アスリートに関わる専門職チームの協力関係について説明できる（3E:12）。 ・アスリートやチームのプライバシー保護の重要性について説明できる（3E:13）。 ・リハビリテーションや再受傷予防の原則について説明できる（3E:11）。 ・スポーツで求められる特異的な運動・動作と、これらが痛みや組織治癒過程に与える影響について説明できる（3A:1）。 ・現在の異常が組織治癒の進行や質に及ぼす影響について説明できる（3A:2）。 ・スポーツ外傷・障害のクリニカルテストの方法と結果解釈について説明できる（3A:5）。 ・他の専門職による情報、アセスメント、治療と、スポーツ理学療法との関連性について説明できる（3A:6）。 ・身体機能及び活動性の維持・向上やスポーツ復帰に向けたスポーツ理学療法の基本戦略について、そのリスクを含めて説明できる（3A:7）。 ・アスリートのコンディション、重症度、日常生活制限、エクササイズ・スポーツ制限に関する情報収集項目について説明できる（3C:1）。 ・急性、慢性の痛みに関する評価方法について説明できる（3C:3）。 ・スポーツ外傷・障害に関連する特異的なスポーツ動作の観察と分析について説明できる（3C:4）。 ・スポーツ外傷・障害ごとに、筋力、関節可動域、柔軟性などのクリニカルテストの方法及び結果解釈について説明できる（3C:5; 3D:1; 3D:2）。 ・個別性、外傷・障害特性、ルールを考慮した科学的根拠に基づくエクササイズプログラム（コンディショニング、ストレングスニング、ストレッチング）について説明できる（3E:2）。 ・リハビリテーションのための基本的なマッサージや徒手療法について説明できる（3E:4）。 ・安静、保護、治癒促進のための科学的根拠に基づくテーピングについて説明できる（3E:5）。 ・身体機能やパフォーマンスのアウトカムとその重要性について説明できる（3F:3） <p>* 括弧内番号は参考書⑯「Sports Physiotherapy Competencies and Standards, Standards Relating to Competency 3: Rehabilitation」の項目番号</p>		
授業の位置づけ	専門基礎科目である解剖学、生理学、運動学、整形外科学で得られた知識を基礎として学修する。2年後期のスポーツ理学療法学演習に不可欠な知識を学修する。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP4-C1		
履修上の注意、履修要件	各授業までに該当項目・部位に関連する下記について必ず予習し、授業後は学習内容を資料、テキスト、参考書等で再確認すること（小テストを実施することがある）。 <ul style="list-style-type: none"> ・関節の構造と機能 ・筋の支配神経、起始・停止 ・キネマティクス、キネティクスの特徴 ・骨指標、関節、筋の触診法 ・形態測定、関節可動域テスト、徒手筋力テストなど 		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験（80%）と小テスト（20%）を統合して最終評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・主要なスポーツ外傷・障害ごとに、疫学的特徴、病態、発生メカニズム、リスクファクター、医学的治療について説明することができるか ・主要なスポーツ外傷・障害ごとに、情報収集およびクリニカルテスト（痛み、筋力、関節可動域、エクササイズ・スポーツ制限など）と、エクササイズプログラム（コンディショニング、ストレッチング、ストレングスニング、徒手療法、テーピングなど）の基本的な方法について説明することができるか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
学生個人もしくはグループへ試験の結果や要改善点などについてフィードバックする。			
テキスト			
スポーツ理学療法プラクティス 急性期治療とその技法	片寄正樹、他	文光堂	978-4-8306-4560-0
スポーツ理学療法プラクティス 機能評価診断とその技法	片寄正樹、他	文光堂	978-4-8306-4559-4
参考文献			

① Roald Bahr (著)、赤坂清和 (訳) : スポーツ外傷・障害ハンドブック 発生意因と予防戦略、医学書院、2015
② Peter Brukner (著)、棚山日出樹 (訳) : 臨床スポーツ医学、医学映像教育センター、2009
③ 古賀英之、他 : 予防に導くスポーツ整形外科、文光堂、2019
④ 相澤純也、他 : ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション、羊土社、2012
⑤ Scott K. Poweres (著)、内藤久士 (訳) : パワーズ運動生理学、メディカルサイエンスインターナショナル、2020
⑥ 相澤純也、他 : 整形外科理学療法ベストガイド 上肢・脊椎編/下肢編、中外医学社、2018
⑦ 赤坂清和、他 : 改訂第2版スポーツ理学療法学、メジカルビュー、2018
⑧ 小橋由紋子 : スポーツ診療のための画像診断、メディカルサイエンスインターナショナル、2016
⑨ 相澤純也、他 : クリニカルリーズニングで運動器の理学療法に強くなる、羊土社、2017
⑩ 青木治人、他 : スポーツリハビリテーションの臨床、メディカルサイエンスインターナショナル、2019
⑪ Maria Constantinou (著)、赤坂清和 (訳) : DVDで学ぶ理論と実践 治療的テーピング、医学映像教育センター、2012
⑫ James H. Clay (著)、大谷素明 (訳) : 改訂版 クリニカルマッサージャー目でわかる筋解剖学と触診・治療の基本テクニック、医道の日本社、2009
⑬ David J. Magee (著) : Orthopedic physical assessment 7th ed., Saunders, 2020
⑭ Michael Gross (著)、相澤純也 (訳) : アナトミカルキネシオロジー、メディカルサイエンスインターナショナル、2021
⑮ International Federation of Sports Physical Therapy: Sports Physiotherapy Competencies and Standards, Standards Relating to Competency 3: Rehabilitation, https://ifspt.org/competencies/

その他

連絡先・オフィスアワー	質問や面談希望はメールで随時受け付ける (j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp)。
担当教員の実務経験	・順天堂医院リハビリテーション室でのスポーツ理学療法担当
備考	

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	相澤 純也	スポーツ理学療法総論	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「I、II」 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
2	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法①	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
3	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法②	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
4	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法③	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
5	相澤 純也	足関節外傷のスポーツ理学療法①	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「足関節捻挫」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
6	相澤 純也	足関節外傷のスポーツ理学療法②	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「足関節捻挫」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
7	宮森 隆行	股関節障害のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「グロインペイン」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
8	宮森 隆行	下肢の筋・腱損傷のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「ハムストリング肉離れ、アキレス腱断裂」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料、メモの再確認
9	中村 絵美	下肢障害のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの知識確認や討論を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「下肢のスポーツ障害」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認
10	宮森 隆行	頭頸部外傷のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、対教員や学生グループでの	【予習】 (90分) テキスト①、②の「頭頸部外傷」に関する部分 【復習】 (90分) 講義資料・メモの再確認

科目名	義肢装具学			授業形態	講義
英語科目名	Prosthetics and Orthotics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年			単位数	2単位
代表教員	藤原 俊之			ナンバリング	SFP3210
担当教員	藤原 俊之、池田 浩、補永 薫、高倉 朋和、高橋 容子、和田 太				
授業概要					
全体内容	義肢装具はリハビリテーション医療において重要な治療の一つであり、日常生活、社会復帰を可能とする重要な手段である。本講義は、リハビリテーション医療で取り扱う義肢装具の構造、機能、種類、特徴、その適応、使用方法を広く理解することを目的とする。リハビリテーション医療において義肢装具を用いるためには障害のみならず病態の理解が不可欠であり、正しく適応を理解することが必要である。実際の治療や日常生活で障害に応じた義肢装具の選択、使用方法に関する基本的な知識を修得する。また義肢装具の作成に関しては、医師、義肢装具士等との緊密なチーム医療が必要であり、チーム医療における理学療法士の役割を理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・義肢学と装具学の概念や目的について理解し、リハビリテーション医学における義肢装具の役割を説明できる。 ・義肢や装具を用いる疾患の病態や障害、患者に合わせた義肢や装具の種類と適合判定について理解し、説明できる。 ・義肢や装具、補助具の構造と調節方法について理解し、説明できる。 ・切断術後や装具療法の理学療法、およびチーム医療における理学療法士の役割について理解し、説明できる。 				
授業の位置づけ	本授業では、解剖学や運動学で学修する専門基礎知識、および整形外科学・神経内科学・小児科学・運動器系理学療法学・神経系理学療法学・人間発達学で学修する専門知識をもとに、疾患や障害に対する義肢装具の適応についての知識を発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ, DP2-CⅠ, DP3-CⅠ 理学DP1-CⅠ・Ⅱ, DP2-CⅠ, DP3-CⅠ, DP4-CⅠ, DP5-CⅠ				
履修上の注意、履修要件	各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと（各講義開始前に前回講義内容の確認テストを行う）。				
成績評価の方法					
評価方法	確認テスト（30%）、定期試験（70%）の合計点による最終評価を行う。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・義肢装具の目的について理解し、役割を説明できるか。 ・義肢や装具を用いる疾患の病態や障害、患者に合わせた義肢や装具の種類と適合判定について理解し、説明できるか。 ・義肢や装具、補助具の構造と調節方法について理解し、説明できるか。 ・切断術後や装具療法の理学療法やチーム医療における理学療法士の役割について理解し、説明できるか。 				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
小テストの結果および解説は、次の講義時またはJ-passを用いた解説資料配信によるフィードバックを行う。					
テキスト					
義肢装具のチェックポイント第9版	日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会	医学書院	426004589X ISBN-13		
参考文献					
プリントを授業の時に配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前に連絡のこと） 窓口：高橋容子 (y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp)				
担当教員の実務経歴	藤原俊之：義肢装具等適合判定医、義肢装具専門医、日本義肢装具学会学会員 和田太：義肢装具等適合判定医、義肢装具専門医、日本義肢装具学会学会員 補永薫：義肢装具等適合判定医 高倉朋和：義肢装具等適合判定医、日本義肢装具学会学会員 高橋容子：日本義肢装具学会学会員				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	藤原 俊之	【義肢装具学総論・装具学概論】 リハビリテーション医学における義肢装具の役割	講義	【予習・復習】 教科書第1章「義肢装具の処方」、第3章「材料学」、第4章「切断術」、第VI章「装具のチェックポイント 1 装具総論」、第IX章「補装具の支給」をよく読	

				<p>んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
2	高橋 容子	<p>【下肢装具と歩行分析 1】 健康者における歩行分析</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第II章「運動学—立位・歩行の制御と転倒、バランス障害」をよく読んでおくこと。運動学などで学んだ健康歩行や歩行解析についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
3	高橋 容子	<p>【下肢装具と歩行分析 2】 患者における歩行分析</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第II章「運動学—立位・歩行の制御と転倒、バランス障害」をよく読んでおくこと。運動学などで学んだ健康歩行や歩行解析についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
4	高橋 容子	<p>【下肢装具】 下肢装具の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第IV章「装具のチェックポイント 3 下肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の下肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
5	池田 浩	<p>【整形外科・スポーツ医学領域における装具療法】 整形外科・スポーツ医学領域で用いられる装具の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第VII章「疾患と装具のチェックポイント 6 骨関節疾患」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
6	藤原 俊之	<p>【上肢装具】 上肢装具の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第VI章「装具のチェックポイント 2 上肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の上肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
7	補永 薫	<p>【体幹装具】 体幹装具の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第VI章「装具のチェックポイント 4 体幹装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の体幹装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
8	和田 太	<p>【義肢学概論】 義肢の種類、適合判定</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
9	高橋 容子	<p>【義足 1】 大腿切断に対する大腿義足の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
10	和田 太	<p>【義足 2】 下腿切断、股関節離断、膝関節離断、サイム切断、足根骨部切離術に対する下腿義足、股義足、膝義足、サイム義足、足部切断用義足の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
11	補永 薫	<p>【義手】 上肢切断に対する義手の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 1 義手（電動義手を含む）」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
12	藤原 俊之	<p>【座位保持装置、車いす】 座位保持装置および車いすの種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第VIII章「リハビリテーション機器のチェックポイント 1 車椅子 2 座位保持装置」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習90分・復習90分</p>
13	高倉 朋和	<p>【パラスポーツ領域における義肢装具】 パラスポーツ選手に対する義肢装具の種類、適合判定、調整、リハビリテーション</p>	講義	<p>【予習・復習】 教科書第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」、第VIII章「リハビリテーショ</p>

科目名	義肢装具学演習			授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Practice in Prosthetics and Orthotics			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年			単位数	1単位
代表教員	藤原 俊之			ナンバリング	SFP3211
担当教員	藤原 俊之、池田 浩、阿瀬 寛幸、高橋 容子、作山 晃裕、和田 太				
授業概要					
全体内容	義肢装具の構造や機能を理解し、障害、病態に適した義肢装具を使用した理学療法を行うために必要な知識、技術を実際の義肢装具を用いた演習により習得することを目的とする。義肢装具の作製方法、各部件の構造、適合判定について演習を通して習得する。義肢装具を用いたADL動作、歩行の特徴を動作解析などの手法を用いて理解し、義肢装具療法とそれに必要な適切な理学療法を理解する。歩行また各義肢装具を用いた理学療法の方法についても義肢装具を用いた演習を通して習得する。また義肢装着に必要な適切な断端管理法についても演習を通して習得する。上肢装具、下肢装具、体幹装具、股義足、大腿義足、下腿義足、義手、座位保持装置、車いすに関して演習を通して、その機能、構造、適合判定の実際を学ぶ。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・義肢学と装具学の概念、目的、臨床における実践について理解し、説明できる。 ・義肢や装具を用いる疾患の病態や障害、患者に合わせた義肢や装具の種類と適合判定について理解し、説明、実践できる。 ・義肢や装具、補助具の構造と調節方法について理解し、説明、実践できる。 ・切断術後や装具療法の理学療法、およびチーム医療における理学療法士の役割を理解し、説明、実践できる。 				
授業の位置づけ	本授業では、解剖学や運動学で学修する専門基礎知識、および整形外科学・神経内科学・小児科学・運動器系理学療法学・神経系理学療法学・人間発達学で学修する専門知識をもとに、疾患や障害に対する義肢装具の適応についての知識を発展させる。さらに、義肢装具学で学んだ知識をもとに、義肢装具の選定、調節方法、人の身体への適応方法、リスク管理の実技の学修へ発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C I , DP2-C I , DP3-C I 理学DP1-C I ・ II , DP2-C I . DP3-C I , DP4-C I , DP5-C I				
履修上の注意、履修要件	各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。				
成績評価の方法					
評価方法	レポート（60%）、プレゼンテーション（40%）の合計点による最終評価を行う。				
評価基準	義肢装具の概要、目的、適応疾患、適合判定、調節方法、理学療法について説明・実践することができるか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
症例検討やプレゼンテーションに対し、講義内でフィードバックを行う。					
テキスト					
義肢装具のチェックポイント第9版	日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会	医学書院	426004589X		
参考文献					
「義肢装具のチェックポイント」医学書院					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前に連絡のこと） 窓口：高橋容子（y.takahashi.jk@juntendo.ac.jp）				
担当教員の実務経歴	藤原俊之：義肢装具等適合判定医、義肢装具専門医、日本義肢装具学会学会員 和田太：義肢装具等適合判定医、義肢装具専門医、日本義肢装具学会学会員 高橋容子：日本義肢装具学会学会員				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【下肢装具1】 下肢装具体験	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第IV章「装具のチェックポイント 3 下肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の下肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分	

2	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【下肢装具 2】 下肢装具の調整とリハビリテーション	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第IV章「装具のチェックポイント 3 下肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の下肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
3	池田 浩 高橋 容子	【整形外科領域における装具療法 1】 関節固定やテーピングによる運動障害体験 1	演習、グループワーク	【予習・復習】 下肢関節の関節構造・運動学についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
4	池田 浩 高橋 容子	【整形外科領域における装具療法 2】 関節固定やテーピングによる運動障害体験 2	演習、グループワーク	【予習・復習】 下肢関節の関節構造・運動学についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
5	藤原 俊之 和田 太 阿瀬 寛幸 高橋 容子	【上肢装具 1】 上肢装具とリハビリテーション	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第VI章「装具のチェックポイント 2 上肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の上肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
6	藤原 俊之 和田 太 阿瀬 寛幸 高橋 容子	【上肢装具 2】 スプリント作製	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第VI章「装具のチェックポイント 2 上肢装具の基礎と適合判定」、第VII章「疾患と装具のチェックポイント」の上肢装具に関する項目をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
7	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【下肢装具と歩行分析 1】 患者における歩行分析と下肢装具適応 1	グループワーク、ディスカッション、発表	【予習・復習】 教科書第II章「運動学一立位・歩行の制御と転倒、バランス障害」をよく読んでおくこと。運動学などで学んだ健常歩行や歩行解析についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
8	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【下肢装具と歩行分析 2】 患者における歩行分析と下肢装具適応 2	グループワーク、ディスカッション、発表	【予習・復習】 教科書第II章「運動学一立位・歩行の制御と転倒、バランス障害」をよく読んでおくこと。運動学などで学んだ健常歩行や歩行解析についてよく復習しておくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
9	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【義足 1】 模擬義足体験、義足の調整とリハビリテーション	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
10	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【義足 2】 断端管理、断端長・周径計測	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
11	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【義足 3】 義足での歩行観察 1	演習、グループワーク、発表	【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
12	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【義足 4】 義足での歩行観察 2	演習、グループワーク、発表	【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 2 義足」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
13	藤原 俊之 和田 太 高橋 容子	【義手】 模擬義手体験	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第IV章「切断術」、第V章「義肢のチェックポイント 1 義手（電動義手を含む）」をよく読んでおくこと。 学習時間：予習30分、復習30分
14	藤原 俊之 和田 太	【車いす・座位保持装置】 車いすシーティング	演習、グループワーク	【予習・復習】 教科書第VIII章「リハビリテーション機器のチェックポイント 1 車椅子 2 座位

科目名	リハビリテーション工学	授業形態	講義
英語科目名	Rehabilitation Engineering	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	藤原 俊之	ナンバリング	SFP3212
担当教員	藤原 俊之、松田 雅弘		
授業概要			
全体内容	リハビリテーション工学は工学的知識及び技術をリハビリテーション医学領域へ応用する学問である。車いす、電動車いす、コミュニケーションエイド、環境制御装置等自立支援機器をはじめとする介護福祉機器やロボットやブレインマシンインターフェース、電気刺激装置、非侵襲的中枢神経刺激装置などのリハビリテーション治療への応用機器や筋電図、脳波、脳機能画像などの生体信号計測装置や歩行分析装置、動作解析装置などの工学的技術のリハビリテーションへの応用について理解し、理学療法への応用について学修する。また地域リハビリテーションにおいてもQOLを改善させるために必要かつ適切な福祉機器を選定することができるように福祉機器の用途について理解する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす、電動車いす、コミュニケーションエイド、環境制御装置等自立支援機器をはじめとする介護福祉機器の特徴を説明でき、福祉機器の活用について説明できる。 ・ロボットやブレインマシンインターフェース、電気刺激装置、非侵襲的中枢神経刺激装置のリハビリテーション応用について説明できる。 ・筋電図、脳波、脳機能画像などの生体信号計測装置や歩行分析装置、動作解析装置などの工学的技術のリハビリテーションへの応用について説明できる。 		
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション医療は近年の科学技術の進歩で大きく変化している。AIやICTなどの技術を取り入れたリハビリテーションの展開が求められている。 ・今後社会に出る理学療法士の育成には、これらの技術をどのように臨床現場で活かしていくことができるのかを考えるきっかけをつくる必要がある。 		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-C I、II 共通DP2-C I 共通DP3-C I 共通DP4-C I 共通DP5-C I		
履修上の注意、履修要件	1年次の「日常生活活動学」、2年次・3年次の各専門理学療法の分野の学修を基本とし、その応用的でかつ他分野の理解を深める学問である。将来のリハビリテーション領域での先端機器が活用できる準備ができるように受講して欲しい。		
成績評価の方法			
評価方法	成績は下記の項目を総合的に判断する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト20% ・レポート40% (2回) ・期末テスト40% (規定以上の日数を出席すること、原則、欠席・遅刻・早退はなし。所定の方法で連絡すること)		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、レポート、期末テストはすべて教員の評価で実施する。 ・毎回の講義をしっかりと聴き、最新の情報を自ら調べる姿勢とその成果を評価する。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
【課題】			
・JUNTENDO PASSPORTまたはGoogle classroomの機能を使用して提出とフィードバックを行う。			
テキスト			
参考文献			
【参考図書】			
・リハビリテーション工学と福祉機器：千野 直一・他編集、金原出版、2008			
【その他】			
・必要に応じて書籍の紹介、プリントを配布する。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	月曜16:00~17:00 医局棟7階 リハビリテーション医学教授室 t-fujiwara@juntendo.ac.jp		
担当教員の実務経験			
備考			
授業計画			

科目名	発達障害系理学療法学演習	授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Practice in Developmental Disorders	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	松田 雅弘	ナンバリング	SFP3213
担当教員	松田 雅弘、藤野 雄次		
授業概要			
全体内容	本演習では、発達障害系疾患の中でも特に中枢神経系障害に焦点を当て、人間発達学や小児科学、発達障害系理学療法学において学修した知識や論理的思考力をさらに発展させる。また人間発達における運動面だけではなく、その認知面を理解することで運動制御に必要な脳機能の発達の知識を深める。更に症例情報を基にクリニカルリーズニングの能力を高め、発達障害系疾患の最新のエビデンスを提示、文献レビューを通じて、実際の理学療法にどのように活かすべきかを議論し、科学性があり質の高い理学療法を実践する能力を養うことを目標とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達・認知発達の過程を理解し、その運動や認知の成り立ちについての知見を調べ、それをまとめて論理的に説明できる。 ・発達期の中枢系疾患・運動器疾患の病態・障害像を理解するために知見を調べ、それをまとめて論理的に説明できる。 ・発達期の疾患別理学療法の評価と治療、関連する器具・福祉用具の活用法について、最新の知見を調べ、それをまとめて説明できる。 ・発達期に関連する社会制度、在宅医療を理解して、最新の知見を調べ、それをまとめて説明できる。 ・症例に対して適切な理学療法を選択し、その選択の自己決定の判断基準について説明できる。 		
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法の中でも発達期に生じる疾患に対する理学療法への応用について学ぶ ・将来、大学病院、中枢神経疾患、または小児専門の療育センターや地域理学療法などで勤め、理学療法を実践するうえで重要な演習となる 		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ、Ⅱ 共通DP2-CⅠ 共通DP3-CⅠ 共通DP4-CⅠ 共通DP5-CⅠ 共通DP6-CⅠ		
履修上の注意、履修要件	人間発達学、小児科学、発達障害系理学療法学を十分理解して望むこと。 課題などを出題するので、それについて文献、書籍などをよく調べレポートにまとめ、発表やグループディスカッションを行うこと。		
成績評価の方法			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義に出題される課題、レポート、小テスト、他者評価 20%×5回 上記を総合的に評価する (原則、欠席・遅刻・早退を認めない。事前に連絡すること) 		
評価基準	各講義に出題される課題、レポート、小テスト、他者評価について教員と学生が評価を行う 最終評価は総合的に判断する		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・JUNTENDO PASSPORTまたはGoogle classroomの機能を使用して提出とフィードバックを行う。 ・直接質問がある場合はt.matsuda.ye@juntendo.ac.jpにメールをしてから御茶の水センタービル5階で対応する。 			
テキスト			
参考文献			
【参考図書】 小児理学療法学テキスト改訂第3版 細田多穂監修 南江堂 ISBN：978-4-524-25533-7 発達を学ぶ-人間発達学レクチャー 森岡周 協同医書出版 ISBN：978-4763910776 Crosslink 小児理学療法学 藪中良彦 木元稔 坂本仁 メディカルビュー ISBN 978-4-7583-2007-8 小児リハ評価ガイド 楠本泰士 友利幸之介 メディカルビュー ISBN 978-4-7583-1948-5 【その他】 講義でプリント配布			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日 12：10～13：10 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp 事前にメール連絡で随時対応		

担当教員の実務経験		松田雅弘 【教育経験】 植草学園大学、城西国際大学理学療法学科で7年間発達系理学療法の講義担当 埼玉県立大学、東京都立大学大学院で発達系理学療法の非常勤講師 順天堂大学理学療法学科で人間発達学、発達障害系理学療法の担当 【実務経験】 ・発達支援センター、療育機関、特別支援学校、保育所などでの理学療法士としての実務経験 ・発達系障害理学療法に関する研究 ・子どもロコモなどの運動器に関する啓蒙活動 藤野雄次 【実務経験】 ・埼玉医科大学国際医療センターで理学療法士としての実務経験		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松田雅弘 藤野雄次	オリエンテーション 【新生児期からの発達と効果的な発達の支援を学ぶ①】 ・胎児から新生児にかけての脳の発達、運動の発達を知る	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 新生児期の脳・運動の発達の特徴について復習する
2	松田雅弘 藤野雄次	【新生児期からの発達と効果的な発達の支援を学ぶ②】 ・胎児から新生児にかけての認知・社会性について学ぶ	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 新生児期の認知・社会性の発達の特徴について復習する
3	松田雅弘 藤野雄次	【新生児期からの発達と効果的な発達の支援を学ぶ③】 ・胎児から新生児にかけての理学療法のエビデンスについて学ぶ	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 新生児期の理学療法のエビデンスについて復習する
4	松田雅弘 藤野雄次	【新生児期からの発達と効果的な発達の支援を学ぶ④】 ・効果的な理学療法をまとめて、グループでディスカッションを行う	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について確認する 発表の準備を行う 【復習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について復習する
5	松田雅弘 藤野雄次	【新生児期からの発達と効果的な発達の支援を学ぶ⑤】 ・効果的な理学療法をまとめて、グループで発表を行う	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について確認する 発表の準備を行う 【復習】 (90分) 新生児期の発達の特徴と理学療法について復習する
6	松田雅弘 藤野雄次	【幼児から学童期にかけての発達と効果的な発達の支援を学ぶ①】 ・幼児から学童期の脳の発達、運動の発達を知る	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 幼児期から学童期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 幼児期から学童期の脳と運動の発達の特徴について復習する
7	松田雅弘 藤野雄次	【幼児から学童期にかけての発達と効果的な発達の支援を学ぶ①】 ・幼児から学童期の認知、社会性について学ぶ	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 幼児期から学童期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 幼児期から学童期の認知と社会性の発達の特徴について復習する
8	松田雅弘 藤野雄次	【幼児から学童期にかけての発達と効果的な発達の支援を学ぶ③】 ・幼児から学童期にかけての理学療法のエビデンスについて学ぶ	講義 グループディスカッション 実技・実演 発表	【予習】 (90分) 幼児期から学童期の発達の特徴と理学療法について確認する 【復習】 (90分) 幼児期から学童期の理学療法のエビデンスについて復習する

科目名	スポーツ理学療法学演習	授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Practice in Sports	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	相澤 純也	ナンバリング	SFP3214
担当教員	相澤 純也、池田 浩、宮森 隆行、中村 絵美		
授業概要			
全体内容	本演習では、スポーツ理学療法学で習得した国際標準的なスポーツ理学療法におけるリハビリテーションの基本的知識・技術をベースとして、アスリート患者の特徴や各スポーツの特異的動作・環境・ルールを考慮した、より具体的なリハビリテーションについて演習する。情報収集及びクリニカルテスト（痛み、筋力、関節可動域、エクササイズ・スポーツ制限、パフォーマンスなど）とエクササイズプログラム（コンディショニング、ストレッチング、ストレングスニング、徒手療法、テーピングなど）、スポーツ復帰支援の基本的な方法について説明できることを主目標とする。リーズニング・介入の実践能力を高めるために、症例情報やケーススタディ論文を提示し、討論や実技トレーニングを設ける。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在と過去の異常が組織治癒の進行や質に及ぼす影響について説明できる（3A:2）。 ・スポーツ外傷・障害からの回復に影響する現在と過去のコンディション、痛み（急性、慢性）の経験、他部位の治療歴、合併症、心理・社会・文化的側面について説明できる（3A:3; 3A:4）。 ・スポーツ外傷・障害のクリニカルテスト、パフォーマンステストの方法と結果解釈について説明できる（3A:5）。 ・スポーツ理学療法における計測や介入に関する最近の論文を批判的に読むことができる（3B:1）。 ・下記との関連性を考慮した病歴収集について説明できる：アスリートの優先事項とゴール；スポーツ特異的活動内容；心理社会的側面；診断や介入に至った現在及び過去のコンディションや治療（3C:2）。 ・スポーツ外傷・障害及びチーム内役割に関連する特異的スポーツ動作の観察と分析について説明できる（3C:4）。 ・スポーツ外傷・障害ごとに、筋力、関節可動域、柔軟性などのクリニカルテストや機能的パフォーマンステストの方法及び結果解釈について説明できる（3C:5; 3D:1; 3D:2）。 ・様々な情報（理学療法評価、現病歴、既往歴、治療歴、心理社会的側面、特異的リハビリテーションゴール）から問題点を挙げて、機能的な診断を下す流れについて説明できる（3D:3）。 ・個別性、科学的根拠、スポーツ特異性、既往・現病を考慮したプログラムとゴールについて説明できる（3D:4; 3D:5）。 ・スポーツ参加までにかかる時間の専門的な判断について説明できる（3D:6）。 ・他の専門職へのX線画像、MRI、手術などの急を要する紹介の必要性について説明できる（3E:1）。 ・個別性、外傷・障害特異性、ルールを考慮した科学的根拠に基づくエクササイズプログラム（コンディショニング、ストレングスニング、ストレッチング）の計画について説明できる（3E:2）。 ・スキル習得を含めた神経筋コントロール（静的、動的、反応、準備的）の向上のための科学的根拠と個別性を考慮したプログラム計画について説明できる（3E:3）。 ・ウォームアップ、リハビリ、リハビリテーションのための基本的なマッサージや徒手療法を一部実施できる（3E:4）。 ・安静、保護、治癒促進のための科学的根拠に基づくテーピングを一部実施できる（3E:5）。 ・体力や患部外機能を維持するためのトレーニング計画について説明できる（3E:8）。 ・スポーツやエクササイズへの復帰判断のタイミングについて説明できる（3E:10）。 ・各種テストの再現性や妥当性を考慮した結果解釈について説明できる（3F:2）。 <p>*括弧内番号は参考書⑤「Sports Physiotherapy Competencies and Standards, Standards Relating to Competency 3: Rehabilitation」の項目番号</p>		
授業の位置づけ	専門基礎科目である解剖学、生理学、運動学、整形外科学、スポーツ理学療法学で得られた知識を基礎として学修する。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	理学DP4-C2、理学DP4-C3、理学DP4-C4、理学DP4-C5		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業までに該当項目・部位に関連する下記について必ず予習し、授業後は学習内容を配布資料、テキスト、参考書等で再確認すること（小テストを実施することがある）。 ・関節の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ・筋の支配神経、起始・停止 ・キネマティクス、キネティクスの特徴 ・骨指標、関節、筋の触診法 <ul style="list-style-type: none"> ・形態測定、関節可動域テスト、徒手筋力テストなど ・2回目以降は評価や治療の実技練習をするため、動きやすく、身体各部を露出しやすい服装を準備しておくこと（Tシャツ、ハーフパンツなど）。 		
成績評価の方法			
評価方法	定期試験（80％）と小テスト（20％）を統合して最終評価する。		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリート患者の特徴や各スポーツの特異的動作・環境・ルールについて説明することができるか ・情報収集及びクリニカルテスト（痛み、筋力、関節可動域、エクササイズ・スポーツ制限、パフォーマンスなど）とエクササイズプログラム（コンディショニング、ストレッチング、ストレングスニング、徒手療法、テーピングなど）について説明することができるか ・スポーツ復帰支援の基本的な考え方や方法について説明することができるか 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
学生個人もしくはグループへ試験の結果や要改善点などについて適時フィードバックする。			
テキスト			
スポーツ理学療法プラクティス 急性期治療とその技法	片寄正樹、他	文光堂	978-4-8306-4560-0

スポーツ理学療法プラクティス 機能評価診断とその技法	片寄正樹、他	文光堂	978-4-8306-4559-4	
参考文献				
<p>① Roald Bahr (著)、赤坂清和 (訳) : スポーツ外傷・障害ハンドブック 発生要因と予防戦略、医学書院、2015</p> <p>② Peter Brukner (著)、杉山日出樹 (訳) : 臨床スポーツ医学、医学映像教育センター、2009</p> <p>③ 古賀英之、他 : 予防に導くスポーツ整形外科、文光堂、2019</p> <p>④ 相澤純也、他 : ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション、羊土社、2012</p> <p>⑤ Scott K. Powers (著)、内藤久士 (訳) : パワーズ運動生理学、メディカルサイエンスインターナショナル、2020</p> <p>⑥ 相澤純也、他 : 整形外科理学療法ベストガイド 上肢・脊椎編/下肢編、中外医学社、2018</p> <p>⑦ 赤坂清和、他 : 改訂第2版スポーツ理学療法学、メジカルビュー、2018</p> <p>⑧ 小橋由紋子 : スポーツ診療のための画像診断、メディカルサイエンスインターナショナル、2016</p> <p>⑨ 相澤純也、他 : クリニカルリーディングで運動器の理学療法に強くなる、羊土社、2017</p> <p>⑩ 青木治人、他 : スポーツリハビリテーションの臨床、メディカルサイエンスインターナショナル、2019</p> <p>⑪ Maria Constantinou (著)、赤坂清和 (訳) : DVDで学ぶ理論と実践 治療的テーピング、医学映像教育センター、2012</p> <p>⑫ James H. Clay (著)、大谷素明 (訳) : 改訂版 クリニカルマッサージ 目でわかる筋解剖学と触診・治療の基本テクニック、医道の日本社、2009</p> <p>⑬ David J. Magee (著) : Orthopedic physical assessment 7th ed., Saunders, 2020</p> <p>⑭ Michael Gross (著)、相澤純也 (訳) : アナトミカルキネシオロジー、メディカルサイエンスインターナショナル、2021</p> <p>⑮ International Federation of Sports Physical Therapy: Sports Physiotherapy Competencies and Standards, Standards Relating to Competency 3: Rehabilitation, https://ifspt.org/competencies/</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問や面談希望はメールで随時受け付ける (j.aizawa.ue@juntendo.ac.jp)			
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・順天堂医院リハビリテーション室でのスポーツ理学療法担当 ・順天堂医院整形外科・スポーツ診療科での診療業務 			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	相澤 純也 池田 浩 宮森 隆行 中村 絵美	スポーツ理学療法総論	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「I、II」及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
2	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法①	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関連する部分、及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
3	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法②	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
4	相澤 純也	膝外傷のスポーツ理学療法③	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「膝の靭帯損傷、半月板損傷」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
5	相澤 純也	足関節外傷のスポーツ理学療法①	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「足関節捻挫」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
6	相澤 純也	足関節捻挫のスポーツ理学療法②	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「足関節捻挫」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
7	宮森 隆行	股関節障害のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「股関節障害・グロインペイン」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料 【復習】 (90分) 当日の講義資料やテキストを再確認
8	宮森 隆行	下肢の筋・腱損傷のスポーツ理学療法	スライドと配布資料をもとに講義しながら適時、討論や実演を取り入れる。	【予習】 (90分) テキスト①、②の「ハムストリングス肉離れ、アキレス腱断裂」に関する部分及び前期スポーツ理学療法学の講義資料

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	関節障害理学療法学演習		授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Practice in Arthropathy		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年		単位数	1単位
代表教員	飛山 義憲		ナンバリング	SFP3215
担当教員	飛山 義憲、宮森 隆行、相澤 純也			
授業概要				
全体内容	本授業では関節障害に対するエビデンスに基づく理学療法とその根拠を学ぶことで、関節障害に対する基礎的な知識や技術だけでなく、科学的な理学療法を考察する能力の基盤を養成することを目標とする。授業では関節障害に関する診療ガイドラインやシステマティックレビューを検索し、レビューすることで各関節障害に対し推奨される理学療法および最新の知見に関する知識を身につけるとともに、推奨される理学療法の根拠や具体的な実施方法について考察し、実際の理学療法にどのように活かすべきかを議論する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な関節障害について診療ガイドラインやシステマティックレビューを検索することができる。 診療ガイドラインやシステマティックレビューから推奨される理学療法や最新の知見を得ることができる。 推奨される理学療法について、その根拠を考えることができる。 			
授業の位置づけ	本授業では診療ガイドラインやシステマティックレビューを読みとくことで運動器系理学療法学や運動器系理学療法学実習で学修した知識をさらに発展させる。さらに科学的な理学療法を考察する能力を養い、その後の臨床実習における実際の臨床場面において、その能力を活用し発展させる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1①, 理学DP3, 4-C1①：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる 共通DP2-C1②, 理学DP3, 4-C1②：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる 共通DP2-C1③, 理学DP3, 4-C1③：エビデンスに基づく理学療法を理解し、それに基づく基本的な理学療法を計画、実践できる 共通DP3-C1③, 理学DP5-C1③：最新のエビデンスに基づく医学・医療情報の収集を継続的に実践できる			
履修上の注意、履修要件	本授業では診療ガイドラインやシステマティックレビューの検索を行うため、検索を行えるデバイスを持参すること。運動器系理学療法学、運動器系理学療法学実習で学んだ理学療法について復習をして授業に臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	小テスト（50%）、期末試験（50%）を統合して評価するが、期末試験は60%以上の得点率を必須とする。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 関節障害に関する診療ガイドラインやシステマティックレビューを検索することができるか。 関節障害に対しエビデンスに基づく理学療法を理解できるか。 エビデンスに基づく理学療法について、その根拠を考えることができるか。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
小テストは回答送信直後に回答と解説を閲覧できるようにする。				
テキスト				
参考文献				
ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ				
その他				
連絡先・オフィスアワー	水曜日13：00～16：00 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 事前メール連絡で随時対応；y.hiyama.cj@juntendo.ac.jp			
担当教員の実務経験	臨床経験に基づき、理学療法を実践する能力を養成する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飛山 義憲	変形性膝関節症の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。（90分） 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。（90分）
2	飛山 義憲	変形性膝関節症、人工膝関節置換術前後の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。（90分）

				【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。特に、変形性膝関節症に対する有酸素運動の効果についてまとめる。(90分)
3	飛山 義憲	人工膝関節置換術前後の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。特に、伸展制限に対する理学療法の考え方についてまとめること。(90分)
4	飛山 義憲	変形性股関節症の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。(90分)
5	飛山 義憲	変形性股関節症、人工股関節置換術前後の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。特に、患者教育の個別性に関連してどのような指導が必要と想定されるかをまとめること。(90分)
6	飛山 義憲	人工股関節置換術前後の理学療法に関する診療ガイドライン	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。特に、エビデンスに基づき実施する場合のプロトコルについてまとめること。(90分)
7	相澤 純也	膝靭帯、半月板損傷および再建術、切除術、縫合術後に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインやシステムティックレビューに基づいた理学療法をまとめる。(90分)
8	相澤 純也	膝靭帯、半月板損傷および再建術、切除術、縫合術後に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】膝靭帯、半月板損傷および再建術、切除術、縫合術後の理学療法のエビデンスおよびディスカッションした根拠や実施方法についてまとめる。(90分)
9	相澤 純也	膝靭帯、半月板損傷および再建術、切除術、縫合術後に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】膝靭帯、半月板損傷および再建術、切除術、縫合術後の理学療法のエビデンスおよびディスカッションした根拠や実施方法についてまとめる。(90分)
10	相澤 純也	足関節、足部疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインに基づいた理学療法をまとめる。(90分)
11	相澤 純也	足関節、足部疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】足関節、足部疾患の理学療法のエビデンスおよびディスカッションした根拠や実施方法についてまとめる。(90分)
12	宮森 隆行	脊椎疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインやシステムティックレビューに基づいた理学療法をまとめる。(90分)
13	宮森 隆行	脊椎疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】脊椎疾患の理学療法のエビデンスおよびディスカッションした根拠や実施方法についてまとめる。(90分)
14	宮森 隆行	肩関節疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】運動器系理学療法学、実習で学習した同疾患について復習してから臨む。(90分) 【復習】診療ガイドラインやシステムティックレビューに基づいた理学療法をまとめる。(90分)
15	宮森 隆行	肩関節疾患に関する診療ガイドラインやシステムティックレビュー	グループワーク、ディスカッションにより学習を行う。	【予習】診療ガイドラインを復習してから臨むこと。(90分) 【復習】肩関節疾患の理学療法のエビデンスおよびディスカッションした根拠や実施方法についてまとめる。(90分)

科目名	認知神経心理学療法学演習	授業形態	演習	
英語科目名	Physical Therapy Practice in Cognitive Neuroscience	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	3年	単位数	1単位	
代表教員	山口 智史	ナンバリング	SFP3216	
担当教員	山口 智史、松田 雅弘、藤野 雄次、高橋 容子			
授業概要				
全体内容	本演習では、中枢神経疾患に伴う脳機能障害のうち、特に認知神経機能に焦点を当て、神経心理学療法学や神経心理学療法学実習で学修した知識と技術をさらに発展させる。脳機能イメージングなどの認知神経科学の知見に基づき、脳機能障害を科学的に検証する能力の養成を目標とし、実際の理学療法にどのように応用すべきかを議論する。さらに国内外の文献レビューを通じて批判的に論文を考察する能力を養うことも目標とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の構造と機能について、脳機能イメージングの知見をもとに説明できる。 ・神経への物理的な刺激法の神経生理学的機序について理解し、ニューロリハビリテーションにおける理学療法展開について説明できる。 ・認知機能、高次脳機能が破綻した病態や障害像を理解でき、理学療法展開について説明できる。 ・文献検索や課題をまとめる能力、プレゼンテーション能力を高め、論理的に報告できる。 			
授業の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷による病態のうち、特に認知機能や高次脳機能の障害に伴う運動・動作障害に対する理学療法の実用について学ぶ。 ・将来、病期を問わず中枢神経疾患に対する理学療法を学ぶうえで重要な演習となる。 			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・脳損傷後の認知機能低下や高次脳機能障害と、それを支援する理学療法を学ぶ。理学DP1-CⅠおよびⅡ。「人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力」や、理学DP3-CⅠ。「人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身につけている」と深く関連する。 ・自律的学習能力と科学的探究心を向上させる実施形態であり、理学DP5-Ⅰ。「理学療法学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力」を身につけることができる。 			
履修上の注意、履修要件	神経心理学療法学、神経心理学療法学演習を十分理解して望むこと。 課題発表、課題レポートに関して担当教員にアドバイスを求め、積極的にグループワークに参加すること。			
成績評価の方法				
評価方法	グループワークの取り組み・課題発表（70%）、小テスト（30%）の合計点により最終評価を行う。			
評価基準	各講義に出題される課題、小テスト、他者評価について教員と学生が評価を行う。 最終評価は総合的に判断する。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
授業内やJ-PASS、Google Classroomを使用して返却。				
テキスト				
参考文献				
【参考書】 ・高次脳機能障害ABC 網本和編集 文光堂 ISBN：978-4830645297 ・神経科学の最前線とリハビリテーション 里学明元、牛場潤一監修 医歯薬出版 ISBN：978-4263215357 【その他】 ・講義でプリント配布				
その他				
連絡先・オフィスアワー	毎週水曜日 15：00～17：00 その他は事前メールにて随時対応			
担当教員の実務経験				
備考	・授業回は1回あたり3コマ連続（90分×3）で行う。1コマ目は講義、2コマ目は実技・実演、3コマ目はグループディスカッションと発表とする。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松田 雅弘 山口 智史 藤野 雄次 高橋 容子	オリエンテーション 【脳損傷後の基本動作障害に対する評価と治療】 脳損傷後の基本動作障害の特徴を知り、評価や分析のポイントと理学療法の実施を学ぶ。	講義 実技・実演 グループディスカッション 発表	【予習】 （90分） 脳損傷後の病態や動作障害の特徴、理学療法の評価と治療について確認する。 【復習】 （90分） 脳構造と機能、脳損傷後の障害像について復習する。

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	急性期理学療法学演習	授業形態	演習	
英語科目名	Physical Therapy Practice in Acute Care	開講学期	2023年度後期(AUT)	
対象学年	3年	単位数	1単位	
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	SFP3217	
担当教員	高橋 哲也			
授業概要				
全体内容	本演習は、発症早期（特に集中治療室で）の急性期理学療法に焦点をおいた授業である。急性期理学療法に必要な病態理解、医学的管理方法、リスク管理を学ぶとともに、急性期理学療法の最適なプログラムを科学的に議論、考察できる能力を養成することを目標とする。そのために急性期理学療法に関する国内外の文献レビューを通じて、最新のエビデンスや知見を身に付け、今後の急性期理学療法の臨床や研究への活用や発展につながる能力を養うことも目標とする。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICUの理学療法を理解し、理学療法プログラムが立案できるようになる 2. 採血データの基本を理解し、患者の状態が説明できるようになる 3. 温度板の基本を理解し、病状や体調の変化を説明できるようになる 4. 胸部X線写真やCTなどの画像所見の基本的読影ができるようになる 5. 体位の違いによる生体の生理学的反応について説明できるようになる 6. 急性炎症およびICU-acquired weaknessについて説明できるようになる 			
授業の位置づけ	・ 2年後期『内部障害系理学療法』、3年前期『内部障害系理学療法学実習』で学修した知識や技術からさらに専門性を高める内容である。1年前期『救命救急学』の知識も必要になる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	・ 共通DP-1-C1・2-C1・3-C1、理学DP-1-C1・2-C1・3-C1・4-C1・5-C1			
履修上の注意、履修要件	・ 急性期理学療法学演習は、特定機能病院や急性期総合病院の集中治療室における理学療法を学ぶため、急性期病院で働く意思のある者の受講を期待する。内部障害理学療法学で学んだ内容が基礎となるため、配布資料や内部障害理学療法学の指定教科書をよく読んで、積極的な学修姿勢で臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	・ 確認テスト（40%）、定期試験（60%）により評価する			
評価基準	・ 急性期理学療法に必要な病態理解、医学的管理方法、リスク管理を理解し、急性期理学療法の最適なプログラムを科学的に議論、考察することができる。			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内やJuntendo Passportを使用して返却。 ・ 確認テストの結果は確認テスト終了直後に正答をフィードバックする。 				
テキスト				
参考文献				
特になし。必要に応じてプリントを授業の際に配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・ 事前メール連絡で随時対応			
担当教員の実務経験	担当する教員〔高橋哲也（群馬県立心臓血管センターなど）、齊藤正和（榑原記念病院など）、森沢知之（兵庫医科大学病院など）〕が病院での臨床経験（10年以上）を活かし、実際の症例に関する内容を交え講義を行う。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【ICUの理学療法①】 ICUの理学療法を理解し、離床プログラム、体位変換、移乗動作などを習得する。	・ 講義 ・ ディスカッション ・ 演習	【予習】事前配布資料をよく読んでくること（90分） 【復習】実施した内容は臨床に直結する知識・技術であるため、よく復習すること。確認テストに向けた準備をすること（90分）
	高橋哲也 森沢知之 齊藤正和	【ICUの理学療法②】 ICUの理学療法を理解し、離床プログラム、体位変換、移乗動作などを習得する。	・ 講義 ・ ディスカッション ・ 演習	【予習】事前配布資料をよく読んでくること（90分） 【復習】実施した内容は臨床に直結する知識・技術であるため、よく復習すること。確認テストに向けた準備をすること（90分）

科目名	高齢者理学療法学演習	授業形態	
英語科目名	Physical Therapy Practice in Older People	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	SFP3218
担当教員	高橋 哲也、森沢 知之、澤 龍一		
授業概要			
全体内容	<p>本演習では、介護予防やフレイル予防を履修内容の中核とし、演習を通して、高齢者に対する理学療法の基本的な応用力を養うことを目的とする。そのため高齢者が抱える多くの問題点を包括的に捉えることができ、老年医学症候群やフレイルに陥る危険が高い高齢者を選定するための知識・能力の習得及び科学的根拠に基づく理学療法の実践に向けて臨床推察ができるようになることを目標とする。また文献レビューを通して高齢者が抱える共通の課題である老年症候群やフレイルに関する最新のエビデンスを理解し、他職種との連携を踏まえて、高齢者理学療法学として、今後どのように活かすか討議する能力を養成することも目的とする。</p> <p>さらに、臨床実習を前に、ペーパーペイシエントを用いた臨床思考過程演習を行う。1) 患者の基本情報からどのような医学的情報や社会的情報などを収集すべきか、2) それらの情報をもとに理学療法評価はどのようなものを行えばいいのか、3) 評価の結果から、問題点を抽出し、どのようなゴールを設定し、プログラムを立案すればいいのかといった一連の臨床思考過程を演習によって学ぶ。</p>		
到達目標	<p>(1) 高齢者に対する身体・認知機能の測定について、それぞれの指標の内容を説明することが出来る。</p> <p>(2) 高齢者に対する身体・認知機能の測定について、適切な測定方法で実施することが出来る。</p> <p>(3) 高齢者に対する身体・認知機能の測定について、測定結果を理解することが出来る。</p> <p>(4) 高齢者に対する身体・認知機能の測定について、得られた結果を高齢者が分かりやすいように資料にまとめてフィードバックすることが出来る。</p> <p>(5) 代表的な疾患の患者の基本情報から適切な医学的情報や社会的情報などを列挙できる。</p> <p>(6) それらの情報から、適切な理学療法評価をリストアップできる。</p> <p>(7) 理学療法評価の結果から、問題点を抽出し、適切なゴールを設定したり、プログラムを立案できる。</p>		
授業の位置づけ	専門分野 理学療法治療学		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-1-C1, 2-C1, 3-C1 理学DP-1-C1,2-C1,3-C1,4-C1,5-C1		
履修上の注意、履修要件	<p>各回の講義前後には必ず予習、復習をおこなうこと。</p> <p>グループワークやグループ発表には、積極的に議論に参加すること。</p> <p>演習は、実際の臨床場面と同等とし、身だしなみ・態度等に留意して参加すること（装飾品・爪・服装）。</p>		
成績評価の方法			
評価方法	【成績評価方法】 定期テスト（50%）、作成資料およびグループ発表（50%）を統合して評価する。		
評価基準	【成績評価基準】 高齢者に対する理学療法に関して、身体・認知機能の測定の位置づけを説明することが出来るか。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
必要に応じて授業内やJuntendo Passportを使用して返却。			
テキスト			
参考文献			
【テキスト】 なし（必要に応じて事前に講義資料の配布、また事後に適宜参考資料を配布する。）			
【参考書】 Crosslink 理学療法学テキスト 高齢者理学療法学 MEDICAL VIEW			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日17：00-18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応		
担当教員の実務経験	担当教員は本講義を教える上で十分な臨床経験、教育経験、研究経験を有している。		
備考			
授業計画			

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【初回ガイダンス、高齢者理学療法学演習 概論】 地域高齢者の身体機能について学ぶ	講義	【予習】(90分) あらかじめ配布された資料をよく読んで演習に臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ高齢者の身体機能の特徴について復習すること。
2	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	高齢者の機能測定に関するオリエンテーションおよび準備①	演習	【予習】(90分) 高齢者の機能測定について、他科目を含めて資料を復習してから臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ測定方法について、復習すること。
3	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	高齢者の機能測定に関するオリエンテーションおよび準備②	演習	【予習】(90分) 高齢者の機能測定について、他科目を含めて資料を復習してから臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ測定方法について、復習すること。
4	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際①】 作成したマニュアルに従って、高齢者の身体・認知機能測定を実施する。	演習	【予習】(90分) 授業で作成したマニュアルを基に、注意点に配慮しながら測定を実施できるように準備して臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ注意点を考慮して、測定を実施できるよう練習をすること。
5	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際②】 作成したマニュアルに従って、高齢者の身体・認知機能測定を実施する。	演習	【予習】(90分) 授業で作成したマニュアルを基に、注意点に配慮しながら測定を実施できるように準備して臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ注意点を考慮して、測定を実施できるよう練習をすること。
6	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際③】 作成したマニュアルに従って、高齢者の身体・認知機能測定を実施する。	演習	【予習】(90分) 授業で作成したマニュアルを基に、注意点に配慮しながら測定を実施できるように準備して臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ注意点を考慮して、測定を実施できるよう練習をすること。
7	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際④】 高齢者の機能測定のフィードバック資料の作成	演習	【予習】(90分) 高齢者の機能測定のフィードバック資料を準備して臨むこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ注意点を考慮して、高齢者の機能測定について知識をまとめること。
8	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際⑤】 高齢者の機能測定のフィードバック資料に基づいた報告会(学内報告後、高齢者に返却)	演習	【予習】(90分) フィードバック資料に基づいた報告会に準備して臨むこと。 【復習】(90分) 他者の報告を聞いて、違いや改善点をまとめる。
9	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【演習：高齢者の身体・認知機能測定の実際⑥】 高齢者の機能測定のフィードバック資料に基づいた報告会(学内報告後、高齢者に返却)	演習	【予習】(90分) フィードバック資料を高齢者に返却する準備して臨むこと。 【復習】(90分) 他者のフィードバック資料を見て違いや改善点をまとめる。
10	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【臨床思考過程演習1-1】 症例検討A：代表的な疾患の患者の基本情報から適切な医学的情報や社会的情報などを列挙する。	演習	【予習】(90分) 代表的な疾患の患者の基本情報から適切な医学的情報や社会的情報などをリストアップしてくる。 【復習】(90分) グループ発表で出た質問やコメントを基に、医学的情報や社会的情報などを修正すること。
	高橋哲也 森沢知之 澤龍一	【臨床思考過程演習1-2】 症例検討A：代表的な疾患の患者の基本情報から適切な医学的情報や社会的情報などから、適切な理学療法評価をリストアップする。	演習	【予習】(90分) 代表的な疾患の患者の基本情報から適切な医学的情報や社会的情報などから、適切な理学療法評価をリストアップしてくる 【復習】(90分) グループ発表で出た質問やコメントを基に、理学療法評価を修正すること。

--	--	--	--	--

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	地域理学療法学I			授業形態	講義
英語科目名	Community-Based Rehabilitation I			開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年			単位数	2単位
代表教員	澤 龍一			ナンバリング	SFP3300
担当教員	澤 龍一、宮森 隆行、高橋 容子、春山 幸志郎、中村 絵美				
授業概要					
全体内容	本講義は、公衆衛生領域での一次予防と二次予防の重要性を理解し、理学療法士として地域レベルでの健康増進に寄与できる知識・技術の修得並びに高齢者や障がい者及びその家族が住み慣れた地域において継続して生活できるよう、主として生活支援の視点で学術的・実践的活動ができる知識・技術の修得を目的とする。本講義は、保健活動を基盤とする領域（地域住民の健康増進、生活習慣病予防、ポピュレーションアプローチなど）、老年学を基盤とする領域（加齢の理解、高齢者のための機能評価、介護予防など）、在宅支援を基盤とする領域（訪問リハ、介護負担軽減のための介護者支援など）に大別して行う。この際、公衆衛生学の研究領域から得られた知見も併せて概説し、学際的に地域理学療法学的重要性を学ぶ。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本邦の人口高齢化の状況並びに介護保険制度について説明することができる。 ・高齢化に伴う社会的な課題、個人の課題について知識を習得し、説明することができる。 ・高齢者や障がい者及びその家族が住み慣れた地域において継続して生活できるよう、主として生活支援の視点で学術的・実践的活動ができる知識を習得し、説明することができる。 				
授業の位置づけ	本講義では生活支援の視点での理学療法士の役割を学修する。運動器系理学療法学や神経系理学療法学などの専門科目で学修した内容を病院ではなく地域というフィールドで活用するための基礎として学びながら、得られた知識を地域理学療法学IIで発展させる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1 C II 共通DP1 C III 共通DP2 C I 共通DP3 C I 理学DP1 C II 理学DP2 C I 理学DP3 C I 理学DP4 C I				
履修上の注意、履修要件	講義内容に不明な点があれば事前に関連する書籍やインターネット等で調べておくことが好ましい。				
成績評価の方法					
評価方法	各講義内での小テスト（30％）、提出課題（10％）、定期試験（60％）を統合して最終評価する。 【成績評価基準】 地域において、理学療法や理学療法士の位置づけを説明することが出来るか。				
評価基準	公衆衛生領域における一次予防と二次予防の重要性について、それぞれの違いを明確にしながら説明することが出来るか 理学療法士として地域において健康増進に寄与するために必要となる、高齢者や障がい者の特性について説明することができるか				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
必要に応じて授業内やJuntendo Passportを使用して返却。					
テキスト					
Crosslink 理学療法学テキスト 地域理学療法学	浅川康吉	メジカルビュー社	978-4-7583-2010-8		
参考文献					
講義時に追加資料を配布					
その他					
連絡先・オフィスアワー	毎週月曜日 午後16:00～18:00 その他は事前メール受付で随時対応する。				
担当教員の実務経歴	担当教員は本講義を教える上で十分な臨床経験、教育経験、研究経験を有している。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	

1	澤龍一	【地域理学療法とは】 地域理学療法の概念とその意義について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 地域理学療法という文言の意味を調べておくこと。 【復習】(90分) 地域保健、地域リハビリテーション、地域理学療法の違いについて復習すること
2	澤龍一	【人口高齢化に伴う諸課題】 人口高齢化により生じている社会課題や個人の健康課題について概説し、理学療法が担える役割について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 「人口ピラミッド」「健康寿命」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること
3	澤龍一	【介護保険制度①】 介護保険制度の概要とその歴史の変遷について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 「介護保険」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
4	澤龍一	【介護保険制度②】 介護保険制度の内、訪問・通所・施設それぞれのサービスについて学び、そこでの理学療法士の役割を考える。	講義	【予習】(90分) 介護保険における「訪問サービス」「通所サービス」「施設サービス」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
5	澤龍一	【介護保険制度③】 介護保険制度の内、福祉用具貸与・購入、住宅改修について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 「福祉用具」「住宅改修」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
6	澤龍一	【老年症候群、フレイル】 老年症候群、フレイルについて概説し、理学療法士が担う役割を学ぶ。	講義	【予習】(90分) 「老年症候群」「フレイル」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
7	澤龍一	【サルコペニア、ロコモティブシンドローム】 サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて概説し、理学療法士が担う役割を学ぶ。	講義	【予習】(90分) 「サルコペニア」「ロコモティブシンドローム」について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
8	澤龍一	【認知症】 認知症について概説し、理学療法士が担う役割を学ぶ。	講義	【予習】(90分) 認知症について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
9	澤龍一	【転倒】 高齢者の転倒について概説し、理学療法士が担う役割を学ぶ。	講義	【予習】(90分) 高齢者の転倒について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
10	宮森隆行	【スポーツ：シニアサッカー】 中年期以降の健康増進におけるシニアサッカーの役割を概説する。	講義	【予習】(90分) 中年期以降の健康増進について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
11	宮森隆行	【スポーツ：総合型地域スポーツクラブの在り方】 地域住民における総合型地域スポーツクラブの健康増進に資する役割について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 総合型地域スポーツクラブについて調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
12	中村絵美	【スポーツ：学校運動器検診】 学校レベルでの運動器検診を概説し、理学療法士の役割について学ぶ。	講義	【予習】(90分) 運動器検診について調べておくこと。 【復習】(90分) 授業で学んだ内容について復習すること。
13	中村絵美	【スポーツ：スポーツ特異的検診】 スポーツに特異的な運動器検診について概説し、理学療法士の役割を学ぶ。	講義	【予習】(90分) スポーツにおける予防可能な外傷について調べておくこと。

科目名	地域理学療法学II		授業形態	講義
英語科目名	Community-Based Rehabilitation II		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年		単位数	2単位
代表教員	澤 龍一		ナンバリング	SFP3301
担当教員	澤 龍一			
授業概要				
全体内容	本講義は、地域理学療法Iで得た知識を発展させる。具体的には「模擬症例を通じた在宅における理学療法士の関わり」「予防理学療法」「産業理学療法」を実務者や障害当事者を招聘して話を聞くことで、改めて地域における理学療法士の役割の大きさを理解することを目的とする。講義全体を通じて、グループワークやディスカッションを活用しながら学修内容をアウトプットする機会を作ることで、医療専門職としてヘルソコミュニケーションの重要性の理解につなげていく。			
到達目標	(1) 予防という概念を理解し、様々な健康課題に対して予防的な観点から、理学療法士の役割を説明することが出来る。 (2) 症例に対して、生活機能の観点から問題点を抽出することが出来る。 (3) 産業保健分野における理学療法士の役割を説明することが出来る。			
授業の位置づけ	地域理学療法学Iで学修した内容を発展させるとともに、予防的観点から理学療法士の役割を再考する。予防理学療法の対象として高齢者だけではなく働き世代をとらえることで産業分野における理学療法士の役割を学修する。講義内ではグループワーク・発表機会を設けることで、学修内容のアウトプットを積極的に行っていく。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1 C II 共通DP1 C III 共通DP2 C I 共通DP3 C I 理学DP1 C II 理学DP2 C I 理学DP3 C I 理学DP4 C I 理学DP5 C I			
履修上の注意、履修要件	(1) 各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。 (2) グループワーク時には、積極的に議論に参加すること。			
成績評価の方法				
評価方法	講義中に実施する小テスト（20%）、課題発表（30%）、定期試験（50%）を踏まえて統合して評価する。			
評価基準	(1) 理学療法士の予防領域における役割を理解した上で、予防の取り組みの重要性を説明することが出来るか (2) 生活機能について、症例個人だけでなく、症例の生活する環境の側面からも問題点を抽出することが出来るか (3) 産業理学療法を理解し、理学療法士の産業領域における役割を説明することが出来るか			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
必要に応じて、授業内やJuntendo Passportを使用して返却				
テキスト				
予防と産業の理学療法	樋口由美/浅田史成/牧迫飛雄馬	南江堂	978-4-524-24693-9	
参考文献				
講義の事前・事後に適宜資料を配布する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	事前メールにて随時対応または水曜日16:00-17:00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）508号室			
担当教員の実務経歴	担当教員は本講義を教える上で十分な臨床経歴、教育経歴、研究経歴を有している。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間

1	澤龍一	【初回ガイダンス、間取り図の作成①】 (1) 授業計画や進め方について説明する (2) 自宅の間取り図作成方法について概説し、学生が自宅間取り図を作成する	講義	【予習】 (90分) 間取り図の書き方について調べておくこと 【復習】 (90分) 間取り図作成の必要性や書き方を復習すること
2	春山幸志郎、澤龍一	【間取り図作成②、事例検討】 (1) 生活環境評価としての間取り図作成を学修する (2) 間取り図を基に生活上の障害となる環境要因の抽出について学修する	講義 グループワーク	【予習】 (90分) 間取り図の書き方について、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
3	春山幸志郎、澤龍一	【症例検討（ケアプランの立案）】 (1) 理学療法の視点で地域におけるケアプラン立案を模擬症例を基に学修する	グループワーク	【予習】 (90分) 介護保険サービスについて、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
4	春山幸志郎、澤龍一	【立案したケアプランの発表（グループ発表）】 (1) 立案したケアプランについてグループ発表を実施する	グループワーク	【予習】 (90分) 介護保険サービスについて、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
5	澤龍一	【予防理学療法①】 (1) 予防理学療法の概要について学修する	講義	【予習】 (90分) 予防理学療法について、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
6	澤龍一	【予防理学療法②】 認知症や軽度認知障害の予防について学修する	講義	【予習】 (90分) 認知症や軽度認知障害について、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
7	春山幸志郎 講師招聘予定	【障害者の地域生活】 (1) 障害当事者の話を聞き、地域での生活を理解する (2) (1) を基に、小グループで「理学療法士として在宅で関わるために」というテーマでディスカッションをする	講義、グループディスカッション	【予習】 (90分) 地域で生活する障害者が利用できる制度について調べておくこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
8	春山幸志郎、澤龍一	【実習症例を想定したケアプランの立案】 (1) 臨床実習で担当した症例を想定して、自宅間取り図におけるケアプラン立案について学修する	講義、グループワーク	【予習】 (90分) 間取り図作成や介護保険サービスについて、調べておくこと 【復習】 (90分) グループ発表で他者から得られたコメントや指摘について再考して、介護サービスに関する思考を深めること
9	澤龍一	【理学療法の各専門領域における地域理学療法】 (1) 小児領域の地域での理学療法士の役割について学修する (2) 内部障害領域（呼吸・心臓）の地域での理学療法士の役割について学修する	講義	【予習】 (90分) これまでに学修した小児領域・内部障害領域の理学療法に関する基礎知識を調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 授業で学んだ内容について復習すること
10	澤龍一 講師招聘予定	【産業理学療法①】 (1) 産業保健の概要を学修する	講義	【予習】 (90分) 産業保健について、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 講義で学んだ内容について復習をすること
11	澤龍一 講師招聘予定	【産業理学療法②】 (1) 産業保健分野における理学療法士の役割を学修する	講義、グループワーク	【予習】 (90分) 産業保健分野の課題（頸部痛・腰痛）について、調べておくこと 【復習】 (90分) グループワークで学んだ内容について復習をして、知識を定着させること
12	澤龍一 講師招聘予定	【産業理学療法③】 (1) 理学療法を生かした企業での働きかたについて学修する	講義、ディスカッション	【予習】 (90分) 企業で働いている「働き世代」が抱える健康課題について、調べてから臨むこと 【復習】 (90分) 講義で学んだ内容を復習するとともに、それ以外にどのような理学療法の知識が企業で働く上で役立つか、考えてみること
13	眞壁寿、春山幸志郎、澤龍一	【予防啓発への取り組み①】 (1) 予防的観点から行動変容を促すための資料を作成する	グループワーク、ディスカッション	【予習】 (90分) ヘルスリテラシー、ヘルスコミュニケーション、行動変容などを復習してから臨む

科目名	臨床実習I（見学）	授業形態	実験・実習
英語科目名	Clinical Practice I(Early Clinical Exposure)	開講学期	2023年度前期(SPR)、2023年度後期(AUT)
対象学年	1年	単位数	1単位
代表教員	高橋 哲也	ナンバリング	SFP3400
担当教員	高橋 哲也、坂井 建雄、池田 浩、藤原 俊之、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、藤野 雄次、高橋 容子、澤 龍一		
授業概要			
全体内容	理学療法士の臨床現場を見学し、臨床で勤務する理学療法士の姿から医療専門職としての立ち振る舞いや言葉遣いなど行動規範を学ぶ。また医療における理学療法業務の位置づけを理解するために、他の専門医療職とどのように連携してチーム医療を実践しているか、実際の体験を通して学修する。医療専門職としての倫理観に触れ、臨床で理学療法士がどのように働き、どのように理学療法が行われているかについて、自分の目で見たこと、経験したことをまとめ、今後の学修の動機付けとなることをねらいとする。本実習は、全て本学医学部附属順天堂医院で行い、本学教員も参加して行う。本実習を行う前には、学内で十分にオリエンテーションを行い、実習に臨む態度や知識を確認し評価する。また終了後にも報告会を行うなどし、臨床実習後の評価を実施する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法業務の実際を知り、理学療法士を目指す具体的なイメージを持つことができる 2. 他の専門医療職とどのように連携してチーム医療を実践しているか理解することができる 3. 入院患者の理学療法を見学し、見学したことをメモに書き留めることができる 4. 見学内容を他者と共有し、議論することができる 5. 医療人としての基本的素養を習得する 		
授業の位置づけ	1年次から実施する臨床実習は4年間継続する臨床実習として最初の臨床現場での実習である。早期体験実習が該当し、対象者に評価・治療を行うのではなく、対象者や施設・医療スタッフに対して適切な態度で接すること、診療チームの一員としての理学療法士の役割について学ぶことを目的とする。主には対象者への対応等についての見学を実施する。 臨床実習で学んだことを1年次に履修している科目にも相互に活かし、通年として実施されるため見学の見る視点を増やしていき、専門性を高めていく。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	DP-1、C- I ①②③④ DP-2、C- I ①②③④ DP-3、C- I ① DP-4、C- I ①②③④⑤⑥ DP-5、C- I ①②③		
履修上の注意、履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 実習開始日、および実施日は別途指示する。 2) 実習の手引き、「リハビリテーション学生のための感染対策・SNSと個人情報・接遇ガイドブック」をよく読んで理解してくること。 3) 服装・身だしなみが順天堂医院の実習にふさわしくないと判断された学生は、実習への参加はできない。 4) 実際の臨床現場を経験する貴重な時間になるため、積極的な学修姿勢で臨むこと。また、各分野の最前線に触れることができる貴重な機会であることから、問題意識と新たな知識に触れる好奇心を持って臨むこと。 		
成績評価の方法			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> (1)実習中の学ぶ姿勢や参加態度（各指導者が評価） 40% (2)実習報告書（レポート） 20% (3)基礎知識の確認テスト 20% (4)報告会での発表評価、他者からの評価 20% 		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> (1)実習中の学ぶ姿勢や参加態度（各指導者が評価）：臨床実習教育者が評価を行う (2)実習報告書（レポート） 20%：担当教員が評価を行う (3)基礎知識の確認テスト 20%：担当教員が評価を行う (4)報告会での発表評価、他者からの評価 20%：担当教員、学生が評価を行う <p>最終評価は総合的に判断する</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
直接、ポートフォリオの添削を行う。JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行うこともある。			
テキスト			
参考文献			
特になし。必要に応じてプリントを配布する。			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日16：00-18：00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応		

担当教員の実務経験	全ての担当教員が5年以上の臨床経験を有する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也 全科目担当者	オリエンテーション	・臨床実習の手引きを配布し、臨床実習の進め方について説明を行う ・接遇とマナーに関して、臨床実習教育者から説明を行う	【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 実習の手引きを再確認しておくこと
2	高橋 哲也 北原 エリ子	臨床実習(見学)の心得		【予習】(90分) 順天堂医院の特徴を調べておく 【復習】(90分) 順天堂医院の特徴を再確認しておく
3	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
4	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
5	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー1-1		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
6	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー1-2		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
7	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
8	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
9	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
10	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
11	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー2-1		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
12	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー2-2		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる

				【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
13	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
14	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
15	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
16	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
17	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー3-1		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
18	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー3-2		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
19	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
20	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
21	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー4-1		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
22	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー4-2		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる 【復習】(90分) 他者の発表の感想をまとめる
23	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
24	高橋 哲也 全科目担当者	臨床見学 @順天堂大学医学部附属順天堂医院		【予習】(90分) 実習の手引きをよく読んでくること 【復習】(90分) 見学の情報をまとめる
25	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習サマリー5-1		【予習】(90分) 見学の情報をまとめる

科目名	臨床実習II（検査・測定）	授業形態	実験・実習
英語科目名	Clinical Practice II(Measurement)	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	2年	単位数	1単位
代表教員	眞壁 寿	ナンバリング	SFP3401
担当教員	眞壁 寿、松田 雅弘、藤野 雄次、春山 幸志郎、中村 絵美		
授業概要			
全体内容	本実習では、理学療法士が実施する検査・測定の一部を臨床現場で体験し、検査・測定の基本的な技術と知識を身に付ける。臨床実習は医療従事者の一員として社会生活を過ごす貴重な機会であり、臨床実習I（見学）に引き続き、社会人として必要な態度やコミュニケーション技術を学修する。実際の症例に対して検査・測定を行う前に、学内でオリエンテーションや検査・測定の練習を十分に行い、また終了後は、知識や技術の習得・進歩を確認するために、実践ベースの報告会を実施する。本実習は、全て本学医学部附属病院で行い、本学教員も参加して行う。本実習を行う前には、学内で十分にオリエンテーションや検査・測定の練習を十分に行い、実習に臨む態度を確認し、知識や技術の確認試験を行う。また終了後は、知識や技術の習得・進歩を確認するために、実践ベースの報告会を実施する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで学修してきた基本的知識を動員し、対象者に必要な検査・測定法を選択することができる 2. 対象者と意思の疎通を図り、検査・測定の実施に対する同意が得られる。 3. 対象者の状態を考慮して検査・測定を確実に実施できる。 4. 検査・測定の記録をとり、結果を文書としてまとめることができる。 5. 基本的な解釈を指導者の指導を受けて理解することができる。 6. 自身の知識・技術を補うための具体的な学修計画を立案できる。 		
授業の位置づけ	1年次より配置されている臨床実習で、1~2年次に学んだ理学療法の検査測定の実験・実習を行う。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ、共通DP1-CⅡ、共通DP1-CⅢ、共通DP2-CⅠ、共通DP3-CⅠ、理学DP1-CⅠ、理学DP1-CⅡ、理学DP2-CⅠ、理学DP3-CⅠ、理学DP4-CⅠ、理学DP5-CⅠ		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引き、順天堂医院 ポケットセーフティーマニュアル「接遇のマナー10箇条」「職業倫理」についてよく読んで理解しておくこと。 ・服装・身だしなみが順天堂医院の実習にふさわしくないと判断された学生は、実習への参加はできない。 ・遅刻・早退・欠席の場合は必ず事前に連絡すること。また、実習中の気分不良や実習後の体調不良についても速やかに連絡すること。 ・実際の臨床現場を経験する貴重な時間になるため、積極的な学修姿勢で臨むこと。また、各分野の最前線に触れることができる貴重な機会であることから、問題意識と新たな知識に触れる好奇心を持って臨むこと。 		
成績評価の方法			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習中の学生の情意領域（態度）、認知領域（知識）、精神運動領域（技能）をルーブリック表を用いて5段階に評価する（各指導者が評価）40% 2) 実習前テスト（解剖学・生理学・運動学・理学療法検査測定学の知識）20% 3) 実習後実技評価、実習後発表の自己評価・他者評価・教員評価 20% 4) 実習報告書 20% 2. 成績評価基準 理学療法士が実施する検査・測定の一部を臨床現場で体験し、検査・測定の基本的な技術と知識を身に付けている。 		
評価基準	評価比率については上記に示す。臨床実習担当教員、臨床実習教育者、学生の3者によって評価を行う。評価はルーブリックによって実施される。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・実習中・実習後に随時実施する。 ・実習後の発表に関する他者評価のフィードバックを実施する。 			
テキスト			
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。必要に応じてプリントを配布する。 ・「検査・測定学」「検査・測定学演習」など関連した講義の教科書・資料 ・臨床実習教育の手引き（第6版）、日本理学療法士協会のPDF ・PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤栄一監修 金原出版 ISBN 978-4-307-75045-5 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日 9：00～10：30 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp 事前にメール連絡で随時対応		

担当教員の実務経験		・各教員とも理学療法士の教育歴または病院における学生の指導経験を持っている。 ・うち7名が日本理学療法士協会が実施している臨床次週指導者講習会を修了している。		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也 全科目担当者	オリエンテーション 臨床実習前知識の確認	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・解剖学、生理学、運動学、検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・解剖学、生理学、運動学、検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
2	全科目担当者	臨床実習前実技能力の確認 臨床実習前OSCE 接遇について	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
3	全科目担当者	臨床実習前実技能力の確認 臨床実習前OSCE 臨床実習Ⅱ (検査・測定) の心得	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
4	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
5	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
6	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
7	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院	臨地実習	【予習】 90分 ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分)

		@順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)		・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
8	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
9	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
10	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
11	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
12	全科目担当者 実習指導者	臨床実習 (検査・測定) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 @順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター @順天堂大学医学部附属練馬病院 @順天堂大学医学部附属浦安病院 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
13	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	【予習】 (90分) ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・実習で得られたことをまとめる
14	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	【予習】 (90分) ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・実習で得られたことをまとめる
15	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	【予習】 (90分) ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分)

科目名	臨床実習Ⅲ（評価）	授業形態	実験・実習
英語科目名	Clinical Practice III(Evaluation)	開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	3年	単位数	5単位
代表教員	眞壁 寿	ナンバリング	SFP3402
担当教員	眞壁 寿、松田 雅弘		
授業概要			
全体内容	本実習では、臨床実習指導者による指導及び監督のもと、理学療法に必要な基本的な評価を学修する。個々のデータを収集、問題点を抽出して分析し、対象者の障害像を総合的に把握した後、患者の将来を予測し、治療目標及び治療計画を立案する過程を経験する。また評価実習は理学療法評価の一連の流れを理解し、次年度に実施されるインターン実習へ結び付ける教育期間として位置付けられる。具体的には、対象者と意思の疎通を図り、疾患・障害に応じた検査・測定を安全かつ確実に実施した後、結果を統合・解釈し、臨床実習指導者の助言を得て、問題点を抽出できるようになることを目標とする。更に評価結果を文書としてまとめ、評価結果を臨床実習指導者に報告することも重要である。臨床実習を行う前には、学内でオリエンテーションや知識確認試験及び客観的臨床能力試験（OSCE）を行う。終了後にも報告会や必要に応じてOSCEを行うなどし、臨床実習後の評価を実施する。本実習を行う前には、学内でオリエンテーションや知識確認試験及び客観的臨床能力試験（OSCE）を行う。終了後にも報告会や必要に応じてOSCEを行うなどし、臨床実習後の評価を実施する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで学修してきた基本的知識を動員し、対象者に必要な検査・測定法を選択することができる 2. 対象者と意思の疎通を図り、検査・測定の実施に対する同意が得られる。 3. 対象者の状態を考慮して検査・測定を確実に実施できる。 4. 検査・測定の結果をとり、理学療法評価の結果を文書としてまとめることができる。 5. 基本的な解釈と得られた情報から障害像考え、問題点を抽出し、課題解決に向けた仮説の立案に対して臨床実習教育者の指導を受けて理解することができる。 6. 自身の知識・技術を補うための具体的な学修計画を立案できる。 		
授業の位置づけ	1年次より年度ごとに配置されている臨床実習の1つで、対象者の理学療法評価の体験・実習、その解釈について学ぶ		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CⅠ、共通DP1-CⅡ、共通DP1-CⅢ、共通DP2-CⅠ、共通DP3-CⅠ、理学DP1-CⅠ、理学DP1-CⅡ、理学DP2-CⅠ、理学DP3-CⅠ、理学DP4-CⅠ、理学DP5-CⅠ		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引き、順天堂医院 ポケットセーフティーマニュアル「接遇のマナー10箇条」「職業倫理」についてよく読んで理解しておくこと。 ・服装・身だしなみが順天堂医院の実習にふさわしくないと判断された学生は、実習への参加はできない。 ・遅刻・早退・欠席の場合は必ず事前に連絡すること。また、実習中の気分不良や実習後の体調不良についても速やかに連絡すること。 ・実際の臨床現場を経験する貴重な時間になるため、積極的な学修姿勢で臨むこと。また、各分野の最前線に触れることができる貴重な機会であることから、問題意識と新たな知識に触れる好奇心を持って臨むこと。 		
成績評価の方法			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習中の学生の情意領域（態度）、認知領域（知識）、精神運動領域（技能）をルーブリック表を用いて5段階に評価する（各指導者が評価）40% 2) 実習前テスト（解剖学・生理学・運動学・理学療法検査測定学の知識）20% 3) 実習後実技評価、実習後発表の自己評価・他者評価・教員評価 20% 4) 実習報告書 20% 2. 成績評価基準 臨床実習指導者の指導及び監督のもと、理学療法に必要な基本的な評価ができる。 		
評価基準	評価比率については上記に示す。臨床実習担当教員、臨床実習教育者、学生の3者によって評価を行う。評価はルーブリックによって実施される。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・実習中・実習後に随時実施する。 ・実習後の発表に関する他者評価のフィードバックを実施する。 			
テキスト			
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。必要に応じてプリントを配布する。 ・「検査・測定学」「検査・測定学演習」など関連した講義の教科書・資料 ・臨床実習教育の手引き（第6版）、日本理学療法士協会のPDF ・PT・OTのための臨床技能とOSCE 才藤栄一監修 金原出版 ISBN 978-4-307-75045-5 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	木曜日 9：00～10：30 保健医療学部理学療法学科（御茶の水センタービル）503号室 t.matsuda.ye@juntendo.ac.jp 事前にメール連絡で随時対応		

担当教員の実務経験	・各教員とも理学療法士の教育歴または病院における学生の指導経験を持っている。 ・うち7名が日本理学療法士協会が実施している臨床次週指導者講習会を修了している。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋哲也 眞壁寿 全科目担当者	オリエンテーション 臨床実習前知識の確認テスト	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・解剖学、生理学、運動学、検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・解剖学、生理学、運動学、検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
2	全科目担当者	臨床実習前実技能力の確認 臨床実習前OSCE 接遇について	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
3	全科目担当者	臨床実習前実技能力の確認 臨床実習前OSCE 臨床実習Ⅱ (検査・測定) の心得	学内実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習の手引きを再確認しておくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容について再学習しておくこと
4	全科目担当者	臨床実習 (評価) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
5	全科目担当者	臨床実習 (評価) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
6	全科目担当者	臨床実習 (評価) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分) ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
7	全科目担当者	臨床実習 (評価) @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと 【復習】 (90分)

				<ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
8	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
9	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
10	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
11	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
12	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
13	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
14	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
15	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
16	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
17	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
18	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
19	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
20	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
21	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
22	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
23	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
24	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
25	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
26	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
27	全科目担当者	臨床実習（評価） @順天堂大学医学部附属順天堂医院 など外部臨床実習施設 (学生は1日実習予定)	臨地実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・検査・測定学、検査・測定学演習の内容を復習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・検査・測定した内容をまとめる
28	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習を含む理学療法評価の内容を復習しておくこと、発表準備 <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・実習で得られたことをまとめる
29	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習を含む理学療法評価の内容を復習しておくこと、発表準備 <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・実習で得られたことをまとめる
30	全科目担当者	臨床実習サマリー 臨床実習OSCE	学内実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・測定した内容をまとめる ・検査・測定学、検査・測定学演習を含む理学療法評価の内容を復習しておくこと、発表準備 <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習ポートフォリオの作成 ・実習で得られたことをまとめる

科目名	臨床実習Ⅳ（インターン）	授業形態	
英語科目名	Clinical Practice IV(Internship)	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	4年	単位数	12単位
代表教員	齊藤 正和	ナンバリング	SFP3403
担当教員	齊藤 正和、宮森 隆行、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、相澤 純也、山口 智史		
授業概要			
全体内容	本実習では、臨床実習指導者による指導及び監督のもと、理学療法を包括的に経験する。本実習では、評価により障害像を把握し、治療目標及び治療計画の立案、治療実践並びに治療効果判定を経験する。ある程度の助言・指導のもとに基本的理学療法を遂行できるようになることを目標とする。本実習は、理学療法全般にわたる問題解決の方法を学修し、理学療法卒前教育を総括する教育期間として位置付けられる。卒業後に基本的理学療法を安全に実践できるためには、卒業時には理学療法の基本的な知識と技能を習得している必要がある。従って本実習は、卒後の臨床教育との接続を意識して、侵襲性の高い技術を除く基本的理学療法の実践能力を身に付ける教育期間として位置付けられる。本実習を行う前には、学内でオリエンテーションや知識確認試験及び客観的臨床能力試験（OSCE）を行う。終了後にも報告会や必要に応じてOSCEを行うなどし、臨床実習後の評価を実施する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで学修してきた基本的知識を動員し、対象者の状態を考慮して必要な検査・測定法を選択することができる。 2. 検査・測定の記録をとり、理学療法評価の結果を文書としてまとめることができる。 3. 基本的な解釈と得られた情報から障害像を考え、問題点を抽出し、課題解決に向けた仮説の立案について臨床実習教育者の指導を受けて理解することができる。 4. 理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができる。 5. 対象者のリスク管理をしたうえで、臨床実習教育者の指導のもと運動療法、物理療法、義肢装具療法などを実施することができる。 6. 実施内容を診療記録等に記載することができる。 7. 自身の知識・技術を補うための具体的な学修計画を立案できる。 		
授業の位置づけ	本実習は、専門基礎科目（人体の構造と機能及び心身の発達、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進、保健医療福祉とリハビリテーションの理念）、専門科目（基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法治療学、臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）に続いて学修し、臨床実習Ⅴにつながる科目である。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1、理学DP1、共通DP2、理学DP3、理学DP4、理学DP2		
履修上の注意、履修要件	<p>臨床実習Ⅳ（インターン）実習の手引きを熟読し、下記において十分に準備、配慮すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全対策（医療安全、健康診断・抗体検査、感染症予防・対策、守秘義務、個人情報保護対策、ハラスメント、責任保険、他） 2. 実習前オリエンテーション 3. 出欠取り扱い 4. 事故発生時対応 5. 心構え（身だしなみ、時間厳守、礼節、他） 6. 提出書類 		
成績評価の方法			
評価方法	臨床実習教育者による評価と、臨床実習担当教員（大学教員）による学内評価で構成される（臨床実習教育者：全体の40％、臨床実習担当教員：全体の60％）。		
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで学修してきた基本的知識を動員し、対象者の状態を考慮して必要な検査・測定法を選択することができるか。 2. 検査・測定の記録をとり、理学療法評価の結果を文書としてまとめることができるか。 3. 基本的な解釈と得られた情報から障害像を考え、問題点を抽出し、課題解決に向けた仮説の立案について臨床実習教育者の指導を受けて理解することができるか。 4. 理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができるか。 5. 対象者のリスク管理をしたうえで、臨床実習教育者の指導のもと運動療法、物理療法、義肢装具療法などを実施することができるか（水準Ⅰ）。 6. 実施内容を診療記録等に記載することができるか。 7. 自身の知識・技術を補うための具体的な学修計画を立案できるか。 		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
診療参加型の実習教育形態を原則とする。臨床実習教育者が担当する対象者に対して、助手の位置づけにて学生を診療に参加し、学生の能力や習熟度に合わせて「見学」→「協同参加」→「実施」の段階付けを経ながら実習を進める。臨床実習教育者は学生の臨床実習デイリーノート、技術項目チェックリストをもとに実習状況を把握して、必要な指導と助言を行う。学内臨床実習担当教員は、学内においてOSCEや知識確認試験、報告会などを通して、臨床実習の到達度や効果判定についてフィードバックする。			
テキスト			
参考文献			
臨床実習教育の手引き（第6版）、公益社団法人 日本理学療法士協会 https://www.japanpt.or.jp/activity/books/education_01/			
その他			
連絡先・オフィスアワー	質問や面談希望は、臨床実習ワーキンググループや施設窓口の教員が随時メールで受け付ける		

担当教員の実務経験		順天堂大学医学部附属順天堂医院リハビリテーション室での理学療法業務		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	理学療法学科教員	実習前オリエンテーションおよび実習前知識確認	講義、演習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと 【復習】 (90分) ・オリエンテーションの内容を復習し、不明な点は教員に確認すること
2	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
3	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
4	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
5	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
6	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
7	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】 (90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
8	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】 (90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理

				学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
9	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
10	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
11	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
12	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
13	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
14	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと
15	理学療法学科教員	学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している医療機関）において見学・体験実習を行う。	実習	【予習】(90分) ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・実習施設の特徴を把握し、想定される担当症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する基本知識を確認しておくこと 【復習】(90分) ・実習で関与した症例の疾患・病態、検査・測定、理学療法に関する情報について復習しておくこと

科目名	臨床実習V (地域)	授業形態	実験・実習
英語科目名	Clinical Practice V(Community)	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	4年	単位数	1単位
代表教員	齊藤 正和	ナンバリング	SFP3404
担当教員	齊藤 正和、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、相澤 純也、山口 智史		
授業概要			
全体内容	本実習では、臨床実習指導者による指導及び監督のもと、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションを経験する。訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションでの理学療法を経験し、その業務内容や役割について説明できるようになることを目標とする。本実習は、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割の理解と新たなキャリアデザインの機会として位置づけられる。本実習を行う前には、学内で十分にオリエンテーションを行い、実習に臨む態度や知識を確認し評価する。また終了後には報告会を行うなどし、臨床実習後の評価を実施する		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者（および家族）の生活特性について理解し説明できる。 2. 対象者（および家族）や関係者に対して適切なコミュニケーションをとることができ、必要とされる態度を理解し実践できる。 3. 各事業所で提供しているサービス内容の特徴を理解し説明できる。 4. 理学療法士および他の医療従事者の業務内容と役割を説明できる。 5. 対象者のニーズを理解することができる。 6. 地域における他職種との連携を理解し説明できる。 7. 関係する保険制度（医療保険、介護保険など）について調べ示すことができる。 8. 養成施設内での実習報告会等で上記について報告し、ディスカッションすることができる。 		
授業の位置づけ	1~4年次の臨床実習で学んだ知識・技術を地域福祉の実践にまで拡張し、理学療法士の幅広いかわり方を見学・体験する。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	保健医療学部理学療法学科の臨床実習はディプロマ・ポリシーのすべてに該当し、その実践の場となる。特に理学DP3、人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身につけていることに深く関連しており、学内の演習・実習を通じて学んだことを学外の施設で見学・体験し、理解を深める。 理学DP3-C1		
履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読み、地域福祉の制度や理学療法について予習しておくこと。 ・事前に指定された適切な服装・身だしなみで実習に臨むこと。 ・遅刻・早退・欠席の場合は必ず事前に連絡すること。また、実習中の気分不良や実習後の体調不良についても速やかに連絡すること。 ・実際の地域医療・福祉の現場を経験する貴重な時間になるため、積極的な学修姿勢で臨むこと。 		
成績評価の方法			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中の学ぶ姿勢や参加態度、利用者とのかわり方（各指導者が評価） 40% ・実習後発表の自己評価・他者評価・教員評価 30% ・実習報告書（教員が評価） 30% 		
評価基準	臨床実習担当教員、臨床実習教育者、学生の3者によって評価を行う。評価はルーブリックによって実施される。		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・実習中・実習後に随時実施する。 ・実習後の発表に関する他者評価のフィードバックを実施する。 			
テキスト			
参考文献			
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習の手引き（第6版）、日本理学療法士協会HP ・地域理学療法学I・IIで使用したテキスト 			
その他			
連絡先・オフィスアワー	水曜日 10:30~12:00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）508号室 k.haruyama.us@juntendo.ac.jp（事前にメール連絡で随時対応）		
担当教員の実務経験	・各教員とも理学療法士の教育歴および病院における学生の指導経験を有している。		
備考			
授業計画			

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高橋 哲也 全科目担当者	実習前オリエンテーション 臨床実習前知識の確認	講義・演習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
2	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと <p>【予習】(90分)</p>
3	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
4	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
5	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
6	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
7	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
8	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習(地域) 学生は個々の実施施設(理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション)を提供する事業所)において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】(90分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと

				<p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
9	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習（地域） 学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション）を提供する事業所）において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
10	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習（地域） 学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション）を提供する事業所）において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
11	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習（地域） 学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション）を提供する事業所）において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
12	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習（地域） 学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション）を提供する事業所）において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
13	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習（地域） 学生は個々の実施施設（理学療法士が勤務している通所リハビリテーションあるいは訪問リハビリテーション）を提供する事業所）において見学・体験実習を行う。 学生は1日実施予定	実習	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きをよく読んでおくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を再復習しておくこと
14	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習報告会（学内） 学生はグループ単位で臨床実習で見学・体験した内容について発表・質疑応答を行う。	発表・ディスカッション	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・実習ポートフォリオの作成
15	高橋 哲也 全科目担当者	臨床実習報告会（学内） 学生はグループ単位で臨床実習で見学・体験した内容について発表・質疑応答を行う。	発表・ディスカッション	<p>【予習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域理学療法・地域包括マネジメント論の講義内容を復習しておくこと ・対象となる利用者の関連する疾患・障害・社会制度を予習しておくこと <p>【復習】（90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で関与した利用者の疾患、障害、社会制度の情報を復習しておくこと ・実習ポートフォリオの作成

科目名	理学療法研究法	授業形態	講義
英語科目名	Research Methods in Physical Therapy	開講学期	2023年度前期(SPR)
対象学年	3年	単位数	1単位
代表教員	齊藤 正和	ナンバリング	SFP3500
担当教員	齊藤 正和、相澤 純也、山口 智史		
授業概要			
全体内容	理学療法における研究の意義、目的及び研究を遂行する際の具体的な方法論について学修する。研究のテーマや仮説設定に向けた文献検索や資料収集、研究計画書の作成までの研究準備の一連の過程を学修する。研究計画書に準じて、測定、計測、調査を進め、データの整理や解析、統計学的な解析方法を学び、仮説の検証作業ができるようにする。また一連の研究過程で得られた結果から科学的根拠に基づく考察を考え、論文作成や研究発表を通して理学療法における研究の意義を学修する		
到達目標	理学療法における学術的な考え方を理解することができる 文献検索、研究計画の作成、データ収集、発表準備および論文作成方法など研究過程を学び、理学療法における研究方法を理解することができる。		
授業の位置づけ	必要な情報を適切に収集・活用できる能力を身につけるとともに、研究プロセスを理解し、自らの能力を点検・評価し生涯にわたる自立的学習能力と科学的探究心の習得を目指すための授業とする。 また、3年次の理学療法ゼミでの研究計画書作成、4年次の卒業研究を進めるための基礎的な知識の習得を目標とする授業の位置づけとする。		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP1-CPⅢ2 共通DP1-CPⅢ4 理学DP3-CP1 理学DP3-CP2 理学DP3-CP3 理学DP3-CP4 理学DP3-CP5 理学DP3-CP6 理学DP5-CP1 理学DP5-CP2 理学DP5-CP3 理学DP5-CP4 理学DP5-CP5 理学DP5-CP6		
履修上の注意、履修要件	提出課題（小テスト）で理解度の確認を行うとともに、グループワークではルーブリック評価により学習過程を評価します。		
成績評価の方法			
評価方法	課題 40% 学習過程（ルーブリック評価）60%		
評価基準	科学的根拠に基づく理学療法の考え方を理解することができるか？ 文献検索ができるか？ 研究計画の作成ができるか？ データ収集、発表準備および論文作成方法など研究過程が理解できるか？ 理学療法における研究方法を理解することができるか？		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業内で実施する			
テキスト			
参考文献			
参考書 1. 最新 理学療法学講座 理学療法研究法（医歯薬出版株式会社） 2. 標準理学療法学 理学療法研究法（第3版）（医学出版）			
その他			
連絡先・オフィスアワー	事前メールにて随時対応		

担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	齊藤正和	理学療法士としての研究とは	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】理学療法における研究の目的や意義について考えておくこと（90分） 【復習】理学療法における研究の目的や意義について復習すること（90分）
2	齊藤正和	臨床研究の実際	講義	【予習】興味がある理学療法領域の臨床研究の実施方法について調べておくこと（90分） 【復習】興味がある理学療法領域の臨床研究の実施方法について復習すること（90分）
3	齊藤正和	研究デザインとPICO	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】研究のデザイン、PICO、バイアスについて予習し、整理しておくこと。（90分） 【復習】研究のデザイン、PICO、バイアスについて復習すること。（90分）
4	齊藤正和	リサーチクエストの作り方	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】クリニカルクエスト、リサーチクエストについて予習し、整理する（90分） 【復習】クリニカルクエスト、リサーチクエストについて復習する（90分）
5	山口智史	研究計画の立案とバイアス	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】研究計画書に必要な項目について予習し、整理する（90分） 【復習】研究計画書に必要な項目を整理し、計画書の作成方法について復習する（90分）
6	山口智史	論文の検索方法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】文献検索データベース、文献検索手順について予習し、整理する（90分） 【復習】文献検索データベース、文献検索手順について復習する（90分）
7	山口智史	論文の読み方	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】研究論文を読む際の批判的吟味について予習し、整理する（90分） 【復習】研究論文を読む際の批判的吟味について復習する（90分）
8	山口智史	研究倫理と倫理審査	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】研究倫理（捏造、改ざん、盗用、二重投稿、サラム論文、不適切なオーサーシップ、引用、転載、利益相反）について予習し、整理する（90分） 【復習】研究倫理（捏造、改ざん、盗用、二重投稿、サラム論文、不適切なオーサーシップ、引用、転載、利益相反）について復習する（90分）
9	相澤純也	データの種類、集計や統計手法	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】データの種類や集計や基本統計手法について予習し、整理する（90分） 【復習】データの種類や集計や基本統計手法について復習する（90分）
10	相澤純也	学会発表、論文作成	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】発表スライド、模擬論文の作成方法について予習し、整理する（90分） 【復習】発表スライド、模擬論文の作成方法について復習する（90分）
11	相澤純也	ポスター、スライド作成	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】発表スライド、模擬論文の作成方法について予習し、整理する（90分） 【復習】発表スライド、模擬論文の作成方法について復習する（90分）
12	相澤純也	ポスター、スライド作成	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】発表スライド、模擬論文の作成方法について予習し、整理する（90分） 【復習】発表スライド、模擬論文の作成方法について復習する（90分）
13	齊藤正和	ポスター、スライド作成	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】発表スライド、模擬論文の作成方法について予習し、整理する（90分） 【復習】発表スライド、模擬論文の作成方法について復習する（90分）
14	齊藤正和、山口智史、相澤純也	発表	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】分かりやすいプレゼンテーションの仕方について予習し、練習する（90分） 【復習】分かりやすいプレゼンテーションの仕方について復習する（90分）
15	齊藤正和、山口智史、相澤純也	発表	講義、グループワーク、ディスカッション	【予習】分かりやすいプレゼンテーションの仕方について予習し、練習する（90分） 【復習】分かりやすいプレゼンテーションの仕方について復習する（90分）

科目名	理学療法ゼミナール		授業形態	講義
英語科目名	Physical Therapy Seminar		開講学期	2023年度前期(SPR)、2023年度後期(AUT)
対象学年	3年		単位数	2単位
代表教員	高橋 哲也		ナンバリング	SFP3501
担当教員	高橋 哲也、宮森 隆行、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、相澤 純也、山口 智史、齊藤 正和、中村 絵美、澤 龍一			
授業概要				
全体内容	少人数による1年間の理学療法ゼミナールでは、理学療法基礎ゼミナールの少人数グループを卒業研究テーマに応じた少人数グループに再編し、ゼミナール担当教員の指導下で理学療法に関連する具体的な卒業研究のテーマを決定し、研究実施計画を立案する。具体的には図書館を利用した先行研究の文献検索や収集、測定機器の取扱方法や、具体的な計測方法、統計学的処理方法、仮説の立案など、研究計画立案の一連の課程をグループワークによる協調の中で学ぶ。必要に応じて研究倫理審査を受ける。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究のテーマ、背景、目的、仮説、計測・分析方法、予想結果を記載した計画書をグループで作成し期限内に提出できる。 当該研究の計画・実施に要する知識・技術について説明、実演できる。 教員の指導のもとで必要に応じて、研究計画に対する倫理審査を受け承認を得ることができる。 教員の指導のもとで必要に応じて予備的研究を実施できる。 			
授業の位置づけ	基礎ゼミナール、理学療法研究法で学修した知識をもとに研究計画書を作成する。この計画書に基づいて4年次の卒業研究が行われる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP3-C- I ①②③④ 理学DP5-C- I ①②③④			
履修上の注意、履修要件	各ゼミナールまでに研究計画・実施に必要な、知識・技術について必ず予習する。ゼミナール後は学習、整理した内容を資料、参考書等で再確認する。出された課題は期限内に必ず提出する。			
成績評価の方法				
評価方法	研究計画書（80%）と計画発表（20%）を統合して最終評価する。発表評価ではルーブリックによる自己、他者評価を用いる。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究のテーマ、背景、目的、仮説、計測・分析方法、予想結果を記載した計画書をグループで作成し期限内に提出できるか。 当該研究の計画・実施に要する知識・技術について説明、実演できるか。 教員の指導のもとで必要に応じて、研究計画に対する倫理審査を受け承認を得ることができるか。 教員の指導のもとで必要に応じて予備的研究を実施できるか。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
学生個人もしくはグループヘメールや連絡システムを用いてフィードバックする。				
テキスト				
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	初回のオリエンテーションにて領域担当教員より連絡する。質問はメールでも随時受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	理学療法学科理学療法士教員	研究計画立案、計画書作成に向けたオリエンテーション、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	グループワーク	【予習】（90分）研究計画やこれに要する知識、技術について個人、グループで調べる。 【復習】（90分）ゼミナールの内容についてまとめる。課題を出された場合には個人、グループで取り組み、教員の指示に従って必ず期限内に提出する。
2	理学療法学科教員	研究計画立案、計画書作成に向けたディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	グループワーク	【予習】（90分）研究計画やこれに要する知識、技術について個人、グループで調べる。

科目名	卒業研究		授業形態	
英語科目名	Graduation Research		開講学期	2023年度前期(SPR)、2023年度後期(AUT)
対象学年	4年		単位数	2単位
代表教員	高橋 哲也		ナンバリング	SFP3502
担当教員	高橋 哲也、坂井 建雄、池田 浩、宮森 隆行、藤原 俊之、眞壁 寿、松田 雅弘、森沢 知之、飛山 義憲、藤野 雄次、高橋 容子、春山 幸志郎、相澤 純也、山口 智史、齊藤 正和、中村 絵美、澤 龍一			
授業概要				
全体内容	理学療法ゼミナールで立案した研究実施計画に沿って、データ収集、データ解析、統計学的処理を行う。また得られた結果から研究の目的の整合性を考え、結果を考察し、科学的根拠のある論文として完成させる。一連の過程の中で論理的思考を経験し、自分の考えを発表する手順と具体的方法を学ぶことで理学療法学における研究の重要性を学修する。最終的には卒業研究発表を行い、卒業論文を完成させる。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導のもとでデータ収集、データ解析、統計学的処理ができる。 ・教員の指導のもとで得られた結果から研究の目的の整合性を考え、結果を考察し、科学的根拠のある論文を作成できる。 ・研究の成果を発表会で発表できる。 			
授業の位置づけ	基礎ゼミナール、理学療法研究法で学修した知識をもとに理学療法ゼミナールで作成した研究計画書に基づいて行われる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP-3、理学DP5			
履修上の注意、履修要件	各ゼミナールまでに研究実施に必要な、知識・技術について必ず予習する。ゼミナール後は学習、整理した内容を資料、参考書等で再確認する。出された課題は期限内に必ず提出する。			
成績評価の方法				
評価方法	研究論文（80%）と成果発表（20%）を統合して最終評価する。発表評価ではルーブリックによる自己、他者評価を用いる。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導のもとでデータ収集、データ解析、統計学的処理ができるか。 ・教員の指導のもとで得られた結果から研究の目的の整合性を考え、結果を考察し、科学的根拠のある論文を作成できるか。 ・研究の成果を発表会で発表できるか。 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
学生個人もしくはグループヘメールや連絡システムを用いてフィードバックする。				
テキスト				
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	初回のオリエンテーションにて領域担当教員より連絡する。質問はメールでも随時受け付ける。			
担当教員の実務経験				
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	理学療法学科教員	研究実施、成果発表に向けたオリエンテーション、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	オリエンテーション、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	【予習】（90分）研究実施、成果発表やこれに要する知識、技術について個人、グループで調べる。 【復習】（90分）ゼミナールの内容についてまとめる。課題を出された場合には個人、グループで取り組み、教員の指示に従って必ず期限内に提出する。
2	理学療法学科教員	研究実施、成果発表に向けたディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	【予習】（90分）研究実施、成果発表やこれに要する知識、技術について個人、グループで調べる。 【復習】（90分）ゼミナールの内容についてまとめる。課題を出された場合には個人、グループで取り組み、教員の指示に従って必ず期限内に提出する。
3	理学療法学科教員	研究実施、成果発表に向けたディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション	【予習】（90分）研究実施、成果発表やこれに要する知識、技術について個人、グループで調べる。

科目名	理学療法学会セミナー			授業形態	演習
英語科目名	Physical Therapy Applied Seminars			開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	4年			単位数	1単位
代表教員	高橋 哲也			ナンバリング	SFP3503
担当教員	高橋 哲也、眞壁 寿、飛山 義憲、山口 智史				
授業概要					
全体内容	本授業では理学療法に必要な医学的基礎知識と理学療法専門知識を総復習する。総復習は科目横断的に領域ごとに行い、理学療法士国家試験の過去問をもとにした反復学習を基本とし、知識の定着を確認するため模擬試験を複数回実施する。反復学習はグループ学習にて行い、互いに知識の不足を補い、教えあうことで知識の定着を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法評価の基本的な考え方について理解し、各疾患において必要な評価を挙げ、実践方法について説明できる。 ・運動器疾患、神経疾患、内部障害疾患などに対する理学療法を理解し、実践方法について説明できる。 				
授業の位置づけ	これまでに学修した基礎科目および専門科目の知識を統合し、卒業に向けた知識の総まとめを行う。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>共通DP2-C1①, 理学DP3,4-C1①：身体機能と構造、疾病・障害・治療を理解し、説明できる。</p> <p>共通DP2-C1②, 理学DP3,4-C1②：医学的知識に基づき患者の状況・ニーズを評価できる。</p> <p>共通DP2-C1③, 理学DP3,4-C1③：エビデンスに基づく理学療法を理解し、それに基づく理学療法を計画、実践できる。</p> <p>共通DP2-C1④, 理学DP3,4-C1④：患者の立場と心情を理解し、適切な理学療法を提供できる。</p>				
履修上の注意、履修要件	これまでの総復習を十分にしたらうえで臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	授業内で実施する計5回の筆記試験のいずれも60%以上を必須とする。				
評価基準	理学療法に必要な基礎知識と専門知識を身につけているか。				
試験・課題等に対するフィードバック方法					
Juntendo Passportを活用し課題のフィードバックを行う。					
テキスト					
参考文献					
これまでに使用してきたテキストを活用すること。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	水曜日16:00～18:00 保健医療学部理学療法学科（御茶ノ水センタービル）507号室 te-takahashi@juntendo.ac.jp 事前メール連絡で随時対応				
担当教員の実務経験					
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	高橋、眞壁	神経系理学療法に関連する国家試験問題を基に、理学療法の考え方についてグループワークによりディスカッションし、理解を深める。	グループワーク、ディスカッション	【予習】提示された課題について調べる（90分） 【復習】提示された課題に対する考え方をまとめ、提出する（90分）	
2	高橋、眞壁	神経系理学療法に関連する国家試験問題を基に、理学療法の考え方についてグループワークによりディスカッションし、理解を深める。	グループワーク、ディスカッション	【予習】提示された課題について調べる（90分） 【復習】提示された課題に対する考え方をまとめ、提出する（90分）	
3	高橋、眞壁	神経系理学療法に関連する国家試験問題を基に、理学療法の考え方についてグループワークによりディスカッションし、理解を深める。	グループワーク、ディスカッション	【予習】提示された課題について調べる（90分） 【復習】提示された課題に対する考え方をまとめ、提出する（90分）	
4	高橋、眞壁	神経系理学療法に関連する国家試験問題を基に、理学療法の考え方についてグループワークによりディスカッションし、理解を深める。	グループワーク、ディスカッション	【予習】提示された課題について調べる（90分） 【復習】提示された課題に対する考え方をまとめ、提出する（90分）	

科目名	生化学		授業形態	講義
英語科目名	Biochemistry		開講学期	2023年度後期(AUT)
対象学年	1年		単位数	2単位
代表教員	長岡 功		ナンバリング	BAP1106
担当教員	長岡 功			
授業概要				
全体内容	<p>人体の機能や生命の維持がどのように行われているのか、さらには病気・病態の成り立ちや、それらの治療を理解するには、人体を構成する化学成分（生体物質）や体内での化学反応（代謝）を知る必要がある。本講義では、人体を化学的物質の集合体としてとらえ、どのように生命維持が行われているのかを化学的側面から講義する。まず人体の最小生命単位である細胞の構造・機能から始まり、生体物質の種類とその役割について学ぶ。つぎにそれぞれの生体物質や摂取した物質がどのように代謝され生命の維持に関わるのかを学ぶ。そして基礎的な人体の構造・機能を理解したうえで、これらの異常がどのような病態を起し、病気の原因となるかを分子レベルで化学的に理解できるようにする。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する分子、細胞の構造と機能を説明できる。 ・アミノ酸およびタンパク質の化学構造とその特性を説明できる。 ・酵素の種類、特性、反応機構を説明できる。 ・主要な糖質の化学構造とその特性を説明できる。 ・主要な脂質の化学構造とその特性を説明できる。 ・糖質、脂質、タンパク質の消化・吸収について説明できる。 ・エネルギー代謝調節機構を説明できる。 ・核酸の化学構造とその特性、遺伝情報、DNAの複製機構について説明できる。 ・ホルモンの種類と作用を説明できる。 ・ビタミンの種類と作用を説明できる。 ・内部環境の恒常性（ホメオスタシス）を説明できる。 ・血液（血球成分・血漿成分）、尿、酸・塩基平衡について説明できる。 			
授業の位置づけ	本講義では、人体を化学的物質の集合体としてとらえ、どのように生命維持が行われているのかを化学的側面から講義する。そして、これらの異常がどのような病態を起し、病気の原因となるかを分子レベルで化学的に理解する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	共通DP2-C1：専門的知識と実践能力 理学DP3-C1：専門的知識と実践能力			
履修上の注意、履修要件	各回の講義前後には必ず予習、復習を行うこと。講義前にプレテスト、講義後にポストテストを行い評価する。そのために、事前にテキストの関連項目、講義資料を確認しておくこと。また、講義後に、講義内容を復習すること。			
成績評価の方法				
評価方法	プレテスト・ポストテスト（30%）、日常の学習状況（平常点：10%）、定期試験（60%）を統合して評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成している糖質、脂質、タンパク質、核酸、酵素、ビタミン等の構造と機能について説明できる。（定期試験） ・エネルギー代謝、糖質代謝、脂質代謝、アミノ酸及びタンパク質の代謝、核酸代謝について理解している。（定期試験） ・代謝の乱れと病気、免疫、器官の生化学及び遺伝の生化学について論じることができる。（定期試験） ・授業回数の3分の2以上の出席者のみを評価対象として、受講態度によって評価する。（平常点） 			
試験・課題等に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関して課す小テスト（プレテスト・ポストテスト）については、WEB上（Gooleフォーム）で回答すると、正解、解説が示される。 ・定期試験については、模範解答をJUNTENODO-PASSPORT上に示す。 				
テキスト				
わかりやすい生化学－疾病と代謝・栄養の理解のために－第5版	監修：石黒伊三雄・篠原力雄	ヌーヴェルヒロカワ	9784861740695	定価 2,530円（税込）
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・最新臨床検査学講座 生化学：原諭吉・岡村直道・大城聡 編 医歯薬出版 ・はじめの一歩の生化学 第3版：前川正夫・磯川桂太郎 著 羊土社 ・生化学ドリル：田村隆明 著 南山堂 ・講義資料をJUNTENODO-PASSPORTで事前に送付する。 				
その他				

連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先：nagaokai@juntendo.ac.jp ・オフィスアワー：毎週金曜日 17：00～18：00 ・その他、随時、電子メールにて質問を受け付ける。 			
担当教員の実務経験	順天堂大学医学部において「生化学」の講義を担当していた経験を活かして、「生化学」の基礎と、その異常による疾患について講義を行う。また、医師としての経験を活かして、疾患の病態と症状、薬物治療等について講義を行う。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・プレテストとポストテスト（Gooleフォーム）のURLは事前にJUNTENODO-PASSPORTで通知する。 ・原則としてオンライン授業であるが、対面授業あるいはオンデマンド授業を行うことがある。また、欠席者にはオンデマンド授業を行う。 			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長岡 功	【生体の成り立ちと生体分子】 生体を構成する分子、細胞の構造と機能について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「生体の成り立ちと生体分子」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
2	長岡 功	【タンパク質の性質】 タンパク質を構成するアミノ酸、タンパク質の分類、タンパク質の構造について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「タンパク質の性質」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
3	長岡 功	【酵素の性質と働き】 酵素の種類、特性、反応速度論、アイソエンザイムについて学ぶ。	講義	【予習】テキストの「酵素の性質と働き」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
4	長岡 功	【糖質の代謝】 糖の分類、消化と吸収、エネルギー代謝、血糖調節、糖尿病について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「糖質の代謝」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
5	長岡 功	【脂質の代謝】 脂質の種類と科学的性質、代謝、リポタンパク質と代謝異常について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「脂質の代謝」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
6	長岡 功	【アミノ酸およびタンパク質の代謝】 尿素回路、エネルギー代謝、アミノ酸からつくられる生理作用物質、アミノ酸の先天性代謝異常などについて学ぶ。	講義	【予習】テキストの「アミノ酸およびタンパク質の代謝」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
7	長岡 功	【核酸の役割】 核酸の種類とその特性、遺伝情報、核酸の分解、DNAの複製、遺伝子操作技術について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「核酸の役割」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
8	長岡 功	【ホルモン】 ホルモンの種類と作用機序、各種のホルモン、ホルモン関連物質、内分泌疾患について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「ホルモン」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
9	長岡 功	【ビタミン】 水溶性ビタミン、脂溶性ビタミンの種類と、それらの働き、欠乏症について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「ビタミン」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
10	長岡 功	【内部環境の恒常性（ホメオスタシス）】 恒常性維持（ホメオスタシス）、神経系による調節、内分泌系による調節、免疫系による調節、ホルモンによるフィードバックについて学ぶ。	講義	【予習】テキストの「内部環境の恒常性（ホメオスタシス）」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
11	長岡 功	【消化・吸収と栄養価】 体に必要な栄養素、食品の摂取。消化・吸収、体が必要とするエネルギー量、必要な栄養素の量と質などについて学ぶ。	講義	【予習】テキストの「消化・吸収と栄養価」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
12	長岡 功	【体液】 水分、無機質と微量元素、酸・塩基平衡について学ぶ。	講義	【予習】テキストの「体液」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）
13	長岡 功	【血液】 血液の構成とその働き、血球成分、血漿成分、血液凝固などについて学ぶ。	講義	【予習】テキストの「血液」の部分と講義資料を事前に学習し、プレテストを受ける。（90分） 【復習】授業後、講義内容を復習し、ポストテストを受ける。（90分）

